

Ⅲ 調査結果

1 調査対象世帯の特性

(1) 主に買物をする人の年代と性別、家族の人数

ブロック全体（合計）で主に買物をする人の年代をみると、「40 歳代」の割合が 61.8%で最も高く、以下「30 歳代」が 28.6%、「50 歳代」が 7.5%、「60 歳以上」が 1.7%、「30 歳未満」が 0.4%となっている。

主に買物をする人の性別では、「女性」が 93.3%を占め、「男性」は 6.7%である。

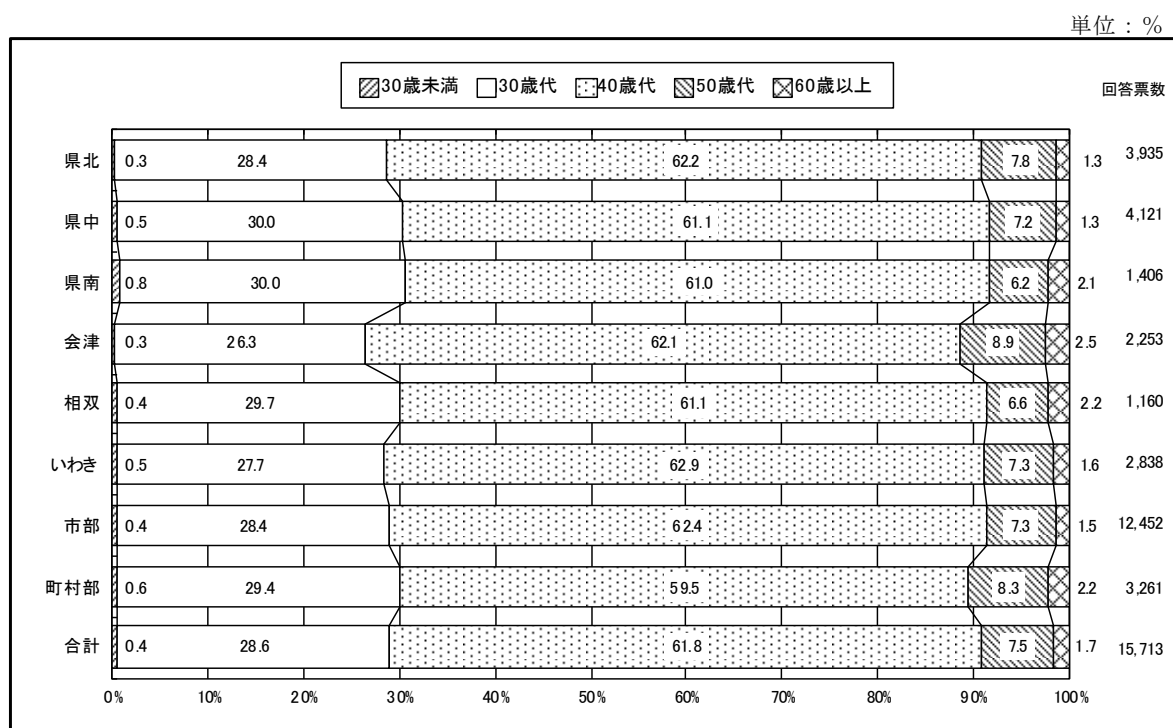
家族の人数は、「4 人」が 33.7%（前回 34.8%）で最も高く、以下「6 人以上」の 26.8%（前回 25.6%）、「5 人」の 25.6%（前回 26.1%）、「3 人以下」の 13.9%（前回 13.5%）となっている。

中学校 1、2 年生の家庭を対象に調査を行っていることから、主に買物をする人の年齢は 30～40 歳代が中心で、4 人以上で構成されている世帯が多い。

家族の人数では、「6 人以上」は会津ブロックが 35.2%と最も高く、いわきブロックでは 18.6%と最も低くなっている。また、「3 人以下」はいわきブロックが 17.6%と最も高く、会津ブロックでは 12.4%と最も低くなっている。

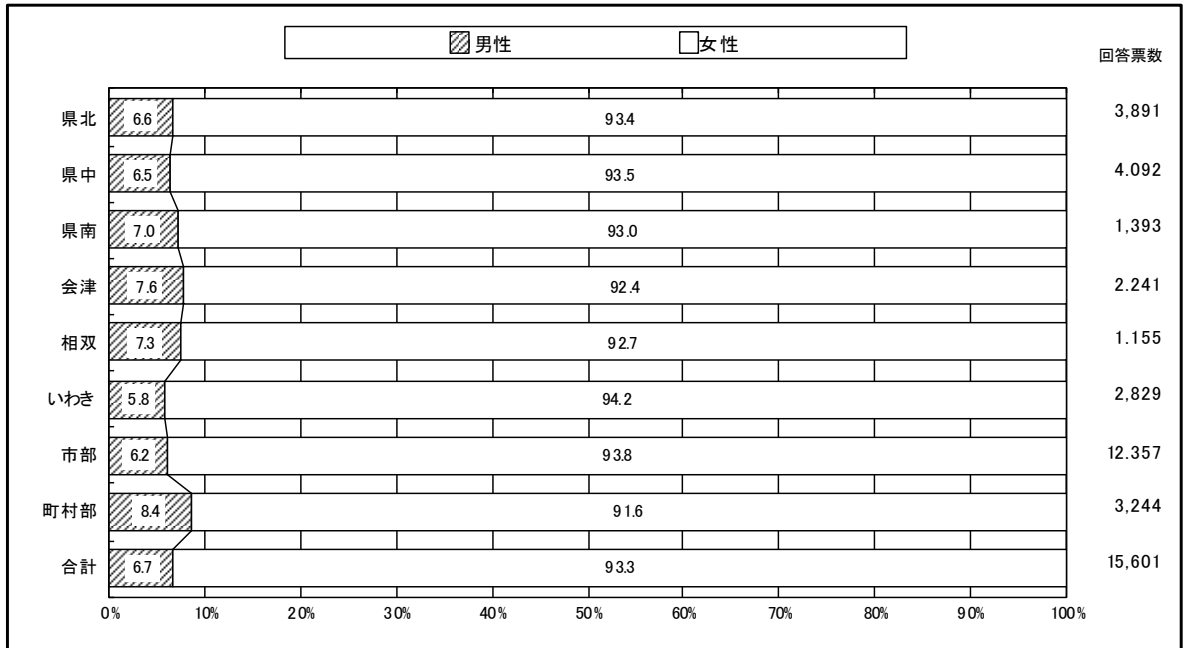
町村部では市部と比較して、主に買物をする人の年代で「50 歳代」、「60 歳以上」の割合が高く、家族の人数で「6 人以上」が 37.3%と高いことから、3 世代以上の世帯構成が多いと考えられる。

図表 1-1 主に買物をする人の年代



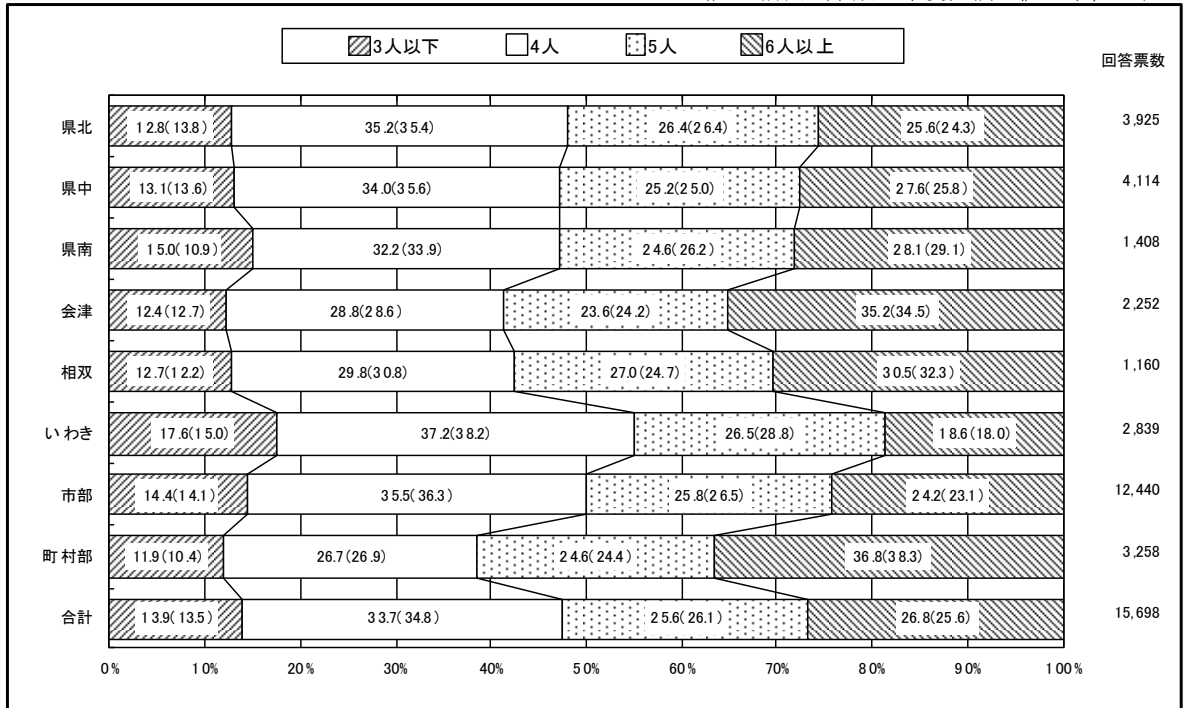
図表 1-2 主に買物をする人の性別

単位：％



図表 1-3 家族の人数

() は前回 (平成28年度) 調査値 単位：％



(2) 月々の買物支出

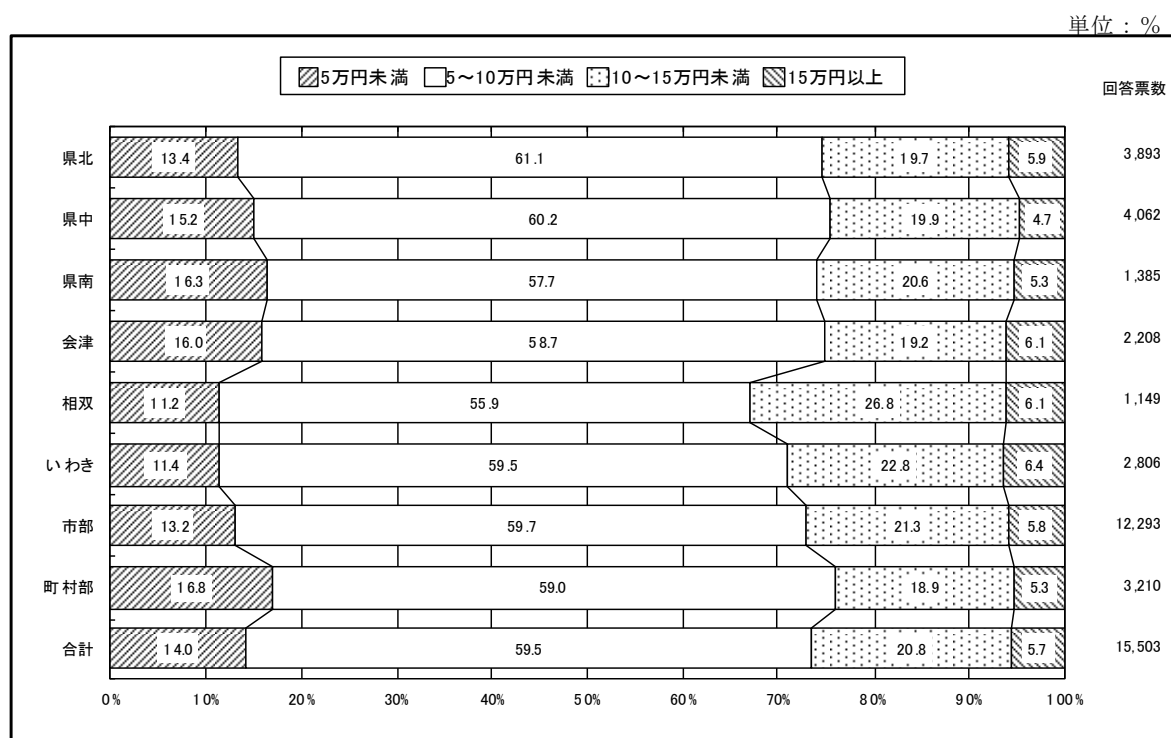
ブロック全体（合計）で月々の買物支出をみると、「5～10万円未満」の割合が59.5%と最も高い。今回調査では10万円未満（「5万円未満」と「5～10万円未満」を合わせた割合）が73.5%となり、前回（平成28年度）調査と比較して2.1ポイント減少した。「10～15万円未満」の割合は前回調査と比較して1.4ポイント、「15万円以上」は0.6ポイント増加しており、全体的に支出金額は増加傾向にある。

前回調査と前々回（平成25年度）調査との比較では、「10万円未満」が15.9ポイント増、「10～15万円未満」が10.4ポイント減、「15万円以上」が5.4ポイント減と支出金額は減少していた。

今回調査では支出金額は増加傾向にあるものの、前回調査から大きな変動はみられない。

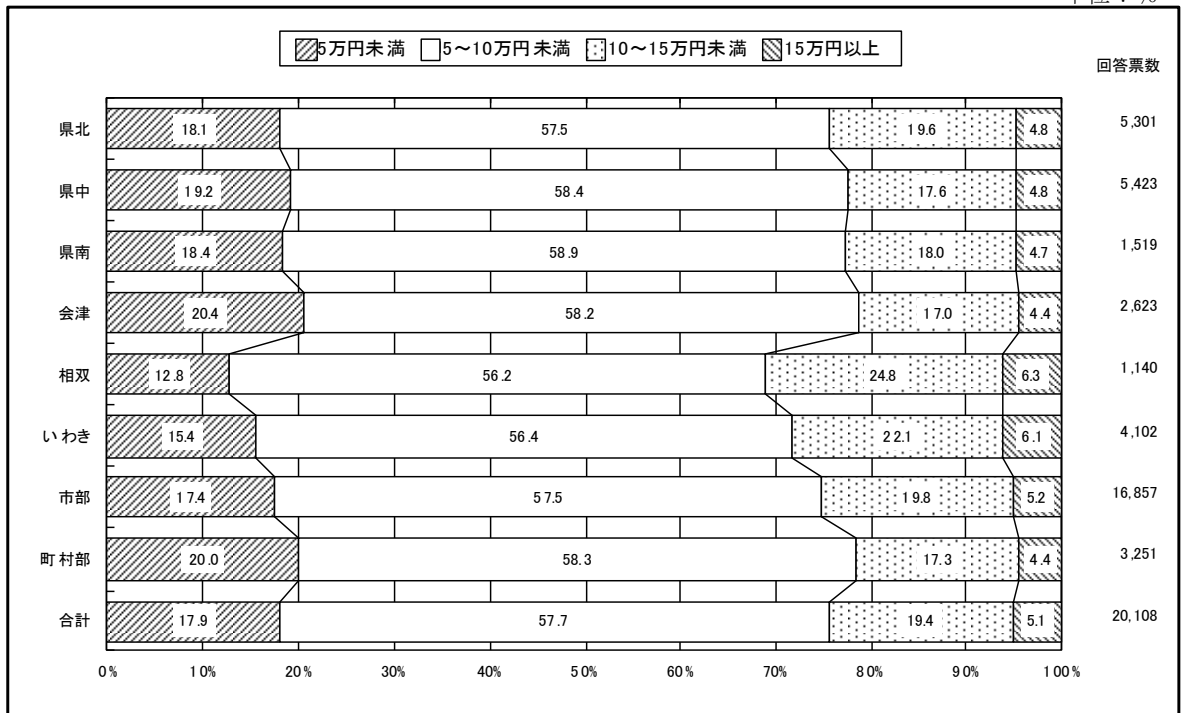
ブロック別、市部、町村部別にみると、いずれも10万円以上（「10～15万円未満」と「15万円以上」を合わせた割合）が増加しており、相双ブロック（32.9%）及びいわきブロック（29.2%）で他のブロックよりも高い傾向となっている。また、市部、町村部では、市部の方が10万円以上の割合が高くなっている。

図表 1-4 月々の買物支出（令和元年度）



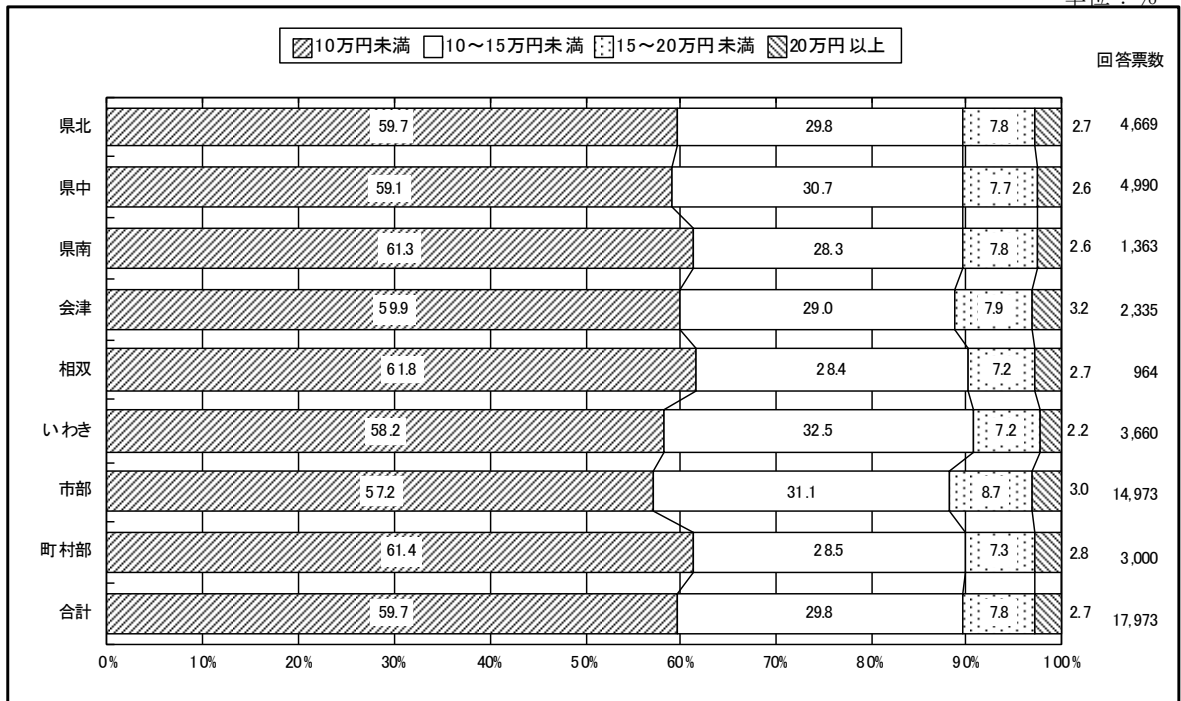
* 参考図表 月々の買物支出（平成 28 年度）

単位：%



* 参考図表 月々の買物支出（平成 25 年度）

単位：%



2 商圏構造の動向

(1) 県内の商圏構造（3つの商圏タイプ）

ここでは、消費者の都市間の流動状況など商圏構造の動向を大きくとらえるために、県内の商圏を、高度に商業が集積し広域的に買物客を吸引する「**広域型商圏都市**」、地域の中核商業を担い地元購買率を一定維持しながら周りの町村から買物客を集めている「**地域型商圏都市**」、近隣の商業地として地元を中心に買物客を集めている「**近隣型商圏都市**」の3つの区分で見ることとした。

なお、類型化したそれぞれのタイプを、以下では簡単に「広域型」、「地域型」、「近隣型」と表現する。

商圏タイプ	居住人口	都市名（旧市町村（いわき市においては地区）単位）
広域型	805,987 (821,413)	福島市、郡山市、会津若松市、いわき市平地区 計 4 市・地区（4）
地域型	577,752 (590,270)	川俣町、旧保原町、二本松市、旧本宮町、須賀川市、石川町、小野町、旧船引町、白河市、矢吹町、棚倉町、喜多方市、会津坂下町、旧田島町、相馬市、旧原町市、いわき市常磐地区、いわき市小名浜地区、いわき市勿来地区 計 19 市町・地区（19）
近隣型	467,526 (490,117)	上記以外の町村、地区 計 79 町村・地区（79）
計	1,851,265 (1,901,800)	計 102 市町村・地区（102）

注：（ ）は前回の平成 28 年度調査結果

分類基準

広域型：商圏人口（品目総合平均） 20 万人程度の都市

地域型：地元購買率（品目総合平均）40%以上で、かつ

商圏人口（品目総合平均） 1.5 万人以上 20 万人未満、または

吸引市町村・地区（品目総合に関する吸引率 5%以上）の数が 3 以上の都市

近隣型：広域型、地域型に属さない都市

平成 12 年度調査で改訂した分類基準に基づき、市町村・地区を各商圏タイプに分類してみると、わずかに各商圏タイプの条件を満たさない市町村・地区が生じたが、福島県では、東日本大震災及び原子力災害による避難指示や復旧・復興に係る作業員等の流入・流出などにより、県内の居住人口が流動的であること、また、経年比較を重視する観点から前回（平成 28 年度）調査と同じ分類とした。

なお、上記のように商圏タイプを分類しているが、実際には広域型の都市内にも地域型的あるいは近隣型的な地域が存在することや、地域型の都市内にも近隣型的な地域が存在しており、ここでは流動状況を概略的に把握する目的で類型化していることに留意しておく必要がある。

(2) 商圏タイプ別にみた消費動向

ア 品目別の買物場所（商圏タイプ）【補正データあり】

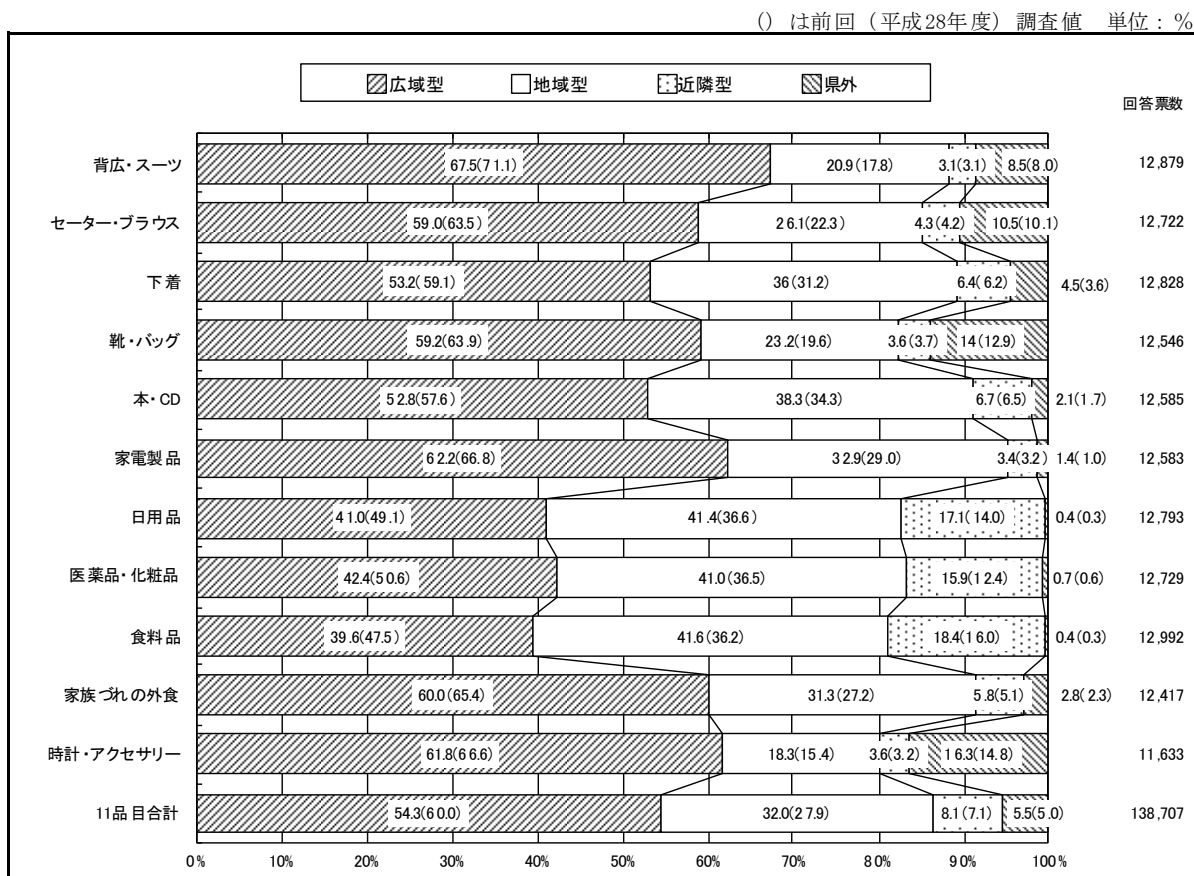
今回調査した買物品目別に、買物場所が「広域型」であったか、「地域型」であったか、あるいは「近隣型」であったかを分析したものが図表2-1である。

11品目合計で見ると、「広域型」が54.3%、「地域型」が32.0%、「近隣型」が8.1%、「県外」が5.5%で、「広域型」の割合が最も高い。

買回性の高い品目では「広域型」の割合が高く、「背広・スーツ」が67.5%、「セーター・ブラウス」が59.0%、「靴・バッグ」が59.2%、「家電製品」が62.2%、「時計・アクセサリ」が61.8%となり、「広域型」における買物割合がいずれも60%前後を占めている。「地域型」の割合は、「背広・スーツ」が20.9%、「セーター・ブラウス」が26.1%、「靴・バッグ」が23.2%、「家電製品」が32.9%、「時計・アクセサリ」が18.3%となっている。「近隣型」の割合は、「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「家電製品」、「時計・アクセサリ」すべてで低くなっている。

最寄性の高い品目の買物状況をみると、「広域型」の割合は「食料品」が39.6%、「日用品」が41.0%、「医薬品・化粧品」が42.4%となっている。一方、「地域型」と「近隣型」の割合は、「食料品」は「地域型」が41.6%、「近隣型」が18.4%、「日用品」は「地域型」が41.4%、「近隣型」が17.1%、「医薬品・化粧品」は、「地域型」が41.0%、「近隣型」が15.9%となっている。

図表2-1 品目別商圏タイプ（買物場所）別買物利用状況



* 回答票数：品目別買物場所回答者

今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）の標本数を調整していることから、「広域型」の割合が極端に低くなっている。

前回（平成28年度）調査と比較するために、4市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値は「図表2-1 品目別商圈タイプ（買物場所）別買物利用状況（補正データ）」のとおりとなる。（参考値であることに留意。）

補正した数値により前回調査と比較すると「広域型」が1.1ポイント減、「地域型」が0.8ポイント増、「近隣型」が増減なし、「県外」が0.3ポイント増となった。

買回性の高い品目では「広域型」の割合が高く、「背広・スーツ」が70.3%（前回71.1%の0.8ポイント減）、「セーター・ブラウス」が62.5%（同63.5%の1.0ポイント減）、「靴・バッグ」が62.3%（同63.9%の1.6ポイント減）、「家電製品」が66.3%（同66.8%の0.5ポイント減）、「時計・アクセサリ」が64.5%（同66.6%の2.1ポイント減）となり、「広域型」における買物割合がいずれも60%を超えているものの、前回調査より減少している。「地域型」の割合は、「背広・スーツ」が18.7%（前回17.8%の0.9ポイント増）、「セーター・ブラウス」が23.5%（同22.3%の1.2ポイント増）、「靴・バッグ」が20.9%（同19.6%の1.3ポイント増）、「家電製品」が29.4%（同29.0%の0.4ポイント増）、「時計・アクセサリ」が16.4%（同15.4%の1.0ポイント増）となり、前回調査より増加している。「近隣型」の割合は、「時計・アクセサリ」が増減なしとなっているが、「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「家電製品」で減少している。

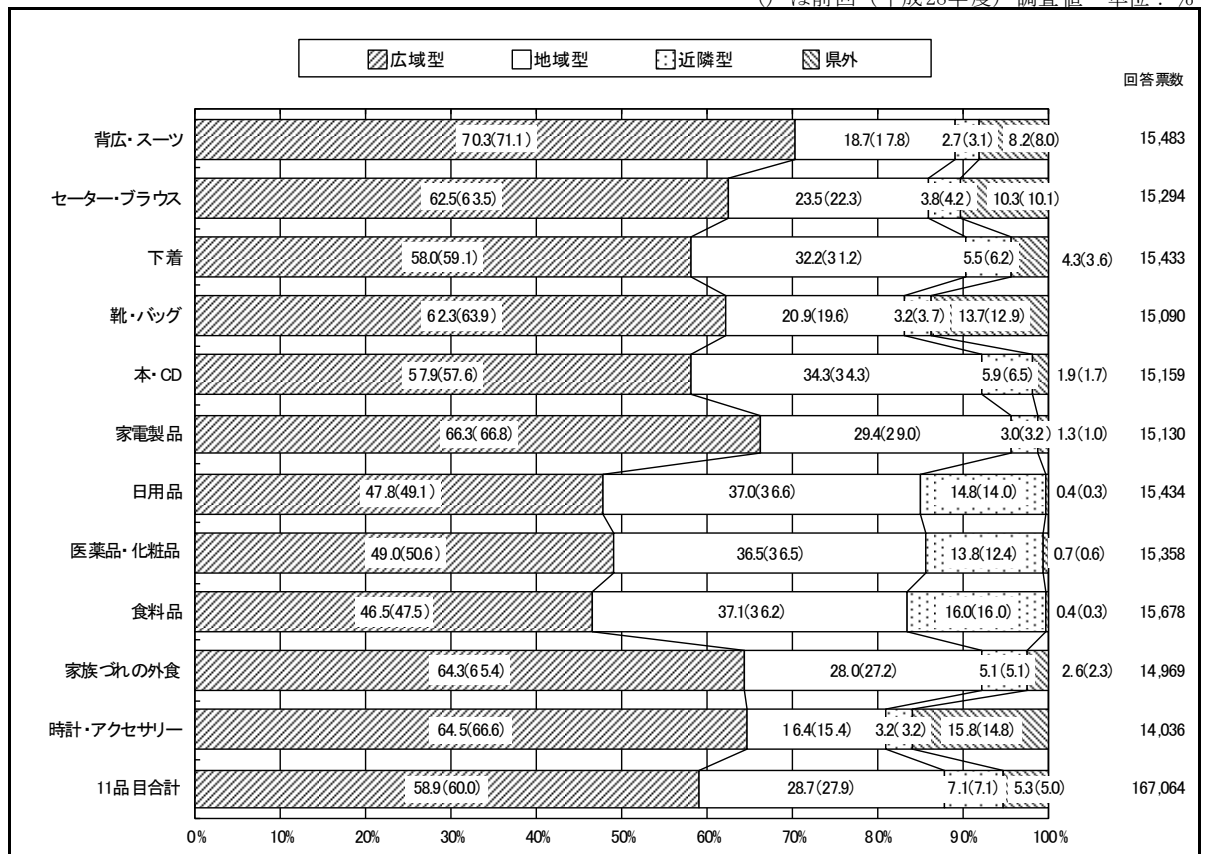
最寄性の高い品目の買物状況をみると、「広域型」の割合は「食料品」が46.5%（前回47.5%の1.0ポイント減）、「日用品」が47.8%（同49.1%の1.3ポイント減）、「医薬品・化粧品」が49.0%（同50.6%の1.6ポイント減）となっており、前回調査と比較すると減少している。一方、「地域型」と「近隣型」の割合は、「食料品」は「地域型」が37.1%（前回36.2%の0.9ポイント増）、「近隣型」が16.0%（同16.0%の増減なし）、「日用品」は「地域型」が37.0%（同36.6%の0.4ポイント増）、「近隣型」が14.8%（同14.0%の0.8ポイント増）、「医薬品・化粧品」は、「地域型」が36.5%（同36.5%の増減なし）、「近隣型」が13.8%（同12.4%の1.4ポイント増）となっており、「地域型」、「近隣型」が増加傾向にあることが分かる。

すべての品目で「広域型」の割合が減少し、「県外」の割合が増加している。

また、「地域型」の割合が減少した品目はなく、ほとんどの品目で増加している。

図表 2-1 品目別商圈タイプ（買物場所）別買物利用状況（補正データ）

（）は前回（平成28年度）調査値 単位：%



注）今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）について、標本数の調整を行っている。

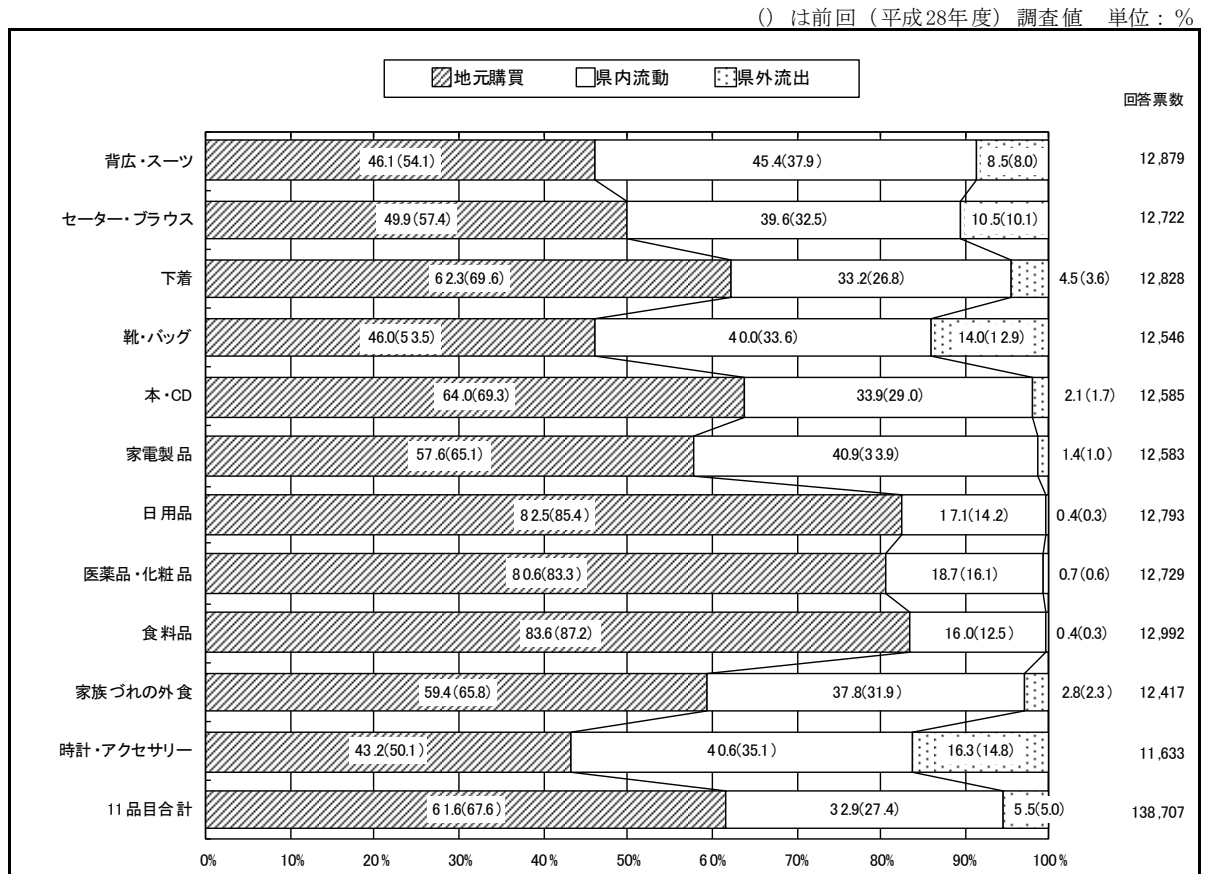
前回調査と比較するために、4市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を記載する。（参考値であることに留意。）

イ 品目別の流動状況【補正データあり】

消費者の流動状況に関して、地元購買、県内の他市町村への流動、県外への流出状況に分けて、品目別の買物割合を示したものが図表 2-2 である。

まず、11 品目合計について動向をみると、「地元購買」が 61.6%、「県内流動」が 32.9%、「県外流出」が 5.5% となり、「地元購買」の割合が最も高い。

図表 2-2 品目別流動状況



* 回答票数：品目別買物場所回答者

今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）の標本数を調整していることから、「地元購買」の割合が極端に低くなっている。

前回（平成 28 年度）調査と比較するために、4 市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値は「図表 2-2 品目別流動状況（補正データ）」のとおりとなる。（参考値であることに留意。）

補正した数値により 11 品目合計について動向をみると、「地元購買」が 65.6%、「県内流動」が 29.1%、「県外流出」が 5.3% となり、「地元購買」の割合が最も高い。

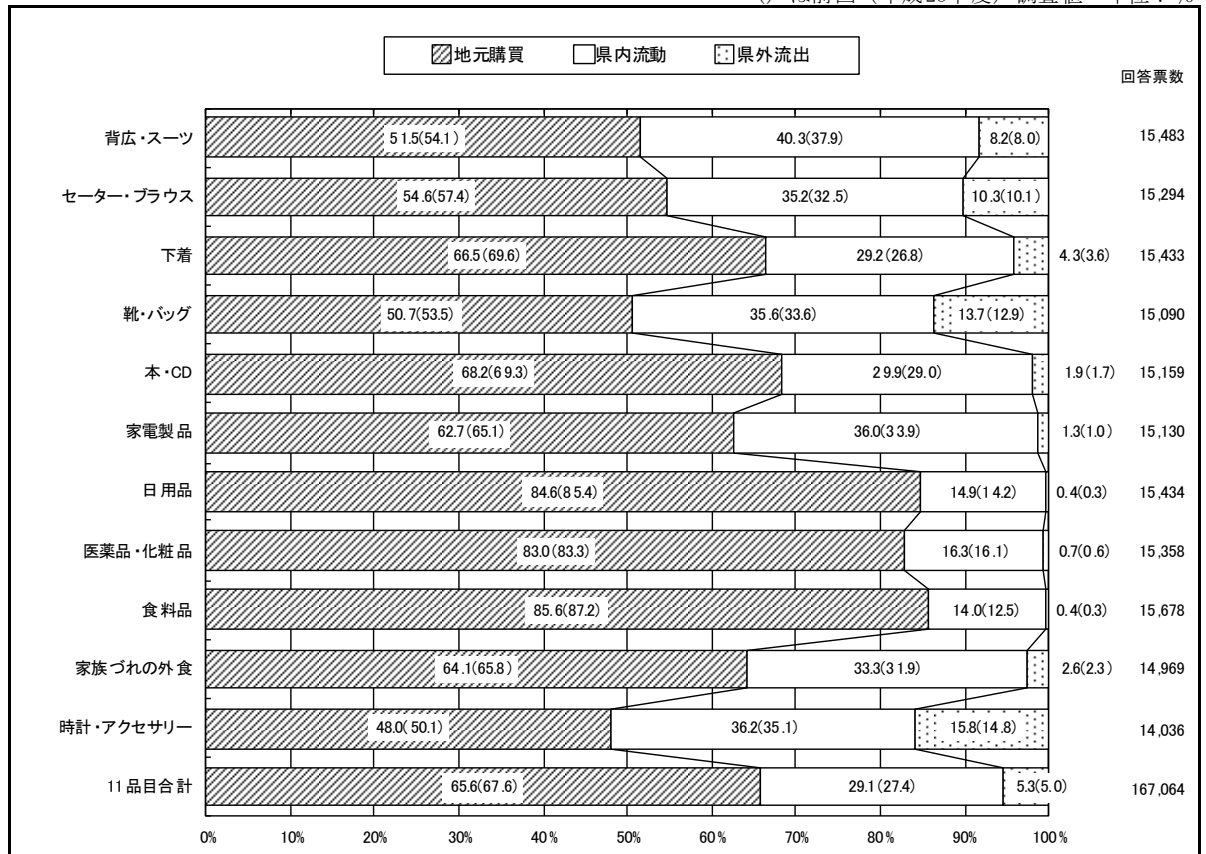
前回調査と比較すると「地元購買」が 2.0 ポイント減、「県内流動」が 1.7 ポイント増、「県外流出」が 0.3 ポイント増となっている。

品目別にみると、すべての品目で「地元購買」の割合が最も高いが、「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」などの買回性の高い品目では、「県外流出」の割合がわずかに増加している。「時計・アクセサリー」は 11 品目の中で最も「地元購買」の割合が低く

買回性の高い品目となっている。一方、最寄性の高い「日用品」や「食料品」、「医薬品・化粧品」は、「地元購買」の割合が80%以上と前回調査と同様に高くなっている。

図表 2 - 2 品目別流動状況〈補正データ〉

() は前回 (平成28年度) 調査値 単位 : %



注) 今回調査では、人口規模の大きい4市(福島市、郡山市、会津若松市、いわき市)について、標本数の調整を行っている。

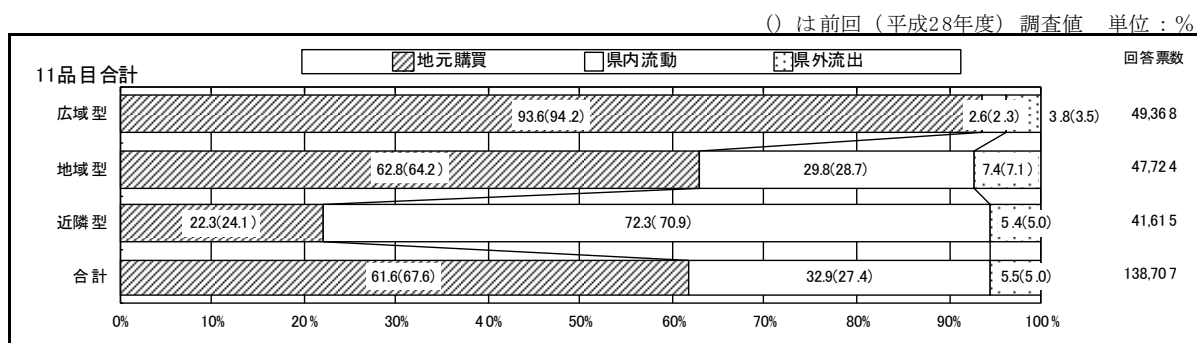
前回調査と比較するために、4市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を記載する。(参考値であることに留意。)

(ア) 商圏タイプ別流動状況

こうした流動状況を、居住地をベースにした商圏タイプ別にみたものが図表2-3である。

11品目合計でみると、広域型では、居住者の93.6%が地元で買物をし、「地元購買」の割合が圧倒的に高い。地域型では、居住者の62.8%が地元で、29.8%が県内の他市町村で、7.4%が県外で買物をしている。近隣型では、居住者の22.3%が地元で、72.3%が県内の他市町村で、5.4%が県外で買物をしており、「県内流動」の割合が最も高い。

図表2-3 商圏タイプ（居住地）別流動状況



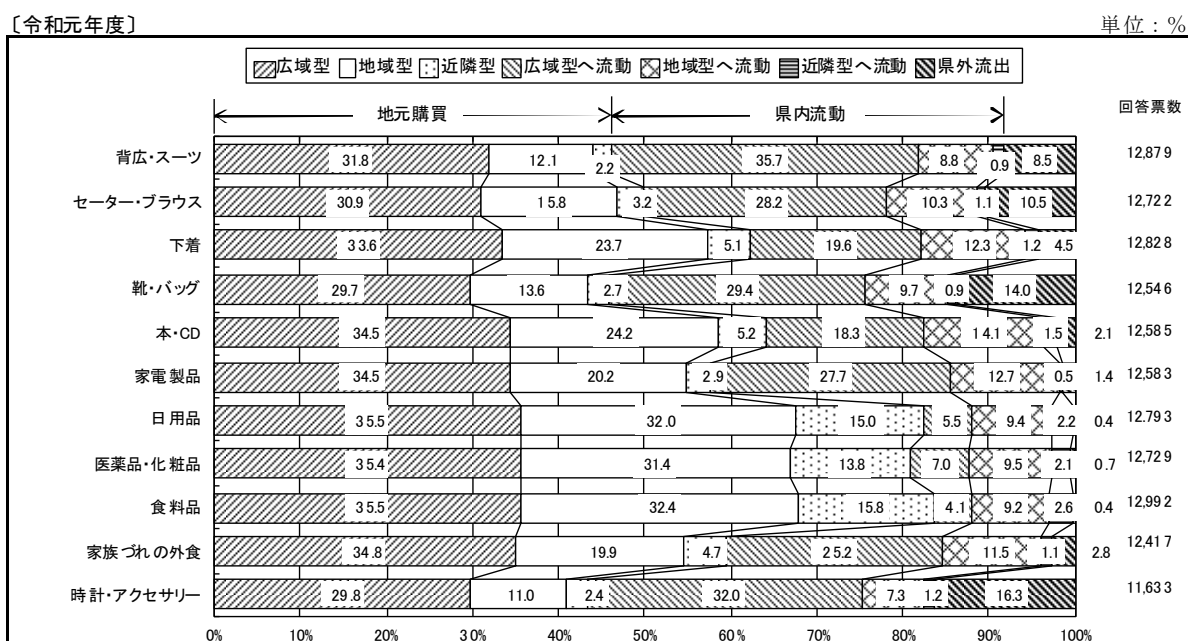
* 回答票数：品目別買物場所回答者の、商圏タイプ（居住地）別合計

(イ) 品目別・商圈タイプ別流動状況【補正データあり】

品目別の地元購買と県内流動について、さらに商圈タイプと関連させながら分析したのが図表2-4である。

これをみると、すべての品目で、広域型の地元購買率が30%前後の水準にある。また、「食料品」や「日用品」、「医薬品・化粧品」では、地域型の地元購買率が30%以上、近隣型の地元購買率が10%以上を占めている。「背広・スーツ」や「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」、「家電製品」、「時計・アクセサリ」は県内流動でも広域型への流動率が高い。

図表2-4 流動状況明細



* 回答票数：品目別買物場所回答者

今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）の標本数を調整していることから、「広域型」の「地元購買」の割合が極端に低くなっている。

前回（平成28年度）調査と比較するために、4市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値は「図表2-4 流動状況明細（補正データ）」のとおりとなる。（参考値であることに留意。）

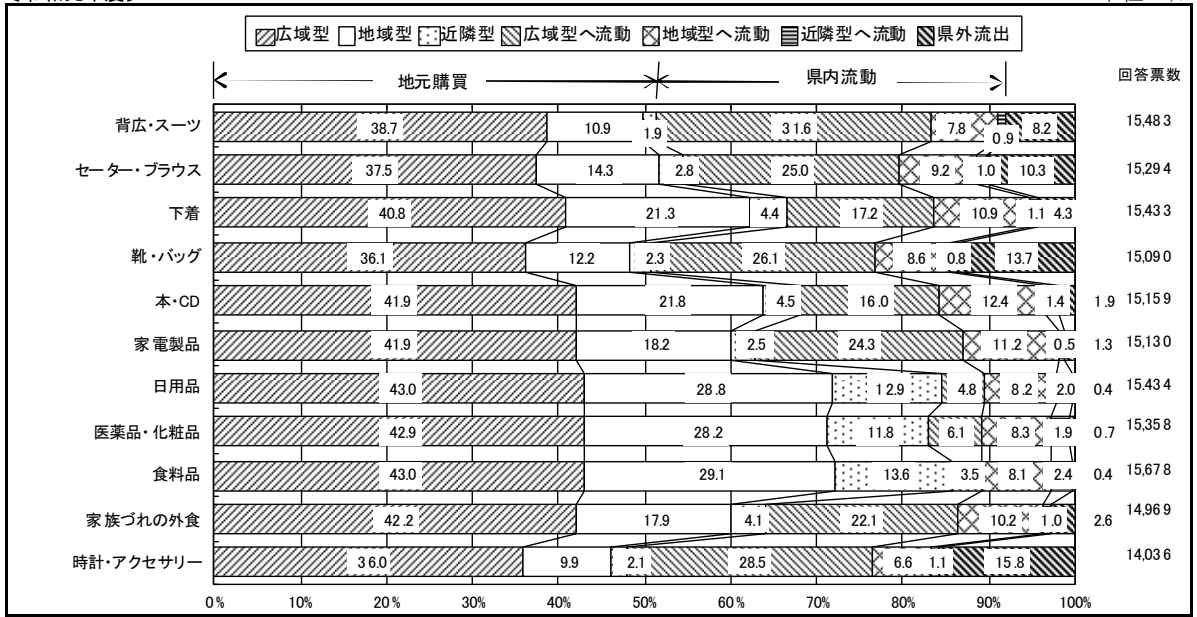
前回調査と比較すると、すべての品目で広域型の地元購買率が減少している。また、近隣型の最寄性の高い「日用品」や「医薬品・化粧品」はそれぞれ増加（「食料品」はわずかに減少）しており、地元購買率が高くなっている。

県外流出については、すべての品目で前回調査より増加している。

図表 2-4 流動状況明細〈補正データ〉

〔令和元年度〕

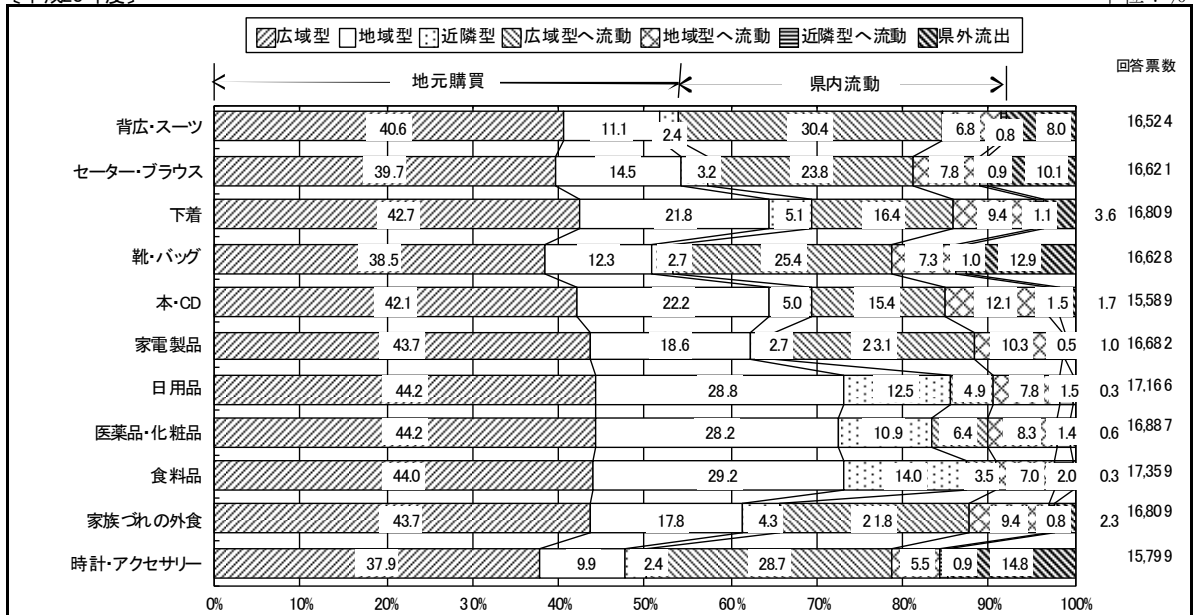
単位：%



注) 今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）について、標本数の調整を行っている。
 前回調査と比較するために、4市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を記載する。
 （参考値であることに留意。）

〔平成28年度〕

単位：%



ウ 地元以外での購買

居住地の商圈タイプ別に地元以外での買物状況を示したものが図表2-5である。

すべての品目において、居住地の商圈規模が小さくなるほど、地元以外での買物割合が高くなる傾向が見られる。

広域型における地元以外での買物割合は、すべての品目で高くなっており、「時計・アクセサリ」（17.6%）や「靴・バッグ」（15.4%）、「セーター・ブラウス」（11.9%）など買回性の高い品目で増加の割合が高くなっている。前回（平成28年度）調査と比較すると、買回性の高い品目では地元以外での買物割合が増加傾向にあるが、「食料品」や「日用品」、「医薬品・化粧品」などの最寄性の高い品目では、ほぼ横ばいである。

地域型における地元以外での買物割合は、「時計・アクセサリ」（68.0%）や「背広・スーツ」（65.2%）、「靴・バッグ」（61.0%）、「セーター・ブラウス」（54.2%）などの買回性の高い品目で50%を超えている。一方、「食料品」（5.1%）や「日用品」（6.1%）、「医薬品・化粧品」（7.9%）など、最寄性の高い品目の割合は低い傾向となっているが、前回調査と比較すると増加傾向にある。

近隣型における地元以外での買物割合は、「食料品」（46.9%）や「日用品」（49.7%）、「医薬品・化粧品」（53.8%）など最寄性の高い品目を除いたすべての品目で80~90%程度を占めている。前回調査との比較では、「医薬品・化粧品」を除いたすべての品目で地元以外での買物割合が増加している。

図表2-5 商圈タイプ（居住地）別、品目別の地元以外での買物割合

単位：%

		背 広 ・ ス ー ツ	ブ セ ー ラ タ ウ ー ス ・	下 着	靴 ・ バ ッ グ	本 ・ C D	家 電 製 品	日 用 品	医 薬 品 ・ 化 粧 品	食 料 品	家 族 づ れ の 外 食	ア 時 ク セ サ リ ・
広域型 商圈都市	R1	9.1	11.9	4.8	15.4	3.1	1.8	1.7	1.9	1.9	2.9	17.6
	H28	8.6	10.7	3.7	13.8	2.8	1.8	1.6	1.7	1.9	2.4	15.5
	H25	7.3	8.8	3.0	10.9	2.4	1.9	1.4	1.9	1.8	2.5	-
地域型 商圈都市	R1	65.2	54.2	31.4	61.0	29.4	41.2	6.1	7.9	5.1	42.5	68.0
	H28	63.8	52.7	29.0	59.5	26.9	38.9	5.6	7.7	4.4	41.4	67.6
	H25	63.0	50.3	25.5	58.3	21.5	45.7	6.2	7.8	4.9	44.2	-
近隣型 商圈都市	R1	92.8	89.5	83.1	91.0	82.6	90.5	49.7	53.8	46.9	84.0	91.8
	H28	90.6	87.0	79.6	89.2	81.0	89.1	49.3	55.3	43.0	82.5	90.5
	H25	92.5	88.0	80.8	90.1	81.4	90.6	55.0	65.7	46.1	87.1	-

(ア) 商圏タイプ別流出状況

各商圏タイプの居住者の地元以外での買物状況を示したものが図表2-6である。なお、図表の流出者数（推定人数）が商圏タイプごとに大きく異なることに留意する必要がある。

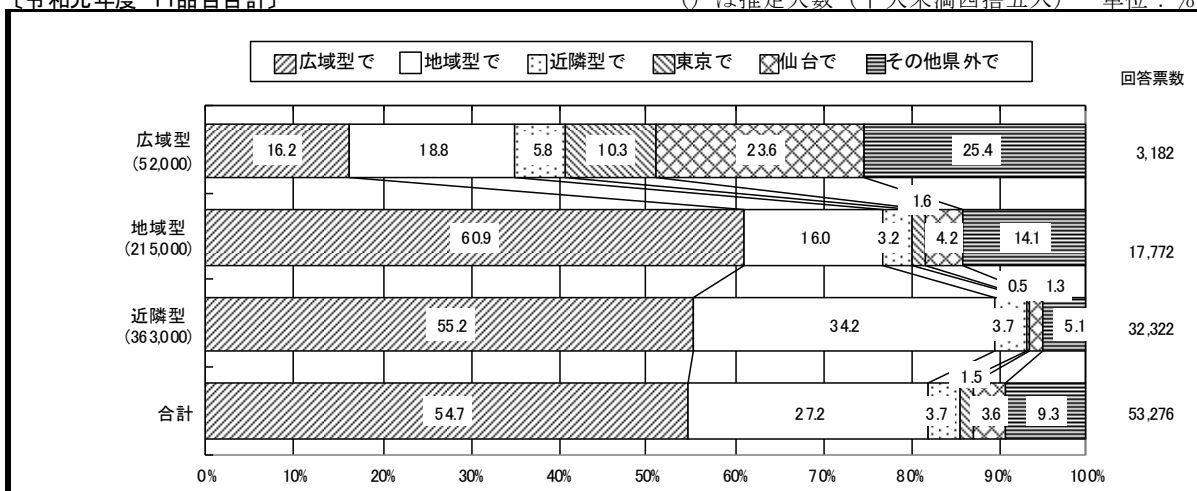
まず、11品目合計で広域型をみると、地元以外で買物をする場合の流出先が多様化しており、「その他県外で」（25.4%）買物をする割合が最も高く、次いで「仙台市で」（23.6%）となっている。地域型では、「広域型で」（60.9%）で買物をする割合が最も高く、「地域型で」と「近隣型で」を合わせた県内流動率が80.1%になっている。近隣型では、「広域型で」（55.2%）買物をする割合が最も高く、「地域型で」と「近隣型で」を合わせた県内流動率が93.1%である。

また、地元以外の購買について、品目毎に商圏タイプ（居住者）別に調べたものが図表2-7である。前回調査と比較すると、地域型商圏居住者では地域型への県内流動が若干増加している品目があるが、すべての商圏タイプで「食料品」、「医薬品・化粧品」などの最寄性の高い品目の県外流出が増加している。

図表 2-6 地元以外での購買内訳

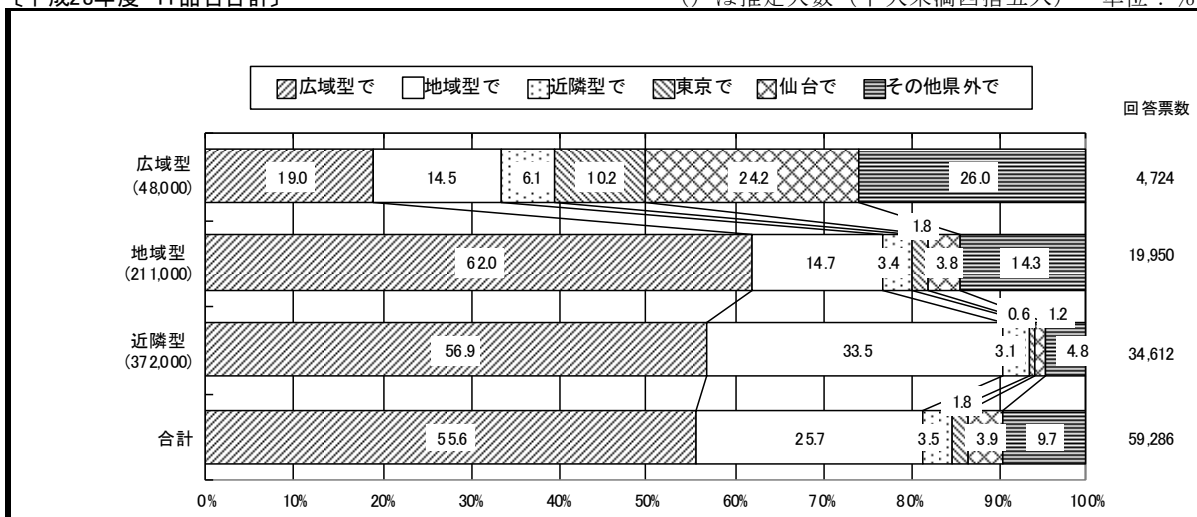
[令和元年度 11品目合計]

() は推定人数 (千人未満四捨五入) 単位: %



[平成28年度 11品目合計]

() は推定人数 (千人未満四捨五入) 単位: %



* 回答票数: 品目別買物場所回答者のうち、買物場所を居住地以外と回答した者の商圏タイプ (居住地) 別合計

* 各商圏タイプの流出者数 (推定人数) は、市町村・地区別の流出率に、各市町村・地区の居住人口を乗じて算出した人数を、ブロック別にまとめたものである。

図表 2-7 地元以外での購買内訳 —品目別商圏タイプ（居住地）別—

単位：％、人

品目	居住地		地元以外の買物場所						流出人口計
			県内			県外			
			広域型	地域型	近隣型	東京	仙台	その他県外	
背広・スーツ	広域型商圏都市居住者	今回	21.6	11.9	1.9	12.1	25.7	26.7	70,967
		前回	25.2	7.6	1.6	12.3	26.8	26.5	70,364
	地域型商圏都市居住者	今回	67.0	12.9	2.1	1.5	3.8	12.7	365,375
		前回	67.6	11.9	2.3	1.6	3.4	13.1	378,026
	近隣型商圏都市居住者	今回	70.6	19.5	1.4	0.7	2.0	5.7	430,985
		前回	71.9	18.5	1.1	0.9	1.7	5.9	443,670
セーター・ブラウス	広域型商圏都市居住者	今回	15.3	14.5	1.7	7.5	25.4	35.6	93,254
		前回	18.8	7.1	2.4	6.9	27.1	37.8	87,202
	地域型商圏都市居住者	今回	58.4	13.7	2.3	1.3	5.0	19.3	302,532
		前回	59.4	10.9	2.7	1.8	3.9	21.3	313,546
	近隣型商圏都市居住者	今回	61.0	26.3	2.2	0.7	1.8	8.1	414,031
		前回	61.4	26.2	1.7	0.7	1.7	8.3	427,040
下着	広域型商圏都市居住者	今回	14.4	26.5	4.2	7.0	20.5	27.4	37,037
		前回	20.2	19.1	9.4	6.9	15.5	28.9	30,277
	地域型商圏都市居住者	今回	60.3	16.4	4.0	0.9	2.9	15.6	175,640
		前回	62.6	13.5	4.7	1.1	3.1	14.9	172,235
	近隣型商圏都市居住者	今回	51.1	40.2	3.0	0.2	0.9	4.6	383,238
		前回	52.7	39.5	2.7	0.4	0.6	4.1	390,817
靴・バッグ	広域型商圏都市居住者	今回	15.4	10.3	1.6	11.9	29.6	31.2	120,506
		前回	19.4	6.2	1.3	12.1	28.9	32.1	111,851
	地域型商圏都市居住者	今回	55.8	12.7	2.0	2.1	6.2	21.3	340,577
		前回	57.7	10.6	2.6	2.6	5.7	20.8	353,180
	近隣型商圏都市居住者	今回	61.2	23.4	1.5	0.9	2.8	10.1	421,264
		前回	61.7	22.5	1.9	1.4	2.5	10.0	435,581
本・CD	広域型商圏都市居住者	今回	10.8	49.6	18.0	10.1	5.0	6.5	23,666
		前回	10.1	53.4	20.6	4.2	7.4	4.2	22,804
	地域型商圏都市居住者	今回	56.5	27.0	5.0	1.0	1.5	9.0	163,118
		前回	54.5	28.1	6.8	0.8	2.1	7.6	159,005
	近隣型商圏都市居住者	今回	50.3	43.6	3.2	0.1	0.3	2.5	378,359
		前回	51.1	42.8	3.3	0.1	0.4	2.3	395,085
家電製品	広域型商圏都市居住者	今回	15.0	55.0	3.8	8.8	12.5	5.0	14,098
		前回	22.3	49.2	6.2	7.7	10.8	3.8	14,121
	地域型商圏都市居住者	今回	72.3	21.1	1.5	0.6	1.1	3.4	230,348
		前回	71.6	23.3	1.3	0.3	1.0	2.6	233,990
	近隣型商圏都市居住者	今回	63.0	33.9	1.1	0.1	0.2	1.7	420,506
		前回	64.9	32.2	1.3	0.1	0.3	1.2	434,983
日用品	広域型商圏都市居住者	今回	3.8	50.0	33.8	1.3	3.8	7.5	13,777
		前回	5.0	49.6	37.2	1.7	1.7	5.0	12,751
	地域型商圏都市居住者	今回	47.4	22.6	20.3	1.1	0.8	7.9	34,425
		前回	50.2	23.4	18.3	0.3	0.3	7.5	34,093
	近隣型商圏都市居住者	今回	30.5	58.0	10.4	0.0	0.1	1.1	220,465
		前回	33.3	57.9	7.6	0.0	0.1	1.1	239,846
医薬品・化粧品	広域型商圏都市居住者	今回	6.8	34.1	31.8	6.8	10.2	10.2	15,139
		前回	6.2	45.4	29.2	5.4	8.5	5.4	13,771
	地域型商圏都市居住者	今回	58.3	19.1	12.8	2.3	2.6	4.9	44,483
		前回	59.6	19.7	11.9	0.8	2.5	5.6	46,284
	近隣型商圏都市居住者	今回	33.8	54.8	9.8	0.1	0.3	1.2	238,540
		前回	36.3	55.4	6.7	0.1	0.2	1.2	270,823
食料品	広域型商圏都市居住者	今回	2.2	49.5	39.6	1.1	1.1	6.6	15,474
		前回	4.0	48.0	43.3	0.0	0.7	4.0	15,641
	地域型商圏都市居住者	今回	41.8	24.0	24.9	0.9	0.4	8.0	28,146
		前回	39.1	26.2	26.2	0.0	0.0	8.6	26,345
	近隣型商圏都市居住者	今回	24.0	60.8	13.7	0.0	0.0	1.4	206,170
		前回	27.7	59.4	11.8	0.0	0.1	1.0	211,302
家族づれの夕食	広域型商圏都市居住者	今回	21.3	44.1	11.0	3.1	10.2	10.2	21,772
		前回	22.9	38.0	8.4	2.2	10.6	17.9	19,373
	地域型商圏都市居住者	今回	65.0	21.0	2.3	0.3	2.6	8.8	238,167
		前回	66.8	20.4	1.9	0.2	2.2	8.5	246,570
	近隣型商圏都市居住者	今回	61.9	31.9	2.6	0.1	0.3	3.2	387,786
		前回	64.0	31.1	2.1	0.1	0.3	2.5	404,629
時計・アクセサリ	広域型商圏都市居住者	今回	19.6	8.1	1.8	14.9	29.9	25.7	136,993
		前回	20.5	3.8	1.1	15.9	32.6	26.1	126,227
	地域型商圏都市居住者	今回	56.8	10.6	2.4	3.6	7.9	18.8	384,314
		前回	59.4	8.5	2.2	4.3	7.0	18.6	401,928
	近隣型商圏都市居住者	今回	64.6	16.0	2.0	2.2	4.1	11.2	425,148
		前回	67.5	15.6	1.6	1.8	3.5	10.1	443,633

* 参考までに流出人口（推定）欄を設けた。商圏タイプ間で流出人口の差が大きい点に留意する必要がある。

(3) 商圏タイプ別にみた商圏人口と居住人口の比較

ここでは、品目別の地元購買率及び流入・流出率に、各市町村・地区の居住人口を乗じて商圏人口の推計を行い、品目別、商圏タイプ別に分析を加えることにする。

ア 商圏タイプ（買物場所）別にみた商圏人口

図表 2-8 は、商圏タイプ別に商圏人口を推計したものである。ここでの「商圏人口」は次のように求めている。

$\text{商圏人口} = \text{地元購買人口} + \text{吸引人口}$ $\text{地元購買人口} = \text{地元購買率} \times \text{当該市町村・地区居住人口}$ $\text{吸引人口} = \text{当該市町村・地区への流入率} \times \text{流入元市町村・地区居住人口}$
--

また、「構成比」及び「居住人口比率」は次のように求めている。

$$\text{構成比} = (\text{商圏人口} \div \text{県人口}) \times 100$$

$$\text{居住人口比率} = (\text{商圏人口} \div \text{居住人口}) \times 100$$

まず、11品目合計で商圏人口の構成をみると、広域型が59.1%、地域型が28.5%、近隣型が7.2%、県外が5.2%という分布になっている。前回（平成28年度）調査と比較すると、広域型が0.3ポイント減、地域型が0.3ポイント増、近隣型が0.1ポイント減、県外が0.2ポイント増となっている。

[広域型]

広域型における品目別商圏人口の構成比は、買回性の高い「背広・スーツ」(70.5%)が最も高く、最寄性の高い「食料品」(46.1%)が最も低い。また、居住人口対商圏人口比率をみると、すべての品目で比率が1を超えており、「背広・スーツ」(1.62)が最も高く、「食料品」(1.06)が最も低い。居住人口対商圏人口比率を前回調査と比較すると、「食料品」と「本・CD」を除いた9品目で減少している。

[地域型]

地域型における品目別商圏人口の構成比は、最寄性の高い「食料品」(37.2%)が最も高く、買回性の高い「時計・アクセサリ」(16.8%)が最も低い。また、居住人口対商圏人口比率は、「食料品」(1.19)、「日用品」(1.18)など5品目で1を上回っているものの、他の品目では居住人口を下回り、前回調査と比較すると、「本・CD」と「日用品」、「医薬品・化粧品」で比率がわずかに減少している。

[近隣型]

近隣型における品目別商圏人口の構成比は、地域型と同様に、最寄性の高い品目が高く、買回性の高い品目が低い傾向がみられ、「食料品」(16.3%)が最も高く、「背広・スーツ」(2.8%)が最も低い。また、居住人口対商圏人口比率をみると、すべての品目で商圏人口が居住人口を下回っている。前回調査と比較すると、最寄性の高い「医薬品・化粧品」と「日用品」でわずかに増加している。

[県外]

県外における品目別商圏人口の構成比が最も高いのは、「時計・アクセサリ」(15.5%)である。「背広・スーツ」と「セーター・ブラウス」、「日用品」以外の8品目で構成比が前回調査を上回っている。特に「時計・アクセサリ」、「靴・バッグ」などの買回性の

高い品目の増加が大きくなっている。

図表 2-8 商圈タイプ（買物場所）別にみた商圈人口

	広域型(②居住人口 805,987人)			地域型(②居住人口 577,752人)			近隣型(②居住人口 467,526人)			県外		合計	
	商圈人口①	構成比	居住人口対商 圏人口比率	商圈人口①	構成比	居住人口対商 圏人口比率	商圈人口①	構成比	居住人口対商 圏人口比率	商圈人口①	構成比	商圈人口①	構成比
	(人)	(%)	①/②	(人)	(%)	①/②	(人)	(%)	①/②	(人)	(%)	(人)	(%)
背広・スーツ	1,305,035	70.5	1.62	348,671	18.8	0.60	51,401	2.8	0.11	146,173	7.9	1,851,280	100.0
セーター・ブラウス	1,160,796	62.7	1.44	436,062	23.6	0.75	70,606	3.8	0.15	183,565	9.9	1,851,029	100.0
下着	1,083,931	58.5	1.34	588,902	31.8	1.02	103,233	5.6	0.22	75,265	4.1	1,851,331	100.0
靴・バッグ	1,155,987	62.4	1.43	387,698	20.9	0.67	61,097	3.3	0.13	246,692	13.3	1,851,473	100.0
本・CD	1,073,906	58.0	1.33	630,287	34.0	1.09	113,863	6.2	0.24	33,179	1.8	1,851,235	100.0
家電製品	1,231,235	66.5	1.53	541,262	29.2	0.94	56,062	3.0	0.12	22,880	1.2	1,851,440	100.0
日用品	879,009	47.5	1.09	683,918	36.9	1.18	280,471	15.2	0.60	7,852	0.4	1,851,249	100.0
医薬品・化粧品	900,477	48.6	1.12	676,714	36.6	1.17	261,342	14.1	0.56	12,798	0.7	1,851,331	100.0
食料品	853,680	46.1	1.06	688,694	37.2	1.19	301,862	16.3	0.65	7,017	0.4	1,851,252	100.0
家族づれの夕食	1,189,628	64.3	1.48	519,908	28.1	0.90	97,351	5.3	0.21	44,445	2.4	1,851,332	100.0
時計・アクセサリ	1,191,497	64.4	1.48	311,312	16.8	0.54	61,712	3.3	0.13	286,620	15.5	1,851,142	100.0
11品目合計	12,025,183	59.1	-	5,813,427	28.5	-	1,458,999	7.2	-	1,066,485	5.2	20,364,093	100.0
11品目平均	1,093,198	-	1.36	528,493	-	0.91	132,636	-	0.28	96,953	-	1,851,281	-

イ 商圏人口からみた商圏構造

先述のとおり、ここでの商圏人口は、地元購買人口と他市町村からの吸引人口で構成されている。

「セーター・ブラウス」、「家電製品」、「食料品」の3品目について、さらに詳細に分析したものが図表2-9である。

[セーター・ブラウス]

広域型商圏人口 1,160,796 人のうち地元購買人口が 712,733 人 (61.4%)、他都市からの吸引人口が 448,064 人 (38.6%) となり、地元購買人口が吸引人口を上回っている。地域型商圏人口については、商圏人口は 436,062 人のうち地元購買人口が 275,220 人 (63.1%)、他都市からの吸引人口が 160,842 人 (36.9%) となり、広域型と同様に地元購買人口が吸引人口を上回っている。

[家電製品]

広域型商圏人口 1,231,235 人のうち地元購買人口が 791,889 人 (64.3%)、他都市からの吸引人口が 439,347 人 (35.7%) と地元購買人口が吸引人口を上回っている。地域型商圏人口については、商圏人口は 541,262 人のうち地元購買人口が 347,404 人 (64.2%)、他都市からの吸引人口が 193,859 人 (35.8%) となり、広域型と同様に地元購買人口が吸引人口を上回っている。

[食料品]

広域型商圏人口 853,680 人のうち地元購買人口が 790,513 人 (92.6%) と、最寄性の高い品目の特性から地元購買人口が多い。地域型商圏人口 688,694 人のうち地元購買人口が 549,606 人 (79.8%)、他都市からの吸引人口が 139,088 人 (20.2%) と、「セーター・ブラウス」、「家電製品」と比較すると地元購買人口の割合が高い。

図表 2-9 広域型・地域型商圏人口の構成

品目	商圏タイプ	地元購買人口(人)	他都市からの吸引人口(人)				商圏人口計(人)②	他都市からの吸引割合①/②(%)
			広域型から	地域型から	近隣型から	小計①		
セーター・ブラウス	広域型 構成比	712,733 61.4	14,094 1.2	174,004 15.0	259,966 22.4	448,064 38.6	1,160,796 100.0	38.6 (38.9)
	地域型 構成比	275,220 63.1	12,995 3.0	43,716 10.0	104,131 23.9	160,842 36.9	436,062 100.0	36.9 (35.4)
家電製品	広域型 構成比	791,889 64.3	2,133 0.2	163,895 13.3	273,319 22.2	439,347 35.7	1,231,235 100.0	35.7 (36.1)
	地域型 構成比	347,404 64.2	7,812 1.4	51,226 9.5	134,821 24.9	193,859 35.8	541,262 100.0	35.8 (35.8)
食料品	広域型 構成比	790,513 92.6	363 0.0	11,648 1.4	51,155 6.0	63,166 7.4	853,680 100.0	7.4 (7.9)
	地域型 構成比	549,606 79.8	7,778 1.1	6,973 1.0	124,336 18.1	139,088 20.2	688,694 100.0	20.2 (20.0)

() 内は前回(平成28年度)調査値

3 市町村別商圈人口の実勢

ここでは、市町村別商圈人口の実態を分析していく。

ここで推計した「商圈人口」の概念は、当該市町村の販売力を示す一つの指標である。分析は、各商圈タイプに含まれる市町村別に、**商圈人口**とそれを構成する**地元購買人口**、**吸引人口**という3つの視点から行うことにする。

なお、広域型の商圈人口等については、人口規模が大きくなることから、千人未満を四捨五入した値で分析することとした。

(1) 広域型商圈都市の商圈人口

ア 商圈人口

(ア) 福島市

福島市では、商圈人口の合計が352万7千人（前回360万2千人）となり、前回（平成28年度）調査と比較すると2.1%減少している。品目別の商圈人口は、「家電製品」（37万5千人）、「背広・スーツ」（36万5千人）、「本・CD」（34万5千人）などで多く、一方、「食料品」（27万5千人）や「日用品」（27万9千人）など7品目では、11品目平均（32万人）を下回っている。また、品目別に前回調査と比較すると、すべての品目で減少しており、「時計・アクセサリ」（3.8%減）の減少が最も大きい。

(イ) 郡山市

郡山市では、商圈人口の合計が507万4千人（前回516万6千人）、前回調査と比較すると1.8%減少している。郡山市の商圈人口は、4市・地区のうち最も多い。品目別の商圈人口は、「時計・アクセサリ」（59万7千人）、「背広・スーツ」（56万人）、「靴・バッグ」（54万8千人）などで多く、一方、「食料品」（34万4千人）や「日用品」（35万2千人）など6品目では11品目平均（46万1千人）を下回っている。前回調査と比較すると、「下着」（増減0%）を除くすべての品目で減少しており、「背広・スーツ」（3.1%減）の減少が最も大きい。

郡山市の商圈人口は、「時計・アクセサリ」や「背広・スーツ」、「靴・バッグ」など服飾関係で多いことが特徴的である。

(ウ) 会津若松市

会津若松市では、商圈人口の合計が184万7千人（前回190万5千人）となり、前回調査と比較すると3.0%減少している。品目別の商圈人口は、「家電製品」（22万3千人）、「背広・スーツ」（20万5千人）、「本・CD」（18万人）などで多い。前回調査と比較すると、「本・CD」（1.7%増）を除くすべての品目で減少しており、「時計・アクセサリ」（8.0%減）や「医薬品・化粧品」（6.9%減）などでの減少率が高い。

(エ) いわき市平地区

いわき市平地区では、商圏人口の合計が 157 万 9 千人（前回 175 万 5 千人）となり、前回調査と比較すると 10.0%減少している。いわき市平地区の商圏人口は、4 市・地区の中で最も少ない。品目別の商圏人口は、「背広・スーツ」（17 万 5 千人）、「家電製品」（17 万 4 千人）、「下着」（15 万 2 千人）などで多く、一方、「食料品」（11 万 2 千人）や「日用品」（11 万 7 千人）などで少ない。品目別に前回調査と比較すると、すべての品目で減少しており、「時計・アクセサリ」（20.3%減）、「靴・バッグ」（15.6%減）、「セーター・ブラウス」（12.2%減）などでの減少率が高い。

広域型商圏都市全体の商圏人口は 1,202 万 7 千人（前回 1,242 万 8 千人）となり、前回調査より減少している。4 市・地区いずれも減少しており、特にいわき市では減少率が高い。また、品目別ではすべての品目で減少傾向にあり、「時計・アクセサリ」（5.8%減）の減少率が高い。

図表 3 - 1 広域型商圏都市の品目別商圏人口

単位：人（千人未満四捨五入）、（）内は前回（平成28年度）調査値

	福島市		郡山市		会津若松市		いわき市平地区		合計	
	商圏人口	伸び率(%)	商圏人口	伸び率(%)	商圏人口	伸び率(%)	商圏人口	伸び率(%)	商圏人口	伸び率(%)
背 広 ・ ス ー ツ	365,000 (368,000)	▲ 0.8	560,000 (578,000)	▲ 3.1	205,000 (206,000)	▲ 0.5	175,000 (196,000)	▲ 10.7	1,305,000 (1,348,000)	▲ 3.2
セ ー タ ー ・ ブ ラ ウ ス	319,000 (324,000)	▲ 1.5	518,000 (532,000)	▲ 2.6	174,000 (175,000)	▲ 0.6	151,000 (172,000)	▲ 12.2	1,162,000 (1,203,000)	▲ 3.4
下 着	315,000 (320,000)	▲ 1.6	448,000 (448,000)	0.0	169,000 (173,000)	▲ 2.3	152,000 (169,000)	▲ 10.1	1,084,000 (1,110,000)	▲ 2.3
靴 ・ バ ッ グ	305,000 (312,000)	▲ 2.2	548,000 (565,000)	▲ 3.0	162,000 (163,000)	▲ 0.6	141,000 (167,000)	▲ 15.6	1,156,000 (1,207,000)	▲ 4.2
本 ・ CD	345,000 (350,000)	▲ 1.4	406,000 (407,000)	▲ 0.2	180,000 (177,000)	1.7	143,000 (157,000)	▲ 8.9	1,074,000 (1,091,000)	▲ 1.6
家 電 製 品	375,000 (380,000)	▲ 1.3	460,000 (461,000)	▲ 0.2	223,000 (231,000)	▲ 3.5	174,000 (190,000)	▲ 8.4	1,232,000 (1,262,000)	▲ 2.4
日 用 品	279,000 (285,000)	▲ 2.1	352,000 (358,000)	▲ 1.7	132,000 (140,000)	▲ 5.7	117,000 (120,000)	▲ 2.5	880,000 (903,000)	▲ 2.5
医 薬 品 ・ 化 粧 品	282,000 (291,000)	▲ 3.1	365,000 (373,000)	▲ 2.1	135,000 (145,000)	▲ 6.9	118,000 (123,000)	▲ 4.1	900,000 (932,000)	▲ 3.4
食 料 品	275,000 (282,000)	▲ 2.5	344,000 (346,000)	▲ 0.6	124,000 (133,000)	▲ 6.8	112,000 (113,000)	▲ 0.9	855,000 (874,000)	▲ 2.2
家 族 づ れ の 外 食	363,000 (374,000)	▲ 2.9	476,000 (489,000)	▲ 2.7	194,000 (200,000)	▲ 3.0	155,000 (171,000)	▲ 9.4	1,188,000 (1,234,000)	▲ 3.7
時 計 ・ ア ク セ サ リ ー	304,000 (316,000)	▲ 3.8	597,000 (609,000)	▲ 2.0	149,000 (162,000)	▲ 8.0	141,000 (177,000)	▲ 20.3	1,191,000 (1,264,000)	▲ 5.8
11 品 目 合 計	3,527,000 (3,602,000)	▲ 2.1	5,074,000 (5,166,000)	▲ 1.8	1,847,000 (1,905,000)	▲ 3.0	1,579,000 (1,755,000)	▲ 10.0	12,027,000 (12,428,000)	▲ 3.2
11 品 目 平 均	320,636 (327,455)		461,273 (469,636)		167,909 (173,182)		143,545 (159,545)		1,093,364 (1,129,818)	
11 品 目 構 成 比 (%)	29.3% (29.0%)		42.2% (41.6%)		15.4% (15.3%)		13.1% (14.1%)		100.0% (100.0%)	

イ 地元購買人口

(ア) 福島市

広域型商圏都市の地元購買人口についてみると、福島市では、地元購買人口の合計が276万8千人（前回285万9千人）となり、前回調査と比較すると3.2%減少している。品目別にみると、「家電製品」（26万9千人）、「家族づれの外食」（26万6千人）、「本・CD」、「日用品」、「食料品」（いずれも26万5千人）などで多く、「時計・アクセサリ」（21万6千人）や「靴・バッグ」（22万2千人）で少ない。前回調査と比較するとすべての品目で減少しており、「靴・バッグ」（5.5%減）、「時計・アクセサリ」（4.4%減）などで減少率が高い。

(イ) 郡山市

郡山市では、地元購買人口の合計が352万7千人、（前回358万6千人）となり、前回調査と比較すると1.6%減となっている。郡山市の地元購買人口は4市・地区の中で最も多い。品目別にみると、「医薬品・化粧品」（32万8千人）、「日用品」（32万7千人）、「家電製品」、「食料品」、「家族づれの外食」（いずれも32万6千人）などで多く、前回調査と比較すると、すべての品目で減少しており、「セーター・ブラウス」（2.8%減）、「靴・バッグ」（2.5%減）などで減少率が高い。

(ウ) 会津若松市

会津若松市では、地元購買人口の合計が102万3千人（前回104万8千人）となり、前回調査と比較すると2.4%減となっている。地元購買人口を品目別にみると、「日用品」と「食料品」（いずれも10万3千人）、「家電製品」、「医薬品・化粧品」（いずれも10万2千人）、「本・CD」（10万1千人）などで多く、「時計・アクセサリ」（6万9千人）、「靴・バッグ」（7万8千人）、「セーター・ブラウス」（8万2千人）など服飾関係で少ない。また、前回調査と比較すると、「背広・スーツ」（1.2%増）を除く10品目で減少しており、「時計・アクセサリ」（6.8%減）、「下着」（3.0%減）、「本・CD」（2.9%減）などで減少率が高い。

(エ) いわき市平地区

いわき市平地区では、地元購買人口の合計が98万3千人（前回101万6千人）となり、前回調査と比較すると3.2%減となっている。地元購買人口を品目別にみると、「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」（いずれも9万7千人）、「家電製品」（9万5千人）などで多く、「時計・アクセサリ」（7万5千人）、「靴・バッグ」（7万9千人）で少ない。また、品目別に前回調査と比較すると、すべての品目で減少しており、「家族づれの外食」（5.2%減）、「時計・アクセサリ」（5.1%減）などで減少率が高い。

広域型商圏都市全体の地元購買人口は830万1千人（前回850万9千人）となり、前回調査より減少している。4市・地区いずれも減少しており、特に福島市といわき市で減少率が高い。また、品目別ではすべての品目で減少傾向にあり、「時計・アクセサリ」（3.7%減）と「靴・バッグ」（3.4%減）、「セーター・ブラウス」（3.0%減）の減少率が高い。

図表 3-2 広域型商圏都市の品目別地元購買人口

単位：人（千人未満四捨五入）、（）内は前回（平成28年度）調査値

	福島市		郡山市		会津若松市		いわき市平地区		合計	
	地元購買人口	伸び率(%)	地元購買人口	伸び率(%)	地元購買人口	伸び率(%)	地元購買人口	伸び率(%)	地元購買人口	伸び率(%)
背広・スーツ	245,000 (253,000)	▲ 3.2	318,000 (324,000)	▲ 1.9	87,000 (86,000)	1.2	85,000 (88,000)	▲ 3.4	735,000 (751,000)	▲ 2.1
セーター・ブラウス	235,000 (244,000)	▲ 3.7	312,000 (321,000)	▲ 2.8	82,000 (84,000)	▲ 2.4	83,000 (85,000)	▲ 2.4	712,000 (734,000)	▲ 3.0
下着	257,000 (267,000)	▲ 3.7	323,000 (328,000)	▲ 1.5	96,000 (99,000)	▲ 3.0	92,000 (96,000)	▲ 4.2	768,000 (790,000)	▲ 2.8
靴・バッグ	222,000 (235,000)	▲ 5.5	307,000 (315,000)	▲ 2.5	78,000 (79,000)	▲ 1.3	79,000 (81,000)	▲ 2.5	686,000 (710,000)	▲ 3.4
本・CD	265,000 (272,000)	▲ 2.6	325,000 (328,000)	▲ 0.9	101,000 (104,000)	▲ 2.9	91,000 (95,000)	▲ 4.2	782,000 (799,000)	▲ 2.1
家電製品	269,000 (273,000)	▲ 1.5	326,000 (332,000)	▲ 1.8	102,000 (104,000)	▲ 1.9	95,000 (98,000)	▲ 3.1	792,000 (807,000)	▲ 1.9
日用品	265,000 (273,000)	▲ 2.9	327,000 (331,000)	▲ 1.2	103,000 (105,000)	▲ 1.9	97,000 (99,000)	▲ 2.0	792,000 (808,000)	▲ 2.0
医薬品・化粧品	263,000 (272,000)	▲ 3.3	328,000 (331,000)	▲ 0.9	102,000 (105,000)	▲ 2.9	97,000 (99,000)	▲ 2.0	790,000 (807,000)	▲ 2.1
食料品	265,000 (272,000)	▲ 2.6	326,000 (329,000)	▲ 0.9	103,000 (106,000)	▲ 2.8	97,000 (99,000)	▲ 2.0	791,000 (806,000)	▲ 1.9
家族づれの外食	266,000 (272,000)	▲ 2.2	326,000 (331,000)	▲ 1.5	100,000 (102,000)	▲ 2.0	92,000 (97,000)	▲ 5.2	784,000 (802,000)	▲ 2.2
時計・アクセサリ	216,000 (226,000)	▲ 4.4	309,000 (316,000)	▲ 2.2	69,000 (74,000)	▲ 6.8	75,000 (79,000)	▲ 5.1	669,000 (695,000)	▲ 3.7
11品目合計	2,768,000 (2,859,000)	▲ 3.2	3,527,000 (3,586,000)	▲ 1.6	1,023,000 (1,048,000)	▲ 2.4	983,000 (1,016,000)	▲ 3.2	8,301,000 (8,509,000)	▲ 2.4
11品目平均	251,636 (259,909)		320,636 (326,000)		93,000 (95,273)		89,364 (92,364)		754,636 (773,545)	
11品目構成比(%)	33.3% (33.6%)		42.5% (42.1%)		12.3% (12.3%)		11.8% (11.9%)		100.0% (100.0%)	

ウ 吸引人口

(ア) 福島市

広域型商圏都市の吸引人口についてみると、福島市では、吸引人口の合計が 75 万 9 千人（前回 74 万 3 千人）となっている。前回調査と比較すると 2.2%増となり、増加率は、4 市・地区の中で最も高い。吸引人口を品目別にみると、「背広・スーツ」（12 万人）、「家電製品」（10 万 6 千人）、「靴・バッグ」（8 万 3 千人）などで多く、「食料品」（1 万人）や「日用品」（1 万 4 千人）などの最寄性の高い品目で少ない。前回調査と比較すると、「医薬品・化粧品」（5.3%減）と「家族づれの外食」（3.9%減）、「時計・アクセサリ」（2.2%減）、「家電製品」（0.9%減）の 4 品目で減少しているが、その他の品目では増加している。

(イ) 郡山市

郡山市では、吸引人口の合計が 154 万 4 千人（前回 158 万人）となり、前回調査と比較すると 2.3%減となっている。郡山市の吸引人口は 4 市・地区の中で最も多い。品目別にみると、「時計・アクセサリ」（28 万 8 千人）、「背広・スーツ」（24 万 2 千人）、「靴・バッグ」（24 万 1 千人）など服飾関係で多く、「食料品」（1 万 8 千人）や「日用品」（2 万 4 千人）などの最寄性の高い品目で少ない。前回調査と比較すると、「食料品」（5.9%増）、「家電製品」（3.9%増）、「本・CD」（1.3%増）、「下着」（4.2%増）で増加し、その他の品目で減少している。特に「医薬品・化粧品」（11.9%減）、「日用品」（11.1%減）で減少率が高い。

(ウ) 会津若松市

会津若松市では、吸引人口の合計が 82 万 2 千人（前回 85 万 7 千人）となり、前回調査と比較すると 4.1%減となっている。品目別にみると、「家電製品」（12 万人）、「背広・スーツ」（11 万 8 千人）などで多く、「食料品」（2 万 1 千人）や「日用品」（2 万 9 千人）などの最寄性の高い品目で少ない。前回調査と比較すると、「本・CD」（8.2%増）、「セーター・ブラウス」と「靴・バッグ」（いずれも増減 0%）を除く 8 品目で減少しており、「食料品」（22.2%減）、「医薬品・化粧品」（17.5%減）などで減少率が高い。

(エ) いわき市平地区

いわき市平地区では、吸引人口の合計が 59 万 6 千人（前回 73 万 9 千人）となり、前回調査と比較すると 19.4%減となっている。いわき市の吸引人口の減少率は 4 市の中で最も高い。品目別にみると、「背広・スーツ」（9 万人）、「家電製品」（7 万 9 千人）が多い。前回調査と比較すると、「食料品」（7.1%増）を除く 10 品目で減少しており、「時計・アクセサリ」（32.7%減）で減少率が高い。

広域型商圏都市全体の吸引人口は 372 万 1 千人（前回 391 万 9 千人）となり、前回調査より減少している。商圏都市別では福島市を除き減少傾向にあり、いわき市平地区では減少率が最も高い。また、品目別ではすべての品目で減少傾向にあり、広域型商圏都市の吸引人口は前回調査より総じて減少している。

図表 3-3 広域型商圏都市の品目別吸引人口

単位：人（千人未満四捨五入）、（）内は前回（平成28年度）調査値

	福島市		郡山市		会津若松市		いわき市平地区		合計	
	吸引人口	伸び率(%)	吸引人口	伸び率(%)	吸引人口	伸び率(%)	吸引人口	伸び率(%)	吸引人口	伸び率(%)
背広・スーツ	120,000 (115,000)	4.3	242,000 (254,000)	▲ 4.7	118,000 (120,000)	▲ 1.7	90,000 (108,000)	▲ 16.7	570,000 (597,000)	▲ 4.5
セーター・ブラウス	84,000 (80,000)	5.0	205,000 (211,000)	▲ 2.8	91,000 (91,000)	0.0	68,000 (87,000)	▲ 21.8	448,000 (469,000)	▲ 4.5
下着	58,000 (53,000)	9.4	125,000 (120,000)	4.2	73,000 (74,000)	▲ 1.4	60,000 (73,000)	▲ 17.8	316,000 (320,000)	▲ 1.3
靴・バッグ	83,000 (77,000)	7.8	241,000 (250,000)	▲ 3.6	84,000 (84,000)	0.0	62,000 (86,000)	▲ 27.9	470,000 (497,000)	▲ 5.4
本・CD	80,000 (78,000)	2.6	80,000 (79,000)	1.3	79,000 (73,000)	8.2	52,000 (62,000)	▲ 16.1	291,000 (292,000)	▲ 0.3
家電製品	106,000 (107,000)	▲ 0.9	134,000 (129,000)	3.9	120,000 (127,000)	▲ 5.5	79,000 (92,000)	▲ 14.1	439,000 (455,000)	▲ 3.5
日用品	14,000 (12,000)	16.7	24,000 (27,000)	▲ 11.1	29,000 (35,000)	▲ 17.1	20,000 (21,000)	▲ 4.8	87,000 (95,000)	▲ 8.4
医薬品・化粧品	18,000 (19,000)	▲ 5.3	37,000 (42,000)	▲ 11.9	33,000 (40,000)	▲ 17.5	21,000 (24,000)	▲ 12.5	109,000 (125,000)	▲ 12.8
食料品	10,000 (10,000)	0.0	18,000 (17,000)	5.9	21,000 (27,000)	▲ 22.2	15,000 (14,000)	7.1	64,000 (68,000)	▲ 5.9
家族づれの外食	98,000 (102,000)	▲ 3.9	150,000 (158,000)	▲ 5.1	94,000 (98,000)	▲ 4.1	63,000 (74,000)	▲ 14.9	405,000 (432,000)	▲ 6.3
時計・アクセサリ	88,000 (90,000)	▲ 2.2	288,000 (293,000)	▲ 1.7	80,000 (88,000)	▲ 9.1	66,000 (98,000)	▲ 32.7	522,000 (569,000)	▲ 8.3
11品目合計	759,000 (743,000)	2.2	1,544,000 (1,580,000)	▲ 2.3	822,000 (857,000)	▲ 4.1	596,000 (739,000)	▲ 19.4	3,721,000 (3,919,000)	▲ 5.1
11品目平均	69,000 (67,545)		140,364 (143,636)		74,727 (77,909)		54,182 (67,182)		338,273 (356,273)	
11品目構成比(%)	20.4% (19.0%)		41.5% (40.3%)		22.1% (21.9%)		16.0% (18.9%)		100.0% (100.0%)	

(2) 地域型商圏都市の商圏人口

地域型商圏都市の分析については、11品目の中から買回性の高い「セーター・ブラウス」と最寄性の高い「食料品」をみていくこととする。

ア 商圏人口

(ア) セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、地域型商圏都市の商圏人口合計は436,062人（前回428,295人）で、前回（平成28年度）調査と比較すると1.8%増となっている。商圏人口は、いわき市小名浜地区（約10万8千人）、須賀川市（約7万3千人）、白河市（約7万1千人）などで多く、前回調査と比較すると、いわき市小名浜地区（50.0%増）で大きく増加しているものの、石川町（41.3%減）、旧田島町（30.6%減）、矢吹町（28.0%減）などで大きく減少している。

「セーター・ブラウス」について、居住人口対商圏人口比率（商圏人口／居住人口）が1以上（商圏人口が居住人口以上）となっているのは、白河市（1.57）といわき市小名浜地区（1.30）、須賀川市（1.11）であり、一方、石川町（0.25）、旧本宮町（0.28）、二本松市（0.38）などで低い。また、居住人口対商圏人口比率が過去2回の調査を通じて連続してみると5市町で連続して減少している。

(イ) 食料品

「食料品」について、地域型商圏都市の商圏人口合計は688,694人（前回704,822人）で、前回調査と比較すると2.3%減となっている。商圏人口は、須賀川市といわき市小名浜地区（いずれも約8万4千人）、白河市（約6万5千人）などで多い。前回調査と比較すると、旧原町市（3.9%増）、須賀川市（2.4%増）、旧船引町（2.8%増）などで増加となっているが、石川町（11.4%減）や二本松市（10.7%減）などで大きく減少している。

「食料品」について、居住人口対商圏人口比率が1以上の市町・地区は、旧船引町（1.60）、旧田島町（1.58）、白河市（1.42）、小野町（1.40）など、二本松市（0.98）を除くすべての市町・地区で1を超えている。また、居住人口対商圏人口比率が過去2回の調査を通じて連続して上昇している市町・地区は川俣町、旧田島町、旧原町市であり、連続して減少しているのは喜多方市と相馬市である。

図表 3-4 地域型商圏都市の商圏人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、（）内は前回（平成28年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品		居住人口③		居住人口対商圏人口比率	
	商圏人口①	伸び率(%)	商圏人口②	伸び率(%)		伸び率(%)	セーター・ブラウス①/③	食料品②/③
川 俣 町	4,894 (4,774)	2.5	16,272 (17,433)	▲ 6.7	13,180 (14,320)	▲ 8.0	0.37 (0.33) <0.43>	1.23 (1.22) <1.15> ↓
旧 保 原 町	11,499 (11,436)	0.6	26,091 (28,032)	▲ 6.9	22,067 (22,630)	▲ 2.5	0.52 (0.51) <0.58>	1.18 (1.24) <1.23>
二 本 松 市	11,747 (13,592)	▲ 13.6	30,234 (33,858)	▲ 10.7	30,731 (31,755)	▲ 3.2	0.38 (0.43) <0.46> ↓	0.98 (1.07) <1.04>
旧 本 宮 町	6,471 (7,579)	▲ 14.6	26,931 (28,756)	▲ 6.3	22,995 (22,555)	2.0	0.28 (0.34) <0.30>	1.17 (1.27) <1.28>
須 賀 川 市	73,473 (71,908)	2.2	84,232 (82,278)	2.4	66,206 (66,800)	▲ 0.9	1.11 (1.08) <1.20>	1.27 (1.23) <1.27>
石 川 町	3,640 (6,205)	▲ 41.3	16,454 (18,566)	▲ 11.4	14,827 (15,641)	▲ 5.2	0.25 (0.40) <0.33>	1.11 (1.19) <1.12>
小 野 町	3,824 (3,832)	▲ 0.2	13,728 (14,562)	▲ 5.7	9,807 (10,360)	▲ 5.3	0.39 (0.37) <0.55>	1.40 (1.41) <1.34>
旧 船 引 町	12,247 (13,851)	▲ 11.6	32,493 (31,601)	2.8	20,349 (21,117)	▲ 3.6	0.60 (0.66) <0.73> ↓	1.60 (1.50) <1.57>
白 河 市	71,191 (72,312)	▲ 1.6	64,662 (66,335)	▲ 2.5	45,378 (46,186)	▲ 1.7	1.57 (1.57) <1.72>	1.42 (1.44) <1.43>
矢 吹 町	5,228 (7,263)	▲ 28.0	21,911 (23,452)	▲ 6.6	16,987 (17,411)	▲ 2.4	0.31 (0.42) <0.36>	1.29 (1.35) <1.33>
棚 倉 町	7,943 (9,365)	▲ 15.2	18,093 (17,780)	1.8	13,657 (14,158)	▲ 3.5	0.58 (0.66) <0.65>	1.32 (1.26) <1.41>
喜 多 方 市	14,827 (16,572)	▲ 10.5	36,178 (37,941)	▲ 4.6	30,555 (31,835)	▲ 4.0	0.49 (0.52) <0.63> ↓	1.18 (1.19) <1.28> ↓
会 津 坂 下 町	6,937 (8,439)	▲ 17.8	22,701 (23,364)	▲ 2.8	15,482 (16,185)	▲ 4.3	0.45 (0.52) <0.61> ↓	1.47 (1.44) <1.60>
旧 田 島 町	4,869 (7,019)	▲ 30.6	16,459 (16,770)	▲ 1.9	10,422 (11,075)	▲ 5.9	0.47 (0.63) <0.58>	1.58 (1.51) <1.37> ↑
相 馬 市	20,341 (22,514)	▲ 9.7	43,422 (45,608)	▲ 4.8	37,669 (38,416)	▲ 1.9	0.54 (0.59) <0.67> ↓	1.15 (1.19) <1.20> ↓
旧 原 町 市	27,228 (31,752)	▲ 14.2	48,469 (46,646)	3.9	41,874 (42,601)	▲ 1.7	0.65 (0.75) <0.72>	1.16 (1.09) <1.05> ↑
いわき市常磐地区	20,934 (22,781)	▲ 8.1	35,240 (36,313)	▲ 3.0	33,840 (34,879)	▲ 3.0	0.62 (0.65) <0.58>	1.04 (1.04) <1.04>
いわき市小名浜地区	108,345 (72,234)	50.0	84,199 (84,147)	0.1	83,057 (82,949)	0.1	1.30 (0.87) <0.91>	1.01 (1.01) <1.03>
いわき市勿来地区	20,423 (24,867)	▲ 17.9	50,925 (51,380)	▲ 0.9	48,669 (49,397)	▲ 1.5	0.42 (0.50) <0.45>	1.05 (1.04) <1.06>
合 計	436,062 (428,295)	1.8	688,694 (704,822)	▲ 2.3	577,752 (590,270)	▲ 2.1	0.75 (0.73) <0.75>	1.19 (1.19) <1.19>
商圏人口減少市町・地区数	15		14		17		13(連続減5)	9(連続減2)
減少市町・地区割合(%)	78.9		73.7		89.5		68.4(連続減26.3)	47.4(連続減10.5)

注) 居住人口対商圏人口比率欄の（）は前回（平成28年度調査）、<>は前々回（平成25年度調査）

↑は過去2回の調査を通して連続して上昇、↓は連続して下降

イ 地元購買人口

(ア) セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、地域型商圏都市の地元購買人口合計は 275,220 人（前回 276,722 人）で、前回調査と比較すると 0.5%減となっている。地元購買人口は、いわき市小名浜地区（約7万2千人）、須賀川市（約3万6千人）などで多く、前回調査と比較すると、いわき市小名浜地区（24.2%増）、白河市（8.9%増）など4町・地区で増加している。一方、旧田島町（44.6%減）、石川町（39.4%減）、矢吹町（26.0%減）など15市町・地区で減少している。

「セーター・ブラウス」の居住人口対地元購買人口比率（地元購買人口/居住人口）は、いわき市小名浜地区（0.87）、白河市（0.70）、須賀川市（0.54）、いわき市常磐地区（0.50）などで高い。一方、旧本宮町（0.21）や二本松市、小野町（いずれも0.29）などで低い。また、居住人口対地元購買人口比率が、過去2回の調査を通じてみると5市町で連続して減少している。

(イ) 食料品

「食料品」について、地域型商圏都市の地元購買人口合計は、549,606人（前回563,862人）で、前回調査と比較すると2.5%減となっている。地元購買人口は、いわき市小名浜地区（約8万2千人）、須賀川市（約6万3千人）、いわき市勿来地区（約4万8千人）などで多く、前回調査と比較すると、いわき市小名浜地区（増減0.0%）を除くすべての市町・地区で減少している。

「食料品」の居住人口対地元購買人口比率は、旧原町市、いわき市勿来地区（いずれも0.99）が最も高く、白河市、相馬市、いわき市小名浜地区（いずれも0.98）など14市町・地区で0.9以上となり、合計でも0.95となっている。居住人口対地元購買人口比率が過去2回の調査を通じて連続して上昇している市町・地区は、旧保原町と須賀川市のみである。

図表3-5 地域型商圏都市の地元購買人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、（）内は前回（平成28年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品		居住人口③		居住人口対地元購買人口比率	
	地元購買人口①	伸び率(%)	地元購買人口②	伸び率(%)		伸び率(%)	セーター・ブラウス①/③	食料品②/③
川 俣 町	4,007 (4,010)	▲0.1	12,165 (13,303)	▲8.6	13,180 (14,320)	▲8.0	0.30 (0.28) <0.31>	0.92 (0.93) <0.89>
旧 保 原 町	6,620 (6,698)	▲1.2	21,449 (21,476)	▲0.1	22,067 (22,630)	▲2.5	0.30 (0.30) <0.38>	0.97 (0.95) <0.94> ↑
二 本 松 市	8,881 (9,749)	▲8.9	25,476 (27,309)	▲6.7	30,731 (31,755)	▲3.2	0.29 (0.31) <0.34> ↓	0.83 (0.86) <0.87> ↓
旧 本 宮 町	4,852 (4,962)	▲2.2	20,190 (21,360)	▲5.5	22,995 (22,555)	2.0	0.21 (0.22) <0.18>	0.88 (0.95) <0.90>
須 賀 川 市	35,553 (35,738)	▲0.5	62,697 (62,725)	▲0.0	66,206 (66,800)	▲0.9	0.54 (0.54) <0.58>	0.95 (0.94) <0.92> ↑
石 川 町	2,787 (4,598)	▲39.4	12,529 (13,201)	▲5.1	14,827 (15,641)	▲5.2	0.19 (0.29) <0.23>	0.85 (0.84) <0.85>
小 野 町	2,873 (2,839)	1.2	8,571 (9,469)	▲9.5	9,807 (10,360)	▲5.3	0.29 (0.27) <0.37>	0.87 (0.91) <0.93> ↓
旧 船 引 町	7,427 (7,138)	4.1	19,718 (20,399)	▲3.3	20,349 (21,117)	▲3.6	0.37 (0.34) <0.46>	0.97 (0.97) <0.95>
白 河 市	31,674 (29,097)	8.9	44,244 (44,431)	▲0.4	45,378 (46,186)	▲1.7	0.70 (0.63) <0.73>	0.98 (0.96) <0.97>
矢 吹 町	4,060 (5,484)	▲26.0	15,492 (16,297)	▲4.9	16,987 (17,411)	▲2.4	0.24 (0.31) <0.25>	0.91 (0.94) <0.88>
棚 倉 町	4,684 (4,856)	▲3.5	12,687 (13,762)	▲7.8	13,657 (14,158)	▲3.5	0.34 (0.34) <0.31>	0.93 (0.97) <0.93>
喜 多 方 市	10,266 (13,307)	▲22.8	29,974 (30,753)	▲2.5	30,555 (31,835)	▲4.0	0.34 (0.42) <0.45> ↓	0.98 (0.97) <0.99>
会 津 坂 下 町	4,614 (5,341)	▲13.6	14,615 (15,214)	▲3.9	15,482 (16,185)	▲4.3	0.30 (0.33) <0.35> ↓	0.94 (0.94) <0.94>
旧 田 島 町	2,387 (4,308)	▲44.6	10,109 (10,953)	▲7.7	10,422 (11,075)	▲5.9	0.23 (0.39) <0.39>	0.97 (0.99) <0.96>
相 馬 市	15,821 (17,441)	▲9.3	36,991 (37,725)	▲1.9	37,669 (38,416)	▲1.9	0.42 (0.45) <0.52> ↓	0.98 (0.98) <0.99>
旧 原 町 市	19,346 (21,641)	▲10.6	41,455 (42,388)	▲2.2	41,874 (42,601)	▲1.7	0.46 (0.51) <0.62> ↓	0.99 (1.00) <0.98>
いわき市常磐地区	16,988 (18,381)	▲7.6	31,742 (33,100)	▲4.1	33,840 (34,879)	▲3.0	0.50 (0.53) <0.46>	0.94 (0.95) <0.95>
いわき市小名浜地区	72,426 (58,313)	24.2	81,562 (81,539)	0.0	83,057 (82,949)	0.1	0.87 (0.70) <0.73>	0.98 (0.98) <0.99>
いわき市勿来地区	19,954 (22,821)	▲12.6	47,939 (48,458)	▲1.1	48,669 (49,397)	▲1.5	0.41 (0.46) <0.41>	0.99 (0.98) <0.98>
合 計	275,220 (276,722)	▲0.5	549,606 (563,862)	▲2.5	577,752 (590,270)	▲2.1	0.48 (0.47) <0.50>	0.95 (0.96) <0.94>
地元購買人口減少市町・地区数	15		18		17		11(連続減5)	9(連続減2)
減少市町・地区割合(%)	78.9		94.7		89.5		57.9(連続減6.3)	47.4(連続減10.5)

注) 居住人口対地元購買人口比率欄の（）は前回（平成28年度調査）、<>は前々回（平成25年度調査）

↑は過去2回の調査を通して連続して上昇、↓は連続して下降

ウ 吸引人口

(ア) セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、地域型商圏都市の吸引人口合計は160,842人（前回151,573人）で、前回調査と比較すると6.1%増となっている。吸引人口は、白河市（約4万人）、須賀川市（約3万8千人）、いわき市小名浜地区（約3万6千人）などで多く、前回調査と比較すると、いわき市小名浜地区（158.0%増）で大きく増加しているものの、いわき市勿来地区（77.1%減）、石川町（46.9%減）、旧本宮町（38.1%減）などで大きく減少している。過去2回の調査を通じてみると、9市町・地区で連続して減少している。

(イ) 食料品

「食料品」の地域型商圏都市における吸引人口合計は 139,088 人（前回 140,960 人）で、前回調査と比較すると 1.3%減となっている。吸引人口は、須賀川市（約 2 万 2 千人）、白河市（約 2 万人）などで多く、前回調査と比較すると、旧原町市（64.7%増）が大きく増加したものの、旧保原町（29.2%減）、二本松市（27.4%減）、石川町（26.8%減）などで大きく減少している。過去 2 回の調査を通じてみると、5 市町・地区で連続して減少している。

図表 3-6 地域型商圏都市の吸引人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、（）内は前回（平成28年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品	
	吸引人口①	伸び率(%)	吸引人口②	伸び率(%)
川 俣 町	888 (764)	16.2 (▲59.1)	4,107 (4,130)	▲0.6 (9.0)
旧 保 原 町	4,879 (4,738)	3.0 (3.7)	4,642 (6,556)	▲29.2 (▲3.3)
二 本 松 市	2,866 (3,843)	▲25.4 (▲7.6)	4,758 (6,549)	▲27.4 (19.3)
旧 本 宮 町	1,619 (2,617)	▲38.1 (▲4.9)	6,742 (7,396)	▲8.8 (▲13.3)
須 賀 川 市	37,921 (36,170)	4.8 (▲12.9)	21,535 (19,553)	10.1 (▲15.4)
石 川 町	853 (1,607)	▲46.9 (▲8.5)	3,925 (5,365)	▲26.8 (13.0)
小 野 町	951 (993)	▲4.3 (▲48.6)	5,156 (5,093)	1.2 (17.9)
旧 船 引 町	4,820 (6,713)	▲28.2 (12.1)	12,775 (11,202)	14.0 (▲16.6)
白 河 市	39,517 (43,215)	▲8.6 (▲6.5)	20,418 (21,904)	▲6.8 (3.7)
矢 吹 町	1,168 (1,779)	▲34.3 (▲9.5)	6,419 (7,155)	▲10.3 (▲12.8)
棚 倉 町	3,259 (4,509)	▲27.7 (▲10.7)	5,406 (4,018)	34.5 (▲42.6)
喜 多 方 市	4,561 (3,265)	39.7 (▲46.6)	6,204 (7,188)	▲13.7 (▲25.6)
会 津 坂 下 町	2,323 (3,098)	▲25.0 (▲27.2)	8,086 (8,150)	▲0.8 (▲26.8)
旧 田 島 町	2,483 (2,711)	▲8.4 (19.9)	6,350 (5,817)	9.2 (23.3)
相 馬 市	4,520 (5,073)	▲10.9 (▲7.6)	6,431 (7,883)	▲18.4 (0.4)
旧 原 町 市	7,882 (10,111)	▲22.0 (144.0)	7,013 (4,258)	64.7 (58.2)
いわき市常磐地区	3,947 (4,400)	▲10.3 (14.8)	3,498 (3,213)	8.9 (3.1)
いわき市小名浜地区	35,919 (13,921)	158.0 (0.8)	2,637 (2,608)	1.1 (▲18.7)
いわき市勿来地区	469 (2,046)	▲77.1 (3.6)	2,986 (2,922)	2.2 (▲21.2)
合 計	160,842 (151,573)	6.1 (▲5.1)	139,088 (140,960)	▲1.3 (▲7.6)
吸引人口減少市町・地区数	14(連続減9)		10(連続減5)	
減少市町・地区割合(%)	73.7(連続減47.4)		52.6(連続減26.3)	

(3) 近隣型商圏都市の商圏人口

近隣型商圏都市の分析については、主な近隣型商圏都市ごとに、地域型商圏都市と同様に買回性の高い「セーター・ブラウス」と最寄性の高い「食料品」をみていくこととする。

ア 商圏人口

(ア) セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、近隣型商圏都市の商圏人口合計は 49,195 人（前回 58,444 人）で、前回（平成 28 年度）調査と比較して 15.8%減となっている。商圏人口は、西郷村（約 1 万 5 千人）、いわき市内郷地区（約 6 千 8 百人）、猪苗代町（約 3 千 9 百人）などで多い。前回調査と比較すると、いわき市好間地区（46.0%増）、国見町（35.8%増）などで大きく増加しているが、広野町（100.0%減）や旧小高町（85.2%減）で大きく減少している。

居住人口対商圏人口比率（商圏人口／居住人口）が 1 以上（商圏人口が居住人口以上）の町村・地区はないが、西郷村（0.73）が高くなっている。一方、居住人口対商圏人口比率が低いのは、古殿町と広野町（いずれも 0.00）、浅川町（0.01）などである。

買回品の「セーター・ブラウス」については、近隣型商圏都市では、一部の地域を除き、主に地元以外で購買行動がなされているものと考えられる。

(イ) 食料品

「食料品」について、近隣型商圏都市の商圏人口は 198,759 人（前回 210,815 人）で、前回調査と比較して 5.7%減となっている。商圏人口は、いわき市内郷地区（約 2 万 7 千人）、いわき市四倉・大久・久之浜地区、猪苗代町、旧梁川町（いずれも約 1 万 5 千人）などで多く、前回調査と比較すると、国見町（42.4%増）、旧霊山町（30.6%増）などで大きく増加しているが、旧小高町（84.6%減）、旧南郷村（52.0%減）、広野町（49.3%減）などで大きく減少している。

居住人口対商圏人口比率が 1 以上の町村・地区は、旧伊達町（1.21）、猪苗代町（1.07）、旧塩川町（1.04）、いわき市好間地区（1.03）、塙町（1.02）、鏡石町（1.01）、いわき市内郷地区（1.00）である。

図表 3-7 近隣型商圏都市の商圏人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、（）内は前回（平成28年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品		居住人口③		居住人口対商圏人口比率	
	商圏人口①	伸び率(%)	商圏人口②	伸び率(%)		伸び率(%)	セーター・ブラウス①/③	食料品②/③
桑折町	2,744 (4,261)	▲ 35.6	6,963 (9,243)	▲ 24.7	11,748 (12,144)	▲ 3.3	0.23 (0.35) <0.23>	0.59 (0.76) <0.62>
旧伊達町	2,316 (2,685)	▲ 13.7	13,758 (12,532)	9.8	11,376 (11,162)	1.9	0.20 (0.24) <0.38> ↓	1.21 (1.12) <1.46>
国見町	667 (491)	35.8	6,819 (4,789)	42.4	8,968 (9,446)	▲ 5.1	0.07 (0.05) <0.07>	0.76 (0.51) <0.66>
旧梁川町	2,886 (5,286)	▲ 45.4	14,518 (15,691)	▲ 7.5	16,639 (17,597)	▲ 5.4	0.17 (0.30) <0.13>	0.87 (0.89) <0.97> ↓
旧霊山町	652 (708)	▲ 7.9	5,221 (3,999)	30.6	7,159 (7,734)	▲ 7.4	0.09 (0.09) <0.03>	0.73 (0.52) <0.78>
鏡石町	3,644 (4,323)	▲ 15.7	12,391 (13,544)	▲ 8.5	12,289 (12,480)	▲ 1.5	0.30 (0.35) <0.24>	1.01 (1.09) <1.19> ↓
浅川町	87 (215)	▲ 59.5	4,164 (4,629)	▲ 10.0	6,181 (6,503)	▲ 5.0	0.01 (0.03) <0.03>	0.67 (0.71) <0.61>
古殿町	0 (0)	-	2,127 (1,727)	23.2	4,855 (5,330)	▲ 8.9	0.00 (0.00) <0.00>	0.44 (0.32) <0.40>
三春町	3,190 (3,772)	▲ 15.4	11,173 (12,493)	▲ 10.6	17,623 (18,179)	▲ 3.1	0.18 (0.21) <0.07>	0.63 (0.69) <0.56>
西郷村	14,917 (15,440)	▲ 3.4	11,636 (13,352)	▲ 12.9	20,398 (20,293)	0.5	0.73 (0.76) <0.67>	0.57 (0.66) <0.59>
塙町	423 (348)	21.6	8,665 (8,703)	▲ 0.4	8,463 (9,004)	▲ 6.0	0.05 (0.04) <0.06>	1.02 (0.97) <0.88>
猪苗代町	3,912 (4,092)	▲ 4.4	14,977 (15,539)	▲ 3.6	13,987 (14,842)	▲ 5.8	0.28 (0.28) <0.28>	1.07 (1.05) <1.06>
旧塩川町	672 (1,833)	▲ 63.3	10,293 (8,776)	17.3	9,887 (10,046)	▲ 1.6	0.07 (0.18) <0.07>	1.04 (0.87) <0.92>
西会津町	194 (949)	▲ 79.6	5,102 (6,098)	▲ 16.3	5,885 (6,474)	▲ 9.1	0.03 (0.15) <0.09>	0.87 (0.94) <0.85>
旧会津高田町	361 (755)	▲ 52.2	10,548 (9,032)	16.8	11,659 (12,176)	▲ 4.2	0.03 (0.06) <0.01>	0.90 (0.74) <0.64>
旧南郷村	85 (84)	1.2	624 (1,301)	▲ 52.0	2,137 (2,343)	▲ 8.8	0.04 (0.04) <0.11>	0.29 (0.56) <0.76> ↓
只見町	252 (212)	18.9	2,232 (2,877)	▲ 22.4	4,196 (4,412)	▲ 4.9	0.06 (0.05) <0.00> ↑	0.53 (0.65) <0.81> ↓
広野町	0 (354)	▲ 100.0	932 (1,840)	▲ 49.3	3,916 (4,260)	▲ 8.1	0.00 (0.08) <0.00>	0.24 (0.43) <0.17>
旧小高町	389 (2,631)	▲ 85.2	1,113 (7,218)	▲ 84.6	7,785 (10,109)	▲ 23.0	0.05 (0.26) <0.03>	0.14 (0.71) <0.74> ↓
いわき市内郷地区	6,824 (6,304)	8.2	26,606 (27,129)	▲ 1.9	26,598 (27,254)	▲ 2.4	0.26 (0.23) <0.11> ↑	1.00 (1.00) <0.93>
いわき市四倉・大久・久之浜地区	1,433 (1,272)	12.7	15,158 (15,233)	▲ 0.5	18,910 (14,398)	31.3	0.08 (0.09) <0.03>	0.80 (1.06) <0.55>
いわき市好間地区	3,546 (2,429)	46.0	13,739 (15,070)	▲ 8.8	13,302 (13,794)	▲ 3.6	0.27 (0.18) <0.07>	1.03 (1.09) <0.99>
合計	49,195 (58,444)	▲ 15.8	198,759 (210,815)	▲ 5.7	229,877 (249,980)	▲ 8.0	0.21 (0.23) <0.14>	0.86 (0.84) <0.80>
商圏人口減少市町・地区数	14		16		19		13(連続減1)	13(連続減5)
減少市町・地区割合(%)	63.6		72.7		86.4		59.1(連続減4.5)	59.1(連続減22.7)

注) 居住人口対商圏人口比率欄の（）は前回（平成28年度調査）、<>は前々回（平成25年度調査）

↑は過去2回の調査を通して連続して上昇、↓は連続して下降

イ 地元購買人口

(ア) セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、近隣型商圏都市の地元購買人口合計は 37,999 人（前回 45,504 人）で、前回調査と比較すると 16.5%減となっている。地元購買人口は、西郷村（約 9 千 1 百人）、いわき市内郷地区（約 6 千 3 百人）、猪苗代町、いわき市好間地区（いずれも約 3 千 5 百人）などで多く、前回調査と比較すると、埴町（74.1%増）が大きく増加しているが、広野町（100.0%減）、旧小高町（84.6%減）などで減少している。

居住人口対地元購買人口比率（地元購買人口／居住人口）は、西郷村（0.45）、いわき市好間地区（0.26）などが近隣型の中では高く、古殿町と広野町（いずれも 0.00）、浅川町（0.01）などで低い。

(イ) 食料品

「食料品」について、近隣型商圏都市の地元購買人口合計は 177,026 人（前回 189,176 人）で、前回調査と比較すると 6.4%減となっている。地元購買人口は、いわき市内郷地区（約 2 万 5 千人）、旧梁川町と猪苗代町（ともに約 1 万 4 千人）、いわき市好間地区（約 1 万 2 千人）など 7 町・地区で 1 万人を超えている。前回調査と比較すると、国見町（27.0%増）、古殿町（21.8%増）、旧塩川町（21.6%増）などで増加しているが、旧小高町（84.6%減）、広野町（49.3%減）、旧南郷村（48.5%減）などで減少している。

居住人口対地元購買人口比率は、旧塩川町（0.98）、猪苗代町（0.97）、いわき市内郷地区（0.95）、いわき市好間地区（0.92）などが高く、旧小高町（0.14）や広野町（0.24）、旧南郷村（0.29）などで低い。

図表 3-8 近隣型商圏都市の地元購買人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、（）内は前回（平成28年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品		居住人口③		居住人口対地元購買人口比率	
	地元購買人口①	伸び率(%)	地元購買人口②	伸び率(%)		伸び率(%)	セーター・ブラウス①/③	食料品②/③
桑折町	1,562 (3,157)	▲50.5	6,743 (8,622)	▲21.8	11,748 (12,144)	▲3.3	0.13 (0.26) <0.22>	0.57 (0.71) <0.58>
旧伊達町	1,229 (1,540)	▲20.2	9,237 (8,238)	12.1	11,376 (11,162)	1.9	0.11 (0.14) <0.18> ↓	0.81 (0.74) <0.85>
国見町	592 (491)	20.6	6,080 (4,789)	27.0	8,968 (9,446)	▲5.1	0.07 (0.05) <0.02> ↑	0.68 (0.51) <0.43> ↑
旧梁川町	2,496 (4,663)	▲46.5	14,093 (15,081)	▲6.6	16,639 (17,597)	▲5.4	0.15 (0.26) <0.15>	0.85 (0.86) <0.82>
旧霊山町	530 (348)	52.3	3,708 (3,210)	15.5	7,159 (7,734)	▲7.4	0.07 (0.04) <0.05> ↑	0.52 (0.42) <0.50>
鏡石町	2,187 (2,721)	▲19.6	9,094 (11,207)	▲18.9	12,289 (12,480)	▲1.5	0.18 (0.22) <0.18>	0.74 (0.90) <0.73>
浅川町	87 (215)	▲59.5	3,801 (4,520)	▲15.9	6,181 (6,503)	▲5.0	0.01 (0.03) <0.02>	0.62 (0.70) <0.52>
古殿町	0 (0)	-	1,961 (1,610)	21.8	4,855 (5,330)	▲8.9	0.00 (0.00) <0.00>	0.40 (0.30) <0.33>
三春町	3,190 (3,654)	▲12.7	11,173 (11,744)	▲4.9	17,623 (18,179)	▲3.1	0.18 (0.20) <0.16>	0.63 (0.65) <0.63>
西郷村	9,138 (8,685)	5.2	11,219 (12,176)	▲7.9	20,398 (20,293)	0.5	0.45 (0.43) <0.52>	0.55 (0.60) <0.55>
塙町	423 (243)	74.1	7,456 (8,230)	▲9.4	8,463 (9,004)	▲6.0	0.05 (0.03) <0.04>	0.88 (0.91) <0.76>
猪苗代町	3,497 (3,814)	▲8.3	13,567 (13,922)	▲2.5	13,987 (14,842)	▲5.8	0.25 (0.26) <0.18>	0.97 (0.94) <0.96>
旧塩川町	672 (1,718)	▲60.9	9,660 (7,946)	21.6	9,887 (10,046)	▲1.6	0.07 (0.17) <0.11>	0.98 (0.79) <0.85>
西会津町	194 (790)	▲75.4	5,102 (5,840)	▲12.6	5,885 (6,474)	▲9.1	0.03 (0.12) <0.16> ↓	0.87 (0.90) <0.82>
旧会津高田町	361 (755)	▲52.2	9,572 (8,061)	18.7	11,659 (12,176)	▲4.2	0.03 (0.06) <0.04>	0.82 (0.66) <0.68>
旧南郷村	85 (84)	1.2	624 (1,211)	▲48.5	2,137 (2,343)	▲8.8	0.04 (0.04) <0.11>	0.29 (0.52) <0.58> ↓
只見町	252 (212)	18.9	2,232 (2,877)	▲22.4	4,196 (4,412)	▲4.9	0.06 (0.05) <0.08>	0.53 (0.65) <0.83> ↓
広野町	0 (354)	▲100.0	932 (1,840)	▲49.3	3,916 (4,260)	▲8.1	0.00 (0.08) <0.00>	0.24 (0.43) <0.09>
旧小高町	389 (2,527)	▲84.6	1,113 (7,218)	▲84.6	7,785 (10,109)	▲23.0	0.05 (0.25) <1.00> ↓	0.14 (0.71) <1.00> ↓
いわき市内郷地区	6,304 (6,105)	3.3	25,374 (26,082)	▲2.7	26,598 (27,254)	▲2.4	0.24 (0.22) <0.23>	0.95 (0.96) <0.96>
いわき市四倉・大久・久之浜地区	1,352 (1,166)	16.0	12,070 (11,979)	0.8	18,910 (14,398)	31.3	0.07 (0.08) <0.03>	0.64 (0.83) <0.53>
いわき市好間地区	3,459 (2,262)	52.9	12,211 (12,773)	▲4.4	13,302 (13,794)	▲3.6	0.26 (0.16) <0.29>	0.92 (0.93) <0.92>
合計	37,999 (45,504)	▲16.5	177,026 (189,176)	▲6.4	243,961 (249,980)	▲2.4	0.16 (0.18) <0.23>	0.73 (0.76) <0.74>
地元購買人口減少市町・地区数	12		15		19		13(連続減3)	15(連続減3)
減少市町・地区割合(%)	54.5		68.2		86.4		59.1(連続減13.6)	68.2(連続減13.6)

注) 居住人口対地元購買人口比率欄の（）は前回（平成28年度調査）、<>は前々回（平成25年度調査）

↑は過去2回の調査を通して連続して上昇、↓は連続して下降

ウ 吸引人口

(ア) セーター・ブラウス

「セーター・ブラウス」について、近隣型商圏都市の吸引人口合計は 11,196 人（前回 12,940 人）で、前回調査と比較すると 13.5%減となっている。吸引人口は、西郷村（約 5 千 8 百人）や鏡石町（約 1 千 5 百人）などで多いが、11 町村で 0 人となっている。前回調査と比較すると、いわき市内郷地区（161.3%増）、猪苗代町（49.3%増）、桑折町（7.0%増）で増加となっているが、12 町村・地区で減少している。

(イ) 食料品

「食料品」について、近隣型商圏都市の吸引人口合計は 21,734 人（前回 21,639 人）で、前回調査と比較すると 0.4%増となっている。吸引人口は、旧伊達町（約 4 千 5 百人）、鏡石町（約 3 千 3 百人）、いわき市四倉・大久・久之浜地区（約 3 千人）などで多いが、6 町村で 0 人である。前回調査と比較すると、浅川町（233.0%増）や塙町（155.6%増）などで大きく増加しているが、10 町村・地区で減少している。

図表 3-9 近隣型商圏都市の吸引人口（セーター・ブラウス、食料品）

単位：人、（）内は前回（平成28年度）調査値

市町・地区名	セーター・ブラウス		食料品	
	吸引人口①	伸び率(%)	吸引人口②	伸び率(%)
桑折町	1,181 (1,104)	7.0 (20.0)	219 (621)	▲ 64.7 (▲ 55.5)
旧伊達町	1,087 (1,145)	▲ 5.1 (5.2)	4,521 (4,294)	5.3 (▲ 6.2)
国見町	75 (0)	(+) (-)	738 (0)	(+) (-)
旧梁川町	391 (623)	▲ 37.2 (▲ 17.3)	425 (610)	▲ 30.3 (▲ 49.8)
旧靈山町	123 (360)	▲ 65.8 (+)	1,512 (789)	91.6 (65.4)
鏡石町	1,457 (1,602)	▲ 9.1 (▲ 13.1)	3,297 (2,337)	41.1 (▲ 50.4)
浅川町	0 (0)	- (-)	363 (109)	233.0 (▲ 77.2)
古殿町	0 (0)	- (-)	165 (117)	41.0 (+)
三春町	0 (118)	▲ 100.0 (+)	0 (749)	▲ 100.0 (49.2)
西郷村	5,779 (6,755)	▲ 14.4 (43.8)	418 (1,176)	▲ 64.5 (70.2)
塙町	0 (105)	▲ 100.0 (▲ 82.0)	1,209 (473)	155.6 (▲ 49.1)
猪苗代町	415 (278)	49.3 (▲ 65.6)	1,410 (1,617)	▲ 12.8 (▲ 34.1)
旧塩川町	0 (115)	▲ 100.0 (▲ 5.7)	634 (830)	▲ 23.6 (▲ 2.6)
西会津町	0 (159)	▲ 100.0 (+)	0 (258)	▲ 100.0 (145.7)
旧会津高田町	0 (0)	- (-)	976 (971)	0.5 (11.5)
旧南郷村	0 (0)	- (-)	0 (90)	▲ 100.0 (+)
只見町	0 (0)	- (-)	0 (0)	- (-)
広野町	0 (0)	- (-)	0 (0)	- (-)
旧小高町	0 (104)	▲ 100.0 (+)	0 (0)	- (-)
いわき市内郷地区	520 (199)	161.3 (▲ 48.6)	1,231 (1,047)	17.6 (▲ 16.3)
いわき市四倉・大久・久之浜地区	81 (106)	▲ 23.6 (▲ 69.1)	3,088 (3,254)	▲ 5.1 (9.6)
いわき市好間地区	87 (167)	▲ 47.9 (▲ 2.3)	1,528 (2,297)	▲ 33.5 (▲ 18.4)
合 計	11,196 (12,940)	▲ 13.5 (10.5)	21,734 (21,639)	0.4 (▲ 17.7)
地元購買人口減少市町・地区数	13(連続減7)		10(連続減6)	
減少市町・地区割合(%)	59.1(連続減31.8)		45.5(連続減27.3)	

+はプラス値だが、小数点第2位を四捨五入すると0になるものを表記している。

4 ブロック別の消費動向

前節では、県内の市町村・地区を商圈タイプに区分し、商圈タイプ毎に商圈人口の構成をみてきたが、本節では県内の各ブロック別に流入流出状況や買物行動を把握し、その動向を分析してみることにする。

(1) ブロック別の流入流出状況

ここでの分析は、まず各ブロックの商圈構造をとらえるため、ブロック内の主要都市の商圈構造について分析している。加えて、各ブロックに所属する市町村・地区について、地元購買率の動向を分析する。ただし、品目としては、買回性の高い「セーター・ブラウス」、専門性の高い「家電製品」、最寄性の高い「食料品」の3品目を選択した。

なお、各主要都市への流出割合により便宜的に次のような商圈設定を行っている。

- | |
|---|
| <p>1次商圈：当該都市への流出割合が40%を超えている市町村から構成
2次商圈：当該都市への流出割合が20%を超え40%以下の市町村から構成
3次商圈：当該都市への流出割合が10%を超え20%以下の市町村から構成</p> |
|---|

また、全品目についての全県にわたる流入流出の概要、主要都市の商圈構造については、本報告書の最後に掲載してある、「流入流出率図（品目別）」、「商圈図（広域型商圈都市別・品目別）」を参照されたい。

ア 県北ブロック

県北ブロックは、広域型商圏都市である福島市を中心に、地域型商圏都市である二本松市、川俣町、旧保原町、旧本宮町を含む 17 市町村から構成されている。

(ア) 主要都市の品目別商圏構造

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、広域型商圏都市である福島市への集中度が高く、県北ブロックの 11 都市が福島市の 1 次商圏を構成している。従来から 1 次商圏に属していた旧飯野町、桑折町、旧伊達町などからの流入割合が高くなっている。

前回（平成 28 年度）調査で 3 次商圏に属していた二本松市が 2 次商圏へ、飯舘村が圏外から 2 次商圏へ移動している。一方、前回調査で 2 次商圏に属していた旧岩代町が 3 次商圏に移動している。

二本松市では、前回調査で 2 次商圏に属していた旧岩代町が 3 次商圏に、3 次商圏に属していた旧東和町が圏外に移動している。

[家電製品]

「家電製品」については、広域型商圏都市である福島市への集中度が高く、県北ブロックの 11 都市が福島市の 1 次商圏を構成している。従来から 1 次商圏に属していた旧伊達町、旧保原町、旧飯野町、国見町、旧保原町などからの流入割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、飯舘村が圏外から 1 次商圏へ、旧岩代町が圏外から 3 次商圏へそれぞれ移動している。

二本松市では、前回調査で 2 次商圏に属していた旧岩代町が 3 次商圏に移動している。

[食料品]

「食料品」については、前回調査と比較すると、福島市では、3 次商圏に属していた桑折町が圏外へ移動している。

二本松市では、前回調査で 1 次商圏に属していた旧岩代町が 3 次商圏に移動している。

(イ) 品目別の地元購買状況【補正データあり】

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、福島市の地元購買率が 86.4%で最も高い。次いで川俣町が 30.4%、旧保原町が 30.0%である。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧霊山町（2.9%増）と川俣町（2.4%増）であり、減少率が高いのは桑折町（12.7%減）、旧月舘町（11.9%減）などで、12 市町村で減少している。

前々回（平成 25 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 4 市町（前回は 3 市町）となり、伸び率が減少に転じた市町村がわずかに増えている。

[家電製品]

「家電製品」については、福島市の地元購買率が 98.8%で圧倒的に高く、二本松市の 46.4%がこれに続いている。その他の都市では旧安達町が 22.5%、旧月舘町が 19.4%で高い。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧月舘町（7.4%増）、旧安達町（7.3%増）である。減少率が高いのは旧飯野町（9.5%減）、旧保原町（6.5%減）などで、9 市町村で減少している。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 1 町（前回は 2 市町）となり、伸び率が減少に転じた市町村がわずかに減っている。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、福島市が 97.4%、旧保原町が 97.2%、川俣町が 92.3%、旧安達町が 91.7%である。

前回調査との比較で増加率が高いのは国見町（17.1%増）、旧霊山町（10.3%増）である。減少率が高いのは桑折町（13.6%減）、旧東和町（12.7%減）などである。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 3 市町（前回は 1 町）となり、伸び率が減少に転じた市町村がわずかに増えている。

図表4-1 県北ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圈構造

[主要都市の商圈構造]

		セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
		福島市		二本松市		福島市		二本松市		福島市		二本松市	
1次商圈	旧飯野町	86.7	(73.9)			旧伊達町	95.6	(94.5)					
	桑折町	66.4	(56.0)			旧飯野町	93.9	(79.2)					
	旧伊達町	65.8	(69.2)			国見町	92.8	(90.9)					
	国見町	64.8	(61.0)			旧保原町	92.6	(86.3)					
	旧梁川町	63.2	(50.6)			川俣町	89.6	(91.4)					
	川俣町	61.8	(66.9)			旧霊山町	87.7	(90.9)					
	旧霊山町	61.1	(61.4)			桑折町	85.8	(92.6)					
	旧保原町	60.6	(57.3)			旧梁川町	80.7	(73.9)					
	旧東和町	56.5	(50.0)			旧月館町	74.2	(76.0)					
	旧月館町	51.6	(40.0)			旧安達町	60.8	(52.2)					
旧安達町	50.5	(44.9)			旧東和町	53.2	(53.8)						
	飯館村	50.0	(-)	☆		飯館村	50.0	(-)	☆				
2次商圈	飯館村	25.0	(-)	☆					旧東和町	27.7	(23.1)		
	二本松市	21.5	(18.5)	☆							旧東和町	24.4	(24.0)
3次商圈	旧岩代町	19.3	(20.5)	★	旧岩代町	10.5	(22.7)	★	二本松市	16.9	(19.2)		
									旧岩代町	14.0	(-)	☆	
									旧岩代町	12.3	(24.4)	★	
									国見町	18.4	(19.7)		
									旧飯野町	13.2	(14.0)		
									旧伊達町	12.8	(18.3)		
									旧霊山町	12.5	(14.6)		
									旧月館町	11.4	(11.1)		
									旧岩代町	10.2	(43.2)	★	

注) 1 ()は前回調査結果。1次商圈：流出割合40%超、2次商圈：20%超～40%以下、3次商圈：10%超～20%以下、(-)：10%以下
2 ☆は、前回の商圈より上位の商圈へ移動した市町村・地区、★は前回の商圈より下位の商圈に移動した市町村・地区である。

[地元購買率]

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
福島市	90.1	87.7	86.4	▲1.3	98.3	98.3	98.8	0.0	97.9	97.8	97.4	▲0.4
旧飯野町	8.6	8.7	0.0	▲8.7	13.3	12.5	3.0	▲9.5	35.0	34.0	28.9	▲5.1
旧伊達町	17.9	13.8	10.8	▲3.0	4.5	2.4	4.4	2.0	85.3	73.8	81.2	7.4
旧梁川町	14.8	26.5	15.0	▲11.5	6.6	18.2	12.6	▲5.6	82.1	85.7	84.7	▲1.0
旧保原町	37.8	29.6	30.0	0.4	3.4	12.2	5.7	▲6.5	94.2	94.9	97.2	2.3
旧霊山町	4.7	4.5	7.4	2.9	2.4	4.5	7.0	2.5	50.0	41.5	51.8	10.3
旧月館町	12.0	28.0	16.1	▲11.9	20.8	12.0	19.4	7.4	29.2	29.6	34.3	4.7
二本松市	33.6	30.7	28.9	▲1.8	50.8	52.1	46.4	▲5.7	87.3	86.0	82.9	▲3.1
旧安達町	23.9	21.4	16.8	▲4.6	22.8	15.2	22.5	7.3	95.3	95.9	91.7	▲4.2
旧岩代町	0.0	4.5	1.8	▲2.7	5.9	4.4	5.3	0.9	5.4	9.1	8.5	▲0.6
旧東和町	3.8	2.1	2.2	0.1	3.9	7.7	2.1	▲5.6	25.0	26.0	13.3	▲12.7
旧本宮町	18.0	22.0	21.1	▲0.9	11.8	18.8	12.4	▲6.4	89.8	94.7	87.8	▲6.9
旧白沢村	9.2	13.3	9.7	▲3.6	7.7	8.9	2.8	▲6.1	30.8	43.8	43.7	▲0.1
桑折町	21.6	26.0	13.3	▲12.7	9.2	4.6	8.8	4.2	58.3	71.0	57.4	▲13.6
国見町	1.6	5.2	6.6	1.4	0.0	3.9	1.2	▲2.7	43.3	50.7	67.8	17.1
川俣町	30.7	28.0	30.4	2.4	7.6	4.3	7.5	3.2	89.3	92.9	92.3	▲0.6
大玉村	9.1	10.8	9.8	▲1.0	9.0	11.0	7.6	▲3.4	78.5	69.8	76.9	7.1
合計	62.2	61.9	50.9 (58.0)	▲11.0 (▲3.9)	65.1	66.9	55.4 (64.1)	▲11.5 (▲2.8)	88.5	89.5	85.5 (87.9)	▲4.0 (▲1.6)
連続減	3	3	4		3	2	1		2	1	3	

注) 今回調査では、人口規模の大きい4市(福島市、郡山市、会津若松市、いわき市)について、標本数の調整を行っている。
前回調査と比較するために、福島市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を()で記載する。(参考値であることに留意。)

イ 県中ブロック

県中ブロックは、広域型商圏都市である郡山市を中心に、地域型商圏都市である須賀川市、石川町、小野町、旧船引町を含む 18 市町村から構成されている。

(ア) 主要都市の品目別商圏構造

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、郡山市への集中度が高い。県中ブロックだけでなく、県北、県南、会津の各ブロックの都市からの流入割合も高い。

前回（平成 28 年度）調査から商圏が上位に移動した市町村をみると、旧長沼町が 2 次商圏から 1 次商圏に、古殿町と川前地区、旧東村が 3 次商圏から 2 次商圏に、葛尾村が圏外から 2 次商圏に、塙町と喜多方市、富岡町が圏外から 3 次商圏にそれぞれ移動している。川内村については標本数が 11 と少ないことを考慮する必要がある。

須賀川市では、石川町が 2 次商圏から 1 次商圏に、浅川町と旧大信村が圏外から 3 次商圏にそれぞれ移動している。

[家電製品]

「家電製品」については、「セーター・ブラウス」同様に郡山市への集中度が高い。県北、県南、会津の各ブロックの都市からの流入割合も高い。商圏が上位に移動した市町村をみると、平田村が 2 次商圏から 1 次商圏へ、川前地区と旧常葉町、旧長沼町、矢吹町、玉川村が 3 次商圏から 2 次商圏へ、富岡町と旧東村、旧東和町、泉崎村、旧伊南村が圏外から 3 次商圏にそれぞれ移動している。一方、商圏が下位に移動した市町村をみると、旧都路村が 1 次商圏から 2 次商圏へ、北塩原村が 2 次商圏から 3 次商圏へそれぞれ移動している。

葛尾村、川前地区、富岡町、旧伊南村については標本数が少ないことを考慮する必要がある。

須賀川市では、泉崎村が圏外から 2 次商圏に移動した。一方、商圏が下位に移動した市町村をみると、中島村が 2 次商圏から 3 次商圏に移動した。

[食料品]

「食料品」について、郡山市では旧岩瀬村と平田村、川前地区が圏外から 2 次商圏に移動した。

須賀川市では、鏡石町が圏外から 2 次商圏に、古殿町と石川町が圏外から 3 次商圏にそれぞれ移動している。一方、商圏が下位に移動した市町村をみると、旧長沼町と天栄村が 1 次商圏から 2 次商圏に、平田村が 2 次商圏から 3 次商圏にそれぞれ移動している。

(イ) 品目別の地元購買状況【補正データあり】

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、郡山市の地元購買率が 94.2%と最も高い。次いで須賀川市が 53.7%、旧船引町が 36.5%、小野町が 29.3%の順となっている。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧都路村（15.0%増）と旧長沼町（3.4%増）、旧船引町（2.7%増）であり、減少率が高いのは旧滝根町（12.8%減）、石川町と玉川村（いずれも 10.6%減）である。

前々回（平成 25 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 2 市町（前回は 1 市）となり、伸び率が減少に転じた市町村がわずかに増えている。

[家電製品]

「家電製品」については、郡山市の地元購買率が 98.3%と最も高い。次いで旧船引町が 78.3%、須賀川市が 76.5%の順となっている。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧都路村（13.7%増）、浅川町（6.0%増）である。減少率が高いのは旧常葉町（16.3%減）、旧滝根町（14.6%減）、玉川村（13.1%減）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 1 村（前回は 1 町）となり変動はない。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、郡山市が 98.4%、次いで旧船引町が 96.9%、須賀川市が 94.7%、小野町が 87.4%となっている。

前回調査との比較で増加率が高いのは古殿町（10.2%増）、旧長沼町（9.3%増）である。減少率が高いのは旧滝根町（15.9%減）、鏡石町（15.8%減）、旧岩瀬村（15.2%減）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 1 町（前回は 5 市町村）となり、伸び率が増加に転じた市町村が増えている。

図表4-2 県中ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圈構造

[主要都市の商圈構造]

(単位：%)

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	郡山市		須賀川市		郡山市		須賀川市		郡山市		須賀川市	
1次商圈	川内村	81.8 (80.0)	玉川村	64.4 (54.5)	三春町	93.3 (80.5)	天栄村	74.3 (68.8)			旧岩瀬村	59.5 (41.5)
	旧滝根町	81.5 (69.2)	古殿町	47.9 (58.6)	旧白沢村	88.9 (87.3)	玉川村	72.6 (67.6)			玉川村	50.0 (46.9)
	旧白沢村	79.2 (76.0)	平田村	43.9 (34.4)	旧本宮町	86.6 (79.0)	古殿町	66.7 (61.4)				
	三春町	78.1 (74.6)	天栄村	42.9 (53.1)	大玉村	82.3 (75.6)	鏡石町	65.3 (58.8)				
	大玉村	75.6 (71.1)	旧長沼町	40.9 (59.2)	小野町	65.6 (72.3)	石川町	63.6 (53.4)				
	旧本宮町	73.9 (75.3)	石川町	40.6 (34.6) ☆	猪苗代町	51.0 (50.0)	旧長沼町	60.5 (66.0)				
	旧常葉町	70.9 (60.0)			葛尾村	50.0 (100.0)	矢吹町	54.1 (58.7)				
	旧大越町	65.9 (50.0)			川内村	50.0 (60.0)	旧岩瀬村	52.8 (51.4)				
	旧都路村	65.0 (78.9)			平田村	41.8 (39.0) ☆	平田村	50.7 (55.9)				
	旧船引町	62.9 (62.6)										
	旧岩瀬村	60.0 (37.1)										
	小野町	59.8 (64.3)										
	猪苗代町	55.2 (54.4)										
	旧岩代町	50.9 (34.1)										
	二本松市	43.0 (45.6)										
	須賀川市	42.5 (41.2)										
平田村	42.4 (44.3)											
旧長沼町	40.9 (28.6) ☆											
2次商圈	矢吹町	36.7 (27.4)	鏡石町	39.6 (28.7)	旧滝根町	38.5 (31.7)	旧大信村	22.2 (20.8)	三春町	32.0 (26.8)	旧長沼町	38.1 (45.1) ★
	中島村	35.6 (30.2)	旧岩瀬村	28.6 (37.1)	旧都路村	38.1 (42.1) ★					天栄村	31.7 (43.8) ★
	鏡石町	34.7 (43.7) ★	矢吹町	24.8 (23.4)	旧大越町	36.4 (22.9)					鏡石町	22.9 (-) ☆
	玉川村	33.9 (28.8)			二本松市	34.7 (26.7)						
	古殿町	33.3 (15.5) ☆			旧岩瀬村	33.3 (22.9)						
	石川町	32.0 (23.5)			川前地区	33.3 (11.1) ☆						
	天栄村	31.4 (26.5)			旧常葉町	32.1 (16.2)						
	浅川町	28.6 (27.9)			旧長沼町	30.2 (17.0)						
	旧大信村	28.6 (25.5)			旧岩代町	29.8 (28.9)						
	川前地区	28.6 (14.3) ☆			矢吹町	27.9 (17.5) ☆						
	葛尾村	25.0 (-) ☆			鏡石町	24.8 (24.7)						
	旧東和町	23.9 (20.8)			須賀川市	22.6 (24.9)						
	旧安達町	22.4 (21.4)			旧船引町	21.0 (20.8)						
	旧東村	21.4 (19.4) ☆			玉川村	21.0 (16.2) ☆						
泉崎村	20.3 (25.0)											
3次商圈	境町	16.7 (-) ☆	浅川町	11.4 (-) ☆	古殿町	17.8 (17.5)	浅川町	19.7 (18.0)	旧岩瀬村	18.9 (-) ☆	古殿町	14.9 (-) ☆
	棚倉町	14.9 (17.9)	旧大信村	11.4 (-) ☆	石川町	17.8 (16.8)	中島村	18.2 (25.0) ★	川前地区	12.5 (-) ☆	平田村	13.8 (20.0) ★
	旧表郷村	14.0 (17.0)	中島村	11.1 (11.6)	北塩原村	16.0 (28.6) ★	泉崎村	11.3 (-) ☆	平田村	10.8 (-) ☆	石川町	10.9 (-) ☆
	旧河東町	13.9 (12.8)			鮎川村	15.8 (10.3)						
	旧塩川町	13.6 (13.2)			富岡町	14.3 (-) ☆						
	旧熱塩加納村	13.0 (14.3)			中島村	13.6 (16.7)						
	喜多方市	12.6 (-) ☆			旧東村	13.0 (-) ☆						
	富岡町	11.1 (-) ☆			旧東和町	12.8 (-) ☆						
					泉崎村	11.3 (-) ☆						
					旧伊南村	11.1 (-) ☆						

注) 1 () は前回調査結果。1次商圈：流出割合40%超、2次商圈：20%超～40%以下、3次商圈：10%超～20%以下、(-)：10%以下
2 ☆は、前回の商圈より上位の商圈へ移動した市町村・地区、★は前回の商圈より下位の商圈へ移動した市町村・地区である。

[地元購買率]

(単位：%)

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
郡山市	96.0	95.6	94.2	▲1.4	98.8	98.9	98.3	▲0.6	98.6	98.1	98.4	0.3
須賀川市	58.2	53.5	53.7	0.2	77.6	74.5	76.5	2.0	92.4	93.9	94.7	0.8
旧長沼町	6.1	10.2	13.6	3.4	6.3	17.0	7.0	▲10.0	26.7	43.1	52.4	9.3
旧岩瀬村	3.1	14.3	8.6	▲5.7	3.0	14.3	11.1	▲3.2	6.1	34.1	18.9	▲15.2
旧滝根町	2.8	12.8	0.0	▲12.8	5.9	14.6	0.0	▲14.6	15.2	26.2	10.3	▲15.9
旧大越町	6.5	11.8	7.3	▲4.5	3.2	17.1	13.6	▲3.5	12.5	16.7	16.7	0.0
旧都路村	33.3	0.0	15.0	15.0	66.7	5.3	19.0	13.7	66.7	33.3	33.3	0.0
旧常葉町	9.7	6.7	3.6	▲3.1	10.3	27.0	10.7	▲16.3	40.7	61.9	52.6	▲9.3
旧船引町	45.8	33.8	36.5	2.7	69.3	78.2	78.3	0.1	94.6	96.6	96.9	0.3
鏡石町	18.3	21.8	17.8	▲4.0	14.0	16.5	9.9	▲6.6	73.3	89.8	74.0	▲15.8
天栄村	7.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	2.9	2.9	11.9	6.3	9.8	3.5
石川町	22.8	29.4	18.8	▲10.6	11.6	18.3	10.1	▲8.2	84.6	84.4	84.5	0.1
玉川村	0.0	10.6	0.0	▲10.6	0.0	14.7	1.6	▲13.1	42.9	50.0	43.1	▲6.9
平田村	2.1	3.3	1.5	▲1.8	4.2	1.7	1.5	▲0.2	47.7	45.0	47.7	2.7
浅川町	1.9	3.3	1.4	▲1.9	3.6	1.6	7.6	6.0	51.9	69.5	61.5	▲8.0
古殿町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	2.2	▲1.3	33.3	30.2	40.4	10.2
三春町	16.3	20.1	18.1	▲2.0	4.0	5.3	1.3	▲4.0	62.9	64.6	63.4	▲1.2
小野町	36.6	27.4	29.3	1.9	6.0	6.4	8.6	2.2	93.2	91.4	87.4	▲4.0
合計	72.0	70.8	60.9 (67.2)	▲9.9 (▲3.6)	75.7	75.9	66.9 (72.8)	▲9.0 (▲3.1)	88.9	89.3	86.0 (88.4)	▲3.3 (▲0.9)
連続減	2	1	2		5	1	1		8	5	1	

注) 今回調査では、人口規模の大きい4市(福島市、郡山市、会津若松市、いわき市)について、標本数の調整を行っている。
前回調査と比較するために、郡山市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を()で記載する。(参考値であることに留意。)

ウ 県南ブロック

県南ブロックは、地域型商圏都市である白河市、矢吹町、棚倉町を含む 12 市町村から構成されている。

(ア) 主要都市の品目別商圏構造

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、ブロック内のほとんどの町村から白河市への流入がみられるが、1 次商圏に属しているのはブロック内では 6 町村のみで、白河市への集中度はそれほど高くない。

前回（平成 28 年度）調査と比較すると、旧南郷村と旧舘岩村が圏外から 3 次商圏へ移動した。一方、矢祭町が 1 次商圏から 2 次商圏に移動した。

棚倉町では、塙町が 2 次商圏から 3 次商圏へ移動した。

[家電製品]

「家電製品」については、ブロック内のすべての町村から白河市への流入がみられるが、1 次商圏に属しているのはブロック内の 6 町村のみで、白河市への集中度はそれほど高くない。

前回調査と比較すると、矢祭町が 3 次商圏から 2 次商圏へ、旧舘岩村、昭和村、旧伊南村が圏外から 3 次商圏へそれぞれ移動している。一方、棚倉町が 2 次商圏から 3 次商圏へ移動した。

棚倉町では、鮫川村が 1 次商圏から 2 次商圏へ移動した。

[食料品]

「食料品」について、白河市では、旧大信村と西郷村が 2 次商圏から 1 次商圏へ、中島村が 3 次商圏から 2 次商圏へ、鮫川村が圏外から 3 次商圏へそれぞれ移動している。

棚倉町では、矢祭町が圏外から 2 次商圏へ、塙町が圏外から 3 次商圏へそれぞれ移動している。

(イ) 品目別の地元購買状況

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、白河市の地元購買率が 69.8%と最も高く、次いで西郷村が 44.8%、棚倉町が 34.3%、矢吹町が 23.9%の順となっている。地元購買率の低い都市では、地域型商圏都市である白河市への流出割合が高いが、郡山市への流出割合も高い。県境に位置する白河市、西郷村では栃木県、矢祭町では茨城県への流出もみられる。

前回調査との比較で増加したのは白河市（6.8%増）が最も高く、減少率が最も高いのは矢吹町（7.6%減）である。

前々回（平成 25 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 3 町村（前回は 2 市町）となり、伸び率が減少に転じた市町村がわずかに増えている。

[家電製品]

「家電製品」については、白河市の地元購買率が 95.5%と最も高い。次いで棚倉町が 73.8%、西郷村が 32.6%の順となっている。地元購買率の低い都市では、地域型商圏都市である白河市と棚倉町への流出割合が高いが、県中ブロックの須賀川市、郡山市への流出割合も高い。

前回調査との比較で増加したのは棚倉町（7.6%増）が最も高く、減少率が最も高いのは鮫川村（5.0%減）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減の市町村は 2 村（前回は 0 市町村）となり、伸び率が減少に転じた市町村がわずかに増えている。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、白河市が 97.5%、棚倉町が 92.9%、矢吹町が 91.2%、埴町が 88.1%である。地元購買率の低い都市では、地域型商圏都市である白河市、棚倉町、矢吹町への流出割合が高い。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧表郷村（17.7%増）、旧大信村（13.5%増）、泉崎村（10.8%増）である。減少率が高いのは矢祭町（34.6%減）、鮫川村（14.1%減）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減の市町村はない。

図表4-3 県南ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圈構造

[主要都市の商圈構造]

(単位：%)

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	白河市		棚倉町		白河市		棚倉町		白河市		棚倉町	
1次商圈	旧表郷村	70.0 (63.8)			旧表郷村	84.6 (87.0)	塙町	68.3 (46.8)	旧表郷村	60.0 (73.6)	鮫川村	47.4 (56.7)
	旧東村	64.3 (59.7)			旧東村	72.2 (76.4)			旧大信村	42.9 (32.1) ☆		
	鮫川村	59.0 (39.3)			泉崎村	71.0 (81.1)			西郷村	40.5 (35.9) ☆		
	泉崎村	52.5 (51.9)			中島村	61.4 (54.2)						
	浅川町	44.3 (41.0)			西郷村	61.2 (61.7)						
	塙町	43.3 (45.2)			旧大信村	61.1 (54.7)						
	旧大信村	42.9 (43.1)										
2次商圈	棚倉町	38.1 (38.6)			鮫川村	34.2 (31.0)	矢祭町	35.0 (39.5)	泉崎村	27.0 (36.8)	矢祭町	21.1 (-) ☆
	中島村	33.3 (32.6)			浅川町	33.3 (36.1)	鮫川村	34.2 (41.4) ★	旧東村	24.5 (35.6)		
	西郷村	31.2 (33.3)			塙町	20.6 (37.5)	浅川町	27.3 (26.2)	中島村	23.9 (14.6) ☆		
	矢祭町	28.6 (47.4) ★			矢祭町	20.0 (15.8) ☆						
3次商圈	旧南郷村	16.0 (-) ☆	塙町	18.3 (28.8) ★	棚倉町	19.0 (29.7) ★			鮫川村	10.5 (-) ☆	浅川町	16.9 (16.9)
	旧館岩村	14.3 (-) ☆	鮫川村	15.4 (14.3)	旧館岩村	16.7 (-) ☆					塙町	10.2 (-) ☆
			矢祭町	12.5 (10.5)	昭和村	14.3 (-) ☆						
					下郷町	14.3 (12.5)						
					矢吹町	11.7 (11.1)						
					旧伊南村	11.1 (-) ☆						

注) 1 ()は前回調査結果。1次商圈：流出割合40%超、2次商圈：20%超～40%以下、3次商圈：10%超～20%以下、(-)：10%以下
2 ☆は、前回の商圈より上位の商圈へ移動した市町村・地区、★は前回の商圈より下位の商圈へ移動した市町村・地区である。

[地元購買率]

(単位：%)

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
白 河 市	72.5	63.0	69.8	6.8	97.3	97.5	95.5	▲ 2.0	97.4	96.2	97.5	1.3
旧 表 郷 村	15.7	2.1	8.0	5.9	15.4	2.2	9.6	7.4	36.0	13.2	30.9	17.7
旧 東 村	5.1	4.2	1.8	▲ 2.4	10.7	4.2	1.9	▲ 2.3	56.4	53.4	50.9	▲ 2.5
旧 大 信 村	20.0	9.8	5.7	▲ 4.1	19.2	7.5	5.6	▲ 1.9	25.9	9.4	22.9	13.5
西 郷 村	52.3	42.8	44.8	2.0	27.1	31.5	32.6	1.1	55.4	60.0	55.0	▲ 5.0
泉 崎 村	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0	5.7	3.2	▲ 2.5	32.0	32.1	42.9	10.8
中 島 村	0.0	2.3	4.4	2.1	0.0	4.2	2.3	▲ 1.9	10.9	31.3	19.6	▲ 11.7
矢 吹 町	25.0	31.5	23.9	▲ 7.6	1.9	8.7	5.4	▲ 3.3	87.6	93.6	91.2	▲ 2.4
棚 倉 町	30.8	34.3	34.3	0.0	63.2	66.2	73.8	7.6	93.0	97.2	92.9	▲ 4.3
矢 祭 町	3.6	2.6	1.8	▲ 0.8	3.3	10.5	10.0	▲ 0.5	63.3	75.0	40.4	▲ 34.6
塙 町	4.1	2.7	5.0	2.3	6.9	6.9	4.8	▲ 2.1	76.0	91.4	88.1	▲ 3.3
鮫 川 村	0.0	3.6	5.1	1.5	0.0	10.3	5.3	▲ 5.0	10.0	16.7	2.6	▲ 14.1
合 計	39.2	34.3	35.3	1.0	45.8	46.4	45.4	▲ 1.0	73.8	74.4	71.7	▲ 2.7
連 続 減	1	2	3		1	0	2		2	0	0	

エ 会津ブロック

会津ブロックは、広域型商圏都市である会津若松市を中心に、地域型商圏都市である喜多方市、会津坂下町、旧田島町を含む 28 市町村から構成されている。

(ア) 主要都市の品目別商圏構造

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、会津若松市への集中度が高い。1次商圏はブロック内の 23 市町村で構成されている。会津若松市では、前回（平成 28 年度）調査と比較すると、喜多方市が 2次商圏から 1次商圏へ移動した。一方、旧熱塩加納村と旧館岩村、檜枝岐村が 1次商圏から 2次商圏へ移動した。

喜多方市では、旧熱塩加納村が 2次商圏から 1次商圏へ、旧高郷村が圏外から 2次商圏へ、旧塩川町と北塩原村が圏外から 3次商圏へそれぞれ移動している。一方、旧山都町が 2次商圏から 3次商圏へ移動している。

旧田島町は、昭和村が圏外から 1次商圏へ、旧館岩村が圏外から 2次商圏へそれぞれ移動している。

[家電製品]

「家電製品」について、会津若松市では、1次商圏にブロック内 26 市町村（会津若松市と猪苗代町を除く）が含まれており、圧倒的な吸引力が認められる。前回調査と比較すると、猪苗代町が 1次商圏から 2次商圏へ移動した。

喜多方市では、2次商圏に北塩原村、3次商圏に旧熱塩加納村と旧山都町、旧塩川町が該当するのみとなっており、旧田島町では該当する市町村がない。

[食料品]

「食料品」については、会津若松市では金山町が 3次商圏から 2次商圏へ移動した。一方、旧新鶴村が 1次商圏から 2次商圏へ、旧会津高田町が 2次商圏から 3次商圏へそれぞれ移動した。

喜多方市では、旧高郷村が 1次商圏から 2次商圏へ移動した。

旧田島町では、昭和村が 2次商圏から 1次商圏へ移動した。

(イ) 品目別の地元購買状況【補正データあり】

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、会津若松市の地元購買率が 79.9%と最も高く、次いで喜多方市が 33.6%、会津坂下町が 29.8%、旧北会津村が 25.6%の順となっている。地元購買率が 0.0%の市町村が 10 町村あるのが特徴である。

前回調査との比較で増加したのは旧北会津村（8.5%増）が最も高く、減少率が高いのは旧田島町（16.0%減）、旧高郷村（15.4%減）、旧塩川町（10.3%減）である。

前々回（平成 25 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 5 市町村（前回は 1 村）となり、伸び率が減少に転じた市町村が増えている。

[家電製品]

「家電製品」については、会津若松市の地元購買率が 99.0%と圧倒的に高く、喜多方市の 44.7%と 54.3 ポイントの差がある。地元購買率が 0.0%の市町村が 9 町村ある。

前回調査との比較で増加したのは旧北会津村（16.0%増）、旧高郷村（8.3%増）などで、減少率が高いのは旧塩川町（8.7%減）、旧高郷村（8.3%減）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 4 町村（前回は 3 市町村）となり、伸び率が減少に転じた市町村がわずかに増えている。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、会津若松市が 99.5%、喜多方市が 98.1%、旧塩川町が 97.7%など、90%以上の市町村が 6 市町ある。

前回調査との比較で増加率が高いのは旧塩川町と昭和村（いずれも 18.6%増）、旧会津高田町（15.9%増）、旧北会津村（14.1%増）である。減少率が高いのは旧南郷村（22.5%減）、旧熱塩加納村（22.4%減）、檜枝岐村（20.0%減）、金山町（11.7%減）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 5 町村（前回は 5 市町村）となり変動はない。

図表4-4 会津ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圈構造

[主要都市の商圈構造]

(単位：%)

	セーター・ブラウス			家電製品			食料品		
	会津若松市	喜多方市	旧田島町	会津若松市	喜多方市	旧田島町	会津若松市	喜多方市	旧田島町
1次圏	磐梯町	929 (80.6)	旧熱塩加納村 435 (286) ☆	昭和村 571 (-) ☆	三島町 1000 (1000)		磐梯町 633 (677)	旧山郷町 62.5 (80.0)	檜枝岐村 83.3 (60.0)
	旧会津高田町	662 (81.5)			旧会津高田町 1000 (968)		湯川村 610 (500)	旧熱塩加納村 80.0 (65.2)	旧籠岩村 60.0 (80.8)
	金山町	846 (66.7)			柳津町 1000 (962)		旧会津本郷町 564 (526)	北塩原村 46.4 (41.7)	旧南郷村 58.3 (41.4)
	湯川村	829 (76.9)			磐梯町 1000 (935)		旧北会津村 500 (663)		昭和村 57.1 (40.0) ☆
	三島町	800 (68.8)			湯川村 949 (923)				旧伊南村 50.0 (62.5)
	旧会津本郷町	791 (88.9)			会津坂下町 938 (932)				
	旧山郷町	781 (53.3)			旧新鶴村 917 (1000)				
	旧新鶴村	766 (63.6)			金山町 917 (789)				
	下郷町	677 (56.4)			旧会津本郷町 902 (1000)				
	旧河東町	658 (74.5)			旧高郷村 895 (833)				
	旧南郷村	640 (46.4)			西会津町 875 (795)				
	柳津町	636 (73.1)			昭和村 857 (1000)				
	只見町	600 (57.1)			旧河東町 825 (813)				
	西会津町	600 (51.2)			下郷町 821 (750)				
	会津坂下町	588 (55.7)			旧山郷町 813 (800)				
	旧塩川町	568 (52.6)			檜枝岐村 800 (1000)				
	北塩原村	560 (50.0)			旧南郷村 792 (897)				
旧高郷村	526 (61.5)			旧田島町 789 (714)					
旧北会津村	513 (65.8)			旧塩川町 783 (766)					
旧伊南村	500 (47.1)			只見町 771 (773)					
旧田島町	500 (40.0)			旧伊南村 667 (875)					
喜多方市	449 (37.1) ☆			旧北会津村 632 (764)					
昭和村	429 (80.0)			旧熱塩加納村 609 (571)					
				喜多方市 524 (536)					
				北塩原村 520 (571)					
				旧籠岩村 500 (654)					
2次圏	旧熱塩加納村	304 (47.6) ☆	旧高郷村 211 (-) ☆	旧籠岩村 286 (-) ☆	北塩原村 24.0 (14.3) ☆		旧河東町 380 (385)	旧高郷村 28.6 (13.3) ☆	只見町 36.2 (21.7)
	旧籠岩村	286 (52.2) ☆					旧新鶴村 370 (440) ☆		
	檜枝岐村	200 (60.0) ☆					金山町 333 (150) ☆		
3次圏	猪苗代町	177 (14.0)	旧山郷町 188 (333) ☆	只見町 120 (119)	旧熱塩加納村 17.4 (23.8) ☆		旧会津高田町 149 (309) ☆		下郷町 14.8 (11.6)
			旧塩川町 182 (-) ☆		旧山郷町 15.6 (20.0) ☆				
		北塩原村 160 (-) ☆		旧塩川町 13.0 (-) ☆					

注) 1 ()は前回調査結果。1次圏：流出割合40%超、2次圏：20%超～40%以下、3次圏：10%超～20%以下、(-)：10%以下
2 ☆は、前回の圏より上位の圏へ移動した市町村・地区、★は前回の圏より下位の圏に移動した市町村・地区である。

[地元購買率]

(単位：%)

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
会津若松市	84.1	79.2	79.9	0.7	98.4	98.3	99.0	0.7	99.6	99.4	99.5	0.1
旧北会津村	11.7	17.1	25.6	8.5	13.6	20.8	36.8	16.0	16.9	28.8	42.9	14.1
旧河東町	3.3	8.5	8.9	0.4	6.1	14.6	15.0	0.4	39.3	61.5	59.2	▲2.3
喜多方市	44.5	41.8	33.6	▲8.2	40.4	42.7	44.7	2.0	98.7	96.6	98.1	1.5
旧熱塩加納村	20.0	4.8	0.0	▲4.8	7.1	14.3	17.4	3.1	35.7	30.4	8.0	▲22.4
旧塩川町	10.8	17.1	6.8	▲10.3	18.2	13.0	4.3	▲8.7	85.2	79.1	97.7	18.6
旧山郷町	12.5	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	3.1	3.1	13.3	13.3	6.3	0.0
旧高郷村	0.0	15.4	0.0	▲15.4	0.0	8.3	0.0	▲8.3	0.0	6.7	0.0	▲6.7
北塩原村	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	8.0	8.0	6.7	0.0	17.9	17.9
西会津町	15.8	12.2	3.3	▲8.9	2.6	5.1	3.1	▲2.0	81.6	90.2	86.7	▲3.5
磐梯町	3.2	0.0	0.0	0.0	6.1	3.2	0.0	▲3.2	18.8	9.7	10.0	0.3
猪苗代町	18.3	25.7	25.0	▲0.7	3.7	8.8	9.0	0.2	95.8	93.8	97.0	3.2
会津坂下町	35.2	33.0	29.8	▲3.2	3.1	5.1	3.8	▲1.3	93.6	94.0	94.4	0.4
湯川村	2.9	0.0	2.4	2.4	3.0	7.7	2.6	▲5.1	6.1	21.4	7.3	▲14.1
柳津町	2.6	0.0	6.1	6.1	9.8	0.0	0.0	0.0	55.6	51.9	45.5	▲6.4
旧会津高田町	4.1	6.2	3.1	▲3.1	2.0	3.2	0.0	▲3.2	67.8	66.2	82.1	15.9
旧会津本郷町	2.1	0.0	4.7	4.7	0.0	0.0	4.9	4.9	20.0	42.1	35.9	▲6.2
旧新鶴村	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	4.2	4.2	5.7	4.0	8.7	4.7
三島町	6.7	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	13.3	6.3	9.1	2.8
金山町	0.0	0.0	7.7	7.7	21.4	15.8	8.3	▲7.5	28.6	20.0	8.3	▲11.7
昭和村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	10.0	28.6	18.6
旧田島町	38.8	38.9	22.9	▲16.0	13.6	11.0	5.6	▲5.4	96.1	98.9	97.0	▲1.9
旧籠岩村	12.5	4.3	0.0	▲4.3	25.0	7.7	0.0	▲7.7	40.0	11.5	20.0	8.5
旧伊南村	11.8	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	53.8	31.3	40.0	8.7
旧南郷村	10.5	3.6	4.0	0.4	5.1	0.0	8.3	8.3	58.1	51.7	29.2	▲22.5
下郷町	6.1	2.6	3.2	0.6	10.0	10.0	3.6	▲6.4	72.7	58.1	63.0	4.9
檜枝岐村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	▲20.0
只見町	7.7	4.8	6.0	1.2	17.9	11.4	14.6	3.2	83.3	65.2	53.2	▲12.0
合計	42.3	44.1	35.9 (40.8)	▲8.2 (▲3.3)	43.1	48.9	40.9 (47.4)	▲8.0 (▲1.5)	79.6	80.6	77.0 (79.7)	▲3.6 (▲0.9)
連続	1	1	5		4	3	4		3	5	5	

注) 今回調査では、人口規模の大きい4市(福島市、郡山市、会津若松市、いわき市)について、標本数の調整を行っている。
前回調査と比較するために、会津若松市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を()で記載する。(参考値であることに留意。)

オ 相双ブロック

相双ブロックは、地域型商圏都市である相馬市、旧原町市を含む 14 市町村から構成されているが、原子力災害による避難指示の影響のため、本来の消費動向を正確に把握するのは困難である。

なお、前回調査では富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、飯館村については、調査実施時点で原子力災害による避難指示が続いていたため分析の対象外としている。

(ア) 主要都市の品目別商圏構造

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、相馬市では、商圏の変動はみられない。

旧原町市では、浪江町が圏外から 1 次商圏へ移動した。一方、旧鹿島町が 1 次商圏から 2 次商圏へ移動した。

[家電製品]

「家電製品」については、相馬市では飯館村が圏外から 2 次商圏へ移動している。

旧原町市では、浪江町が圏外から 1 次商圏へ、富岡町が圏外から 2 次商圏へそれぞれ移動している。

[食料品]

「食料品」については、相馬市では飯館村が圏外から 2 次商圏へ移動している。

旧原町市では、旧小高町が 2 次商圏から 1 次商圏へ、浪江町が圏外から 1 次商圏へ、相馬市が圏外から 3 次商圏へそれぞれ移動している。

(イ) 品目別の地元購買状況

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、旧原町市の地元購買率が 46.2%と高く、次いで相馬市が 42.0%である。ブロック合計では 31.5%で前回調査よりも 4.8 ポイント減少している。

前回調査と比較すると葛尾村、旧小高町、広野町、旧原町市、相馬市、旧鹿島町で、地元購買率が減少している。葛尾村は 100.0 ポイント減少となっているが、前回調査で標本数が極めて少なかったことが影響していると考えられる。

[家電製品]

「家電製品」については、相馬市の地元購買率が 88.1%と高く、次いで旧原町市が 88.0%である。ブロック合計では 61.0%で前回調査よりも 5.5 ポイント減少している。

前回調査と比較すると旧鹿島町で、地元購買率がわずかに増加している。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、旧原町市の地元購買率が 99.0%、相馬市が 98.2%、旧鹿島町が 90.0%である。ブロック合計では 83.1%で前回調査よりも 2.5 ポイント減少している。

前回調査と比較すると、旧鹿島町で 16.4 ポイント増加している。

図表4-5 相双ブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圈構造

[主要都市の商圈構造]

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	相馬市		旧原町市		相馬市		旧原町市		相馬市		旧原町市	
	1次商圈		浪江町 100.0 (-) ☆		新地町 73.0 (77.8)	浪江町 100.0 (-) ☆		新地町 71.4 (75.8)	浪江町 100.0 (-) ☆		旧小高町 81.0 (21.4) ☆	
2次商圈	新地町 37.6 (35.5)	旧鹿島町 29.1 (41.7)	旧鹿島町 25.0 (28.9)	飯館村 25.0 (-) ☆	浪江町 89.5 (46.2)	旧鹿島町 53.2 (55.3)	富岡町 28.6 (-) ☆	飯館村 25.0 (-) ☆				
3次商圈	旧鹿島町 12.6 (12.2)											

注) 1 (-)は前回調査結果。1次商圈：流出割合40%超、2次商圈：20%超～40%以下、3次商圈：10%超～20%以下、(-)：10%以下
 2 ☆は、前回の商圈より上位の商圈へ移動した市町村・地区、★は前回の商圈より下位の商圈に移動した市町村・地区である。

[地元購買率]

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
	相馬市	52.1	45.4	42.0	▲3.4	87.9	90.0	88.1	▲1.9	98.5	98.2	98.2
旧原町市	62.1	50.8	46.2	▲4.6	91.4	93.7	88.0	▲5.7	98.3	99.5	99.0	▲0.5
旧鹿島町	10.5	8.3	7.9	▲0.4	14.0	7.9	12.1	4.2	60.8	73.6	90.0	16.4
旧小高町	100.0	25.0	5.0	▲20.0	100.0	38.5	5.3	▲33.2	100.0	71.4	14.3	▲57.1
広野町	0.0	8.3	0.0	▲8.3	0.0	5.1	4.8	▲0.3	9.1	43.2	23.8	▲19.4
檜葉町	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	12.5	47.6	35.1
富岡町	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	50.0	-	66.7	-
川内村	12.5	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	9.1	9.1
大熊町	100.0	-	0.0	-	100.0	-	0.0	-	100.0	-	0.0	-
双葉町	0.0	-	0.0	-	50.0	-	0.0	-	100.0	-	0.0	-
浪江町	100.0	-	0.0	-	100.0	-	0.0	-	100.0	-	0.0	-
葛尾村	0.0	100.0	0.0	▲100.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	100.0	50.0	▲50.0
新地町	0.0	0.0	6.9	6.9	3.7	0.0	6.0	6.0	18.2	17.7	23.5	5.8
飯館村	50.0	-	25.0	-	50.0	-	25.0	-	83.3	-	25.0	-
合計	43.8	36.3	31.5	▲4.8	69.3	66.5	61.0	▲5.5	85.7	85.6	83.1	▲2.5
連続減	2	1	4		1	0	1		4	0	1	

注) 前回(平成28年度)調査では富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、飯館村については、調査実施時点で原子力災害による避難指示が続いていたため分析の対象外としている。

カ いわきブロック

いわきブロックは、広域型商圏都市であるいわき市平地区を中心に、地域型商圏都市であるいわき市常磐地区、小名浜地区、勿来地区を含む13地区から構成されている。

(ア) 主要都市の品目別商圏構造

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、いわきブロックの各地区と相双ブロックの南部に位置する檜葉町、広野町で商圏が構成されている。

平地区では、前回（平成28年度）調査から富岡町が圏外から1次商圏へ移動した。

小名浜地区では勿来地区と遠野地区、常磐地区が3次商圏から2次商圏へ、田人地区と富岡町が圏外から2次商圏へそれぞれ移動している。

移動した町、地区は、いずれも標本数が少ないことに留意する必要がある。

[家電製品]

「家電製品」については、平地区では、富岡町が圏外から1次商圏へ移動したが、いずれも標本数が少ないことに留意する必要がある。一方、三和地区と常磐地区が1次商圏から2次商圏へ異動した。

小名浜地区では、勿来地区が3次商圏から2次商圏へ、富岡町が圏外から3次商圏へそれぞれ移動している。一方、遠野地区が1次商圏から2次商圏へ移動している。

[食料品]

「食料品」については、平地区では、広野町が2次商圏から1次商圏へ、川前地区が3次商圏から2次商圏へ移動したが、いずれも標本数が少ないことに留意する必要がある。一方、檜葉町が1次商圏から2次商圏へ移動している。

小名浜地区では、富岡町と遠野地区が圏外から3次商圏へ移動した。

(イ) 品目別の地元購買状況【補正データあり】

[セーター・ブラウス]

「セーター・ブラウス」については、小名浜地区の地元購買率が 87.2%と最も高く、次いで平地区が 83.6%、常磐地区が 50.2%の順となっている。

前回調査との比較で増加したのは三和地区（26.9%増）が最も高く、減少率が高いのは川前地区（14.3%減）である。

前々回（平成 25 年度）、前回、今回と経年比較すると、連続減は 2 地区（前回は 1 地区）となり、伸び率が減少に転じた地区がわずかに増えている。

[家電製品]

「家電製品」については、平地区の地元購買率が 95.8%と高く、次いで小名浜地区が 93.2%、勿来地区が 64.0%と続いている。

前回調査との比較で大きく増加したのが三和地区（24.4%増）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減となった地区はなく、前回調査と同じである。

[食料品]

「食料品」の地元購買率は、勿来地区が 98.5%、小名浜地区が 98.2%、平地区が 97.4%、内郷地区が 95.4%など、90%以上の地区が 6 地区ある。

前回調査との比較で増加率が高いのは三和地区（21.3%増）である。

前々回、前回、今回と経年比較すると、連続減は 2 地区（前回は 0 地区）となり、伸び率が減少に転じた地区がわずかに増えている。

図表4-6 いわきブロック各都市の地元購買率及び主要都市の商圈構造

[主要都市の商圈構造]

(単位:%)

	セーター・ブラウス		家電製品				食料品			
	平	小名浜	平	小名浜	平	小名浜	平	小名浜		
1次商圈	広野町	89.5 (80.6)	広野町	95.2 (92.3)	小川地区	65.6 (66.2)				
	大久・久之浜地区	82.9 (75.0)	楯葉町	95.2 (87.5)	広野町	61.9 (32.4) ☆				
	四倉地区	82.7 (80.9)	大久・久之浜地区	90.5 (83.8)						
	小川地区	78.7 (74.1)	四倉地区	89.7 (88.6)						
	楯葉町	77.3 (87.5)	小川地区	84.1 (88.4)						
	富岡町	66.7 (-) ☆	内郷地区	72.6 (71.5)						
	内郷地区	59.0 (61.2)	川前地区	66.7 (56.6)						
	好間地区	55.8 (73.1)	好間地区	65.6 (84.1)						
川前地区	42.9 (42.9)	富岡町	42.9 (-) ☆							
2次商圈	田人地区	35.7 (41.7)	勿来地区	31.9 (11.9) ☆	三和地区	34.3 (59.6) ★	遠野地区	37.7 (40.7) ★	楯葉町	33.3 (62.5) ★
	遠野地区	33.3 (37.9)	遠野地区	23.8 (10.3) ☆	常磐地区	33.6 (40.9) ★	常磐地区	31.0 (25.4) ★	大久・久之浜	28.6 (39.0)
	三和地区	28.1 (52.0)	富岡町	22.2 (-) ☆	遠野地区	21.3 (35.6)	勿来地区	21.4 (19.2) ☆	川前地区	25.0 (12.5) ☆
			田人地区	21.4 (-) ☆						
			常磐地区	20.4 (10.7) ☆						
3次商圈	常磐地区	17.2 (25.0)			富岡町	14.3 (-) ☆	四倉地区	17.3 (16.0)	富岡町	16.7 (-) ☆
	勿来地区	12.0 (22.0)							遠野地区	10.8 (-) ☆

注) 1 () は前回調査結果。1次商圈：流出割合40%超、2次商圈：20%超～40%以下、3次商圈：10%超～20%以下、(-)：10%以下
2 ☆は、前回の商圈より上位の商圈へ移動した市町村・地区、★は前回の商圈より下位の商圈に移動した市町村・地区である。

[地元購買率]

(単位:%)

	セーター・ブラウス				家電製品				食料品			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
平地区	86.0	84.1	83.6	▲0.5	95.2	96.0	95.8	▲0.2	97.0	97.4	97.4	0.0
内郷地区	23.3	22.4	23.7	▲1.3	19.1	24.8	20.7	▲4.1	95.6	95.7	95.4	▲0.3
常磐地区	46.3	52.7	50.2	▲2.5	30.5	32.5	33.6	▲1.1	95.1	94.9	93.8	▲1.1
小名浜地区	73.1	70.3	87.2	▲16.9	86.0	87.5	93.2	▲5.7	98.8	98.3	98.2	▲0.1
勿来地区	40.9	46.2	41.0	▲5.2	20.3	65.4	64.0	▲1.4	98.2	98.1	98.5	0.4
四倉地区	3.6	8.1	7.1	▲1.0	7.0	9.8	6.2	▲3.6	67.6	83.2	80.8	▲2.4
大久・久之浜地区	3.1	11.1	7.3	▲3.8	9.7	16.2	9.5	▲6.7	9.1	17.1	14.3	▲2.8
小川地区	9.8	10.6	13.1	▲2.5	9.4	8.1	12.7	▲4.6	14.8	21.7	18.8	▲2.9
川前地区	0.0	14.3	0.0	▲14.3	0.0	11.1	0.0	▲11.1	14.3	12.5	12.5	0.0
三和地区	13.3	20.0	46.9	▲26.9	23.3	32.7	57.1	▲24.4	31.1	39.3	60.6	▲21.3
好間地区	28.8	16.4	26.0	▲9.6	18.5	11.6	28.1	▲16.5	91.6	92.6	91.8	▲0.8
遠野地区	13.2	12.1	7.9	▲4.2	10.8	13.6	9.8	▲3.8	20.0	29.0	20.0	▲9.0
田人地区	0.0	0.0	14.3	▲14.3	0.0	0.0	14.3	▲14.3	14.3	28.6	13.3	▲15.3
合計	57.7	56.3	58.7 (60.1)	▲2.4 (3.8)	57.8	64.9	65.7 (67.8)	▲0.8 (2.9)	91.3	91.1	89.0 (90.8)	▲2.1 (▲0.3)
連続減	1	1	2		1	0	0		2	0	2	

注) 今回調査では、人口規模の大きい4市(福島市、郡山市、会津若松市、いわき市)について、標本数の調整を行っている。
前回調査と比較するために、いわき市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を()で記載する。(参考値であることに留意。)

(2) ブロック別の購買動向【補正データあり】

ブロック別の消費購買動向については、すでに「セーター・ブラウス」、「家電製品」、「食料品」の3品目に関してみてきたが、図表4-7では、ブロック別に11品目の地元購買率の動向をまとめている。

また、図表4-8は、ブロック別の購買動向、図表4-9は各ブロックにおける11品目別の購買動向をそれぞれまとめたものであり、以下、概要について説明する。

ア 買物場所

ブロックごとに品目を総合した「居住地」での買物割合（地元購買率）をみると、前回（平成28年度）調査に引き続き県中ブロックが69.3%で最も高く、いわきブロックが69.2%、県北ブロックが62.7%で続いている。県南ブロックでは「居住地以外」が52.0%、会津ブロックでは50.5%で半数を超えている。県北・県中ブロックでは、「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」などの買回性の高い品目で地元購買率の減少が大きい。

品目別に各ブロックをみると、最寄性の高い「日用品」、「医薬品・化粧品」で、県南ブロックを除いて地元購買率が減少傾向にある。「家電製品」はいわきブロックを除いて減少傾向にある。その他の品目では地元購買率が減少しているブロックが多い。県中ブロック、会津ブロック、相双ブロックではすべての品目で地元購買率が減少している。

イ 立地場所

買物場所について、「中心部商業地」と「郊外」それぞれの割合をみると、県北ブロックでは「郊外」が半数を超えているが、その他のブロックでは「中心部商業地」が半数を超えている。

前回調査と比較し、「中心部商業地」の割合が増加し、「郊外」の割合が減少しており、これはすべてのブロックに共通している。前回調査と比較して「中心部商業地」の増加率が高いのは、相双ブロック（3.6%増）であり、次いで県中ブロック（2.8%増）、会津ブロック（2.1%増）、県北ブロック（1.6%増）、いわきブロック（1.2%増）、県南ブロック（1.0%増）の順となっている。

品目別に各ブロックをみると、県北ブロックでは「時計・アクセサリ」を除くすべての品目で「郊外」が半数を超えている。県北と相双以外のブロックでは、すべての品目で「中心部商業地」が半数を超えている。

ウ 買物店舗の形態

品目総合でみると、すべてのブロックで「大型専門店・量販店」の割合が最も高い。

品目別に各ブロックをみると、全てのブロックにおいて、「背広・スーツ」、「本・CD」、「家電製品」、「医薬品・化粧品」は「大型専門店・量販店」の割合が高く、「セーター・ブラウス」、「下着」、「靴・バッグ」、「時計・アクセサリ」は「ショッピングセンター」の割合が高い。「日用品」と「食料品」は「スーパー」の割合が高い。

エ 買物店舗選択理由

すべてのブロックで「車で行きやすい」の割合が最も高く、次いで、「品数が多い」の割合が高い。前回（平成 28 年度）調査では、県北ブロックといわきブロックで「価格が安い」の割合が高いが、その他のブロックでは「品数が多い」の割合が高かった。

品目別に各ブロックをみると、「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」は「品数が多い」の割合が高く、「下着」、「日用品」は「価格が安い」、「本・CD」、「家電製品」、「医薬品・化粧品」、「家族づれの外食」は「車で行きやすい」の割合が高くなっている。「食料品」は前回調査では「近い」が最も高かったが、今回の調査では、「車で行きやすい」の割合が高くなった。「時計・アクセサリ」はブロックにより「品数が多い」と「車で行きやすい」に分かれる傾向にある。

オ 通信販売の利用

すべてのブロックにおいて「カタログ・テレビ」、「インターネット」を合わせた通信販売の利用割合は 20%を超えている。

前回調査と比較して、すべてのブロックで「インターネット」の利用割合が増加（5.6～8.8%増）し、「カタログ・テレビ」の利用割合が減少（1.7～2.7%減）している。合計で見ると、すべてのブロックで「インターネット」の利用割合が増加（5.6～8.8%増）している。

品目別に各ブロックをみると、すべてのブロックにおいて「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」、「本・CD」で「インターネット」通信販売を利用している割合が高い。

図表４－７ ブロック別・品目別地元購買率

(単位：%)

	背広・スーツ				セーター・ブラウス				下着			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
県北ブロック	57.2	59.3	47.0 (55.7)	▲ 12.3 (▲ 3.6)	62.2	61.9	50.9 (58.0)	▲ 11.0 (▲ 3.9)	74.2	74.1	64.2 (70.3)	▲ 9.9 (▲ 3.8)
県中ブロック	68.5	68.0	56.5 (63.9)	▲ 11.5 (▲ 4.1)	72.0	70.8	60.9 (67.2)	▲ 9.9 (▲ 3.6)	78.4	77.3	70.3 (75.4)	▲ 7.0 (▲ 1.9)
県南ブロック	34.6	30.8	30.9	0.1	39.2	34.3	35.3	1.0	52.6	49.4	45.9	▲ 3.5
会津ブロック	34.8	37.4	30.6 (36.5)	▲ 6.8 (▲ 0.9)	42.3	44.1	35.9 (40.8)	▲ 8.2 (▲ 3.3)	56.0	59.1	49.8 (54.8)	▲ 9.3 (▲ 4.3)
相双ブロック	46.0	39.4	35.3	▲ 4.1	43.8	36.3	31.5	▲ 4.8	64.4	57.0	51.8	▲ 5.2
いわきブロック	52.5	51.8	54.4 (55.5)	2.6 (3.7)	57.7	56.3	58.7 (60.1)	2.4 (3.8)	74.6	71.0	70.6 (71.9)	▲ 0.4 (0.9)

	靴・バッグ				本・CD				家電製品			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
県北ブロック	57.0	57.6	46.0 (53.2)	▲ 11.6 (▲ 4.4)	74.8	73.0	65.3 (71.8)	▲ 7.7 (▲ 1.2)	65.1	66.9	55.4 (64.1)	▲ 11.5 (▲ 2.8)
県中ブロック	68.4	67.5	57.5 (64.1)	▲ 10.0 (▲ 3.4)	79.9	76.3	71.4 (76.4)	▲ 4.9 (0.1)	75.7	75.9	66.9 (72.8)	▲ 9.0 (▲ 3.1)
県南ブロック	34.5	30.3	30.1	▲ 0.2	55.9	47.0	45.7	▲ 1.3	45.8	46.4	45.4	▲ 1.0
会津ブロック	39.7	40.3	33.9 (38.5)	▲ 6.4 (▲ 1.8)	60.6	61.5	52.6 (57.8)	▲ 8.9 (▲ 3.7)	43.1	48.9	40.9 (47.4)	▲ 8.0 (▲ 1.5)
相双ブロック	40.4	32.4	26.3	▲ 6.1	64.7	58.9	55.5	▲ 3.4	69.3	66.5	61.0	▲ 5.5
いわきブロック	53.6	52.3	55.4 (56.7)	3.1 (4.4)	74.1	71.8	72.9 (75.1)	1.1 (3.3)	57.8	64.9	65.7 (67.8)	0.8 (2.9)

	日用品				医薬品・化粧品				食料品			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
県北ブロック	87.3	89.5	85.6 (88.0)	▲ 3.9 (▲ 1.5)	84.6	87.5	83.4 (86.1)	▲ 4.1 (▲ 1.4)	88.5	89.5	85.5 (87.9)	0.0 (▲ 1.6)
県中ブロック	86.8	87.3	84.9 (87.6)	▲ 2.4 (0.3)	83.7	85.1	82.7 (85.8)	▲ 2.4 (0.7)	88.9	89.3	86.0 (88.4)	▲ 3.3 (▲ 0.9)
県南ブロック	68.1	72.3	73.7	1.4	61.1	68.2	73.7	5.5	73.8	74.4	71.7	▲ 2.7
会津ブロック	73.4	76.4	73.6 (76.7)	▲ 2.8 (0.3)	66.5	73.7	70.8 (74.1)	▲ 2.9 (0.4)	79.6	80.6	77.0 (79.7)	▲ 3.6 (▲ 0.9)
相双ブロック	84.3	81.6	79.9	▲ 1.7	81.2	79.0	75.9	▲ 3.1	85.7	85.6	83.1	▲ 2.5
いわきブロック	89.8	89.4	87.1 (89.0)	▲ 2.3 (▲ 0.4)	88.8	88.5	86.9 (88.8)	▲ 1.6 (0.3)	91.3	91.1	89.0 (90.8)	▲ 2.1 (▲ 0.3)

	家族づれの外食				時計・アクセサリ			
	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)	平成25年度	平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28→R1)
県北ブロック	64.9	68.6	59.0 (66.8)	▲ 9.6 (▲ 1.8)	-	54.4	44.4 (51.6)	▲ 10.0 (▲ 2.8)
県中ブロック	72.9	73.9	66.3 (72.4)	▲ 7.6 (▲ 1.5)	-	66.5	56.7 (63.7)	▲ 9.8 (▲ 2.8)
県南ブロック	46.0	45.3	46.3	1.0	-	27.0	27.6	0.6
会津ブロック	50.7	55.7	49.2 (54.8)	▲ 6.5 (▲ 0.9)	-	34.5	28.0 (32.4)	▲ 6.5 (▲ 2.1)
相双ブロック	57.1	53.8	52.6	▲ 1.2	-	26.4	20.2	▲ 6.2
いわきブロック	67.5	69.0	67.6 (69.0)	▲ 1.4 (0.0)	-	46.7	50.8 (52.2)	4.1 (5.5)

注) 今回調査では、人口規模の大きい4市(福島市、郡山市、会津若松市、いわき市)について、標本数の調整を行っている。

前回調査と比較するために、4市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を()で記載する。(参考値であることに留意。)

図表 4-8 ブロック別品目総合買物場所、立地場所、買物店舗形態、買物店舗選択理由、通信販売の利用

単位：%

ブ ロ ッ ク	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居 住 地 外	居 住 地 以 外	中 心 部 商 業 地 外	郊 外	個 人 商 店	ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	コ ン ビ ニ エ ン ー ス	デ パ ー ト メ ン ト	大 型 専 門 店 ・ 量 販 店	ア ウ ト レ ッ ト モ ー ル	シ ョ ッ ピ ン グ	品 質 が 良 い	価 格 が 安 い	品 数 が 多 い	車 で 行 き や す い	近 い	営 業 時 間 が 長 い	雰 囲 気 ・ サ ー ビ ス	行 き つ け	割 引 券 や ポ イ ン ト が あ る	買 い 物 以 外 の も の が あ る	カ タ ロ グ ・ テ レ ビ ジ ョ ン	し て い る	し て い な い
県北ブロック	62.7	37.3	47.0	53.0	1.8	17.5	0.4	9.1	42.2	3.3	25.7	7.2	18.8	22.3	27.7	10.6	0.9	1.6	6.0	3.0	1.8	3.0	28.4	68.6
県中ブロック	69.3	30.7	58.6	41.4	1.5	15.2	0.4	7.4	37.7	2.9	35.0	8.2	17.7	21.2	28.2	10.9	0.9	1.7	6.3	3.3	1.7	2.5	24.6	72.9
県南ブロック	48.0	52.0	65.1	34.9	1.7	14.9	0.3	6.8	37.1	5.2	34.0	7.6	17.7	20.7	27.2	12.7	1.0	1.5	6.7	2.9	1.9	2.5	25.8	71.7
会津ブロック	49.5	50.5	58.6	41.4	2.4	17.7	0.5	7.9	44.5	3.0	24.2	6.0	17.4	21.5	28.0	11.7	0.9	1.4	7.8	3.5	1.9	3.1	32.6	64.3
相双ブロック	52.0	48.0	61.6	38.4	3.0	15.8	0.5	5.7	36.1	4.5	34.4	5.3	13.8	23.0	28.0	14.9	0.9	1.6	6.9	2.4	3.3	3.5	30.1	66.4
いわきブロック	69.2	30.8	70.2	29.8	1.6	21.8	0.6	5.9	34.9	3.4	31.9	6.8	17.9	18.3	29.3	13.3	0.9	1.7	6.6	3.1	2.0	2.9	29.5	67.6

図表 4-9 ブロック別・買物場所、立地場所、買物店舗形態、買物店舗選択理由、通信販売の利用

(県北ブロック) 単位：%

県北ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居	居	中	郊	個	ス	コン	デ	大型	ア	シ	品	価	品	車	近	営	雰	行	割	買	カ	イン	し
	住	地	心	外	人	パ	ビ	パ	型	ウ	ョ	質	格	数	で	業	囲	き	引	力	タ	ター	て	
背広・スーツ	47.0	53.0	45.5	54.5	2.0	1.4	0.2	15.0	59.0	2.9	19.5	15.4	15.0	28.9	23.2	5.5	0.3	1.1	5.4	3.3	2.0	1.8	14.8	83.3
セーター・ブラウス	50.9	49.1	48.4	51.6	1.3	2.5	-	14.5	29.5	6.2	45.9	7.9	23.7	31.4	23.5	4.4	0.1	0.9	4.7	0.8	2.6	5.3	37.7	57.0
下着	64.2	35.8	49.0	51.0	1.1	5.3	0.1	10.5	34.8	2.5	45.8	7.5	34.2	21.7	22.9	6.6	0.3	0.4	4.4	0.7	1.3	6.0	27.9	66.1
靴・バッグ	46.0	54.0	49.1	50.9	1.3	2.0	0.1	16.5	30.1	8.6	41.4	12.3	16.1	34.2	23.9	4.3	0.3	0.8	4.4	0.9	2.8	3.6	41.4	55.0
本・CD	65.3	34.7	46.6	53.4	4.1	2.5	1.0	4.5	62.1	1.0	24.9	1.3	4.5	33.2	34.2	14.0	2.6	0.4	5.9	2.9	1.1	0.6	39.7	59.6
家電製品	55.4	44.6	38.8	61.2	1.1	1.3	0.1	1.1	90.6	1.0	4.9	3.4	20.7	24.4	26.9	8.2	0.8	3.2	5.1	6.4	0.8	2.0	28.8	69.3
日用品	85.6	14.4	47.7	52.3	1.0	45.4	0.6	1.5	37.2	0.5	13.8	1.3	27.2	13.1	27.0	18.3	1.2	0.2	6.4	5.0	0.2	1.6	21.3	77.1
医薬品・化粧品	83.4	16.6	49.2	50.8	2.6	25.3	0.4	2.7	54.9	0.6	13.5	3.0	19.8	15.6	26.6	18.1	1.8	0.5	7.6	6.6	0.3	3.5	27.1	69.4
食料品	85.5	14.5	48.6	51.4	0.8	84.9	1.7	0.9	4.0	0.5	7.3	3.9	22.7	11.0	25.5	23.8	1.1	0.3	8.0	3.7	0.2	4.1	12.9	83.0
家族づれの夕食	59.0	41.0	43.6	56.4	-	-	-	-	-	-	-	5.5	13.1	6.6	45.1	7.9	1.3	8.1	9.9	1.6	0.9	-	-	-
時計・アクセサリ	44.4	55.6	50.7	49.3	3.1	1.0	-	24.5	20.2	9.6	41.7	18.9	8.8	26.5	26.1	4.5	0.3	1.9	4.0	1.2	7.7	1.3	32.9	65.8
合計	62.7	37.3	47.0	53.0	1.8	17.5	0.4	9.1	42.2	3.3	25.7	7.2	18.8	22.3	27.7	10.6	0.9	1.6	6.0	3.0	1.8	3.0	28.4	68.6

(県中ブロック) 単位：%

県中ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居	居	中	郊	個	ス	コン	デ	大型	ア	シ	品	価	品	車	近	営	雰	行	割	買	カ	イン	し
	住	地	心	外	人	パ	ビ	パ	型	ウ	ョ	質	格	数	で	業	囲	き	引	力	タ	ター	て	
背広・スーツ	56.5	43.5	59.2	40.8	1.4	1.3	0.1	14.5	50.4	2.3	30.0	16.8	14.8	26.5	24.2	6.9	0.4	1.0	4.8	3.2	1.5	1.7	13.3	85.1
セーター・ブラウス	60.9	39.1	57.6	42.4	0.9	1.6	0.0	10.5	23.3	5.1	58.6	8.8	22.1	28.0	25.4	5.8	0.6	0.7	5.1	1.1	2.5	4.4	31.9	63.8
下着	70.3	29.7	56.4	43.6	0.6	2.5	0.1	7.0	28.4	2.4	59.1	7.8	30.9	20.5	25.2	7.3	0.4	0.5	4.8	1.0	1.6	4.8	24.5	70.7
靴・バッグ	57.5	42.5	60.0	40.0	0.8	1.2	0.1	13.2	23.6	7.2	53.9	13.1	15.6	31.0	25.5	5.7	0.4	0.4	4.6	1.2	2.4	2.5	36.4	61.1
本・CD	71.4	28.6	59.8	40.2	3.5	1.3	1.0	3.1	54.2	1.4	35.6	1.9	4.3	35.1	33.0	12.0	2.1	0.6	6.7	3.3	1.1	0.8	34.5	64.8
家電製品	66.9	33.1	57.6	42.4	1.0	1.2	0.1	0.9	88.0	0.9	7.9	4.0	20.3	22.1	28.2	8.5	0.6	2.9	5.6	7.1	0.7	1.8	24.3	73.9
日用品	84.9	15.1	58.4	41.6	0.7	39.1	0.7	1.2	35.1	0.6	22.7	1.9	26.4	13.5	25.6	18.2	0.9	0.3	7.0	5.6	0.5	1.4	18.9	79.7
医薬品・化粧品	82.7	17.3	58.2	41.8	2.4	19.9	0.4	3.0	50.8	0.6	22.9	3.7	17.8	16.7	26.5	17.6	1.1	0.7	8.1	7.1	0.7	3.3	25.1	71.6
食料品	86.0	14.0	58.7	41.3	1.1	79.8	1.5	0.8	4.1	0.2	12.4	5.4	20.0	11.5	26.2	22.7	1.5	0.1	9.0	3.3	0.3	3.2	11.0	85.8
家族づれの夕食	66.3	33.7	57.6	42.4	-	-	-	-	-	-	-	5.8	12.5	7.0	43.7	8.6	1.1	9.0	9.3	1.8	1.1	-	-	-
時計・アクセサリ	56.7	43.3	61.3	38.7	2.2	0.7	0.1	20.4	19.2	8.9	48.5	21.2	9.6	22.1	27.1	5.5	0.5	2.1	3.8	1.6	6.5	0.9	26.8	72.3
合計	69.3	30.7	58.6	41.4	1.5	15.2	0.4	7.4	37.7	2.9	35.0	8.2	17.7	21.2	28.2	10.9	0.9	1.7	6.3	3.3	1.7	2.5	24.6	72.9

(県南ブロック) 単位：%

県南ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居	居	中	郊	個	ス	コン	デ	大型	ア	シ	品	価	品	車	近	営	雰	行	割	買	カ	イン	し
	住	地	心	外	人	パ	ビ	パ	型	ウ	ョ	質	格	数	で	業	囲	き	引	力	タ	ター	て	
背広・スーツ	30.9	69.1	61.9	38.1	1.7	1.8	0.2	13.2	44.5	6.0	32.5	17.5	13.4	29.1	22.4	7.1	0.7	1.0	4.9	1.7	2.1	2.2	15.6	82.2
セーター・ブラウス	35.3	64.7	58.8	41.2	1.1	2.4	0.1	10.5	21.1	9.3	55.4	8.0	21.9	31.0	22.0	6.8	0.4	0.5	5.1	1.2	3.1	4.5	33.7	61.8
下着	45.9	54.1	64.5	35.5	1.0	4.5	0.0	6.8	28.6	4.3	54.8	7.8	30.0	22.2	24.0	8.9	0.5	0.3	4.3	0.8	1.2	5.9	24.9	69.2
靴・バッグ	30.1	69.9	59.8	40.2	1.0	1.9	0.1	12.4	21.4	13.8	49.4	10.6	16.9	33.0	22.9	6.2	0.7	0.6	4.6	1.2	3.4	3.0	39.1	57.9
本・CD	45.7	54.3	66.5	33.5	2.6	2.8	0.5	3.1	55.2	1.7	34.1	1.7	5.2	30.2	33.2	15.1	2.6	0.5	7.0	3.4	1.2	0.4	36.5	63.1
家電製品	45.4	54.6	65.8	34.2	0.9	1.7	0.0	1.0	85.7	1.6	9.2	3.4	21.3	19.1	28.0	12.1	0.6	3.5	6.3	5.2	0.6	1.6	25.6	72.8
日用品	73.7	26.3	70.7	29.3	1.1	35.3	0.5	1.4	38.6	0.8	22.3	1.8	24.5	11.5	27.6	21.1	0.9	0.2	7.0	5.1	0.4	1.2	16.7	82.1
医薬品・化粧品	73.7	26.3	68.8	31.2	2.7	21.0	0.3	1.7	51.5	0.8	21.9	3.4	17.7	12.1	27.2	22.1	1.4	0.7	8.2	7.0	0.3	2.9	24.4	72.7
食料品	71.7	28.3	73.2	26.8	1.2	72.6	1.2	0.8	6.8	0.4	17.0	5.0	19.8	10.4	28.2	22.3	1.2	0.4	8.6	3.5	0.4	2.3	10.7	87.0
家族づれの夕食	46.3	53.7	65.8	34.2	-	-	-	-	-	-	-	6.6	12.2	6.7	39.2	10.6	1.3	8.1	12.0	1.6	1.5	-	-	-
時計・アクセサリ	27.6	72.4	59.7	40.3	3.7	1.5	0.0	18.3	17.1	13.6	45.9	19.2	10.8	24.5	24.5	5.8	0.6	1.2	4.9	1.4	7.1	0.9	30.7	68.4
合計	48.0	52.0	65.1	34.9	1.7	14.9	0.3	6.8	37.1	5.2	34.0	7.6	17.7	20.7	27.2	12.7	1.0	1.5	6.7	2.9	1.9	2.5	25.8	71.7

(会津ブロック)

単位：%

会津ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居地	居住地以外	中心部	郊外	個人	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外もある	魅力がある	している	インターネット
背広・スーツ	30.6	69.4	53.2	46.8	1.5	1.6	0.1	10.5	63.2	3.0	20.1	11.6	15.0	29.8	24.1	6.2	0.5	1.2	5.8	3.6	2.3	2.5	20.5	77.0
セーター・ブラウス	35.9	64.1	54.8	45.2	2.1	3.2	0.0	12.5	32.9	5.6	43.6	5.5	23.0	31.8	23.8	5.2	0.5	0.4	6.3	1.0	2.5	5.9	41.1	52.9
下着	49.8	50.2	56.3	43.7	1.7	6.1	0.2	10.0	36.3	2.7	43.0	5.9	30.6	21.8	24.6	8.2	0.4	0.4	5.9	0.9	1.4	6.5	33.3	60.2
靴・バッグ	33.9	66.1	55.3	44.7	1.4	1.8	0.0	13.8	35.5	7.5	39.9	9.5	15.4	33.6	25.3	5.5	0.4	0.7	5.4	1.3	3.0	3.1	47.3	49.6
本・CD	52.6	47.4	60.9	39.1	5.7	4.0	1.3	6.1	53.1	0.9	28.8	1.6	4.3	27.5	35.1	15.4	1.8	0.5	8.0	4.2	1.5	1.0	46.6	52.4
家電製品	40.9	59.1	53.2	46.8	1.4	1.3	0.1	1.1	92.0	0.6	3.5	3.3	19.0	23.3	28.9	8.4	0.5	2.4	6.9	6.4	0.9	2.7	31.1	66.2
日用品	73.6	26.4	64.3	35.7	1.6	42.3	0.5	2.1	42.8	0.2	10.5	1.5	24.1	13.3	25.5	19.5	0.9	0.3	8.8	5.6	0.4	1.5	22.6	75.9
医薬品・化粧品	70.8	29.2	63.8	36.2	2.1	24.0	0.6	2.7	60.0	0.3	10.3	2.8	18.2	14.4	26.6	18.5	1.6	0.4	9.7	7.5	0.2	3.9	30.4	65.7
食料品	77.0	23.0	66.6	33.4	1.8	86.3	1.8	0.9	4.7	0.1	4.4	3.3	18.8	8.4	26.2	25.7	1.2	0.3	11.7	4.4	0.1	2.6	13.4	84.0
家族づれの夕食	49.2	50.8	59.7	40.3	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	12.3	7.5	41.9	9.5	1.4	7.6	11.4	2.6	0.8	-	-
時計・アクセサリ	28.0	72.0	56.3	43.7	4.9	1.3	0.1	20.0	24.1	9.4	40.2	17.2	9.8	26.3	26.1	4.9	0.4	1.6	4.9	1.1	7.7	1.3	39.3	59.4
合計	49.5	50.5	58.6	41.4	2.4	17.7	0.5	7.9	44.5	3.0	24.2	6.0	17.4	21.5	28.0	11.7	0.9	1.4	7.8	3.5	1.9	3.1	32.6	64.3

(相双ブロック)

単位：%

相双ブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居地	居住地以外	中心部	郊外	個人	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外もある	魅力がある	している	インターネット
背広・スーツ	35.3	64.7	35.3	64.7	1.3	1.4	0.0	10.7	47.8	5.4	33.4	9.6	10.6	33.7	21.3	11.1	0.5	1.1	6.0	1.8	4.2	3.7	19.3	77.0
セーター・ブラウス	31.5	68.5	31.5	68.5	1.7	1.9	0.0	9.5	23.1	8.0	55.8	5.5	18.5	35.9	21.0	6.5	0.5	0.9	5.2	1.1	4.9	6.3	40.0	53.7
下着	51.8	48.2	51.8	48.2	1.1	3.5	0.0	5.6	27.5	4.2	58.0	4.8	27.7	22.6	23.7	10.5	0.6	0.2	5.9	0.9	3.1	7.3	30.9	61.8
靴・バッグ	26.3	73.7	26.3	73.7	1.8	1.5	0.0	9.9	21.4	11.2	54.2	9.9	10.7	38.6	22.6	6.7	0.6	0.7	5.1	0.7	4.5	4.1	44.2	51.8
本・CD	55.5	44.5	55.5	44.5	13.9	2.7	1.2	2.3	43.6	2.7	33.5	1.2	4.6	27.6	34.2	18.3	1.1	0.7	7.0	1.8	3.5	0.8	43.6	55.7
家電製品	61.0	39.0	61.0	39.0	0.9	1.4	0.0	1.1	87.5	1.0	8.2	2.4	15.4	17.2	30.7	17.0	0.8	3.1	7.2	4.8	1.4	1.9	26.9	71.3
日用品	79.9	20.1	79.9	20.1	1.2	40.4	0.9	1.4	36.3	0.2	19.5	1.4	20.6	11.1	29.9	23.7	1.0	0.3	7.1	4.1	0.8	1.5	21.6	76.9
医薬品・化粧品	75.9	24.1	75.9	24.1	2.7	21.8	0.7	2.0	52.0	0.7	20.2	2.5	14.8	13.5	30.7	22.7	0.9	0.8	8.0	5.2	0.8	3.3	25.4	71.3
食料品	83.1	16.9	83.1	16.9	1.6	79.4	2.2	1.0	4.1	0.1	11.6	3.6	13.9	10.3	28.7	28.5	1.0	0.2	9.8	3.3	0.6	4.4	14.0	81.6
家族づれの夕食	52.6	47.4	52.6	47.4	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	7.8	10.6	40.7	12.9	2.1	7.5	9.7	1.3	3.7	-	-
時計・アクセサリ	20.2	79.8	20.2	79.8	4.4	1.0	0.0	14.1	18.1	12.2	50.2	14.0	7.6	33.0	24.1	4.8	0.7	1.7	4.9	0.7	8.7	2.0	34.4	63.5
合計	52.0	48.0	61.6	38.4	3.0	15.8	0.5	5.7	36.1	4.5	34.4	5.3	13.8	23.0	28.0	14.9	0.9	1.6	6.9	2.4	3.3	3.5	30.1	66.4

(いわきブロック)

単位：%

いわきブロック	買物場所		立地場所		買物店舗の形態							買物店舗を選んだ理由										通信販売の利用		
	居地	居住地以外	中心部	郊外	個人	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	品質が良い	価格が安い	品数が多い	車で行きやすい	近	営業時間が長い	雰囲気・サービスが良い	行きつけ	割引券やポイントなどがある	買い物以外もある	魅力がある	している	インターネット
背広・スーツ	54.4	45.6	73.0	27.0	2.1	2.4	0.1	9.5	57.2	3.4	25.4	14.9	13.0	25.9	24.4	9.1	0.4	1.0	5.5	3.7	2.1	1.7	16.0	82.3
セーター・ブラウス	58.7	41.3	72.1	27.9	1.2	3.6	0.0	8.6	25.1	5.8	55.7	7.6	21.9	26.2	26.4	7.8	0.4	0.9	4.9	1.4	2.6	5.3	37.5	57.2
下着	70.6	29.4	73.3	26.7	1.0	7.7	0.0	7.3	27.9	2.7	53.4	7.9	30.7	18.1	26.1	9.0	0.4	0.3	5.1	0.9	1.4	5.7	29.7	64.6
靴・バッグ	55.4	44.6	71.0	29.0	1.7	2.7	0.1	9.9	21.1	8.6	55.8	11.8	16.0	28.5	26.6	7.2	0.4	0.6	4.8	1.0	3.0	3.1	43.5	53.4
本・CD	72.9	27.1	69.5	30.5	3.4	2.8	1.4	2.7	55.2	1.5	33.0	1.2	4.7	27.0	37.0	14.4	2.8	0.6	7.2	3.5	1.6	0.8	40.5	58.7
家電製品	65.7	34.3	72.7	27.3	1.0	1.3	0.1	1.4	87.8	0.8	7.5	3.1	20.3	18.2	29.6	10.3	0.6	3.8	5.8	7.2	1.0	2.9	29.7	67.4
日用品	87.1	12.9	66.3	33.7	0.5	61.2	0.9	1.5	21.5	0.6	13.8	1.4	25.7	10.4	27.6	21.9	0.8	0.3	7.3	4.3	0.3	1.7	22.8	75.4
医薬品・化粧品	86.9	13.1	66.1	33.9	1.2	44.2	0.8	2.9	34.7	0.8	15.4	3.1	19.2	13.7	27.3	21.1	1.2	0.6	8.2	5.1	0.5	2.6	27.5	69.9
食料品	89.0	11.0	66.4	33.6	0.8	83.7	2.2	1.0	3.4	0.5	8.2	3.5	21.2	7.6	25.8	26.5	1.5	0.5	9.4	3.9	0.2	4.1	14.0	81.8
家族づれの夕食	67.6	32.4	72.2	27.8	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	13.5	5.5	44.1	10.9	1.1	7.7	9.5	2.0	1.2	-	-
時計・アクセサリ	50.8	49.2	69.9	30.1	3.0	1.6	0.0	15.4	16.5	9.6	53.9	17.4	9.7	21.8	27.0	6.8	0.5	2.5	4.4	1.2	8.7	1.4	34.1	64.6
合計	69.2	30.8	70.2	29.8	1.6	21.8	0.6	5.9	34.9	3.4	31.9	6.8	17.9	18.3	29.3	13.3	0.9	1.7	6.6	3.1	2.0	2.9	29.5	67.6

5 買物場所（立地特性）別の消費購買行動

本節では、買回品7品目、最寄品3品目について、品目別の買物場所が「中心部商業地」と「郊外」のどちらなのかという立地特性について分析していく。なお、ここでは、サービス財としての性質も有する「家族づれの夕食」については、分析の対象外としている。

県内全域および広域型商圏都市と地域型商圏都市について、品目ごとに「中心部商業地」と「郊外」のどちらで買物しているかを調べたものが図表5-1である。図表の右欄には前回（平成28年度）調査との比較で増減が示されている。

まず、県内合計では、10品目合計で「中心部商業地」（58.5%）が「郊外」（41.5%）を上回っている。品目別では、10品目すべてで「中心部商業地」の買物割合が「郊外」を上回っており、前回調査との増減をみると、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」、「時計・アクセサリ」で、「中心部商業地」が減少し、「郊外」の消費購買率がわずかに増加していることがわかる。

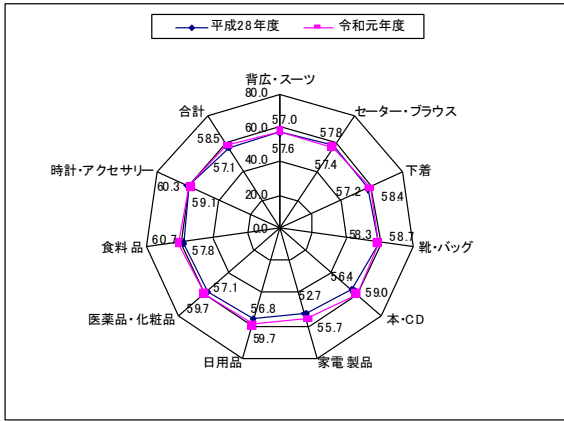
次に、広域型商圏都市と地域型商圏都市についてみると、広域型、地域型ともに、すべての品目の消費購買率が「中心部商業地」で半数を超えている。地域型では、「時計・アクセサリ」を除く9品目で「中心部商業地」の割合は広域型と比較して高く、「セーター・ブラウス」は広域型、地域型ともに「郊外」の消費購買率が増加している。

図表5-1 品目・立地特性（買物場所）別消費購買行動

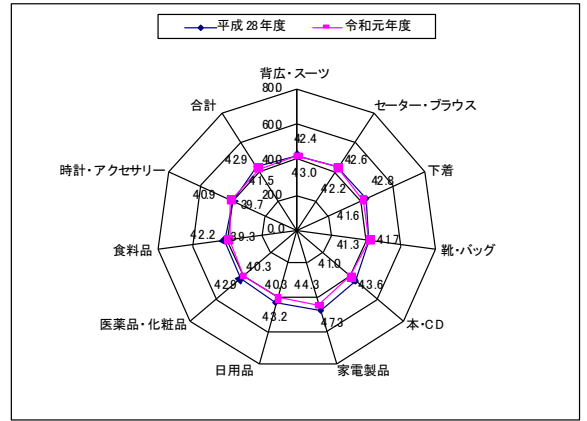
単位：%

品目・立地特性	買物場所	合計		広域型		地域型		増減		
		前回 (平成28年度) ①	今回 (令和元年度) ②	前回 (平成28年度) ③	今回 (令和元年度) ④	前回 (平成28年度) ⑤	今回 (令和元年度) ⑥	合計②-①	広域型④-③	地域型⑥-⑤
背広・スーツ	中心部商業地	57.0	57.6	55.5	56.4	63.2	57.7	0.6	0.9	▲ 5.5
	郊外	43.0	42.4	44.5	43.6	36.8	42.3	▲ 0.6	▲ 0.9	5.5
セーター・ブラウス	中心部商業地	57.8	57.4	56.3	56.2	62.7	58.4	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 4.3
	郊外	42.2	42.6	43.7	43.8	37.3	41.6	0.4	0.1	4.3
下着	中心部商業地	57.2	58.4	54.2	55.8	62.5	60.5	1.2	1.6	▲ 2.0
	郊外	42.8	41.6	45.8	44.2	37.5	39.5	▲ 1.2	▲ 1.6	2.0
靴・バッグ	中心部商業地	58.7	58.3	57.5	58.2	63.1	58.3	▲ 0.4	0.7	▲ 4.8
	郊外	41.3	41.7	42.5	41.8	36.9	41.7	0.4	▲ 0.7	4.8
本 CD	中心部商業地	56.4	59.0	53.5	56.2	61.0	61.8	2.6	2.7	0.8
	郊外	43.6	41.0	46.5	43.8	39.0	38.2	▲ 2.6	▲ 2.7	▲ 0.8
家電製品	中心部商業地	52.7	55.7	49.9	53.1	57.7	57.3	3.0	3.2	▲ 0.4
	郊外	47.3	44.3	50.1	46.9	42.3	42.7	▲ 3.0	▲ 3.2	0.4
日用品	中心部商業地	56.8	59.7	50.5	52.9	64.6	65.9	2.9	2.4	1.3
	郊外	43.2	40.3	49.5	47.1	35.4	34.1	▲ 2.9	▲ 2.4	▲ 1.3
医薬品・化粧品	中心部商業地	57.1	59.7	51.4	53.5	64.6	65.7	2.6	2.1	1.1
	郊外	42.9	40.3	48.6	46.5	35.4	34.3	▲ 2.6	▲ 2.1	▲ 1.1
食料品	中心部商業地	57.8	60.7	50.8	53.0	66.1	67.8	2.9	2.2	1.7
	郊外	42.2	39.3	49.2	47.0	33.9	32.2	▲ 2.9	▲ 2.2	▲ 1.7
時計・アクセサリ	中心部商業地	60.3	59.1	59.4	60.0	65.2	58.1	▲ 1.2	0.6	▲ 7.1
	郊外	39.7	40.9	40.6	40.0	34.8	41.9	1.2	▲ 0.6	7.1
合計	中心部商業地	57.1	58.5	54.1	55.5	59.8	61.1	1.4	1.4	1.3
	郊外	42.9	41.5	45.9	44.5	40.2	38.9	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 1.3

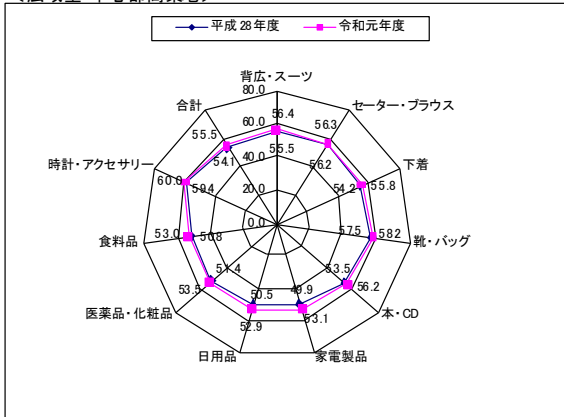
<合計・中心部商業地>



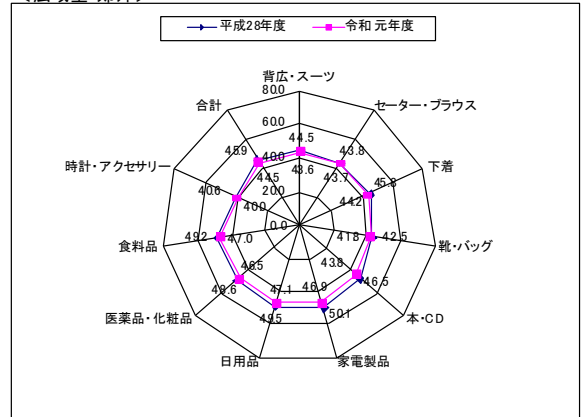
<合計・郊外>



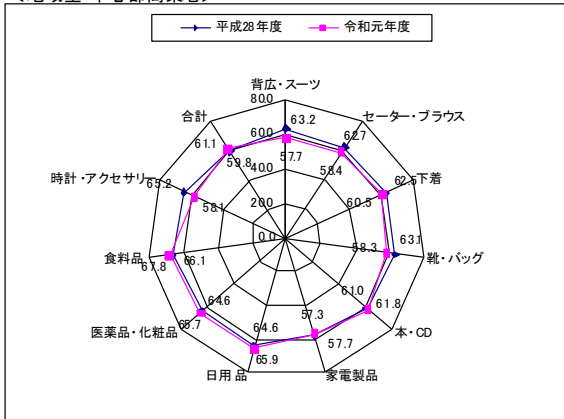
<広域型・中心部商業地>



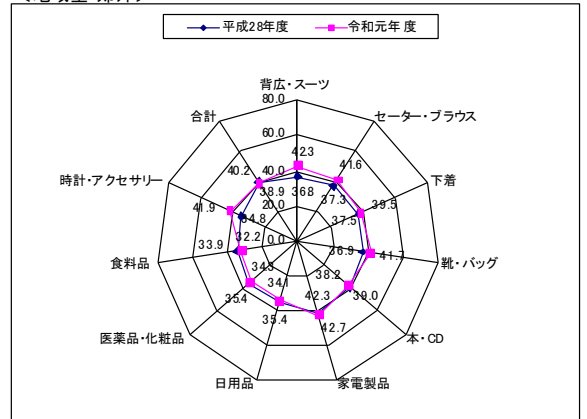
<広域型・郊外>



<地域型・中心部商業地>

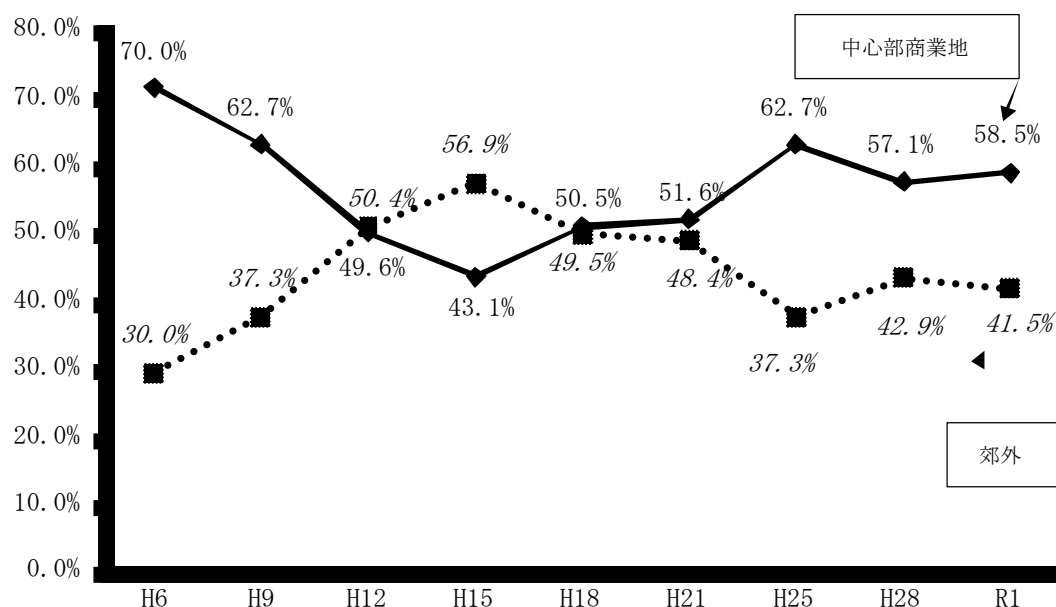


<地域型・郊外>



図表5-2は、過去約25年間の買物場所の立地の推移を示したものである。平成15年度調査時まで「郊外」の割合が増加し、「中心部商業地」の割合が減少を続けてきた。「郊外」の割合は平成15年度調査時をピークにその後減少に転じている。

図表5-2 立地特性（買物場所）別消費購買行動の推移



図表5-3は、商圈タイプおよび市町村・地区別に、品目ごとの立地場所別の消費購買率を示したものである。広域型では、福島市で「時計・アクセサリ」以外の9品目で「郊外」の消費購買率が「中心部商業地」を上回っているのが特徴的である。生活圏の拡大や自動車利用の普及などで、消費購買活動の郊外化が進んでいると考えられる。

他の広域型商圈都市では「中心部商業地」の消費購買率が50%を超え、特にいわき市平地区では「下着」、「家電製品」、「背広・スーツ」、「本・CD」、「セーター・ブラウス」、「靴・バッグ」、「時計・アクセサリ」の「中心部商業地」の消費購買率が高い。また、地域型では「家電製品」などの品目で「郊外」の消費購買率が「中心部商業地」を上回っている都市があるが、地域型合計でみるとすべての品目で「中心部商業地」の消費購買率が半数を超えている。近隣型も同様にすべての品目で「中心部商業地」の消費購買率が半数を超えている。

図表5-4は、代表5品目について、アンケート未記入を含めた品目別消費購買率を示したものである。「中心部商業地」と「郊外」の選択には、未記入の比率が高いことにも留意する必要がある。例えば、「背広・スーツ」における喜多方市、会津坂下町、勿来地区、「セーター・ブラウス」における喜多方市、小野町、旧田島町などで未記入率が高い。広域型の場合は比較的「中心部商業地」と「郊外」の区別がしやすいものの、地域型および近隣型では区別しにくいことが影響していると考えられる。

図表5-3 商圈タイプ（買物場所）・都市別 品目別の立地特性【未記入除く】

	背広・スーツ		セーター・ブラウス		下着		靴・バッグ		本・CD		家電製品		日用品		医薬品・化粧品		食料品		9品目合計		時計・アクセサリー		10品目合計		
	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地	郊外	中心部商業地
福島市	742	904	759	850	755	895	806	822	704	908	604	1007	667	986	678	966	672	985	637	834	814	766	721	9080	5090
郡山市	1091	665	1045	707	1032	737	1112	641	1066	688	1037	720	1010	775	1014	753	999	783	940	646	1109	581	10515	7050	4011
会津若松市	292	312	297	307	299	295	297	299	331	284	300	289	357	247	356	245	381	238	291	246	292	286	3202	2752	462
平地区	526	170	516	183	536	158	509	191	503	177	532	186	472	219	474	227	470	228	453	1719	479	181	5017	1900	273
広域型計①	2651	2051	2627	2047	2622	2075	2724	1953	2604	2028	2473	2182	2506	2227	2522	2191	2522	2234	2325	18388	2694	1794	25845	20782	445
二本松市	116	136	120	124	134	114	112	130	119	120	81	156	136	102	154	91	139	104	111	1077	115	112	1226	1189	503
旧保原町	76	99	95	79	96	66	96	71	85	83	72	97	112	52	111	53	119	44	86	644	90	73	952	717	492
旧本宮町	86	111	85	106	80	110	78	116	83	100	66	125	93	91	91	93	95	92	757	944	71	109	828	1053	560
川俣町	56	46	65	37	64	35	61	42	47	52	43	58	52	42	52	42	59	34	49	388	53	43	552	431	438
須賀川市	318	242	311	247	304	247	311	240	331	207	302	238	324	220	324	222	330	216	285	2079	284	242	3139	2321	425
旧船引町	82	74	87	65	87	64	86	66	96	51	92	56	107	40	105	40	113	36	85	495	80	66	935	561	375
石川町	64	65	61	61	62	58	63	59	61	57	60	56	67	50	64	51	62	54	56	471	63	47	627	598	471
小野町	54	33	46	34	39	40	54	31	52	29	52	34	43	35	38	39	44	36	42	311	51	31	473	342	420
白河市	259	145	247	151	275	120	248	145	300	98	301	84	320	81	315	85	327	72	252	991	236	147	2628	1398	287
矢吹町	60	53	55	55	67	44	53	58	50	60	45	65	77	31	76	31	82	28	56	425	55	49	620	474	433
棚倉町	68	59	67	55	71	50	64	50	74	39	76	42	73	36	71	40	88	29	65	400	59	48	711	448	387
喜多方市	114	100	121	83	123	74	123	78	130	67	105	87	139	50	141	58	155	48	116	664	112	70	1268	734	367
会津坂下町	62	65	70	56	77	50	72	56	85	35	57	70	91	34	88	39	97	30	69	435	59	61	758	496	306
旧田島町	51	47	52	40	60	36	54	41	55	33	48	40	72	19	72	14	76	16	54	286	49	30	589	316	349
相馬市	196	131	188	129	202	116	191	134	221	86	200	103	241	73	233	81	255	60	192	913	185	129	2112	1042	350
旧原町市	176	142	161	156	156	148	164	151	163	142	152	154	178	124	185	118	182	130	1517	1265	165	132	1682	1397	454
常磐地区	132	97	130	96	145	73	132	92	94	123	83	83	121	94	124	94	123	82	1195	815	128	82	1293	897	410
小名浜地区	361	131	357	125	360	132	349	138	343	130	354	132	362	127	352	130	366	129	320	1174	324	139	3528	1313	271
勿来地区	237	106	224	112	207	129	228	113	198	133	209	122	195	142	199	136	199	138	1896	1131	208	114	2104	1245	462
地域型計②	2668	1892	2542	1811	2814	1706	2439	1914	2616	1616	2444	1822	2893	1452	2795	1457	2917	1388	2398	1494	2387	1724	2625	1632	383
近隣型計③	2166	1508	2084	1517	2121	1466	2078	1485	2078	1529	2028	1529	2143	1353	2143	1375	2214	1334	19035	12990	1991	1382	21026	14372	406
総合計①+②+③	7385	5441	7293	5247	7357	5247	7341	5352	7298	5067	6945	5333	7452	5032	7440	5023	7853	4936	66124	48325	7022	4900	73193	51826	415
	576	424	574	426	584	416	583	417	590	410	557	443	597	403	597	403	607	393	585	415	591	409	585	415	492

上段は年数 下段は%

図表 5-4 商圈タイプ（買物場所）・都市別立地特性【未記入含】

単位：%

	背広・スーツ			セーター・ブラウス			家電製品			日用品			食料品		
	中心部商業地	郊外	未記入	中心部商業地	郊外	未記入	中心部商業地	郊外	未記入	中心部商業地	郊外	未記入	中心部商業地	郊外	未記入
福島市	37.7	46.0	16.3	39.1	43.2	17.7	30.7	51.2	18.1	33.9	50.1	16.0	34.2	50.1	15.8
郡山市	51.9	31.6	16.5	49.7	33.6	16.7	49.3	34.3	16.4	48.0	36.9	15.1	47.5	37.3	15.2
会津若松市	38.1	40.7	21.1	38.8	40.1	21.1	39.2	37.7	23.1	46.6	32.2	2.1	49.7	31.1	19.2
平地区	60.9	19.7	19.4	59.7	21.2	19.1	61.6	19.2	19.2	54.6	25.3	2.0	54.4	26.4	19.2
広域型計①	46.5	36.0	17.5	46.1	35.9	18.0	43.4	38.3	18.3	44.0	39.1	1.7	44.3	39.2	16.5
二本松市	38.5	45.2	16.3	39.9	41.2	18.9	26.9	51.8	21.3	45.2	33.9	2.0	46.2	34.6	19.3
旧保原町	35.7	46.5	17.8	44.6	37.1	18.3	33.8	45.5	20.7	52.6	24.4	2.3	55.9	20.7	23.5
旧本宮町	37.4	48.3	14.3	37.0	46.1	17.0	28.7	54.3	17.0	40.4	39.6	2.0	41.3	40.0	18.7
川俣町	44.1	36.2	19.7	51.2	29.1	19.7	33.9	45.7	20.5	40.9	33.1	2.6	46.5	26.8	26.8
須賀川市	46.8	35.6	17.5	45.8	36.4	17.8	44.5	35.1	20.5	47.7	32.4	1.9	48.6	31.8	19.6
旧船引町	44.1	39.8	16.1	46.8	34.9	18.3	49.5	30.1	20.4	57.5	21.5	2.1	60.8	19.4	19.9
石川町	41.8	42.5	15.7	39.9	39.9	20.3	39.2	36.6	24.2	43.8	32.7	2.3	40.5	35.3	24.2
小野町	50.5	30.8	18.7	43.0	31.8	25.2	48.6	31.8	19.6	40.2	32.7	2.7	41.1	33.6	25.2
白河市	54.5	30.5	14.9	52.0	31.8	16.2	63.4	19.8	16.8	67.4	17.1	1.5	68.8	15.2	16.0
矢吹町	42.6	37.6	19.9	39.0	39.0	22.0	31.9	46.1	22.0	54.6	22.0	2.3	58.2	19.9	22.0
棚倉町	43.6	37.8	18.6	42.9	35.3	21.8	48.7	29.9	24.4	46.8	23.1	3.0	56.4	18.6	25.0
喜多方市	41.5	36.4	22.2	44.0	30.2	25.8	38.2	35.3	26.5	50.5	21.5	2.8	56.4	17.5	26.2
会津坂下町	38.3	40.1	21.6	43.2	34.6	22.2	35.2	43.2	21.6	56.2	21.0	2.2	59.9	18.5	21.6
旧田島町	41.8	38.5	19.7	42.6	32.8	24.6	39.3	32.8	27.9	59.0	15.6	2.5	62.3	13.1	24.6
相馬市	47.8	32.0	20.2	45.9	31.5	22.7	48.8	25.1	26.1	58.8	17.8	2.3	62.2	14.6	23.2
旧原町市	45.7	36.9	17.4	41.8	40.5	17.7	39.5	40.0	20.5	46.2	32.2	2.1	47.3	33.8	19.0
常磐地区	46.5	34.2	19.4	45.8	33.8	20.4	45.4	29.2	25.4	42.6	33.1	2.4	45.4	32.4	22.2
小名浜地区	58.0	21.1	20.9	57.4	20.1	22.5	56.9	21.2	21.9	58.2	20.4	2.1	58.8	20.7	20.4
勿来地区	54.4	24.3	21.3	51.4	25.7	22.9	47.9	28.0	24.1	44.7	32.6	2.2	45.6	31.7	22.7
地域型計②	47.0	34.4	18.6	46.5	33.1	20.3	44.7	33.3	21.9	51.3	26.6	2.1	53.4	25.4	21.2
近隣型計③	47.0	32.7	20.2	45.3	32.9	21.8	44.0	33.2	22.8	46.5	29.4	2.4	48.1	29.0	23.0
総合計①+②+③	46.8	34.5	18.7	46.0	34.1	19.9	44.0	35.1	20.9	47.3	31.9	2.0	48.5	31.4	20.0

6 購買行動の特性

本節では購買行動の特性について、買物店舗の形態と買物店舗の選択理由をそれぞれ品目別、商圈別などから分析していく。

(1) 買物店舗形態

品目別にみた買物店舗の利用状況を示したものが図表6-1である。ここでは、店舗の利用状況を店舗形態の面から分析している。店舗の形態としては「個人商店」、「スーパー」、「コンビニエンスストア」、「デパート」、「大型専門店・量販店」、「アウトレットモール」、「ショッピングセンター」の7形態*を設定した。

10品目合計で見ると「大型専門店・量販店」(39.1%)の割合が最も高く、以下、「ショッピングセンター」(30.4%)、「スーパー」(17.3%)と続いており、この3形態で全体の86.9%を占めている。

*店舗形態の区分については、「I調査の実施概要 2今回調査の特徴」を参照されたい。

ア 品目別買物店舗の概況

[背広・スーツ]

「大型専門店・量販店」(54.8%)の割合が最も高く、次に「ショッピングセンター」(25.6%)が続いており、この2形態で80.4%を占めている。「デパート」(12.8%)の割合も高い。

[セーター・ブラウス]

「ショッピングセンター」(52.3%)の割合が最も高く、次に「大型専門店・量販店」(26.3%)が続いており、この2形態で78.6%を占めている。「デパート」(11.4%)の割合も高い。

[下着]

「ショッピングセンター」(52.0%)の割合が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」(31.0%)が続いており、この2形態で83.0%を占めている。「デパート」(8.2%)の割合も高い。

[靴・バッグ]

「ショッピングセンター」(48.7%)の割合が最も高く、次に「大型専門店・量販店」(26.1%)が続いており、この2形態で74.8%を占めている。「デパート」(13.2%)の割合も高い。

[本・CD]

「大型専門店・量販店」(55.5%)の割合が最も高く、次に「ショッピングセンター」(31.2%)が続いており、この2形態で86.7%を占めている。

[家電製品]

「大型専門店・量販店」(89.0%)の割合が圧倒的に高く、次に「ショッピングセンター」(6.6%)となっている。

[日用品]

「スーパー」(44.9%)の割合が最も高く、次に「大型専門店・量販店」(34.6%)が続いており、この2形態で79.5%を占めている。「ショッピングセンター」(16.9%)の割合も高い。

[医薬品・化粧品]

「大型専門店・量販店」(50.3%)の割合が最も高く、次に「スーパー」(26.5%)が続いており、この2形態で76.8%を占めている。「ショッピングセンター」(17.2%)の割合も高い。

[食料品]

「スーパー」(82.0%)の割合が圧倒的に高く、次に「ショッピングセンター」(9.6%)、「大型専門店・量販店」(4.3%)が続いている。

[時計・アクセサリ]

「ショッピングセンター」(46.4%)の割合が最も高く、次に「デパート」(19.8%)、「大型専門店・量販店」(19.4%)が続いている。「アウトレットモール」(9.9%)の割合も高い。

品目別買物店舗の傾向として、食料品は「スーパー」、家電製品や本・CDは「大型専門店・量販店」の利用が多数を占めている。

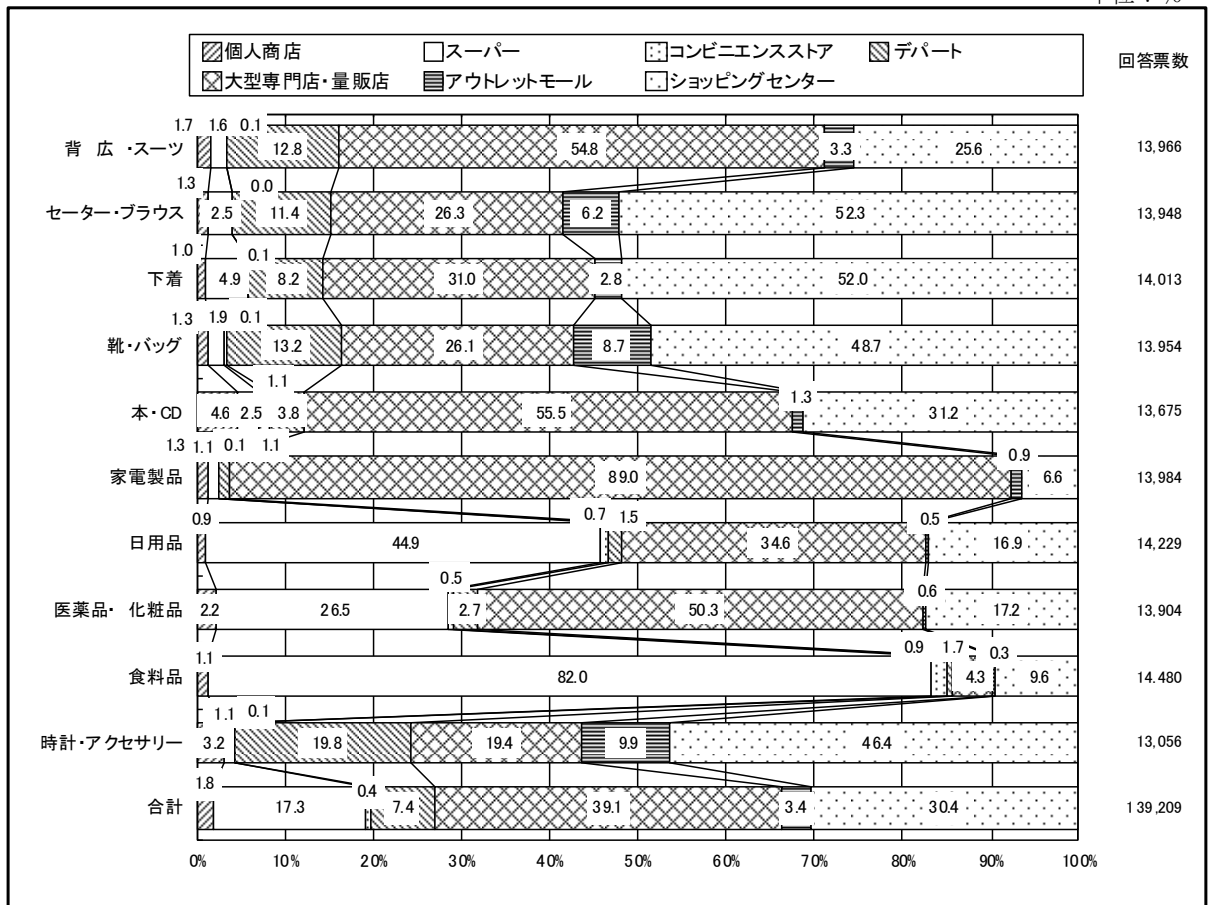
最寄品である日用品や医薬品・化粧品は、「スーパー」と「大型専門店・量販店」が利用されており、各種スーパーやドラッグストアやホームセンターが買物場所として想定される。買回品の中でも服飾関係の品目では、「ショッピングセンター」と「大型専門店・量販店」が中心に利用されており、「アウトレットモール」も比較的多く利用されている。服飾品の中でも高価格が想定される時計・アクセサリや靴・バッグ、背広・スーツでは、デパートの利用割合も比較的高い。

使用頻度が高く機能が重視される品目ほど「スーパー」が利用され、嗜好性が高まるほど「デパート」が利用される傾向にある。

「大型専門店・量販店」と「ショッピングセンター」は、いずれの場合にも中心的な役割を果たしているものと考えられる。

図表 6-1 品目別買物店舗

単位：%



* 回答票数：品目別買物場所回答者のうち、買物店舗形態に回答した者

イ 品目別にみた買物店舗の形態

品目別にみた買物店舗形態について、広域型、地域型、近隣型そして県外の4つの商圏タイプ（買物場所）別に分析したものが図表6-2である。

10品目合計でみると、広域型と地域型の商圏タイプでは「大型専門店・量販店」の割合が40%以上で最も高く、次に「ショッピングセンター」、「スーパー」の順になっている。また、近隣型では「スーパー」(38.0%)が最も高く、「大型専門店・量販店」(30.9%)がこれに続いている。各商圏タイプにおける商業施設の立地状況が影響しているものと考えられる。

県外では「ショッピングセンター」(37.4%)の割合が最も高く、次いで「アウトレットモール」(26.1%)、「デパート」(20.7%)が続いている。県外で「アウトレットモール」の割合が高いのは、県内に「アウトレットモール」の立地がない一方、宮城県仙台市、栃木県那須地方、茨城県等に、福島県から自動車アクセスしやすい「アウトレットモール」が立地しているためと考えられる。

以下、品目ごとに商圏タイプ別及び買物支出額別に詳しく分析していく。

図表6-2 商圈タイプ（買物場所）別・品目別 買物店舗形態

単位：％

		個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	モアウトレット	セッションタング	計	回答票数
合計	広域型	1.2	12.8	0.3	9.3	42.2	2.1	32.0	100.0	64,626
	地域型	2.4	21.8	0.5	2.9	42.0	1.7	28.8	100.0	37,950
	近隣型	3.1	38.0	0.8	3.4	30.9	1.2	22.6	100.0	9,700
	県外	1.2	0.8	0.0	20.7	13.9	26.1	37.4	100.0	6,941
スポーツ・バック	広域型	1.3	1.1	0.1	13.6	59.1	1.3	23.5	100.0	8,385
	地域型	2.8	2.1	0.0	5.8	59.4	2.3	27.6	100.0	2,566
	近隣型	3.7	6.4	0.3	8.8	42.6	0.8	37.5	100.0	376
	県外	0.9	0.1	0.0	26.3	18.6	20.9	33.1	100.0	1,060
ファッション・アクセサリー	広域型	0.9	1.7	0.0	13.4	26.6	3.0	54.3	100.0	7,236
	地域型	2.0	3.9	0.0	5.5	32.9	3.1	52.6	100.0	3,172
	近隣型	2.3	9.0	0.0	9.6	24.6	3.9	50.6	100.0	512
	県外	1.1	0.2	0.0	15.9	8.4	30.3	44.1	100.0	1,292
下着	広域型	0.4	3.6	0.1	10.3	29.6	1.7	54.4	100.0	6,529
	地域型	1.3	5.9	0.0	4.5	36.4	1.6	50.4	100.0	4,330
	近隣型	1.7	12.1	0.3	6.9	28.9	1.1	49.1	100.0	752
	県外	0.9	0.4	0.0	13.3	9.8	28.2	47.5	100.0	543
靴・バッグ	広域型	0.8	1.3	0.0	15.2	28.1	4.6	49.9	100.0	7,098
	地域型	2.1	3.0	0.1	5.1	30.8	4.5	54.3	100.0	2,743
	近隣型	2.6	7.5	0.2	9.1	23.6	6.0	51.0	100.0	416
	県外	1.1	0.2	0.0	19.4	9.6	33.1	36.7	100.0	1,690
本・CD	広域型	2.7	1.5	0.9	5.3	57.3	0.8	31.4	100.0	6,285
	地域型	6.6	2.8	1.1	1.8	57.0	1.4	29.4	100.0	4,456
	近隣型	7.7	5.5	1.9	2.6	48.8	1.0	32.5	100.0	770
	県外	2.4	0.8	0.4	5.9	30.2	8.6	51.8	100.0	255
家電製品	広域型	0.6	0.8	0.1	1.1	91.6	0.8	5.1	100.0	7,480
	地域型	1.3	1.2	0.1	0.7	88.3	0.8	7.7	100.0	3,897
	近隣型	8.7	2.0	0.3	2.8	73.9	2.3	10.0	100.0	391
	県外	0.0	0.0	0.0	1.8	77.2	4.8	16.2	100.0	167
日用品	広域型	0.7	44.0	0.6	1.6	36.1	0.5	16.4	100.0	4,950
	地域型	0.7	44.5	0.6	1.1	35.7	0.3	17.1	100.0	4,941
	近隣型	1.7	48.3	0.7	1.3	33.1	0.4	14.5	100.0	2,037
	県外	0.0	13.5	0.0	5.8	30.8	5.8	44.2	100.0	52
化粧品	広域型	1.9	24.2	0.5	3.7	51.7	0.5	17.5	100.0	5,070
	地域型	2.1	25.5	0.4	1.5	52.8	0.4	17.3	100.0	4,814
	近隣型	2.8	33.2	0.5	1.4	47.7	0.7	13.8	100.0	1,846
	県外	3.8	7.5	0.0	25.0	27.5	5.0	31.3	100.0	80
食料品	広域型	0.8	84.2	1.6	0.9	3.9	0.3	8.2	100.0	4,886
	地域型	0.8	81.4	1.6	0.9	4.5	0.3	10.6	100.0	5,074
	近隣型	2.0	82.3	1.7	0.8	4.3	0.1	8.8	100.0	2,228
	県外	0.0	56.9	2.0	2.0	9.8	3.9	25.5	100.0	51
時計・アクセサリー	広域型	2.3	0.9	0.1	21.6	20.5	6.2	48.4	100.0	6,707
	地域型	6.4	2.0	0.0	8.3	22.1	7.7	53.4	100.0	1,957
	近隣型	5.9	4.3	0.0	15.1	20.7	6.7	47.3	100.0	372
	県外	1.6	0.2	0.0	29.0	11.0	25.5	32.8	100.0	1,751

[背広・スーツ]

商圈タイプ（買物場所）別にみた場合、広域型では「大型専門店・量販店」（59.1%）の割合が最も高く、以下、「ショッピングセンター」（23.5%）、「デパート」（13.6%）が続いている。

地域型では「大型専門店・量販店」（59.4%）の割合が最も高く、商圈タイプ別でも最も高い。次いで「ショッピングセンター」（27.6%）が続いている。

近隣型においても「大型専門店・量販店」（42.6%）が最も高いが、「ショッピングセンター」（37.5%）が同程度の割合が続いている。

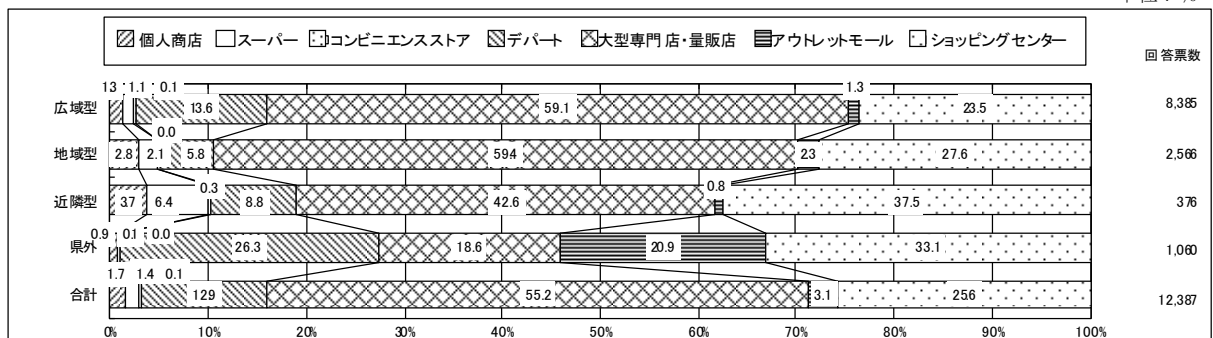
いずれの商圈タイプも「大型専門店・量販店」の割合が最も高く、商圈規模が大きいほど「大型専門店・量販店」の割合が高い。これは、商圈規模が大きくなるほど「大型専門店・量販店」の出店が多くなるためと考えられ、他の品目にも共通する傾向である。

県外では「ショッピングセンター」（33.1%）が最も高く、次いで、「デパート」（26.3%）、「アウトレットモール」（20.9%）、「大型専門店・量販店」（18.6%）の順となっている。

全体としては、「大型専門店・量販店」（55.2%）が半数以上を占め、次に「ショッピングセンター」（25.6%）、「デパート」（12.9%）が続いている。

図表 6-3-1 商圈タイプ（買物場所）別店舗形態（背広・スーツ）

単位：%



* 回答票数：買物場所回答者のうち、買物店舗形態に回答した者（以下、すべての品目で同じ）

買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「大型専門店・量販店」が 50%程度で最も高い。次に、買物支出額が 15 万円未満の各層では「ショッピングセンター」が 20%程度が続いている。

図表 6-3-2 買物支出額別店舗形態（背広・スーツ）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万円 未 満	26 1.5	37 2.1	5 0.3	212 11.9	911 51.3	74 4.2	510 28.7	1,775 100.0
5~10 万円 未 満	129 1.6	130 1.6	10 0.1	997 12.1	4,585 55.7	258 3.1	2,120 25.8	8,229 100.0
10~15 万円 未 満	50 1.7	43 1.5	1 0.0	417 14.1	1,651 55.9	97 3.3	694 23.5	2,953 100.0
15 万 円 以 上	32 4.1	14 1.8	0 0.0	130 16.6	394 50.2	26 3.3	189 24.1	785 100.0
合 計	237 1.7	224 1.6	16 0.1	1,756 12.8	7,541 54.9	455 3.3	3,513 25.6	13,742 100.0

[セーター・ブラウス]

商圈タイプ別にみた場合、広域型では「ショッピングセンター」(54.3%)の割合が最も高く、以下、「大型専門店・量販店」(26.6%)、「デパート」(13.4%)が続いている。

地域型でも「ショッピングセンター」(52.6%)が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」(32.9%)が続いている。

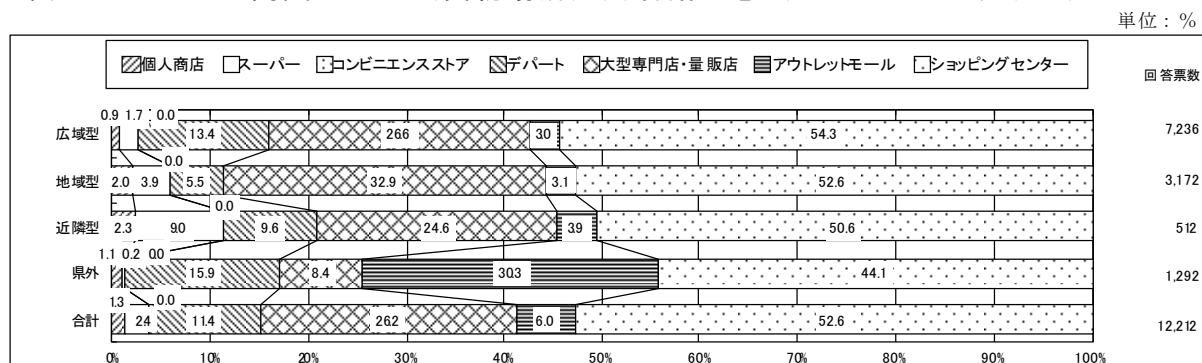
近隣型においても「ショッピングセンター」(50.6%)が最も高いが、次いで「大型専門店・量販店」(24.6%)、「デパート」(9.6%)が続いている。

いずれの商圈タイプも「ショッピングセンター」の割合が50%近くで最も高く、次いで「大型専門店・量販店」となっている。商圈規模が大きいほど「デパート」、商圈規模が小さくなるほど「スーパー」の割合が高くなる。近年ではスーパーでも衣料品を取り扱っている店舗があるため、買物場所として選ばれていると考える。

県外では「ショッピングセンター」(44.1%)が最も高く、次いで、「アウトレットモール」(30.3%)、「デパート」(15.9%)の順となっている。

全体としては「ショッピングセンター」(52.6%)が約50%を占め、次に「大型専門店・量販店」(26.2%)、「デパート」(11.4%)が続いている。

図表 6-4-1 商圈タイプ(買物場所)別店舗形態(セーター・ブラウス)



買物支出額別では、すべての支出額層で「ショッピングセンター」が50%程度で最も高く、次いで「大型専門店・量販店」が20%を超えており、この2形態で70%以上となっている。また、支出額が大きくなるにつれて「ショッピングセンター」の割合が低くなり、「デパート」の割合が高くなる傾向がある。

図表 6-4-2 買物支出額別店舗形態(セーター・ブラウス)

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5万円未満	29	45	1	195	445	113	951	1,779
	1.6	2.5	0.1	11.0	25.0	6.4	53.5	100.0
5~10万円未満	98	198	1	915	2,199	494	4,326	8,231
	1.2	2.4	0.0	11.1	26.7	6.0	52.6	100.0
10~15万円未満	42	77	1	349	781	190	1,500	2,940
	1.4	2.6	0.0	11.9	26.6	6.5	51.0	100.0
15万円以上	14	28	0	106	189	51	389	777
	1.8	3.6	0.0	13.6	24.3	6.6	50.1	100.0
合計	183	348	3	1,565	3,614	848	7,166	13,727
	1.3	2.5	0.0	11.4	26.3	6.2	52.2	100.0

〔下着〕

商圈タイプ別にみた場合、広域型では「ショッピングセンター」(54.4%)の割合が半数を超え最も高く、以下、「大型専門店・量販店」(29.6%)、「デパート」(10.3%)が続いている。

地域型でも「ショッピングセンター」(50.4%)が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」(36.4%)、「スーパー」(5.9%)が続いている。

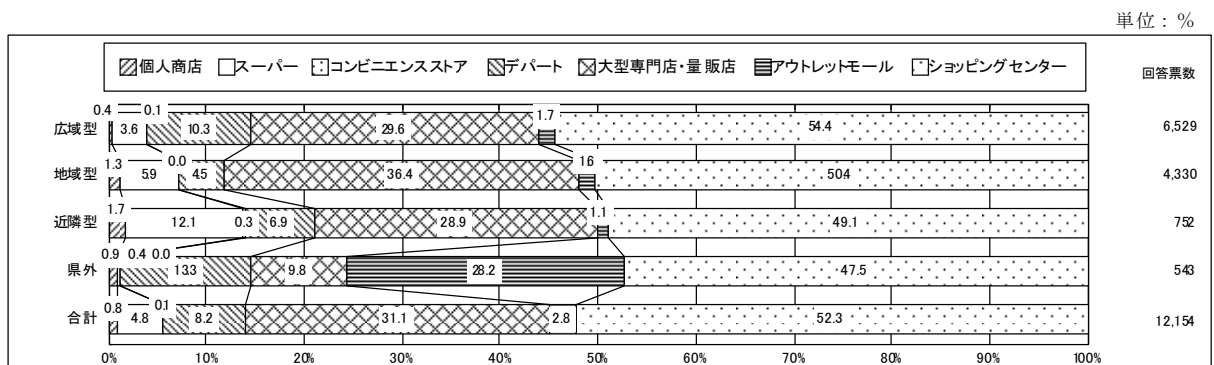
近隣型においても「ショッピングセンター」(49.1%)が最も高いが、次いで「大型専門店・量販店」(28.9%)、「スーパー」(12.1%)が続いている。

いずれの商圈タイプも「ショッピングセンター」が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」となっている。セーター・ブラウス同様、商圈規模が小さくなるほど「スーパー」の割合が高くなる。

県外では「ショッピングセンター」(47.5%)が最も高く、次いで、「アウトレットモール」(28.2%)、「デパート」(13.3%)の順となっている。

全体としては「ショッピングセンター」(52.3%)が半数を超え最も高く、次に「大型専門店・量販店」(31.1%)、「デパート」(8.2%)が続いている。

図表 6-5-1 商圈タイプ（買物場所）別店舗形態（下着）



買物支出額別では、すべての支出額層で「ショッピングセンター」が 50%程度、「大型専門店・量販店」が 30%程度で、この 2 形態で 80%程度となっている。支出額による大きな差はみられない。

図表 6-5-2 買物支出額別店舗形態（下着）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万円未満	25 1.4	70 3.9	2 0.1	160 8.8	508 28.0	65 3.6	987 54.3	1,817 100.0
5～10万円未満	75 0.9	397 4.8	4 0.0	671 8.1	2,568 31.1	222 2.7	4,327 52.4	8,264 100.0
10～15万円未満	28 1.0	155 5.3	0 0.0	246 8.4	933 31.9	82 2.8	1,482 50.6	2,926 100.0
15 万円以上	13 1.7	53 6.8	2 0.3	62 7.9	259 33.0	22 2.8	373 47.6	784 100.0
合計	141 1.0	675 4.9	8 0.1	1,139 8.3	4,268 30.9	391 2.8	7,169 52.0	13,791 100.0

[靴・バッグ]

商圈タイプ別にみた場合、広域型では「ショッピングセンター」(49.9%)の割合が最も高く、以下、「大型専門店・量販店」(28.1%)、「デパート」(15.2%)が続いている。

地域型でも「ショッピングセンター」(54.3%)の割合が半数を超え、次いで「大型専門店・量販店」(30.8%)、「デパート」(5.1%)が続いている。

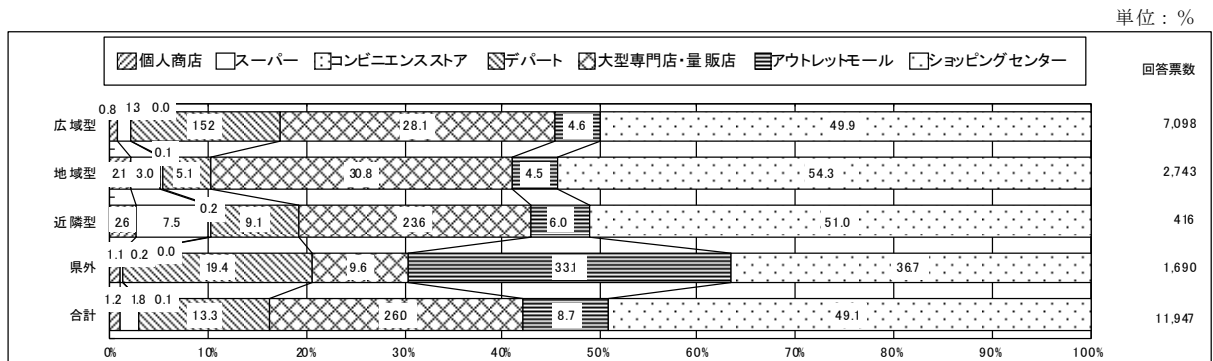
近隣型においても「ショッピングセンター」(51.0%)が最も高いが、次いで「大型専門店・量販店」(23.6%)、「デパート」(9.1%)が続いている。

いずれの商圈タイプも「ショッピングセンター」の割合が50%程度で最も高く、次いで「大型専門店・量販店」となっている。商圈規模が小さくなるほど「スーパー」の割合が高くなる。

県外では「ショッピングセンター」(36.7%)が最も高く、次いで「アウトレットモール」(33.1%)、「デパート」(19.4%)の順となっている。

全体としては「ショッピングセンター」(49.1%)が最も高く、次に「大型専門店・量販店」(26.0%)、「デパート」(13.3%)、「アウトレットモール」(8.7%)が続いている。

図表 6-6-1 商圈タイプ(買物場所)別店舗形態(靴・バッグ)



買物支出額別では、すべての支出額層で「ショッピングセンター」が40%以上、「大型専門店・量販店」が20%程度の順となっている。支出額が15万円未満の各層では、この2形態で70%以上となっている。支出額が大きくなるにつれて「デパート」の割合が増加する傾向がある。

図表 6-6-2 買物支出額別店舗形態(靴・バッグ)

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5万円未満	29 1.6	34 1.9	2 0.1	220 12.1	441 24.4	151 8.3	934 51.6	1,811 100.0
5~10万円未満	89 1.1	150 1.8	7 0.1	1,033 12.6	2,174 26.5	743 9.1	4,012 48.9	8,208 100.0
10~15万円未満	34 1.2	56 1.9	0 0.0	420 14.3	781 26.7	249 8.5	1,389 47.4	2,929 100.0
15万円以上	24 3.1	17 2.2	1 0.1	140 17.8	198 25.2	59 7.5	346 44.1	785 100.0
合計	176 1.3	257 1.9	10 0.1	1,813 13.2	3,594 26.2	1,202 8.8	6,681 48.6	13,733 100.0

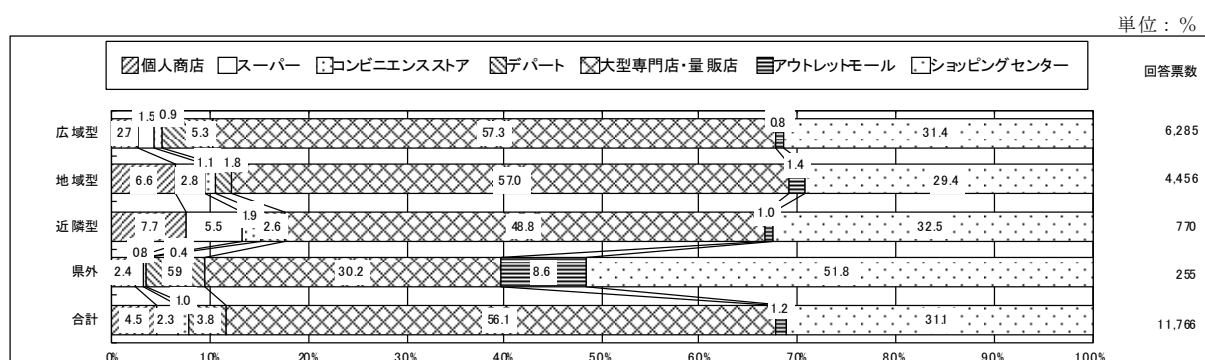
[本・CD]

商圈タイプ別にみた場合、広域型、地域型、近隣型いずれも「大型専門店・量販店」の割合が40%以上を占めており、広域型と地域型は60%近く、商圈タイプ別で最も割合が高くなっている。県外では「ショッピングセンター」が51.8%となっている。

いずれの商圈タイプも「大型専門店・量販店」の次に多いのは「ショッピングセンター」であり、次いで広域型では「デパート」、地域型と近隣型では「個人商店」である。「個人商店」の割合は10品目のうち最も高い。商圈規模が小さいほど「大型専門店・量販店」の割合が少なく、「個人商店」、「スーパー」、「コンビニエンスストア」の割合が高くなる。

全体的にみると、「大型専門店・量販店」(56.1%)が半数以上を占めており、次いで、「ショッピングセンター」(31.1%)、「個人商店」(4.5%)の順となっている。

図表6-7-1 商圈タイプ（買物場所）別店舗形態（本・CD）



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「大型専門店・量販店」が50%以上で最も高く、次いで「ショッピングセンター」が30%程度で続いている。「個人商店」の割合は支出額による大きな差はみられない。

図表6-7-2 買物支出額別店舗形態（本・CD）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5万円未満	78	51	26	78	901	40	583	1,757
	4.4	2.9	1.5	4.4	51.3	2.3	33.2	100.0
5～10万円未満	339	188	85	303	4,504	101	2,554	8,074
	4.2	2.3	1.1	3.8	55.8	1.3	31.6	100.0
10～15万円未満	160	67	24	97	1,635	31	856	2,870
	5.6	2.3	0.8	3.4	57.0	1.1	29.8	100.0
15万円以上	44	26	8	30	432	9	212	761
	5.8	3.4	1.1	3.9	56.8	1.2	27.9	100.0
合計	621	332	143	508	7,472	181	4,205	13,462
	4.6	2.5	1.1	3.8	55.5	1.3	31.2	100.0

[家電製品]

商圈タイプ別にみた場合、すべての商圈タイプで「大型専門店・量販店」の割合が圧倒的に高くなっており、特に広域型では90%以上と、商圈タイプ別で最も割合が高くなっている。主な買物場所として、家電量販店やホームセンターが考えられる。次いで、すべての商圈タイプで「ショッピングセンター」となっている。

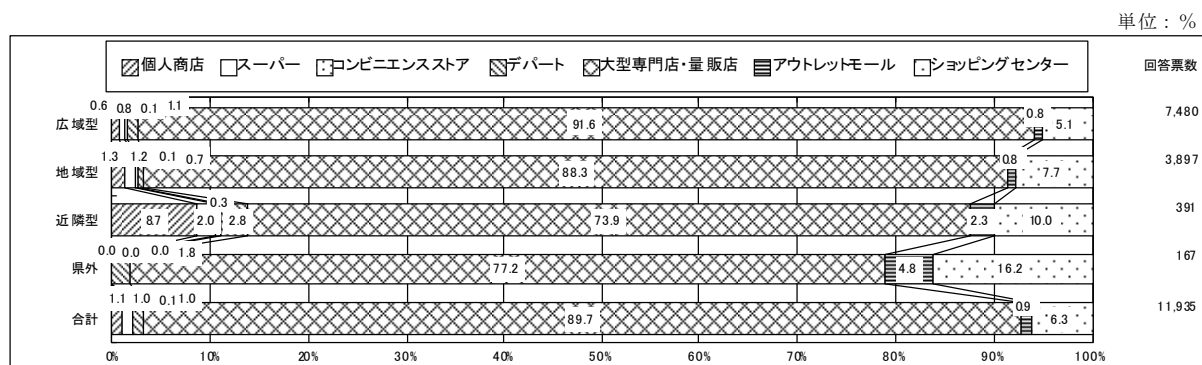
広域型では、以下「デパート」(1.1%)と「スーパー」(0.8%)、「個人商店」(0.6%)が同程度で続いている。

地域型では、以下「個人商店」(1.3%)と「スーパー」(1.2%)、近隣型でも「個人商店」(8.7%)と「デパート」(2.8%)が続いている。

商圈規模が小さくなるほど「大型専門店・量販店」の割合が減少し、「ショッピングセンター」、「個人商店」、「スーパー」の割合が高くなる。

合計でみると「大型専門店・量販店」(89.7%)が約90%を占めており、次いで「ショッピングセンター」(6.3%)、「個人商店」(1.1%)の順になっている。

図表6-8-1 商圈タイプ(買物場所)別店舗形態(家電製品)



買物支出額別では、すべての支出額層で「大型専門店・量販店」の割合が圧倒的に高くなっている。

図表6-8-2 買物支出額別店舗形態(家電製品)

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5万円未満	23	26	1	29	1,548	23	163	1,813
	1.3	1.4	0.1	1.6	85.4	1.3	9.0	100.0
5~10万円未満	89	105	5	79	7,371	77	519	8,245
	1.1	1.3	0.1	1.0	89.4	0.9	6.3	100.0
10~15万円未満	22	38	1	37	2,627	22	172	2,919
	0.8	1.3	0.0	1.3	90.0	0.8	5.9	100.0
15万円以上	14	10	1	7	690	4	54	780
	1.8	1.3	0.1	0.9	88.5	0.5	6.9	100.0
合計	148	179	8	152	12,236	126	908	13,757
	1.1	1.3	0.1	1.1	88.9	0.9	6.6	100.0

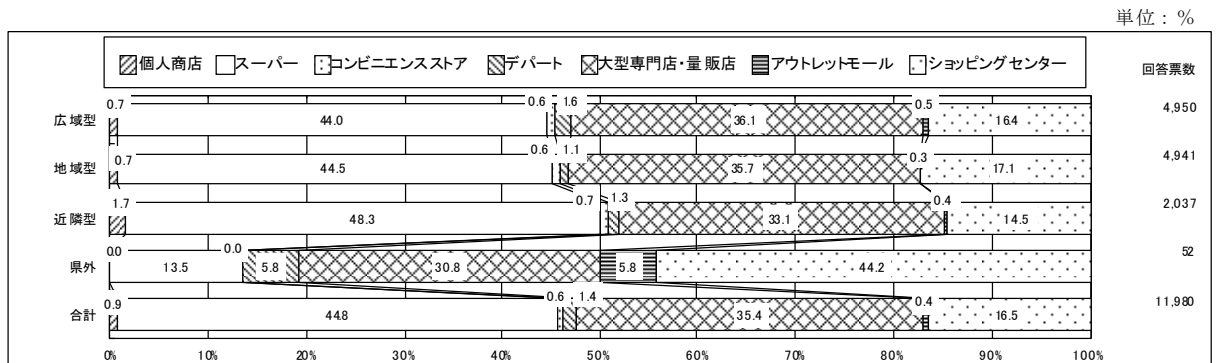
[日用品]

商圈タイプ別にみた場合、広域型と地域型、近隣型いずれも「スーパー」の割合が最も高くなっており、近隣型では50%近く商圈タイプ別で最も高くなっている。また、「スーパー」の次に割合が高いのは、広域型と地域型、近隣型いずれも「大型専門店・量販店」となっている。

県外で日用品の買物をする人の数は極めて少ない。

合計でみると「スーパー」(44.8%)が50%近くを占め、次いで、「大型専門店・量販店」(35.4%)の順となっている。

図表6-9-1 商圈タイプ（買物場所）別店舗形態（日用品）



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「スーパー」の割合が40%以上で最も高く、次いで「大型専門店・量販店」が30%程度で続いている。すべての支出額層でこの2形態で70%程度を占めている。

図表6-9-2 買物支出額別店舗形態（日用品）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5万円未満	23 1.2	805 42.9	19 1.0	45 2.4	565 30.1	15 0.8	403 21.5	1,875 100.0
5～10万円未満	83 1.0	3,764 45.0	51 0.6	124 1.5	2,928 35.0	38 0.5	1,377 16.5	8,365 100.0
10～15万円未満	18 0.6	1,370 46.2	16 0.5	37 1.2	1,063 35.9	16 0.5	445 15.0	2,965 100.0
15万円以上	8 1.0	336 42.6	7 0.9	6 0.8	296 37.6	1 0.1	134 17.0	788 100.0
合計	132 0.9	6,275 44.8	93 0.7	212 1.5	4,852 34.7	70 0.5	2,359 16.9	13,993 100.0

[医薬品・化粧品]

商圈タイプ別にみた場合、広域型、地域型、近隣型いずれも「大型専門店・量販店」の割合が最も高くなっている。主な買物場所として、ドラッグストアやホームセンターが考えられる。広域型では「大型専門店・量販店」(51.7%)が半数を超え、商圈タイプ別で最も高くなっている。次いで「スーパー」(24.2%)となっている。

地域型でも「大型専門店・量販店」(52.8%)が半数を超え、商圈タイプ別で最も高く、次いで「スーパー」(25.5%)の順となっている。

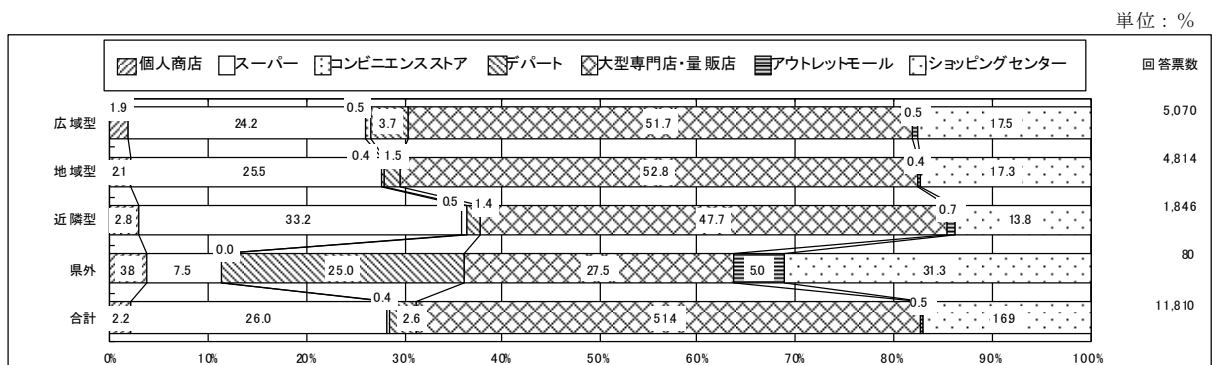
近隣型では「大型専門店・量販店」(47.7%)が最も高いが、「スーパー」(33.2%)との差は小さい。

商圈規模が小さくなるほど「大型専門店・量販店」の割合が減少し、「スーパー」、「個人商店」の割合が高くなる。

県外で医薬品・化粧品の買物をする者の数は極めて少ない。

合計でみると「大型専門店・量販店」(51.4%)が約半数を占めており、次いで「スーパー」(26.0%)の順となっている。

図表6-10-1 商圈タイプ(買物場所)別店舗形態(医薬品・化粧品)



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「大型専門店・量販店」の割合が40%以上と最も高く、次いで「スーパー」が20%程度で続いている。

図表6-10-2 買物支出額別店舗形態(医薬品・化粧品)

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5万円未満	49 2.7	484 26.7	17 0.9	59 3.3	813 44.8	18 1.0	373 20.6	1,813 100.0
5~10万円未満	159 1.9	2,199 26.9	36 0.4	196 2.4	4,183 51.1	43 0.5	1,371 16.7	8,187 100.0
10~15万円未満	70 2.4	767 26.4	11 0.4	86 3.0	1,487 51.1	18 0.6	469 16.1	2,908 100.0
15万円以上	23 3.0	178 23.2	2 0.3	26 3.4	405 52.8	4 0.5	129 16.8	767 100.0
合計	301 2.2	3,628 26.5	66 0.5	367 2.7	6,888 50.4	83 0.6	2,342 17.1	13,675 100.0

[食料品]

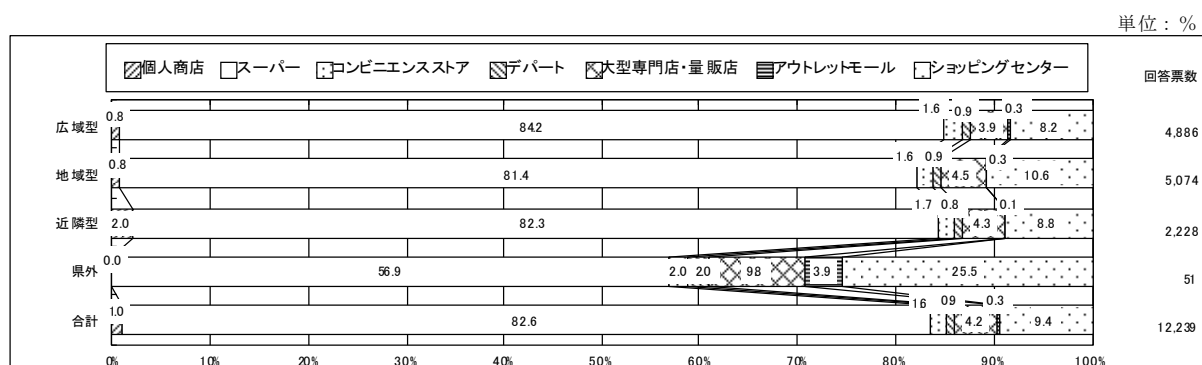
商圈タイプ別にみた場合、すべての商圈タイプで「スーパー」の占める割合が圧倒的に高くなっている。

また、すべての商圈において「スーパー」の次に「ショッピングセンター」の占める割合が高く、ショッピングセンター内の食料品売場が買物場所として想定される。近隣型では、「個人商店」(2.0%)の割合が、他の商圈タイプと比較して高くなっている。

県外で食料品の買物をする人の数はきわめて少ない。

全体的にみても「スーパー」(82.6%)が全体の大半を占め、以下、「ショッピングセンター」(9.4%)、「大型専門店・量販店」(4.2%)、「コンビニエンスストア」(1.6%)が続いている。

図表 6-11-1 商圈タイプ（買物場所）別店舗形態（食料品）



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「スーパー」が 8 割程度を占めて最も高く、次いで「ショッピングセンター」が続いている。

図表 6-11-2 買物支出額別店舗形態（食料品）

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5 万円未満	31	1,514	47	23	82	8	231	1,936
	1.6	78.2	2.4	1.2	4.2	0.4	11.9	100.0
5～10万円未満	91	7,024	141	73	372	27	785	8,513
	1.1	82.5	1.7	0.9	4.4	0.3	9.2	100.0
10～15万円未満	23	2,505	46	26	129	12	262	3,003
	0.8	83.4	1.5	0.9	4.3	0.4	8.7	100.0
15万円以上	16	633	13	6	34	3	86	791
	2.0	80.0	1.6	0.8	4.3	0.4	10.9	100.0
合計	161	11,676	247	128	617	50	1,364	14,243
	1.1	82.0	1.7	0.9	4.3	0.4	9.6	100.0

[時計・アクセサリー]

商圈タイプ別にみた場合、すべての商圈タイプで「ショッピングセンター」の占める割合が高くなっている。

広域型では、「ショッピングセンター」(48.4%)に次いで「デパート」(21.6%)と「大型専門店・量販店」(20.5%)が拮抗している。

地域型では「ショッピングセンター」(53.4%)が半数を超え、次いで「大型専門店・量販店」(22.1%)、「デパート」(8.3%)、「個人商店」(6.4%)となっている。

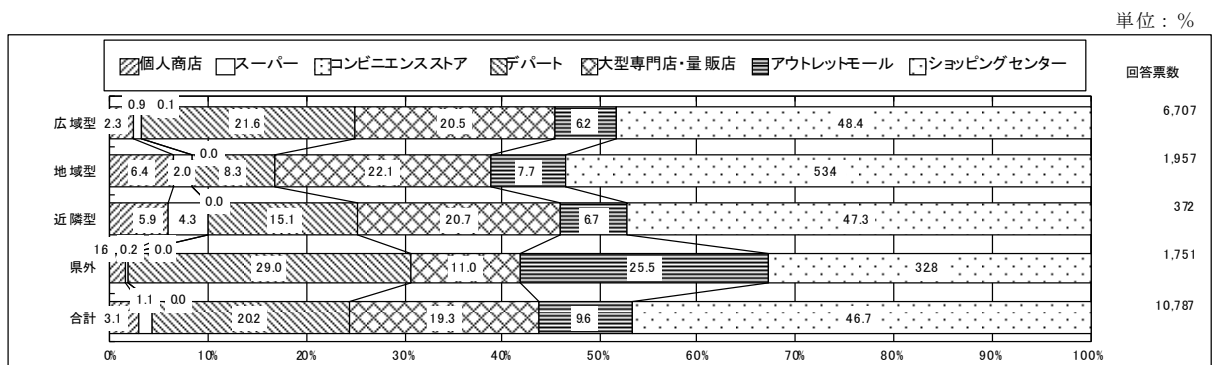
近隣型でも「ショッピングセンター」(47.3%)、「大型専門店・量販店」(20.7%)、「デパート」(15.1%)、「個人商店」(5.9%)と続いている。

商圈規模が小さいほど、「個人商店」、「スーパー」の割合が高くなる。

県外では、他の商圈タイプと比較して「アウトレットモール」(29.0%)の割合が高くなっている。

全体的にみても「ショッピングセンター」(46.7%)が40%以上を占め、以下「デパート」(20.2%)、「大型専門店・量販店」(19.3%)が続いている。

図表6-12-1 商圈タイプ(買物場所)別店舗形態(時計・アクセサリー)



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「ショッピングセンター」の割合が30%以上で最も高くなっている。次いで、10万円未満の各支出額層は「大型専門店・量販店」、10万円以上の各層は「デパート」が続いている。支出額が大きくなるにつれて「デパート」の割合が増加する傾向がみられる。

図表6-12-2 買物支出額別店舗形態(時計・アクセサリー)

上段は実数、下段は%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	合計
5万円未満	51	10	1	279	316	181	819	1,657
	3.1	0.6	0.1	16.8	19.1	10.9	49.4	100.0
5~10万円未満	227	92	6	1,476	1,514	786	3,617	7,718
	2.9	1.2	0.1	19.1	19.6	10.2	46.9	100.0
10~15万円未満	94	30	0	600	535	252	1,243	2,754
	3.4	1.1	0.0	21.8	19.4	9.2	45.1	100.0
15万円以上	44	9	0	193	127	60	285	718
	6.1	1.3	0.0	26.9	17.7	8.4	39.7	100.0
合計	416	141	7	2,548	2,492	1,279	5,964	12,847
	3.2	1.1	0.1	19.8	19.4	10.0	46.4	100.0

ウ 品目別・買物場所別にみた買物店舗形態

イでは利用している店舗形態を商圈タイプ(買物場所)別に分析したが、ここでは広域型、地域型について、さらに市町・地区別で買物店舗の形態を分析していく。ただし、回答票数の少ない市町・地区では、少数の回答であっても大きな割合になることに留意する必要がある。

なお、近隣型については、購買先の町村・地区の回答数が少ないことから分析からは除いている。

[背広・スーツ]

広域型についてみると、いずれも「大型専門店・量販店」(福島市 62.9%、郡山市 50.6%、会津若松市 64.5%、平地区 60.5%) の割合が最も高い。次いで福島市では「デパート」(16.0%) だが、他の3市・地区では「ショッピングセンター」(郡山市 30.2%、会津若松市 21.2%、平地区 22.4%) の順となっている。会津若松市では「大型専門店・量販店」が他都市と比べて高く、郡山市では「ショッピングセンター」が他都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、ほとんどの地区で「大型専門店・量販店」の割合が最も高くなっている。

図表 6-13-1 買物場所別買物店舗形態
(背広・スーツ)

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	1.5	1.8	0.2	16.0	62.9	3.5	14.2	100.0	1,758
郡山市	1.7	1.2	0.1	14.3	50.6	1.9	30.2	100.0	1,891
会津若松市	2.0	1.2	0.2	7.7	64.5	3.2	21.2	100.0	6,47
平地区	1.1	2.8	0.0	8.8	60.5	4.5	22.4	100.0	7,41
合計	1.6	1.6	0.1	13.2	58.1	3.0	22.3	100.0	5,037

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	3.7	0.4	0.0	18.1	53.1	3.0	21.8	100.0	2,71
旧保原町	4.8	0.5	0.0	12.9	60.2	1.6	19.9	100.0	1,86
旧本宮町	3.3	0.0	0.5	8.4	45.1	2.8	40.0	100.0	2,15
川俣町	0.9	1.7	0.0	17.4	67.0	2.6	10.4	100.0	1,15
須賀川市	0.8	0.8	0.2	16.9	50.9	3.3	27.1	100.0	6,09
旧船引町	1.8	3.5	0.0	9.4	58.8	0.6	25.9	100.0	1,70
石川町	0.7	0.7	0.0	9.8	54.5	2.8	31.5	100.0	1,43
小野町	2.1	3.1	0.0	11.5	50.0	8.3	25.0	100.0	96
白河市	1.9	1.4	0.0	12.8	48.3	6.0	29.7	100.0	4,31
矢吹町	4.0	0.8	0.8	14.4	48.8	4.8	26.4	100.0	1,25
棚倉町	1.5	3.0	0.0	10.4	45.2	7.4	32.6	100.0	1,35
喜多方市	1.3	2.1	0.0	13.6	59.3	2.5	21.2	100.0	2,36
会津坂下町	2.1	1.4	0.0	12.8	64.5	2.8	16.3	100.0	1,41
旧田島町	0.0	2.8	0.0	9.3	60.7	9.3	17.8	100.0	1,07
相馬市	1.4	1.9	0.0	10.3	48.1	7.1	31.3	100.0	3,68
旧厩町市	1.2	1.2	0.0	10.6	49.7	5.3	32.1	100.0	3,40
常盤地区	3.2	2.8	0.0	7.5	59.9	4.0	22.6	100.0	2,52
小名浜地区	2.9	1.7	0.0	7.9	57.1	3.1	27.3	100.0	5,45
勿来地区	2.2	1.4	0.3	12.3	50.4	2.7	30.7	100.0	3,65
合計	2.1	1.5	0.1	12.0	53.3	4.0	27.0	100.0	4,850

* 回答票数：買物場所回答者のうち、買物店舗形態に回答した者（以下、すべての品目で同じ）

[セーター・ブラウス]

広域型では、いずれも「ショッピングセンター」(福島市41.4%、郡山市61.0%、会津若松市48.2%、平地区56.2%)の割合が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」(福島市31.7%、郡山市20.6%、会津若松市30.5%、平地区24.4%)が続いている。郡山市、平地区では「ショッピングセンター」の割合が50%以上となっている。福島市では「デパート」(16.1%)の割合が他都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、最も割合が高い店舗形態が、市町・地区によって「大型専門店・量販店」と「ショッピングセンター」に分かれている。

図表6-13-2 買物場所別買物店舗形態
(セーター・ブラウス)

[広域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	1.0	2.6	0.0	16.1	31.7	7.1	41.4	100.0	1,750
郡山市	1.0	1.3	0.0	10.7	20.6	5.5	61.0	100.0	1,884
会津若松市	2.1	3.4	0.0	10.1	30.5	5.7	48.2	100.0	652
平地区	1.1	2.8	0.0	9.3	24.4	6.1	56.2	100.0	749
合計	1.2	2.3	0.0	12.3	26.3	6.2	51.8	100.0	5,035

[地域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	1.1	2.3	0.0	15.4	26.3	3.4	51.5	100.0	266
旧保原町	5.4	1.1	0.0	13.0	24.9	8.1	47.6	100.0	185
旧本宮町	1.9	0.5	0.0	8.9	22.5	2.8	63.4	100.0	213
川俣町	0.9	3.4	0.0	13.7	39.3	5.1	37.6	100.0	117
須賀川市	1.0	1.3	0.0	12.1	27.7	5.6	52.3	100.0	610
旧船引町	1.8	2.4	0.0	5.9	30.2	3.0	56.8	100.0	169
石川町	0.0	0.0	0.0	7.2	30.9	5.0	56.8	100.0	139
小野町	1.1	7.7	0.0	8.8	23.1	8.8	50.5	100.0	91
白河市	1.6	2.8	0.0	8.9	22.6	10.4	53.6	100.0	425
矢吹町	1.6	0.8	0.0	15.0	24.4	9.4	48.8	100.0	127
棚倉町	1.5	3.8	0.0	11.5	16.9	11.5	54.6	100.0	130
喜多方市	3.4	6.8	0.0	13.9	38.0	4.2	33.8	100.0	237
会津坂下町	6.3	1.4	0.0	12.7	36.6	4.2	38.7	100.0	142
旧田島町	0.0	4.0	0.0	11.9	28.7	14.9	40.6	100.0	101
相馬市	1.4	1.9	0.0	9.6	20.2	9.6	57.4	100.0	366
旧原町市	2.1	2.6	0.0	10.6	22.4	9.1	53.2	100.0	340
常磐地区	2.4	4.9	0.4	6.1	27.1	6.5	52.6	100.0	247
小名浜地区	1.1	2.0	0.0	6.6	24.6	6.4	59.3	100.0	545
勿来地区	1.6	5.1	0.0	8.3	25.1	5.3	54.7	100.0	375
合計	1.8	2.7	0.0	10.2	26.1	6.8	52.4	100.0	4,825

[下着]

広域型では、いずれも「ショッピングセンター」(福島市 41.9%、郡山市 62.4%、会津若松市 47.0%、平地区 55.9%) の割合が最も高く、次に「大型専門店・量販店」、「デパート」の順になっている。特に郡山市では「ショッピングセンター」の割合が高い。福島市では「デパート」(11.9%) が他都市と比べて高く、会津若松市では「スーパー」(6.3%) が他都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、最も割合が高い店舗形態が、市町・地区によって「大型専門店・量販店」と「ショッピングセンター」に分かれている。

図表 6-13-3 買物場所別買物店舗形態 (下着)

[広域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	0.6	5.9	0.1	11.9	36.9	2.7	41.9	100.0	1,769
郡山市	0.6	2.2	0.1	7.2	25.3	2.2	62.4	100.0	1,904
会津若松市	1.1	6.3	0.0	7.4	35.7	2.5	47.0	100.0	649
平地区	0.4	6.1	0.0	7.9	26.3	3.3	55.9	100.0	748
合計	0.6	4.6	0.1	9.0	30.8	2.6	52.3	100.0	5,070

[地域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	1.8	4.4	0.0	10.9	29.8	2.9	50.2	100.0	275
旧保原町	3.7	3.7	0.0	10.1	36.5	2.6	43.4	100.0	189
旧本宮町	1.4	0.9	0.0	4.2	30.7	1.4	61.3	100.0	212
川俣町	0.9	2.8	0.0	11.9	37.6	2.8	44.0	100.0	109
須賀川市	0.3	1.6	0.0	8.6	32.6	3.1	53.7	100.0	614
旧船引町	1.2	2.4	0.0	3.6	40.6	2.4	49.7	100.0	165
石川町	0.0	2.9	0.0	4.3	35.5	2.9	54.3	100.0	138
小野町	2.3	11.6	0.0	2.3	33.7	4.7	45.3	100.0	86
白河市	0.5	5.6	0.0	6.8	28.6	4.2	54.2	100.0	426
矢吹町	0.8	1.6	0.0	7.2	32.0	2.4	56.0	100.0	125
棚倉町	0.8	5.3	0.0	8.4	28.2	6.1	51.1	100.0	131
喜多方市	0.9	10.3	0.4	11.1	39.7	1.7	35.9	100.0	234
会津坂下町	9.9	1.4	0.0	9.2	38.3	2.8	38.3	100.0	141
旧田島町	0.0	7.6	0.0	7.6	28.6	7.6	48.6	100.0	105
相馬市	1.1	2.4	0.0	4.6	26.4	6.5	59.0	100.0	368
旧原町市	1.5	5.8	0.0	6.4	27.6	3.0	55.8	100.0	330
常磐地区	2.4	12.9	0.0	6.5	26.2	2.0	50.0	100.0	248
小名浜地区	0.5	4.8	0.0	5.7	27.6	3.0	58.3	100.0	561
勿来地区	2.1	11.3	0.0	5.8	32.1	1.6	47.1	100.0	380
合計	1.4	5.1	0.0	7.1	31.2	3.2	51.9	100.0	4,837

[靴・バッグ]

広域型では、いずれも「ショッピングセンター」（福島市 34.8%、郡山市 55.1%、会津若松市 43.5%、平地区 54.5%）の割合が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」が続いている。福島市では「デパート」（18.9%）、平地区では「個人商店」（1.5%）と「スーパー」（3.2%）が他都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、最も割合が高い店舗形態が、市町・地区によって「大型専門店・量販店」と「ショッピングセンター」に分かれている。

図表 6-13-4 買物場所別買物店舗形態
(靴・バッグ)

[広域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	0.9	1.9	0.2	18.9	34.0	9.5	34.8	100.0	1,761
郡山市	0.7	0.8	0.0	14.2	22.1	7.1	55.1	100.0	1,878
会津若松市	1.1	2.2	0.0	12.8	33.6	6.9	43.5	100.0	649
平地区	1.5	3.2	0.0	10.9	20.7	9.2	54.5	100.0	752
合 計	0.9	1.7	0.1	15.2	27.5	8.2	46.4	100.0	5,040

[地域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	1.8	2.6	0.4	16.2	21.7	7.4	50.0	100.0	272
旧保原町	3.2	1.1	0.0	15.1	28.5	8.1	44.1	100.0	186
旧本宮町	1.9	0.9	0.0	8.1	20.9	6.6	61.6	100.0	211
川俣町	3.4	1.7	0.0	21.6	33.6	9.5	30.2	100.0	116
須賀川市	1.2	1.2	0.0	12.8	27.3	9.5	48.0	100.0	608
旧船引町	0.6	1.8	0.0	9.6	28.7	5.4	53.9	100.0	167
石川町	0.7	1.4	0.0	6.4	30.7	7.9	52.9	100.0	140
小野町	1.1	5.5	0.0	12.1	23.1	7.7	50.5	100.0	91
白河市	0.9	2.1	0.0	12.1	23.8	15.2	45.9	100.0	429
矢吹町	0.8	0.0	0.0	16.5	20.7	13.2	48.8	100.0	121
棚倉町	3.9	3.1	0.0	12.5	18.0	14.1	48.4	100.0	128
喜多方市	1.3	2.2	0.0	15.4	42.1	5.3	33.8	100.0	228
会津坂下町	4.3	0.7	0.0	11.3	40.4	4.3	39.0	100.0	141
旧田島町	1.0	1.9	0.0	14.6	24.3	19.4	38.8	100.0	103
相馬市	1.1	1.9	0.0	8.2	21.3	12.0	55.6	100.0	376
旧原町市	2.9	1.5	0.0	10.3	19.9	13.2	52.2	100.0	341
常磐地区	3.6	4.4	0.0	7.9	18.7	8.7	56.7	100.0	252
小名浜地区	1.1	1.3	0.0	9.7	19.4	8.6	60.0	100.0	537
勿来地区	2.1	2.6	0.5	9.0	23.0	9.3	53.4	100.0	378
合 計	1.8	1.9	0.1	11.5	24.6	9.8	50.3	100.0	4,825

[本・CD]

広域型では、いずれも「大型専門店・量販店」（福島市64.5%、郡山市58.8%、会津若松市52.1%、平地区55.9%）の割合が最も高くなっており、次に「ショッピングセンター」が続いている。会津若松市では「個人商店」（5.7%）が他の都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、小野町を除くすべての市町・地区で「大型専門店・量販店」が最も高い。

本・CDは「個人商店」が占める割合が他の品目と比較して高いのが特徴である。特に地域型で高い傾向にある。

図表6-13-5 買物場所別買物店舗形態
(本・CD)

[広域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	2.9	2.8	0.8	4.9	64.5	0.7	23.5	100.0	1,731
郡山市	1.6	0.9	0.6	4.0	58.8	1.2	32.9	100.0	1,885
会津若松市	5.7	2.7	1.4	4.2	52.1	0.8	33.1	100.0	637
平地区	4.5	2.2	1.8	2.9	55.9	0.8	32.0	100.0	734
合計	3.0	2.0	0.9	4.2	59.5	0.9	29.5	100.0	4,987

[地域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	3.8	2.3	1.1	1.5	64.6	1.5	25.1	100.0	263
旧保原町	6.5	1.1	2.2	6.5	50.5	2.2	31.0	100.0	184
旧本宮町	1.5	1.0	0.5	2.0	64.0	0.5	30.5	100.0	200
川俣町	3.6	0.0	0.0	3.6	79.1	2.7	10.9	100.0	110
須賀川市	8.4	1.2	1.5	2.0	51.0	1.8	34.1	100.0	598
旧船引町	2.5	3.7	1.2	1.2	70.4	1.2	19.8	100.0	162
石川町	0.7	2.2	2.9	1.4	55.8	1.4	35.5	100.0	138
小野町	6.7	1.1	2.2	0.0	40.4	2.2	47.2	100.0	89
白河市	2.4	2.4	0.2	1.9	62.7	1.2	29.2	100.0	424
矢吹町	2.5	1.7	0.8	4.2	51.7	2.5	36.7	100.0	120
棚倉町	2.4	4.1	0.0	3.3	63.4	0.8	26.0	100.0	123
喜多方市	13.6	1.8	1.4	4.1	62.7	0.9	15.5	100.0	220
会津坂下町	1.5	7.6	0.8	6.1	62.1	1.5	20.5	100.0	132
旧田島町	7.3	2.1	1.0	14.6	40.6	4.2	30.2	100.0	96
相馬市	17.2	3.4	2.3	2.6	39.5	5.2	29.8	100.0	349
旧原町市	14.9	1.8	0.0	1.5	44.1	1.8	35.9	100.0	329
常磐地区	2.5	8.4	0.0	2.5	49.2	2.1	35.3	100.0	238
小名浜地区	2.0	2.4	0.6	2.6	49.3	2.2	40.9	100.0	538
勿来地区	6.3	1.1	1.9	1.6	68.2	1.4	19.6	100.0	368
合計	6.3	2.5	1.1	2.7	55.4	2.0	30.1	100.0	4,681

[家電製品]

広域型では、いずれも「大型専門店・量販店」（福島市92.6%、郡山市88.6%、会津若松市94.7%、平地区89.1%）が圧倒的に高く、90%程度である。次いで、いずれも「ショッピングセンター」が続いている。

地域型でも、すべての地区で「大型専門店・量販店」が圧倒的に高い。

図表6-13-6 買物場所別買物店舗形態
(家電製品)

[広域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	0.9	1.5	0.1	0.9	92.6	0.9	3.3	100.0	1,751
郡山市	0.7	1.2	0.0	1.1	88.6	0.8	7.5	100.0	1,901
会津若松市	0.5	1.4	0.0	0.5	94.7	0.5	2.6	100.0	659
平地区	0.5	1.7	0.1	1.5	89.1	0.8	6.3	100.0	751
合 計	0.7	1.4	0.0	1.0	90.9	0.8	5.2	100.0	5,062

[地域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	1.1	1.5	0.0	0.7	87.3	1.1	8.2	100.0	267
旧保原町	0.5	1.1	0.0	1.6	89.9	2.1	4.8	100.0	189
旧本宮町	0.9	0.5	0.0	0.9	87.7	0.5	9.5	100.0	211
川俣町	0.0	0.0	0.0	1.7	95.8	0.8	1.7	100.0	118
須賀川市	0.5	0.5	0.2	0.8	90.0	0.5	7.5	100.0	611
旧船引町	1.2	4.2	0.0	0.0	92.8	0.6	1.2	100.0	166
石川町	3.6	0.7	0.0	1.4	84.1	1.4	8.7	100.0	138
小野町	3.2	0.0	0.0	0.0	87.4	1.1	8.4	100.0	95
白河市	0.9	2.3	0.0	0.5	86.7	2.1	7.6	100.0	435
矢吹町	0.0	0.8	0.0	1.6	84.8	1.6	11.2	100.0	125
棚倉町	0.8	1.6	0.0	0.0	87.4	2.4	7.9	100.0	127
喜多方市	3.0	0.4	0.4	1.7	91.1	0.4	3.0	100.0	235
会津坂下町	0.7	1.4	0.7	0.7	93.8	1.4	1.4	100.0	145
旧田島町	1.0	1.9	0.0	1.0	88.5	1.9	5.8	100.0	104
相馬市	1.4	1.7	0.0	1.4	87.5	0.8	7.2	100.0	360
旧原町市	0.3	0.9	0.0	0.6	89.8	0.6	7.8	100.0	333
常磐地区	1.2	1.2	0.4	1.2	86.1	0.8	9.0	100.0	245
小名浜地区	1.3	1.1	0.0	0.9	85.3	1.5	10.0	100.0	551
勿来地区	1.1	1.9	0.0	1.1	88.1	0.3	7.6	100.0	370
合 計	1.1	1.3	0.1	0.9	88.3	1.1	7.3	100.0	4,825

[日用品]

広域型では、いずれも「スーパー」(福島市 47.3%、郡山市 40%、会津若松市 48.3%、平地区 57.5%)の割合が最も高く、次いで「大型専門店・量販店」となっている。特に平地区では「スーパー」の割合が過半数を超えている。郡山市では「スーパー」と「大型専門店・量販店」(35.3%)の割合が拮抗しており、「ショッピングセンター」(21.0%)の割合が他の都市と比較して高くなっている。

地域型についてみると、「スーパー」が最も高いのが12市町・地区、次いで「大型専門店・量販店」が6市町、1町で「スーパー」と「大型専門店・量販店」で同率という状況にある。

日用品は地元購買率も高いことから、身近な「スーパー」やドラッグストア、ホームセンターなどの「大型専門店・量販店」が主な買物場所となっていると考える。

図表6-13-7 買物場所別買物店舗形態
(日用品)

[広域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	1.0	47.3	0.3	1.4	37.4	0.4	12.2	100.0	1,788
郡山市	0.7	40.0	0.7	1.4	35.3	0.8	21.0	100.0	1,939
会津若松市	1.0	48.3	0.7	1.5	38.7	0.1	9.6	100.0	687
平地区	0.4	57.5	0.9	1.9	22.3	0.5	16.4	100.0	779
合計	0.8	46.2	0.6	1.5	34.5	0.5	15.8	100.0	5,193

[地域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	0.4	45.0	0.4	0.7	29.0	0.4	24.2	100.0	269
旧保原町	1.1	45.5	1.1	3.2	40.6	0.5	8.0	100.0	187
旧本宮町	0.0	37.7	0.5	1.0	39.1	1.0	20.8	100.0	207
川俣町	1.8	37.6	1.8	0.9	47.7	0.9	9.2	100.0	109
須賀川市	0.6	39.6	1.1	1.1	35.7	0.3	21.5	100.0	619
旧船引町	0.0	48.2	0.6	0.6	37.2	0.0	13.4	100.0	164
石川町	0.7	40.7	0.0	0.7	37.9	0.7	19.3	100.0	140
小野町	0.0	52.7	0.0	0.0	23.1	0.0	24.2	100.0	91
白河市	0.9	34.2	0.5	0.9	37.0	0.7	25.8	100.0	438
矢吹町	1.6	32.5	1.6	0.8	43.7	0.0	19.8	100.0	126
棚倉町	0.8	40.5	0.0	1.5	40.5	1.5	15.3	100.0	131
喜多方市	0.9	40.2	0.4	2.1	49.1	0.4	6.8	100.0	234
会津坂下町	0.7	34.2	0.0	2.7	55.5	0.0	6.8	100.0	146
旧田島町	1.0	52.5	0.0	1.0	37.4	1.0	7.1	100.0	99
相馬市	0.5	43.1	0.8	2.2	35.7	0.0	17.7	100.0	367
旧原町市	1.2	38.8	0.9	0.9	34.1	0.0	24.2	100.0	343
常磐地区	0.4	68.2	0.0	0.4	19.6	0.4	11.0	100.0	255
小名浜地区	0.2	55.1	1.0	1.7	22.7	0.7	18.5	100.0	573
勿来地区	0.0	67.9	1.0	0.5	21.8	0.5	8.2	100.0	390
合計	0.6	45.8	0.7	1.2	33.9	0.5	17.2	100.0	4,888

[医薬品・化粧品]

広域型では、平地区では「スーパー」(39.5%)だが、他の3市では「大型専門店・量販店」(福島市55.6%、郡山市51.1%、会津若松市58.5%)の割合が最も高く、次いで福島市と会津若松市は「スーパー」(福島市26.1%、会津若松市26.5%)、郡山市は「ショッピングセンター」(21.6%)となっている。平地区では「スーパー」(39.5%)と「大型専門店・量販店」(36.6%)の割合が拮抗している。

地域型についてみると、常磐地区、勿来地区を除くほとんどの市町・地区で「大型専門店・量販店」の割合が最も高い。常磐地区、勿来地区では「スーパー」が最も高い。

医薬品・化粧品はドラッグストアなどの「大型専門店・量販店」や「スーパー」が主な買物場所となっている。

図表6-13-8 買物場所別買物店舗形態
(医薬品・化粧品)

[広域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	2.1	26.1	0.3	3.2	55.6	0.5	12.2	100.0	1,753
郡山市	2.0	20.4	0.3	3.8	51.1	0.7	21.6	100.0	1,897
会津若松市	2.1	26.5	0.9	2.3	58.5	0.2	9.5	100.0	663
平地区	1.3	39.5	0.8	3.4	36.6	0.8	17.6	100.0	765
合計	1.9	26.1	0.5	3.3	51.4	0.6	16.2	100.0	5,078

[地域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	4.1	21.3	0.7	1.5	52.6	0.4	19.4	100.0	268
旧保原町	2.2	23.5	0.5	4.4	60.7	0.5	8.2	100.0	183
旧本宮町	2.9	22.1	0.5	1.5	53.9	1.0	18.1	100.0	204
川俣町	4.7	18.7	0.0	1.9	64.5	1.9	8.4	100.0	107
須賀川市	3.3	18.3	0.5	2.6	52.1	0.5	22.7	100.0	612
旧船引町	3.6	24.2	0.0	1.2	57.6	0.0	13.3	100.0	165
石川町	2.3	20.6	0.0	1.5	52.7	0.8	22.1	100.0	131
小野町	3.5	36.0	0.0	1.2	33.7	0.0	25.6	100.0	86
白河市	4.1	19.3	0.0	1.4	50.5	0.7	24.1	100.0	436
矢吹町	2.4	19.5	0.8	2.4	53.7	0.0	21.1	100.0	123
榊倉町	4.0	22.4	0.0	0.8	54.4	0.8	17.6	100.0	125
喜多方市	2.7	18.1	0.9	2.7	68.6	0.9	6.2	100.0	226
会津坂下町	0.7	18.7	0.7	4.3	68.3	0.0	7.2	100.0	139
旧田島町	3.2	33.3	0.0	2.2	49.5	1.1	10.8	100.0	93
相馬市	1.4	24.2	1.4	1.4	50.0	0.6	21.1	100.0	360
旧原町市	3.6	18.5	0.0	1.8	53.5	0.9	21.6	100.0	329
常磐地区	1.6	45.1	0.0	2.0	35.6	1.2	14.6	100.0	253
小名浜地区	0.9	36.5	0.9	3.4	36.9	0.7	20.7	100.0	556
勿来地区	0.3	51.6	0.5	2.4	34.0	0.8	10.4	100.0	374
合計	2.5	26.6	0.5	2.2	49.7	0.7	17.8	100.0	4,770

[食料品]

広域型では、いずれも「スーパー」(福島市 86.4%、郡山市 81.8%、会津若松市 89.4%、平地区 80.5%)の割合が圧倒的に高く 80%を超えている。いずれも「ショッピングセンター」が続いている。郡山市では、「ショッピングセンター」(10.6%)の割合が他都市と比較して高い。

地域型についてみると、「スーパー」の割合が圧倒的に高く、2 町で 90%を超えている。

最寄性の高い食料品は地元購買率が高いことから、近隣の「スーパー」が主な買物場所となっていると考える。

図表 6 - 1 3 - 9 買物場所別買物店舗形態
(食料品)

[広域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	0.7	86.4	1.6	0.7	3.8	0.4	6.2	100.0	1,820
郡山市	1.3	81.8	1.5	0.9	3.6	0.3	10.6	100.0	1,967
会津若松市	0.7	89.4	2.0	0.6	3.0	0.1	4.1	100.0	699
平地区	1.3	80.5	2.3	1.3	4.0	0.6	10.1	100.0	796
合計	1.0	84.2	1.7	0.8	3.7	0.4	8.2	100.0	5,282

[地域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	1.1	77.5	2.9	1.1	3.3	1.1	13.0	100.0	276
旧保原町	0.0	93.7	1.1	1.1	1.1	0.5	2.6	100.0	190
旧本宮町	1.4	79.8	1.0	1.0	5.8	1.0	10.1	100.0	208
川俣町	1.8	91.0	0.9	0.0	0.9	0.9	4.5	100.0	111
須賀川市	0.6	78.6	1.3	0.9	6.5	0.2	12.0	100.0	635
旧船引町	0.6	88.0	1.8	0.6	4.2	0.0	4.8	100.0	166
石川町	0.0	77.3	0.7	0.7	4.3	1.4	15.6	100.0	141
小野町	1.1	76.6	1.1	2.1	4.3	0.0	14.9	100.0	94
白河市	1.1	69.9	0.9	0.2	7.6	0.2	20.0	100.0	445
矢吹町	0.0	79.1	2.3	0.0	4.7	0.0	14.0	100.0	129
棚倉町	4.5	73.9	1.5	3.0	6.0	1.5	9.7	100.0	134
喜多方市	0.8	87.9	1.2	1.6	5.6	0.0	2.8	100.0	248
会津坂下町	0.7	89.2	0.7	0.7	5.4	0.7	2.7	100.0	148
旧田島町	1.0	82.4	2.0	1.0	5.9	0.0	7.8	100.0	102
相馬市	1.6	77.2	2.1	1.3	5.6	0.3	11.8	100.0	373
旧原町市	0.6	81.2	1.7	0.9	2.6	0.0	13.0	100.0	346
常磐地区	0.4	88.0	1.5	0.4	1.9	1.2	6.6	100.0	259
小名浜地区	0.3	81.1	2.2	1.2	3.8	0.7	10.7	100.0	582
勿来地区	0.5	86.9	2.3	1.0	2.8	0.3	6.2	100.0	389
合計	0.8	81.1	1.6	1.0	4.5	0.5	10.4	100.0	4,976

[時計・アクセサリ]

広域型についてみると、いずれも「ショッピングセンター」(福島市 37.8%、郡山市 51.9%、会津若松市 46.6%、平地区 51.2%) の割合が最も高い。次いで、福島市と郡山市では「デパート」(福島市 26.9%、郡山市 21.7%)、会津若松市と平地区では「大型専門店・量販店」(会津若松市 20.1%、平地区 16.8%) となっている。会津若松市では「個人商店」(7.3%) が他都市と比較して高い。

地域型についてみると、ほとんどの地区で「ショッピングセンター」の割合が最も高くなっている。

時計・アクセサリは「個人商店」が占める割合が他の品目と比較して高いのが特徴である。特に地域型で高い傾向がある。

図表 6-13-10 買物場所別買物店舗形態 (時計・アクセサリ)

[広域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
福島市	2.6	1.3	0.0	26.9	21.1	10.4	37.8	100.0	1,666
郡山市	1.4	0.7	0.1	21.7	16.4	7.8	51.9	100.0	1,802
会津若松市	7.3	1.0	0.3	16.7	20.1	8.0	46.6	100.0	603
平地区	3.0	2.3	0.0	15.4	16.8	11.2	51.2	100.0	695
合計	2.8	1.2	0.1	22.0	18.6	9.2	46.2	100.0	4,766

[地域型] 単位：%

	個人商店	スーパー	コンビニエンスストア	デパート	大型専門店・量販店	アウトレットモール	ショッピングセンター	計	回答数
二本松市	5.2	0.0	0.0	26.8	21.6	6.0	40.4	100.0	250
旧保原町	5.8	0.6	0.0	20.8	13.9	11.0	48.0	100.0	173
旧本宮町	2.0	0.0	0.0	14.2	15.2	3.9	64.7	100.0	204
川俣町	3.6	0.0	0.0	28.8	27.0	13.5	27.0	100.0	111
須賀川市	1.9	0.3	0.2	19.8	22.1	10.6	45.0	100.0	575
旧船引町	2.6	1.3	0.0	16.2	27.3	6.5	46.1	100.0	154
石川町	9.0	1.5	0.0	12.0	19.5	15.0	42.9	100.0	133
小野町	8.8	0.0	0.0	13.2	23.1	7.7	47.3	100.0	91
白河市	2.7	1.7	0.0	19.8	15.4	14.1	46.3	100.0	410
矢吹町	4.3	0.9	0.0	23.3	21.6	13.8	36.2	100.0	116
棚倉町	7.6	2.5	0.0	15.3	20.3	14.4	39.8	100.0	118
喜多方市	3.4	1.5	0.0	24.0	26.0	7.8	37.3	100.0	204
会津坂下町	3.0	0.7	0.0	27.6	24.6	8.2	35.8	100.0	134
旧田島町	3.4	3.4	0.0	15.7	20.2	22.5	34.8	100.0	89
相馬市	4.9	0.9	0.0	13.6	20.2	12.1	48.3	100.0	346
旧原町市	6.3	1.3	0.0	15.2	16.5	13.0	47.8	100.0	316
常磐地区	4.8	1.7	0.0	10.0	16.5	7.4	59.7	100.0	231
小名浜地区	3.4	0.4	0.0	15.8	15.4	9.7	55.2	100.0	505
勿来地区	1.4	1.4	0.0	13.9	14.7	11.3	57.2	100.0	346
合計	3.9	1.0	0.0	17.8	19.1	10.7	47.6	100.0	4,506

(2) 買物店舗の選択理由

ここでは、店舗の選択理由について分析していく。

まず、品目別の傾向を把握し、以下、商圈タイプ（買物場所）、買物支出額、店舗立地特性（中心部商業地・郊外）、買物店舗形態、居住地内における買物店舗の有無によって、買物店舗の選択理由がどのように異なるのか分析した。

ア 品目別にみた買物店舗選択理由

[背広・スーツ]

「品数が多い」(28.2%)の割合が最も高く、以下、「車で行きやすい」(23.6%)、「品質が良い」(14.9%)が続いている。「品質が良い」の割合は、時計・アクセサリに次いで高くなっている。

[セーター・ブラウス]

「品数が多い」(29.9%)が最も高く、以下、「車で行きやすい」(24.2%)、「価格が安い」(22.3%)が続いている。

[下着]

「価格が安い」(31.3%)が最も高く、以下、「車で行きやすい」(24.5%)、「品数が多い」(20.9%)が続いている。また、「価格が安い」の割合が11品目の中で最も高くなっている。

[靴・バッグ]

「品数が多い」(32.5%)が最も高く、以下、「車で行きやすい」(24.8%)、「価格が安い」(15.5%)、「品質が良い」(11.7%)が続いている。また、「品数が多い」の割合が11品目の中で最も高くなっている。

[本・CD]

「車で行きやすい」(34.4%)と「品数が多い」(31.1%)が拮抗しており、「近い」(14.1%)が続いている。また、「営業時間が長い」の割合が11品目の中で最も高くなっている。

[家電製品]

「車で行きやすい」(28.4%)が最も高く、「品数が多い」(21.5%)と「価格が安い」(19.9%)が続いている。

[日用品]

「車で行きやすい」(26.8%)が最も高く、以下、「価格が安い」(25.5%)、「近い」(19.7%)が続いている。

[医薬品・化粧品]

「車で行きやすい」(27.1%)が最も高く、以下、「近い」(19.3%)、「価格が安い」(18.4%)、「近い」(19.3%)が続いている。

[食料品]

「車で行きやすい」(26.3%)が最も高く、以下、「近い」(24.5%)、「価格が安い」(20.2%)が続いている。また、「近い」の割合が11品目の中で最も高くなっている。

[家族連れの外食]

「車で行きやすい」(43.2%)が最も高く、以下、「価格が安い」(12.4%)、「行きつけ」(10.0%)が続いている。また、「車で行きやすい」、「雰囲気・サービスが良い」、「行きつけ」の割合が、

いずれも 11 品目の中で最も高くなっている。

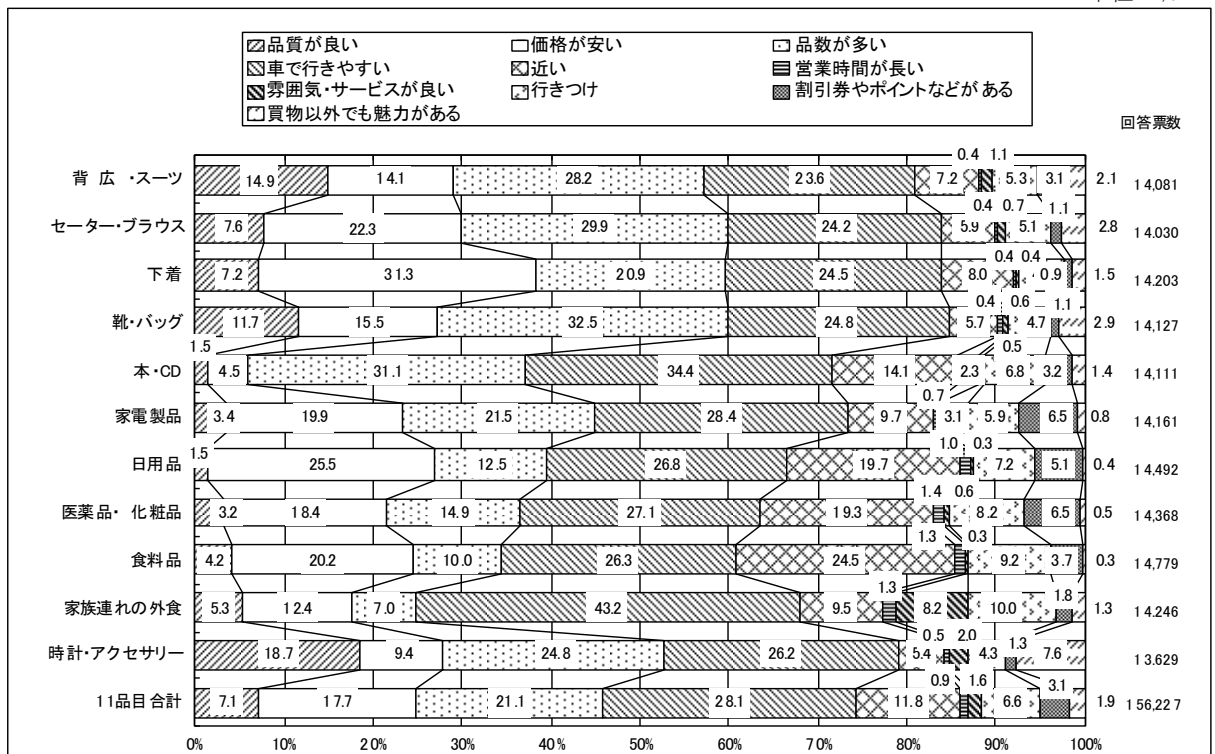
[時計・アクセサリー]

「車で行きやすい」(28.1%)と「品数が多い」(24.8%)が拮抗しており、「品質が良い」(18.7%)が続いている。また、「品質が良い」と「買物以外でも魅力がある」の割合が、それぞれ 11 品目の中で最も高くなっている。

合計でみると、「車で行きやすい」(28.1%)が最も高く、次いで、「品数が多い」(21.1%)、「価格が安い」(17.7%)、「近い」(11.8%)などの順となっている。前回(平成 28 年度)調査でも「車で行きやすい」が最も高く、以下、「品数が多い」、「価格が安い」の順であった。

図表 6-14 品目別買物店舗選択理由

単位：%



* 回答票数：品目別買物場所回答者のうち、買物店舗選択理由に回答した者

イ 商圏タイプ（買物場所）別・買物支出額別の買物店舗選択理由

ここでは、品目別に商圏タイプ別及び買物支出額別に分析を行う。

図表6-15 商圏タイプ（買物場所）別・品目別買物店舗選択理由

		品質が 良い	価格が 安い	品数 が多い	車 で 行 き や す い	近 い	営 業 時 間 が 長 い	雰 囲 気 ・ サ ー ビ ス が 良 い	行 き つ け	割 引 券 や ポ イ ン ト な い	魅 力 が あ る も の 外 で も	計	回 答 票 数
品 目 総 合	広域型	8.3	16.9	23.3	28.7	9.0	0.8	1.8	6.3	3.1	1.7	100.0	72251
	地域型	4.3	20.2	16.9	28.9	15.6	1.1	1.3	7.2	3.4	1.1	100.0	42424
	近隣型	3.3	18.4	14.1	29.3	21.8	1.5	0.8	6.7	3.5	0.7	100.0	10664
	県外	17.0	10.2	40.7	12.6	0.6	0.5	2.0	4.6	1.0	10.9	100.0	7425
	11品目合計	7.1	17.7	21.5	27.9	11.7	0.9	1.6	6.5	3.1	2.0	100.0	132764
背 す ろ ・ 広 域 型	広域型	15.7	14.0	29.3	23.7	5.7	0.4	1.1	5.2	3.6	1.3	100.0	8400
	地域型	11.4	15.1	23.3	26.9	12.7	0.5	0.9	5.8	2.6	1.0	100.0	2584
	近隣型	10.0	16.3	23.4	28.4	12.1	1.3	0.5	3.9	2.4	1.6	100.0	380
	県外	21.5	8.7	42.1	8.7	0.4	0.3	1.2	5.2	1.3	10.7	100.0	1070
	合計	15.1	13.8	28.9	23.2	6.9	0.4	1.0	5.3	3.2	2.1	100.0	12434
プ ラ セ ラ タ ウ ー ス	広域型	8.4	20.0	31.5	25.7	4.6	0.4	0.8	5.3	1.2	2.0	100.0	7240
	地域型	4.4	30.8	22.9	25.2	8.6	0.4	0.3	4.7	1.0	1.7	100.0	3181
	近隣型	3.9	27.0	21.0	28.7	12.2	0.8	0.2	3.9	1.0	1.4	100.0	515
	県外	12.0	11.2	49.2	9.9	0.5	0.2	1.5	4.3	0.5	10.7	100.0	1299
	合計	7.6	22.2	30.7	24.0	5.5	0.4	0.7	5.0	1.0	2.8	100.0	12235
下 着	広域型	8.8	27.7	23.1	26.2	6.0	0.3	0.6	5.2	0.9	1.2	100.0	6541
	地域型	4.9	38.8	15.9	22.9	10.4	0.4	0.2	4.7	0.7	1.2	100.0	4408
	近隣型	4.6	33.9	14.8	28.5	11.6	0.9	0.0	3.6	1.4	0.6	100.0	776
	県外	10.3	16.3	44.3	11.6	0.0	0.5	0.7	5.1	0.9	10.3	100.0	553
	合計	7.2	31.6	20.9	24.5	7.7	0.4	0.4	4.9	0.8	1.6	100.0	12278
靴 ・ バ ッ グ	広域型	12.9	14.1	33.0	26.4	4.5	0.3	0.7	4.6	1.1	2.3	100.0	7122
	地域型	6.6	21.4	26.0	27.8	9.1	0.7	0.2	5.5	1.1	1.7	100.0	2778
	近隣型	8.0	17.9	24.8	30.7	10.1	0.9	0.2	5.4	0.9	0.9	100.0	424
	県外	17.7	10.7	45.4	10.4	0.6	0.3	1.1	3.9	0.5	9.2	100.0	1713
	合計	11.9	15.4	32.9	24.6	5.2	0.4	0.6	4.8	1.0	3.1	100.0	12037
本 ・ C D	広域型	1.4	4.0	35.6	34.7	11.1	2.1	0.4	6.5	3.0	1.2	100.0	6377
	地域型	1.2	4.4	26.6	34.4	17.6	2.8	0.6	7.6	3.6	1.3	100.0	4616
	近隣型	1.1	4.4	24.3	34.8	23.2	2.6	0.6	5.1	2.9	0.9	100.0	801
	県外	3.5	4.3	51.2	21.5	1.6	0.8	0.4	5.5	2.0	9.4	100.0	256
	合計	1.4	4.2	31.7	34.3	14.2	2.4	0.5	6.8	3.2	1.4	100.0	12050
家 電 製 品	広域型	3.4	21.2	24.0	27.4	7.1	0.7	3.2	5.5	6.9	0.8	100.0	7516
	地域型	2.9	18.7	17.6	29.6	13.8	0.5	3.3	6.3	6.6	0.7	100.0	3960
	近隣型	4.2	16.7	18.2	30.7	13.3	1.7	3.9	7.4	3.9	0.0	100.0	407
	県外	7.5	21.8	31.0	17.2	1.7	1.1	1.7	5.2	5.7	6.9	100.0	174
	合計	3.3	20.2	21.8	28.1	9.4	0.7	3.2	5.8	6.7	0.8	100.0	12057
日 用 品	広域型	1.4	28.4	12.7	26.6	17.5	0.9	0.3	7.0	5.0	0.2	100.0	4990
	地域型	1.3	24.8	12.2	26.5	20.5	1.0	0.4	7.5	5.4	0.5	100.0	5035
	近隣型	1.1	22.1	11.5	27.6	24.7	1.2	0.0	6.8	4.8	0.2	100.0	2081
	県外	5.5	27.3	29.1	10.9	3.6	5.5	0.0	1.8	1.8	14.5	100.0	55
	合計	1.3	25.8	12.3	26.6	19.9	1.0	0.3	7.1	5.1	0.4	100.0	12161
医 薬 品 ・ 化 粧 品	広域型	3.7	19.5	15.4	26.7	16.8	1.1	0.6	8.6	7.1	0.4	100.0	5147
	地域型	2.3	18.1	15.0	26.7	20.2	1.4	0.7	8.6	6.6	0.5	100.0	4975
	近隣型	2.1	16.7	12.6	28.5	25.2	2.2	0.4	6.8	5.4	0.2	100.0	1919
	県外	19.3	16.9	24.1	13.3	0.0	1.2	2.4	10.8	4.8	7.2	100.0	83
	合計	3.0	18.5	14.8	26.9	19.4	1.4	0.6	8.3	6.6	0.5	100.0	12124
食 料 品	広域型	4.7	21.3	10.5	26.2	23.6	1.4	0.1	8.9	3.3	0.1	100.0	4930
	地域型	4.3	20.2	9.6	26.3	23.9	1.3	0.3	9.8	3.9	0.3	100.0	5180
	近隣型	2.5	17.6	9.2	26.7	30.4	1.0	0.3	8.1	3.9	0.2	100.0	2292
	県外	3.8	36.5	21.2	15.4	0.0	1.9	0.0	11.5	1.9	7.7	100.0	52
	合計	4.1	20.2	9.9	26.3	24.9	1.3	0.2	9.1	3.6	0.3	100.0	12454
家 族 づ れ の 食 の	広域型	5.9	12.5	7.2	44.1	7.2	1.2	9.0	10.0	2.0	1.1	100.0	7088
	地域型	4.3	13.3	6.4	42.5	12.4	1.4	6.6	10.6	1.5	1.0	100.0	3693
	近隣型	3.9	12.5	5.9	40.5	16.8	1.8	5.8	11.3	0.7	0.9	100.0	674
	県外	7.6	6.7	12.9	33.7	1.8	2.3	15.8	7.9	1.5	9.7	100.0	341
	合計	5.3	12.6	7.0	43.1	9.2	1.3	8.2	10.2	1.8	1.3	100.0	11796
ア ク セ サ リ ー	広域型	19.6	8.4	24.5	27.7	4.7	0.4	2.1	4.2	1.4	7.0	100.0	6900
	地域型	12.4	13.1	19.5	30.8	9.9	0.7	1.7	5.2	1.2	5.5	100.0	2014
	近隣型	13.7	12.2	22.0	27.6	9.9	1.3	1.3	5.1	1.3	5.8	100.0	395
	県外	24.4	6.6	34.8	13.4	0.5	0.3	1.8	3.8	0.6	13.7	100.0	1829
	合計	18.9	9.1	25.2	25.9	5.1	0.5	1.9	4.3	1.2	7.8	100.0	11138

単位：%

[背広・スーツ]

商圈タイプ別にみた場合、広域型では「品数が多い」(29.3%)の割合が最も高く、以下、「車で行きやすい」(23.7%)、「品質が良い」(15.7%)が続いている。前回(平成28年度)調査と比較すると、「品数が多い」が4.2ポイント増、「車で行きやすい」が1.8ポイント増となっているが、「品質が良い」が3.6ポイント減となっている。

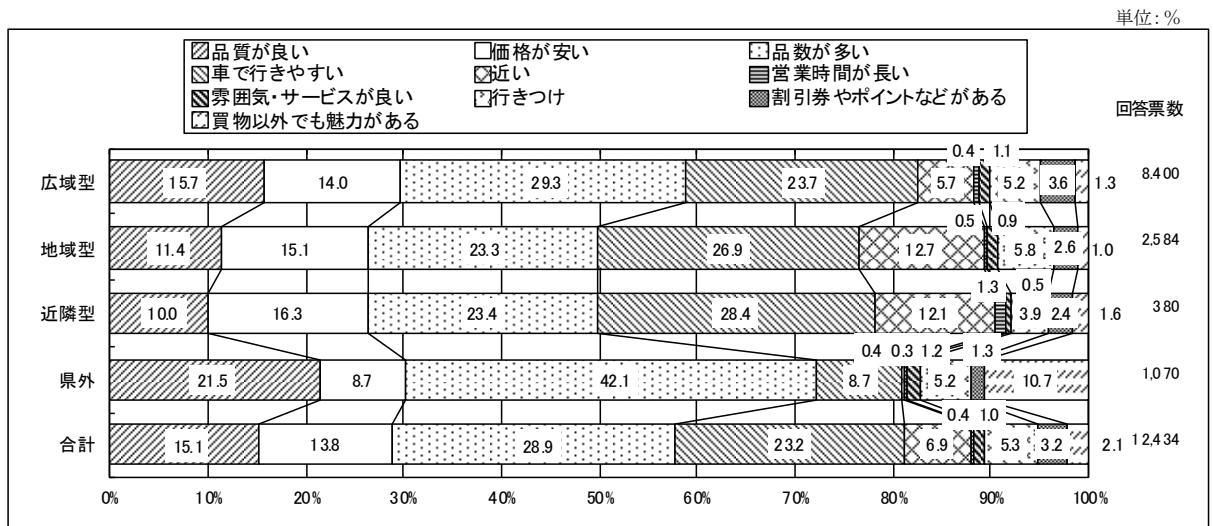
地域型では「車で行きやすい」(26.9%)が最も高く、以下、「品数が多い」(23.3%)、「価格が安い」(15.1%)の順となっている。前回調査と比較すると、「品数が多い」が4.3ポイント増、「車で行きやすい」が2.8ポイント増となっているが、「品質が良い」が3.4ポイント減、「品質が良い」が1.2ポイント減となっている。

近隣型では「車で行きやすい」(28.4%)が最も高く、以下、「品数が多い」(23.4%)、「価格が安い」(16.3%)が続いている。前回調査と比較すると、「品数が多い」が6.9ポイント増となっているが、「品質が良い」が3.0ポイント減、「行きつけ」が2.6ポイント減となっている。

前回調査と比較して、広域型、地域型、近隣型いずれも「車で行きやすい」が大きく増加しており、回答に占める割合は、広域型、地域型、近隣型と商圈規模が小さくなるにつれて高くなっている。この傾向は、家族づれの外食時計・アクセサリーを除いたすべての品目でもみられる。また、「品数が多い」は商圈規模が大きくなるにつれて高くなる傾向がある。

県外では「品数が多い」(42.1%)が最も高く、「品質が良い」(21.5%)、「買物以外でも魅力がある」(10.7%)が続いている。県内に比べ県外ではすべての品目において、「買物以外でも魅力がある」の割合が高い。県外に買い物に行く行動は、モノに加えてコトの消費も兼ねていると考える。

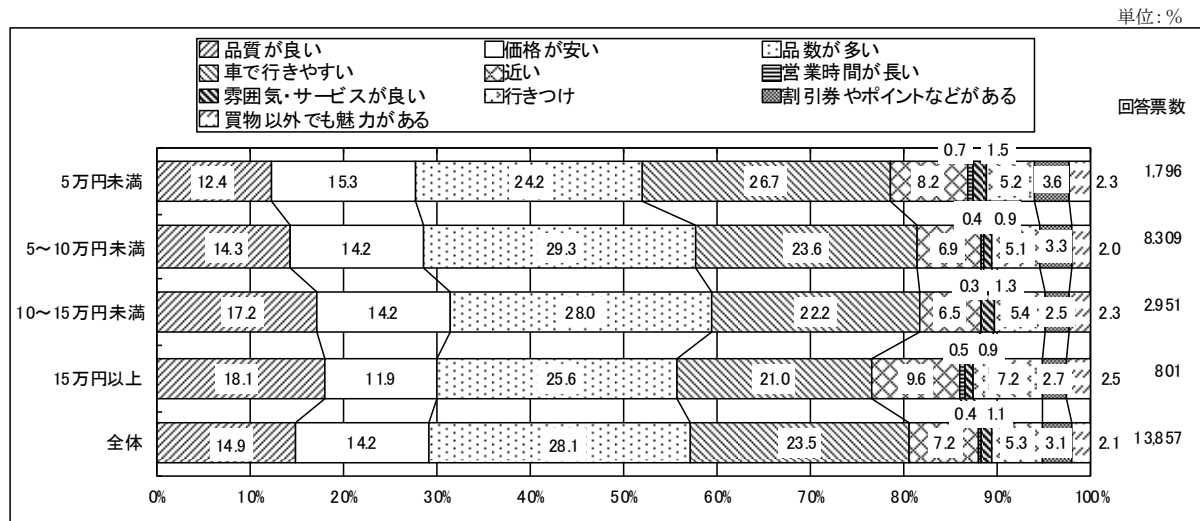
図表6-16-1 商圈タイプ(買物場所)別買物店舗選択理由(背広・スーツ)



* 回答票数：買物場所のうち、買物店舗選択理由に回答した者
(以下、すべての品目で同じ)

買物支出額別にみた場合、5万円未満の層では、「車で行きやすい」が最も高いが、5万円以上の各支出額層では、「品数が多い」の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」となっている。

図表6-16-2 買物支出額別買物店舗選択理由（背広・スーツ）



* 回答票数：月々の買物支出回答者のうち、買物店舗選択理由に回答した者（以下、すべての品目で同じ）

[セーター・ブラウス]

商圈タイプ別にみた場合、広域型では「品数が多い」(31.5%)の割合が最も高く、以下、「車で行きやすい」(25.7%)、「価格が安い」(20.0%)が続いている。前回(平成28年度)調査と比較すると、「車で行きやすい」が3.6ポイント増となっているが、「価格が安い」が3.8ポイント減、「品質が良い」が1.3ポイント減、「近い」が0.9ポイント減となっている。

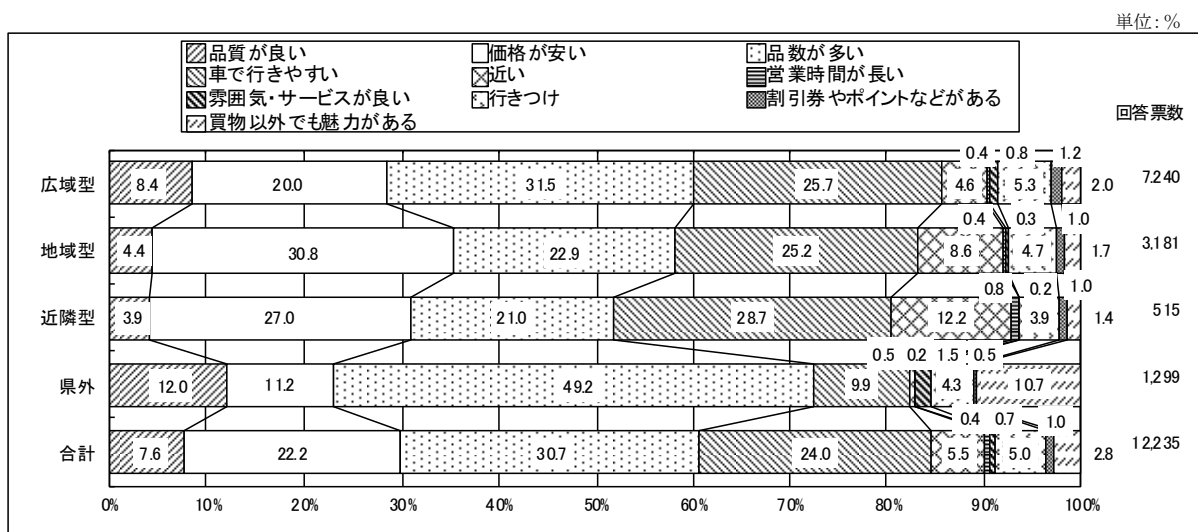
地域型では「価格が安い」(30.8%)が最も高く、以下、「車で行きやすい」(25.2%)、「品数が多い」(22.9%)が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が3.9ポイント増となっているが、「価格が安い」が4.6ポイント減、「近い」が1.8ポイント減、「品質が良い」がともに0.7ポイント減となっている。

近隣型では「車で行きやすい」(28.7%)が最も高く、以下、「価格が安い」(27.0%)、「品数が多い」(21.0%)が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が2.3ポイント増となっているが、「行きつけ」が3.7ポイント減、「価格が安い」が3.1ポイント減、「雰囲気・サービスが良い」が0.4ポイント減となっている。

「品数が多い」、「品質が良い」は商圈規模が大きくなるにつれて高くなっている。

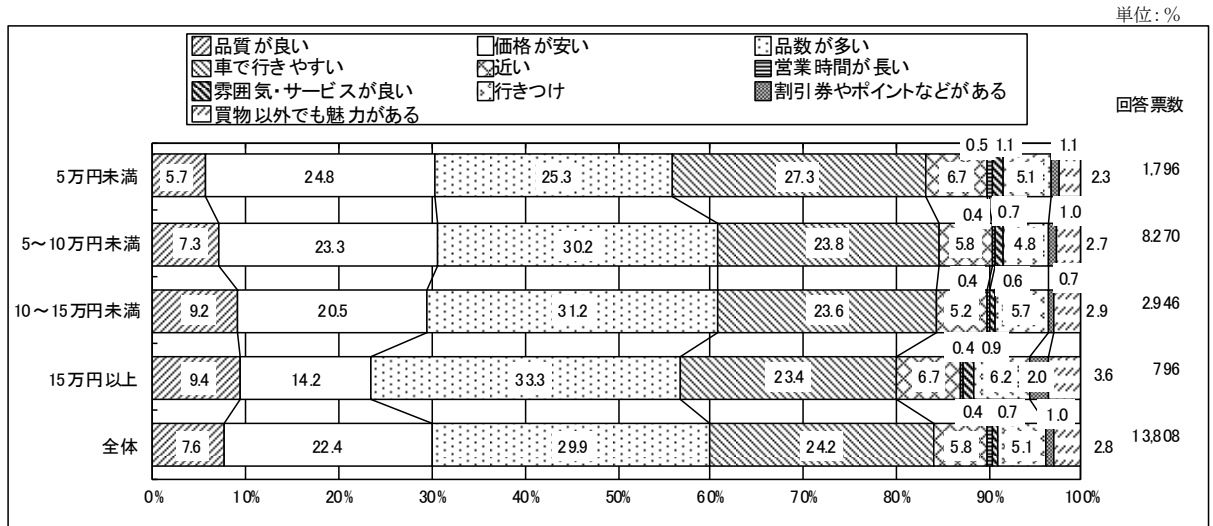
県外では「品数が多い」(49.2%)が最も高く、「買物以外でも魅力がある」(10.7%)、「品質が良い」(12.0%)が続いている。

図表6-17-1 商圈タイプ(買物場所)別買物店舗選択理由(セーター・ブラウス)



買物支出額別にみた場合、5万円未満では、「車で行きやすい」の割合が最も高いが、5万円以上の各支出額層では、「品数が多い」の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」となっている。

図表6-17-2 買物支出額別買物店舗選択理由（セーター・ブラウス）



[下着]

商圈タイプ別にみた場合、広域型では「価格が安い」(27.7%)の割合が最も高く、以下、「車で行きやすい」(26.2%)、「品数が多い」(23.1%)が続いている。前回(平成28年度)調査と比較すると、「車で行きやすい」が4.0ポイント増となっているが、「品数が多い」が7.0ポイント減、「価格が安い」が1.0ポイント減となっている。「品質が良い」の割合に増減はなかった。

地域型では「価格が安い」(38.8%)が最も高く、以下、「車で行きやすい」(22.9%)、「品数が多い」(15.9%)が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が6.9ポイント増となっているが、「価格が安い」が2.5ポイント減、「近い」が0.8ポイント減、「買物以外でも魅力がある」が0.5ポイント減となっている。

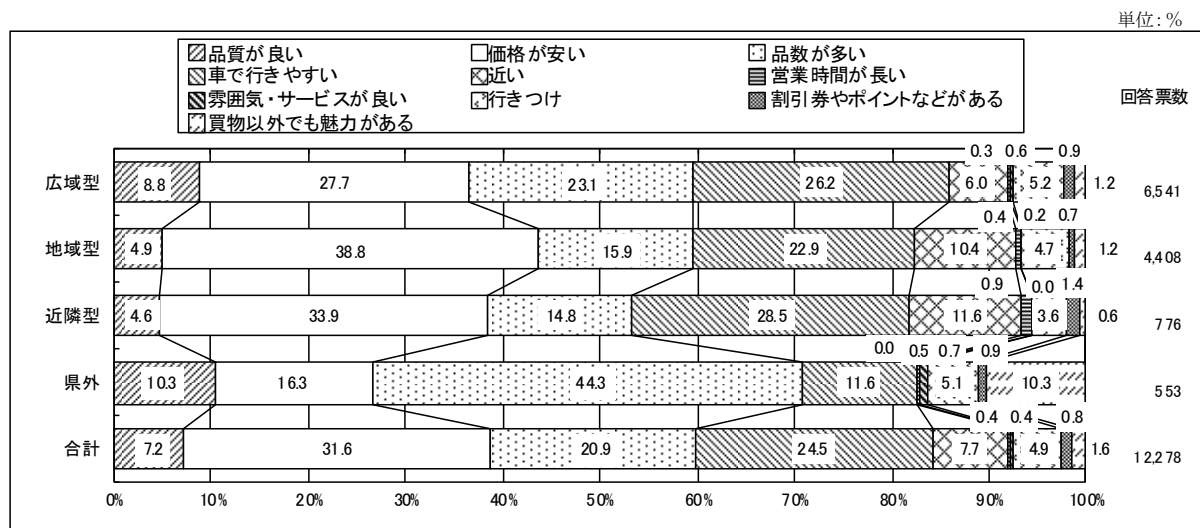
近隣型では「価格が安い」(33.9%)が最も高く、以下、「車で行きやすい」(28.5%)、「品数が多い」(14.8%)が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が1.8ポイント増、「買物以外でも魅力がある」が0.3ポイント増となっているが、「近い」が1.2ポイント減、「品数が多い」が0.7ポイント減となっている。

どの商圈タイプでも「価格が安い」の割合が高く、背広・スーツ、セーター・ブラウスの他の衣料品と比べて価格が重視されている。

「近い」という理由は、商圈規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「品質が良い」は商圈規模が大きくなるにつれて高くなっている。

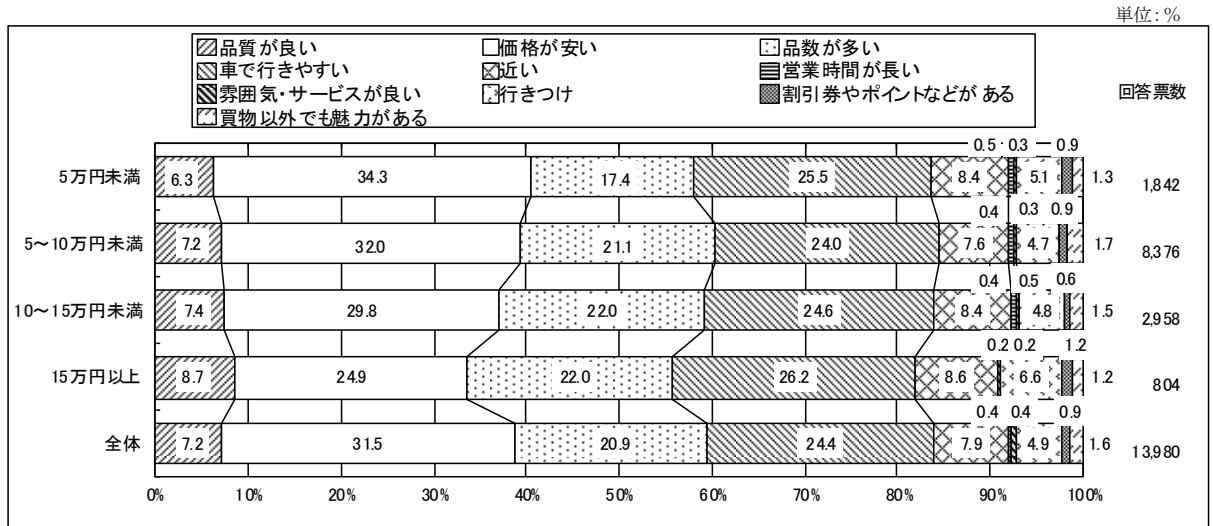
県外では「品数が多い」(44.3%)が最も高く、「価格が安い」(16.3%)、「車で行きやすい」(11.6%)が続いている。

図表6-18-1 商圈タイプ(買物場所)別買物店舗選択理由(下着)



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「価格が安い」が最も高く、「車で行きやすい」が続いている。「品質が良い」は支出額が大きくなるほど高くなる傾向にある。15万円以上では、「行きつけ」の割合が比較的高い。

図表6-18-2 買物支出額別買物店舗選択理由（下着）



[靴・バッグ]

商圏タイプ別にみた場合、広域型では、「品数が多い」(33.0%)が最も高く、以下、「車で行きやすい」(26.4%)、「価格が安い」(14.1%)が続いている。前回(平成28年度)調査と比較すると、「車で行きやすい」が3.5ポイント増となっているが、「品質が良い」が1.4ポイント減、「価格が安い」が1.0ポイント減、「近い」が0.9ポイント減となっている。

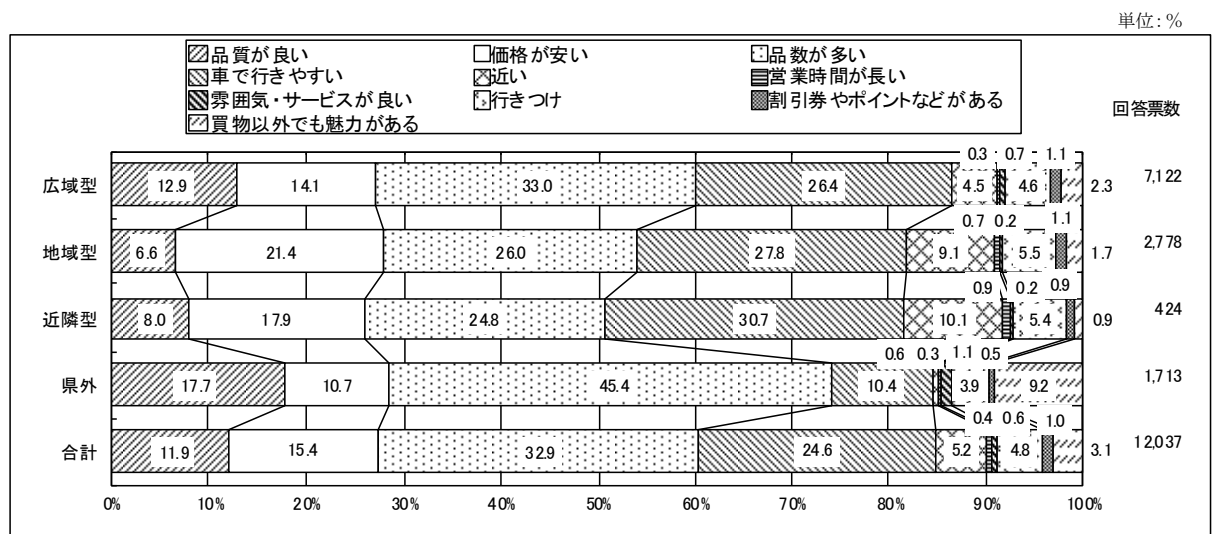
地域型では、「車で行きやすい」(27.8%)と「品数が多い」(26.0%)が拮抗しており、以下、「価格が安い」(21.4%)の順となっている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が2.7ポイント増、「品数が多い」が0.7ポイント増となっているが、「品質が良い」が2.3ポイント減、「近い」が1.3ポイント減となっている。

近隣型では、「車で行きやすい」(30.7%)が最も高く、以下、「品数が多い」(24.8%)、「価格が安い」(17.9%)が続いている。前回調査と比較すると、「品数が多い」と「車で行きやすい」が3.5ポイント増となっているが、「価格が安い」で3.0ポイント減となっている。「雰囲気・サービスが良い」の割合の増減はなかった。

「車で行きやすい」、「近い」という理由は、商圏規模が小さくなるにつれて、割合が高くなっている。また、「品数が多い」は商圏規模が大きいほど高くなっている。

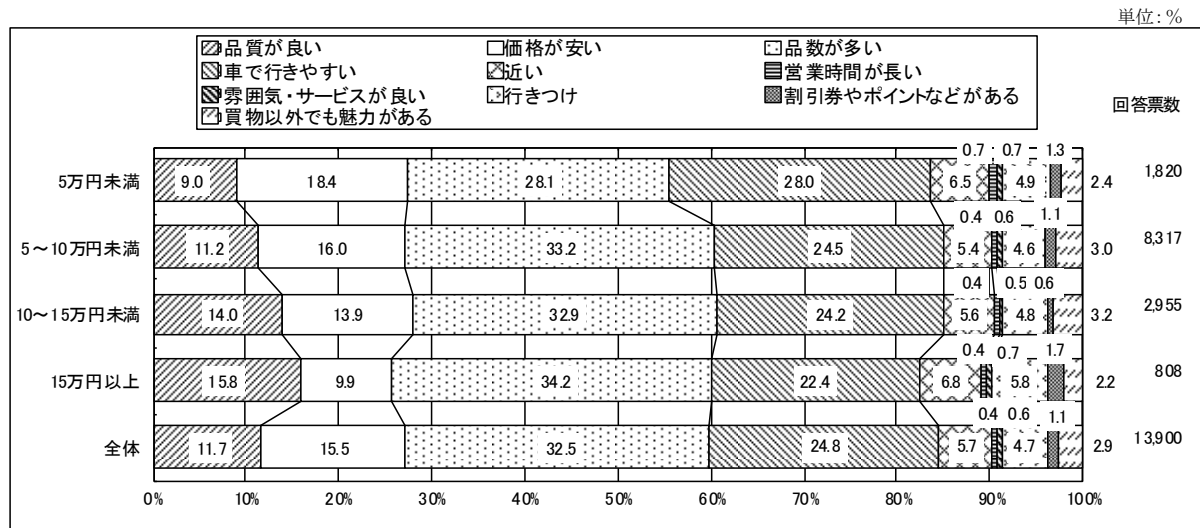
県外では、「品数が多い」(45.4%)が最も高く、「品質が良い」(17.7%)、「価格が安い」(10.7%)が続いている。

図表6-19-1 商圏タイプ(買物場所)別買物店舗選択理由(靴・バッグ)



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「品数が多い」の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」となっている。支出額が増加するにつれて「品質が良い」が増加し、「価格が安い」が減少している。15万円以上では「行きつけ」の割合が比較的高い。

図表 6-19-2 買物支出額別買物店舗選択理由（靴・バッグ）



[本・CD]

商圈タイプ別にみた場合、広域型では「品数が多い」(35.6%)と「車で行きやすい」(34.7%)が拮抗しており、「近い」(11.1%)が続いている。前回(平成28年度)調査と比較すると、「車で行きやすい」が3.3ポイント増、「品数が多い」が2.3ポイント増となっているが、「近い」が2.8ポイント減、「行きつけ」が1.0ポイント減となっている。

地域型では「車で行きやすい」(34.4%)が最も高く、以下、「品数が多い」(26.6%)、「近い」(17.6%)が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が2.9ポイント増、「品質が良い」が0.3ポイント増となっているが、「近い」が1.8ポイント減、「行きつけ」が0.8ポイント減となっている。

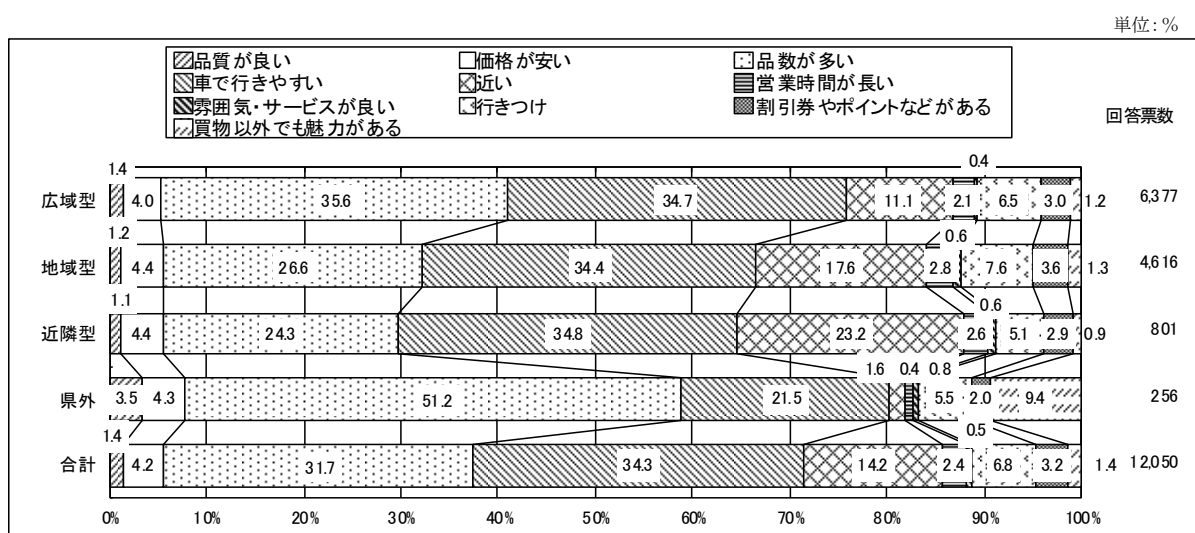
近隣型では「車で行きやすい」(34.8%)が最も高く、以下、「品数が多い」(24.3%)、「近い」(23.2%)が続いている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が2.3ポイント増、「品数が多い」が1.4ポイント増となっているが、「行きつけ」が3.2ポイント減、「価格が安い」が0.6ポイント減となっている。

「近い」という理由は、商圈規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」は商圈規模が大きくなるにつれて高くなっている。

本・CDは、他の買回品と比較して「近い」の割合が高い。近年、新刊販売、中古買取販売、レンタルなどの複合店が増え身近な買物場所が増えたこと、電子書籍やインターネットの音楽配信サービスなどの普及により、遠方への買物の必要性がなくなったことなどが背景にあると考える。

県外では「品数が多い」(51.2%)が圧倒的に高いが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

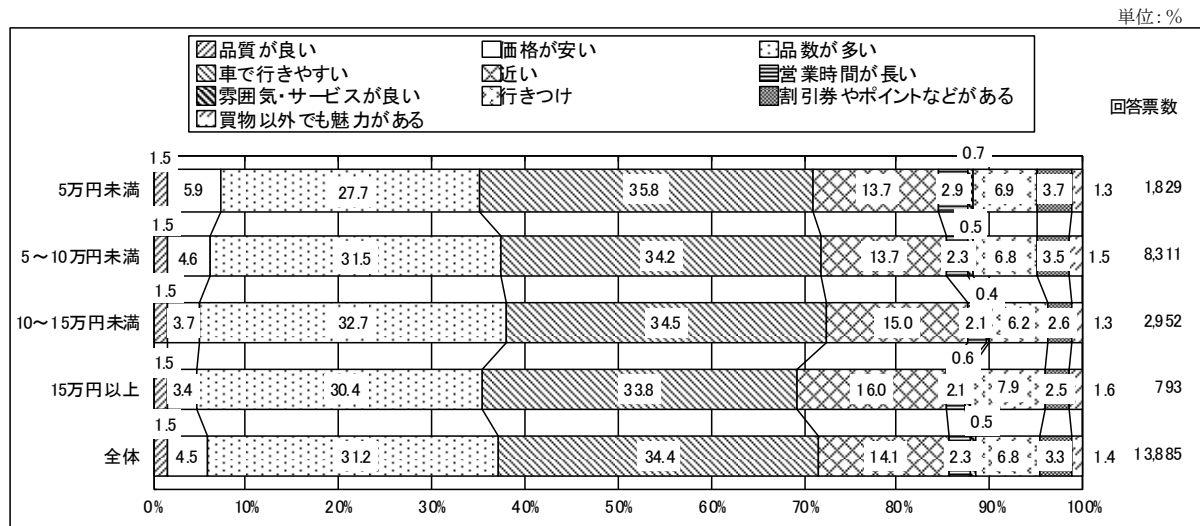
図表6-20-1 商圈タイプ(買物場所)別買物店舗選択理由(本・CD)



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「車で行きやすい」の割合が最も高いが、10万円以上の各支出層では「品数が多い」がともに拮抗している。

「近い」の割合も、支出額によって大きな違いはない。

図表6-20-2 買物支出額別買物店舗選択理由（本・CD）



[家電製品]

商圈タイプ別にみた場合、広域型は「車で行きやすい」(27.4%)が最も高く、以下、「品数が多い」(24.0%)、「価格が安い」(21.2%)が続いている。前回(平成28年度)調査と比較すると、「車で行きやすい」が2.6ポイント増、「品数が多い」が1.0ポイント増となっているが、「価格が安い」が2.0ポイント減、「近い」と「割引券やポイントなどがある」が0.7ポイント減となっている。

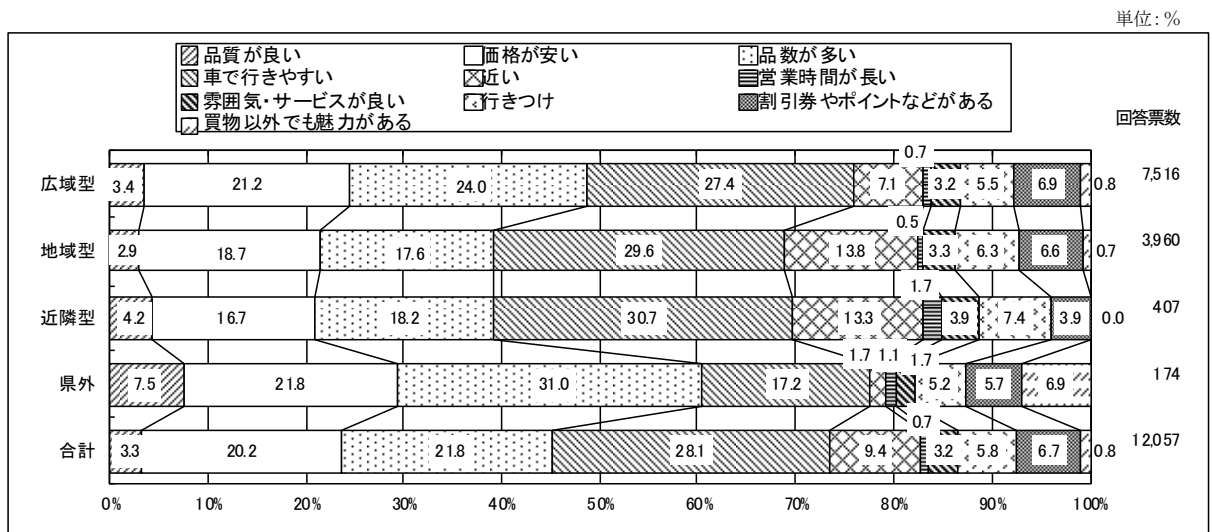
地域型では「車で行きやすい」(29.6%)が最も高く、以下、「価格が安い」(18.7%)、「品数が多い」(17.6%)の順になっている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が4.7ポイント増、「雰囲気・サービスが良い」が0.3ポイント増となっているが、「価格が安い」が2.2ポイント減、「品数が多い」が1.9ポイント減となっている。

一方、近隣型では「車で行きやすい」(30.7%)が最も高く、以下、「品数が多い」(18.2%)、「価格が安い」(16.7%)の順になっている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が2.7ポイント増、「品数が多い」が2.4ポイント増となっているが、「価格が安い」が2.2ポイント減、「品数が多い」が1.9ポイント減となっている。

すべての商圈タイプで、他の品目と比較して「割引券やポイントなどがある」の割合が高く、商圈規模が大きくなるほど割合が高い。近隣型では、広域型や地域型と比較して「品質が良い」、「行きつけ」の割合が高くなっている。

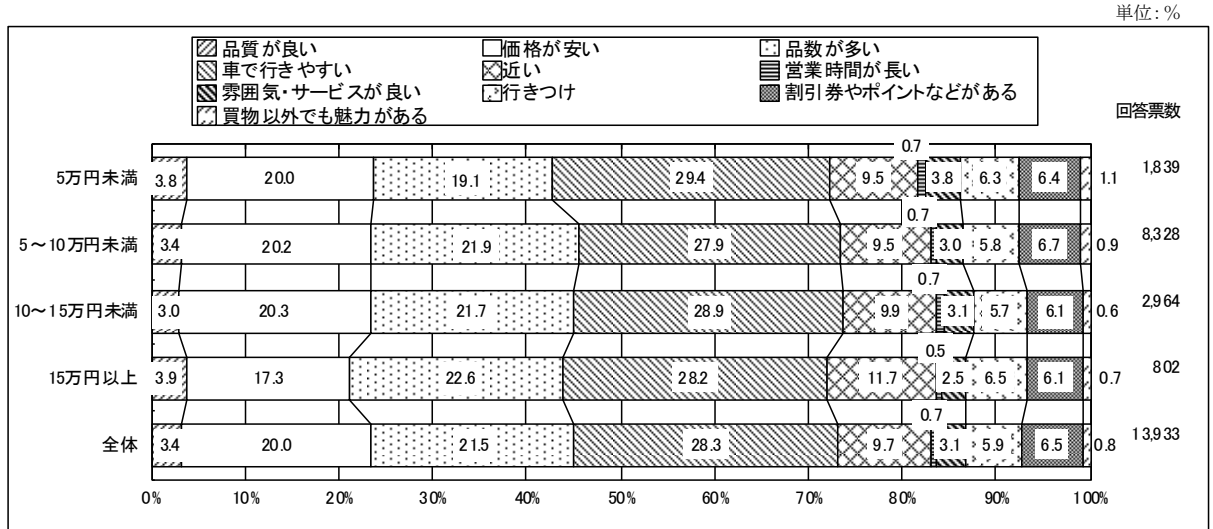
県外では「品数が多い」(31.0%)が最も高く、次に、「価格が安い」(21.8%)、「車で行きやすい」(17.2%)と続いているが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表6-21-1 商圈タイプ(買物場所)別買物店舗選択理由(家電製品)



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「車で行きやすい」の割合が最も高く、次いで「価格が安い」と「品数が多い」がほぼ同程度の割合となっている。その他の項目でも支出額による大きな差は認められないが、15万円以上では「行きつけ」が比較的高い。

図表6-21-2 買物支出額別買物店舗選択理由（家電製品）



[日用品]

商圈タイプ別にみた場合、広域型、地域型では「価格が安い」(広域型28.4%、地域型24.8%)の割合が最も高くなっており、「車で行きやすい」、「近い」の順が続いている。

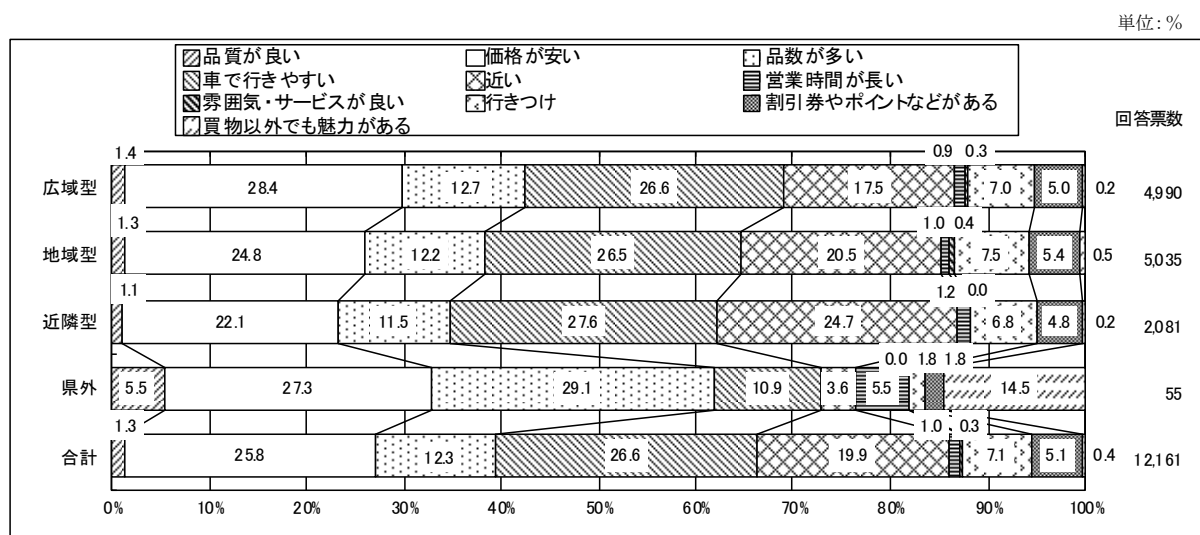
近隣型では「車で行きやすい」(27.6%)の割合が最も高く、次いで「近い」(24.7%)と「価格が安い」(22.1%)が拮抗している。最寄性が高い品目ということもあり、価格とアクセスのしやすさが重視されている。

「近い」という理由は、商圈規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「価格が安い」は商圈規模が大きいほど高くなっている。

前回(平成28年度)調査と比較すると、「価格が安い」、「近い」がいずれの商圈タイプでも減少しており、「車で行きやすい」、「割引券やポイントなどがある」が増加している。

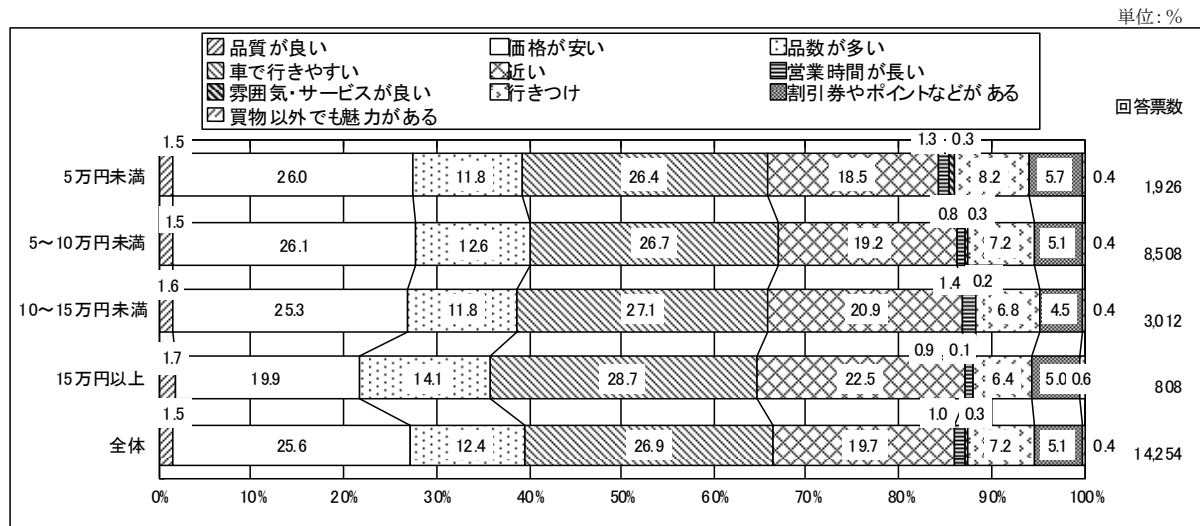
県外では「品数が多い」(29.1%)と「価格が安い」(27.3%)が拮抗しており、「車で行きやすい」(10.9%)が続いているが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表6-22-1 商圈タイプ(買物場所)別買物店舗選択理由(日用品)



買物支出額別にみた場合、15万円未満の各支出額層では「価格が安い」の割合が最も高いが、15万円以上では「車で行きやすい」が最も高い。支出額が多くなるほど「近い」の割合が高くなっていく。

図表6-22-2 買物支出額別買物店舗選択理由（日用品）



[医薬品・化粧品]

商圈タイプ別にみた場合、広域型は「車で行きやすい」(26.7%)の割合が最も高く、次いで、「価格が安い」(19.5%)、「近い」(16.8%)の順である。前回(平成28年度)調査と比較すると、「車で行きやすい」が3.0ポイント増、「営業時間が長い」が0.2ポイント増となっているが、「価格が安い」が1.6ポイント減、「行きつけ」が0.8ポイント減となっている。

地域型では「車で行きやすい」(26.7%)の割合が最も高く、次いで、「近い」(20.2%)、「価格が安い」(18.1%)の順である。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が3.9ポイント増、「営業時間が長い」ト「雰囲気・サービスが良い」がともに0.4ポイント増となっているが、「価格が安い」が3.6ポイント減、「品質が良い」が0.6ポイント減となっている。

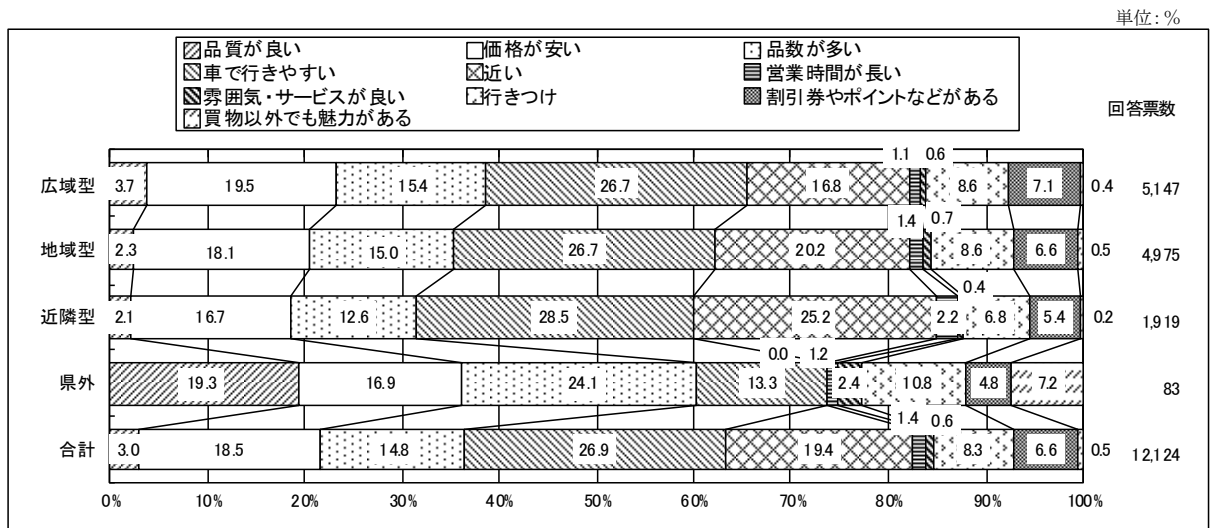
近隣型では「車で行きやすい」(28.5%)が最も高く、以下、「近い」(25.2%)、「価格が安い」(16.7%)の順になっている。前回調査と比較すると、「車で行きやすい」が3.9ポイント増、「品数が多い」が1.6ポイント増となっているが、「価格が安い」が2.8ポイント減、「行きつけ」が2.3ポイント減となっている。

「近い」という理由は、商圈規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「品質が良い」、「割引券やポイントなどがある」は商圈規模が大きいほど高くなっている。

また、いずれの商圈タイプも前回調査より「車で行きやすい」の割合が増加していることから、よりアクセスのしやすさで選ばれてきている。

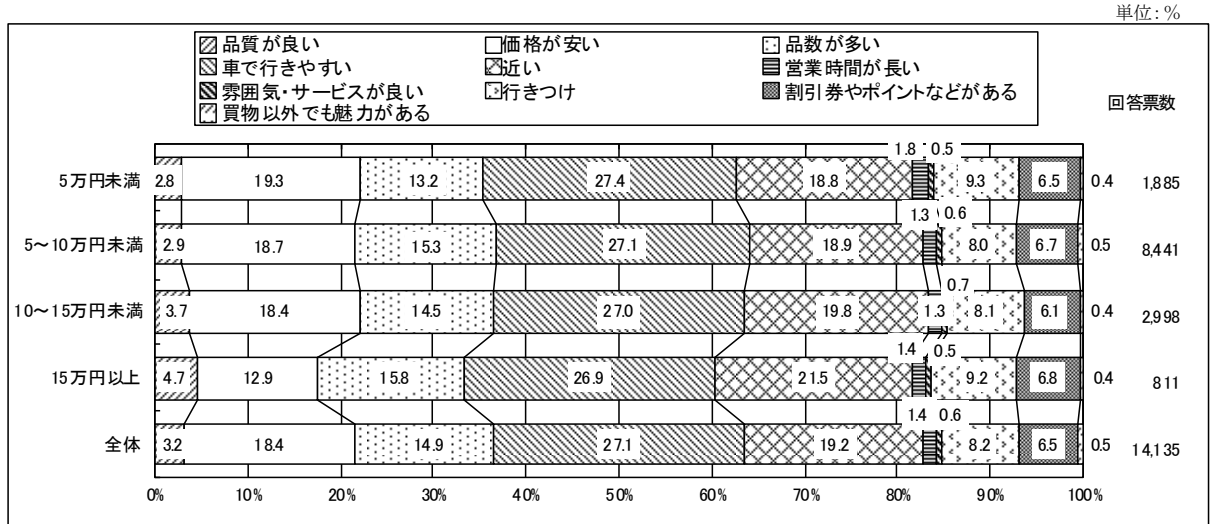
県外では「品数が多い」(24.1%)が最も高く、これに「品質が良い」(19.3%)が続いているが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表6-23-1 商圈タイプ(買物場所)別買物店舗選択理由(医薬品・化粧品)



すべての支出額層で「車で行きやすい」が最も高く、以下、5万円未満の各支出額層では「価格が安い」が、5万円以上の各支出額層では「近い」が続いている。「割引券やポイントなどがある」の割合は、支出額による差はほとんどみられない。

図表6-23-2 買物支出額別買物店舗選択理由（医薬品・化粧品）



[食料品]

商圈タイプ別にみた場合、前回（平成28年度）調査ではいずれの商圈タイプも「近い」の割合が最も高かったが、今回調査は、広域型、地域型では「車で行きやすい」の割合が最も高く、近隣型では「近い」が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、広域型では「車で行きやすい」が3.3ポイント増、「営業時間が長い」が0.3ポイント増となっているが、「価格が安い」と「近い」がともに0.9ポイント減となっている。

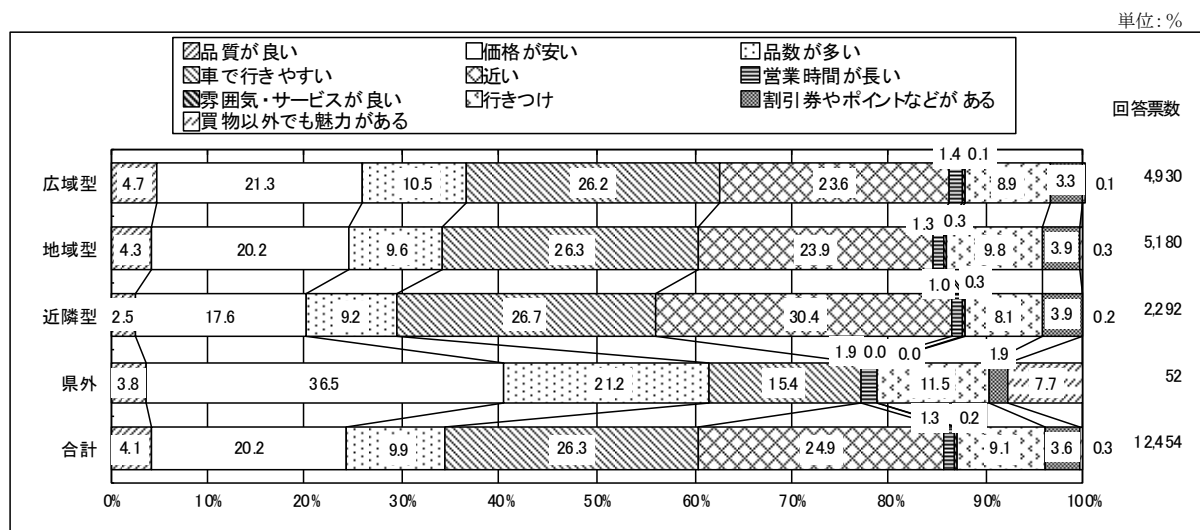
地域型では「車で行きやすい」が3.0ポイント増、「営業時間が長い」が0.3ポイント増となっているが、前回最も割合が高かった「価格が安い」が1.7ポイント減、「品数が多い」が0.5ポイント減となっている。

近隣型では「車で行きやすい」が2.6ポイント増、「品数が多い」が0.9ポイント増となっているが、「行きつけ」が2.4ポイント減、「近い」が1.1ポイント減となっている。

「車で行きやすい」、「近い」という理由は、商圈規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」は商圈規模が大きいほど高くなっている。

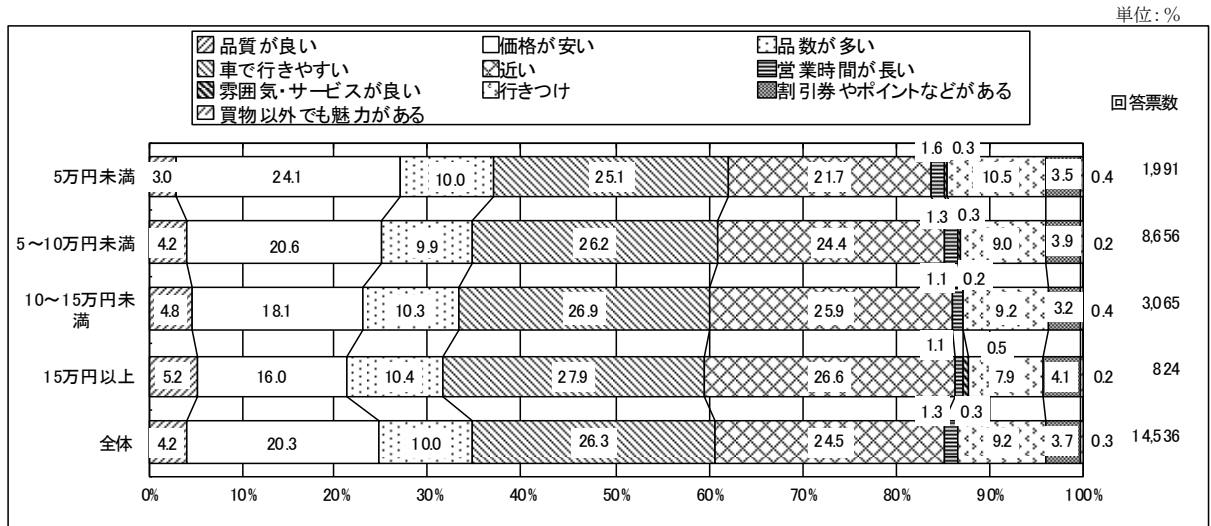
県外では「価格が安い」（36.5%）が最も高く、以下、「品数が多い」（21.2%）、「車で行きやすい」（15.4%）の順となっているが、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表6-24-1 商圈タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（食料品）



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層で「車で行きやすい」の割合が最も高く、5万円未満では「価格が安い」(24.1%)、5万円以上では「近い」が続いている。支出額が大きくなるほど、価格よりもアクセスの良さを重視する傾向がみられる。

図表6-24-2 買物支出額別買物店舗選択理由(食料品)



[家族連れの外出]

商圈タイプ別にみた場合、すべての商圈タイプで、前回（平成 28 年度）調査と同様に「車で行きやすい」の割合が最も高くなっている。

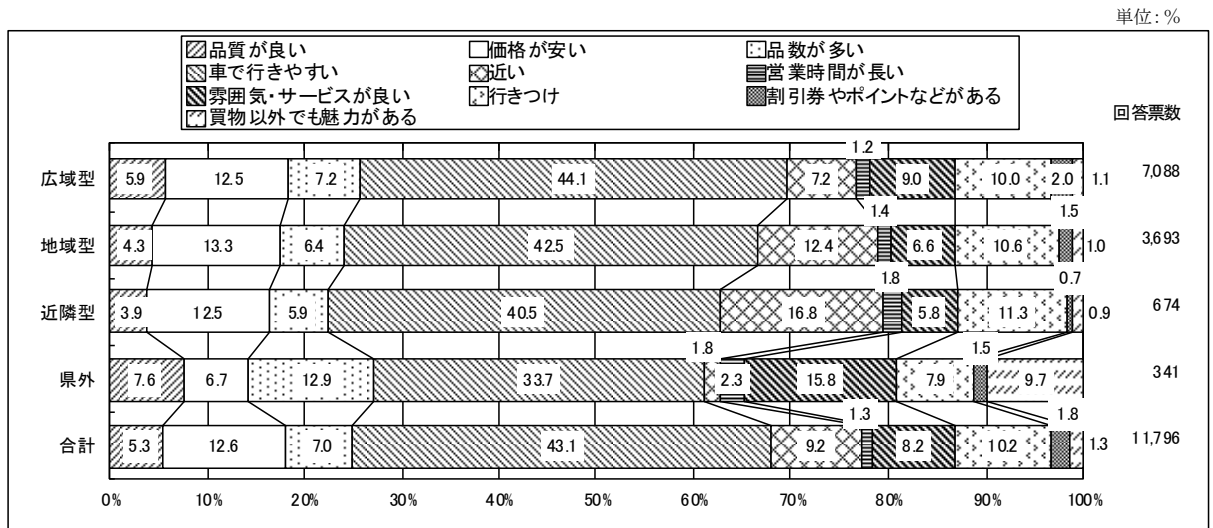
広域型と地域型では以下、「価格が安い」、「近い」の順であるが、近隣型では「近い」、「価格が安い」の順である。

前回調査と比較すると、いずれの商圈タイプでも「雰囲気・サービスが良い」、「行きつけ」が減少し、「車で行きやすい」「品数が多い」が増加している。

「近い」、「行きつけ」は商圈規模が小さくなるにつれて割合が高くなっている。また、「品数が多い」、「雰囲気・サービスが良い」、「品質が良い」は商圈規模が大きいほど高くなっている。

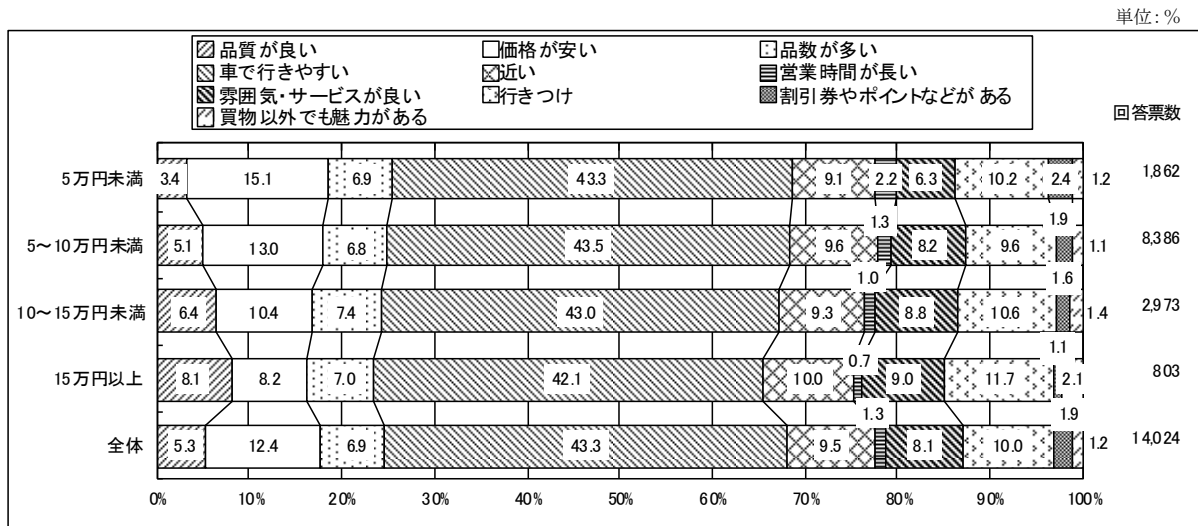
県外では「車で行きやすい」(33.7%)が最も高く、以下、「雰囲気・サービスが良い」(15.8%)、「品数が多い」(12.9%)の順となっている。

図表 6-25-1 商圈タイプ（買物場所）別買物店舗選択理由（家族づれの外出）



買物支出額別にみた場合、すべての支出額層において「車で行きやすい」の割合が最も高く、以下、10万円未満の各支出額層では「価格が安い」、10万円以上では「行きつけ」が続いている。支出額が大きくなるほど、「品質が良い」が高くなる傾向がある。

図表6-25-2 買物支出額別買物店舗選択理由（家族づれの夕食）



[時計・アクセサリー]

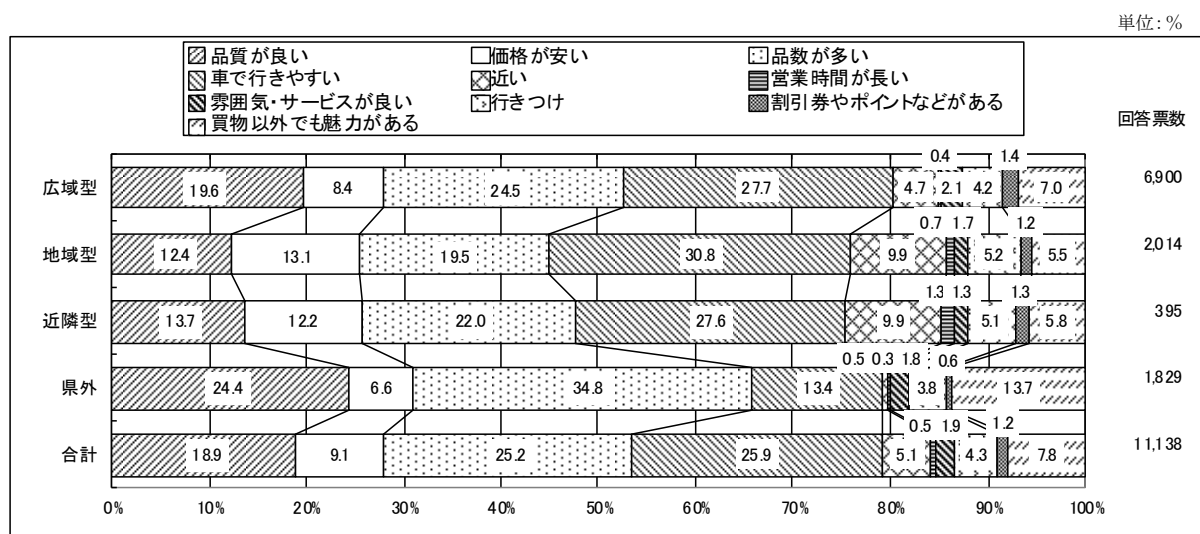
商圈タイプ別にみた場合、広域型では「車で行きやすい」(27.7%)の割合が最も高く、以下、「品数が多い」(24.5%)、「品質が良い」(19.6%)が続いている。

地域型では「車で行きやすい」(30.8%)が最も高く、以下、「品数が多い」(19.5%)、「価格が安い」(13.1%)、「品質が良い」(12.4%)が続いている。

近隣型では「車で行きやすい」(27.6%)が最も高く、以下、「品数が多い」(22.0%)、「品質が良い」(13.7%)、「価格が安い」(12.2%)の順である。

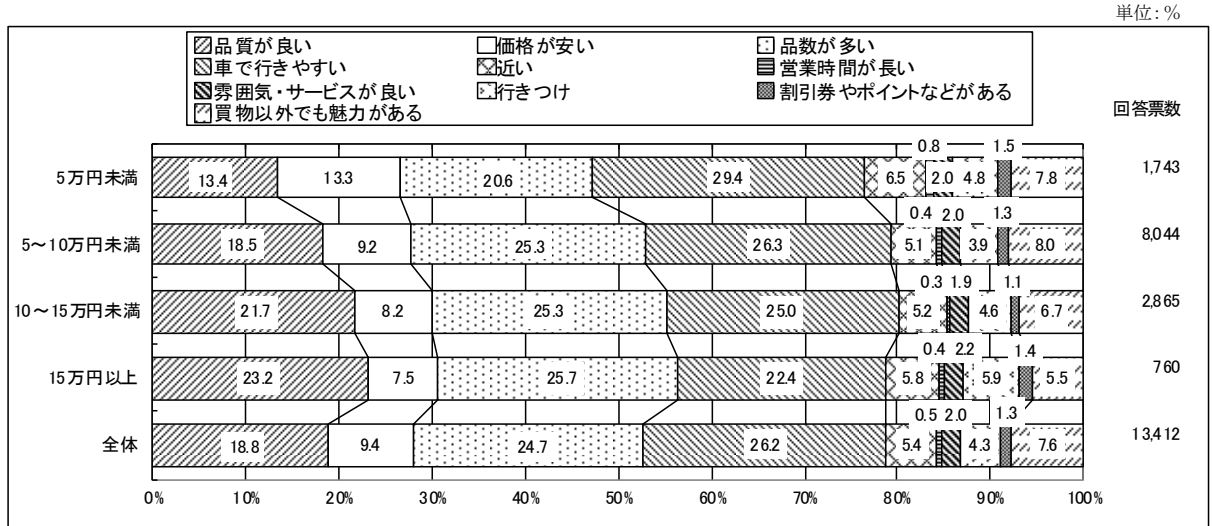
県外では「品数が多い」(34.8%)が最も高く、次いで、「品質が良い」(24.4%)、「買物以外でも魅力がある」(13.7%)が続いている。

図表6-26-1 商圈タイプ(買物場所)別買物店舗選択理由(時計・アクセサリー)



買物支出額別にみた場合、10万円未満では「車で行きやすい」の割合が最も高く、10万円以上では「品数が多い」が最も高い。「価格が安い」は支出額が大きくなるほど低くなり、「品質が良い」が高くなっている。

図表6-26-2 買物支出額別買物店舗選択理由（時計・アクセサリー）



ウ 店舗立地特性からみた買物店舗選択理由

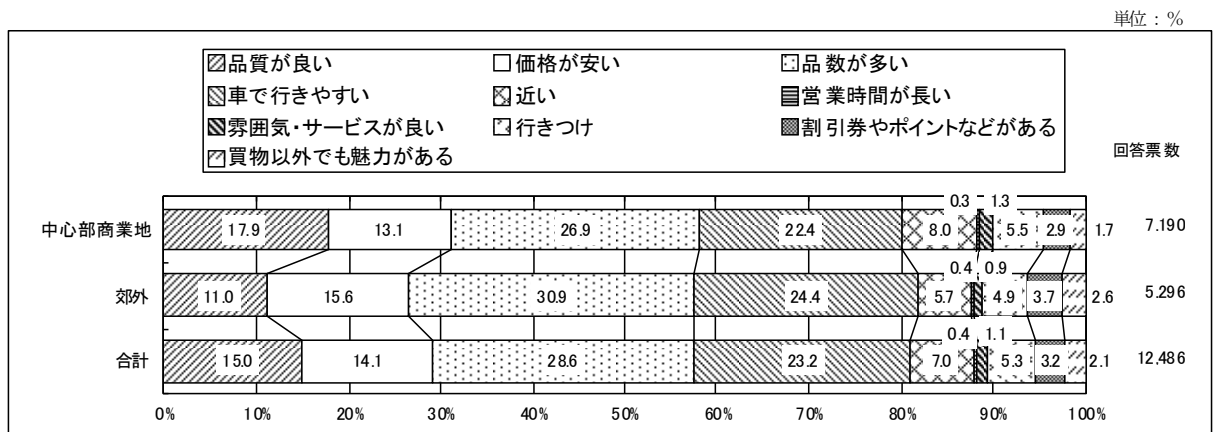
ここでは、買回性の高い品目として「背広・スーツ」、「セーター・ブラウス」、専門性の高い品目として「家電製品」、最寄性の高い品目として「日用品」、「食料品」の計 5 品目について、店舗の立地特性（中心部商業地と郊外）と買物店舗選択理由の関係について分析していく。

[背広・スーツ]

背広・スーツについて、買物店舗の立地特性別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表 6-27 である。

中心部商業地では、「品数が多い」(26.9%) の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(22.4%) の順となっている。郊外においては、中心部商業地同様に「品数が多い」(30.9%) の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」(24.4%) の順となっている。

図表 6-27 店舗立地特性別買物店舗選択理由（背広・スーツ）

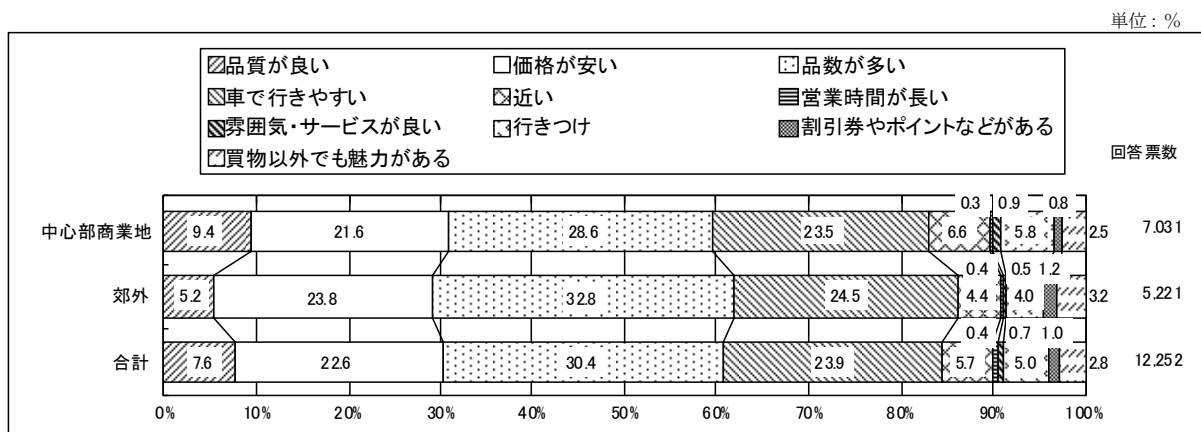


[セーター・ブラウス]

セーター・ブラウスについて、買物店舗の立地特性格別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表6-28である。

中心部商業地では、「品数が多い」（28.6%）の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」（23.5%）、「価格が安い」（21.6%）の順となっている。郊外においては、中心部商業地同様に「品数が多い」（32.8%）の割合が最も高く、次いで「車で行きやすい」（24.5%）、「価格が安い」（23.8%）の順となっている。中心部商業地では「品質が良い」の割合も高かった。

図表6-28 店舗立地特性格別買物店舗選択理由（セーター・ブラウス）

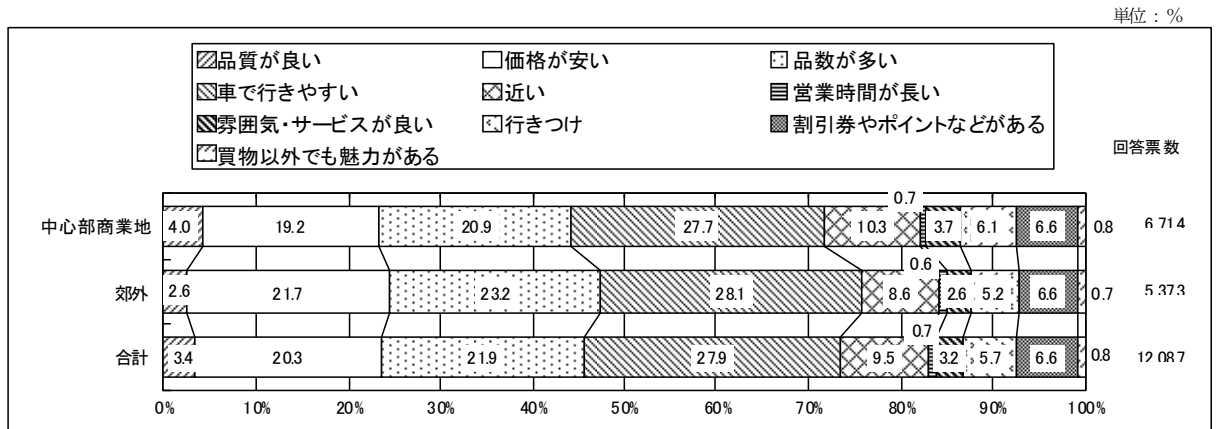


[家電製品]

家電製品について、買物店舗の立地特性別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表6-29である。

中心部商業地では、「車で行きやすい」（27.7%）の割合が最も高く、次いで「品数が多い」（20.9%）、「価格が安い」（19.2%）の順となっている。郊外においては、中心部商業地同様に「車で行きやすい」（28.1%）の割合が最も高く、次いで「品数が多い」（23.2%）、「価格が安い」（21.7%）の順となっている。

図表6-29 店舗立地特性別買物店舗選択理由（家電製品）

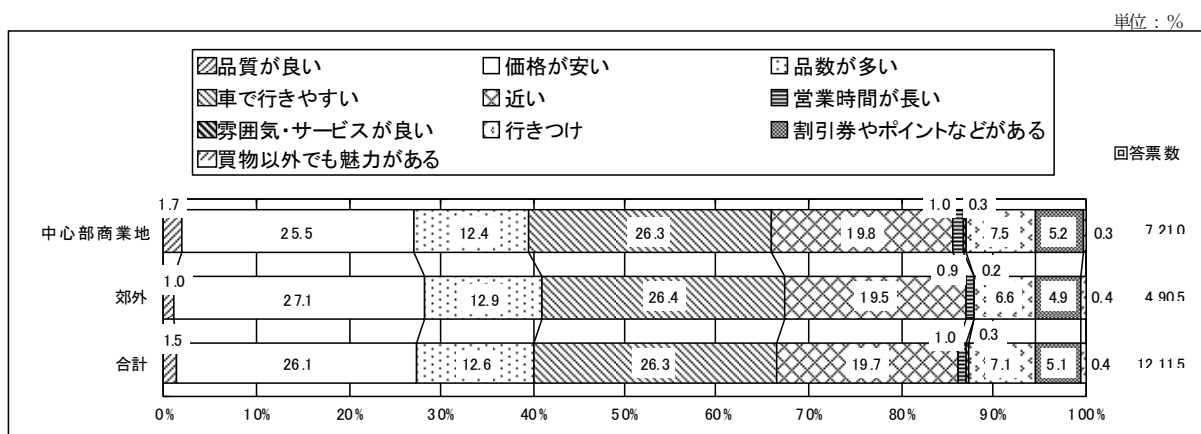


[日用品]

日用品について、買物店舗の立地特性別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表6-30である。

中心部商業地では、「車で行きやすい」（26.3%）と「価格が安い」（25.5%）が拮抗しており、「近い」（19.8%）が続いている。郊外においては、中心部商業地同様に「価格が安い」（27.1%）と「車で行きやすい」（26.4%）が拮抗しており、「近い」（19.5%）が続いている。

図表6-30 店舗立地特性別買物店舗選択理由（日用品）

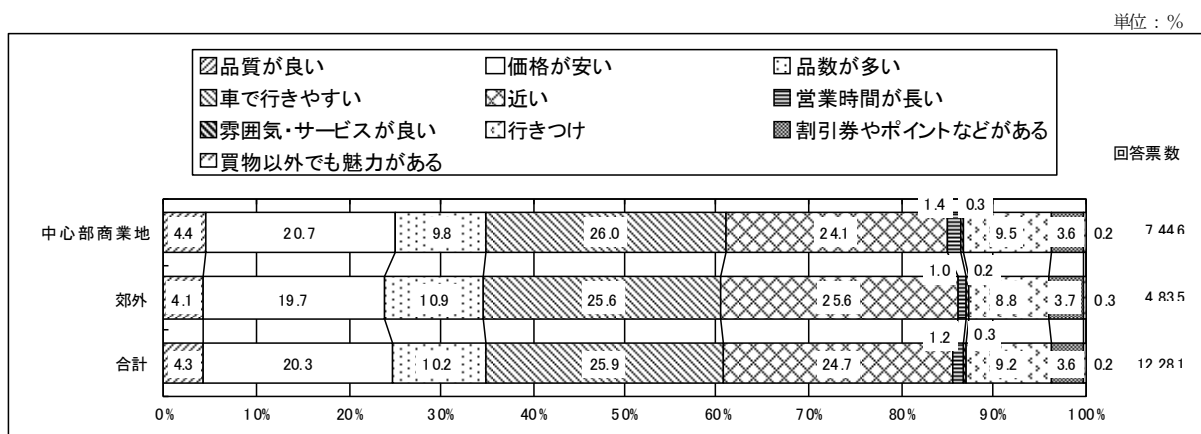


[食料品]

食料品について、買物店舗の立地特性別（中心部商業地か郊外か）に買物店舗の選択理由をみたものが、図表6-31である。

中心部商業地では、「車で行きやすい」(26.0%)の割合が最も高く、次いで「近い」(24.1%)、「価格が安い」(20.7%)の順となっている。郊外においては、「車で行きやすい」と「近い」(ともに25.6%)の割合が最も高く、次いで「価格が安い」(19.7%)の順となっている。

図表6-31 店舗立地特性別買物店舗選択理由（食料品）



エ 買物店舗形態と買物店舗選択理由

ここでは、買物店舗形態と店舗選択理由の関係について分析していく。10品目について分析したものが図表6-32である。

[個人商店]

「車で行きやすい」(19.2%)の割合が最も高く、これに「行きつけ」(18.3%)が続いている。

また、「行きつけ」と「雰囲気・サービスが良い」(3.3%)はすべての買物店舗形態の中で最も高いが、「車で行きやすい」は最も低い。

[スーパー]

「車で行きやすい」(26.1%)が最も高く、以下、「近い」(24.4%)、「価格が安い」(21.6%)が続いている。

また、「価格が安い」はすべての買物店舗形態の中で最も高いが、「雰囲気・サービスが良い」と「買物以外でも魅力がある」(ともに0.3%)、「品質が良い」(3.3%)は最も低い。

[コンビニエンスストア]

「車で行きやすい」(28.4%)が最も高く、以下、「近い」(27.3%)、「価格が安い」(12.6%)が続いている。

また、「近い」と「割引券やポイントなどがある」(6.1%)、「営業時間が長い」(4.1%)は、すべての買物店舗形態の中で最も高いが、「品数が多い」(9.9%)は最も低い。

[デパート]

「品質が良い」(28.4%)が最も高く、以下、「品数が多い」(26.0%)、「車で行きやすい」(20.0%)が続いている。

また、「品質が良い」はすべての買物店舗形態の中で最も高いが、「割引券やポイントなどがある」(1.3%)と「価格が安い」(8.9%)は最も低い。

[大型専門店・量販店]

「車で行きやすい」(26.3%)が最も高く、以下、「品数が多い」(23.8%)、「価格が安い」(20.4%)が続いている。

[アウトレットモール]

「品数が多い」(29.5%)が最も高く、以下、「価格が安い」(20.9%)、「車で行きやすい」(19.3%)が続いている。

また、「品数が多い」、「買物以外でも魅力がある」(8.8%)は、すべての買物店舗形態の中で最も高いが、「営業時間が長い」(0.4%)、「近い」(2.7%)、「行きつけ」(4.0%)は最も低い。

[ショッピングセンター]

「車で行きやすい」(29.8%)が最も高く、以下、「品数が多い」(27.7%)、「価格が安い」(16.2%)が続いている。

図表 6-32 買物店舗形態別買物店舗選択理由

上段は実数、下段は%

買物店舗の選択理由	品 質 が 良 い	価 格 が 安 い	品 数 が 多 い	車 で 行 き や す い	近 い	営 業 時 間 が 長 い	雰 囲 気 ・ サ ー ビ ス が 良 い	行 き つ け	割 引 券 や ポ イ ン ト な ど が あ る	買 物 以 外 で も 魅 力 が あ る	計
個人商店	404 16.5	253 10.4	264 10.8	469 19.2	430 17.6	14 0.6	81 3.3	447 18.3	41 1.7	40 1.6	2,443 100.0
スーパー	774 3.3	5,053 21.6	2,447 10.5	6,099 26.1	5,715 24.4	253 1.1	67 0.3	1,978 8.5	946 4.0	59 0.3	23,391 100.0
コンビニエンスストア	19 3.4	70 12.6	55 9.9	158 28.4	152 27.3	23 4.1	5 0.9	38 6.8	34 6.1	3 0.5	557 100.0
デパート	2,846 28.4	886 8.9	2,599 26.0	2,006 20.0	448 4.5	48 0.5	127 1.3	539 5.4	128 1.3	384 3.8	10,011 100.0
大型専門店・量販店	2,824 5.3	10,839 20.4	12,650 23.8	13,957 26.3	5,907 11.1	502 0.9	659 1.2	2,895 5.5	2,414 4.6	401 0.8	53,048 100.0
アウトレットモール	530 11.7	946 20.9	1,336 29.5	872 19.3	123 2.7	16 0.4	61 1.3	179 4.0	65 1.4	397 8.8	4,525 100.0
ショッピングセンター	2,448 5.9	6,696 16.2	11,407 27.7	12,276 29.8	3,350 8.1	312 0.8	279 0.7	2,244 5.4	800 1.9	1,429 3.5	41,241 100.0
合計	9,845 7.3	24,743 18.3	30,758 22.7	35,837 26.5	16,125 11.9	1,168 0.9	1,279 0.9	8,320 6.2	4,428 3.3	2,713 2.0	135,216 100.0

以下では、品目別に買物店舗形態と買物店舗選択理由の関係について分析していく。

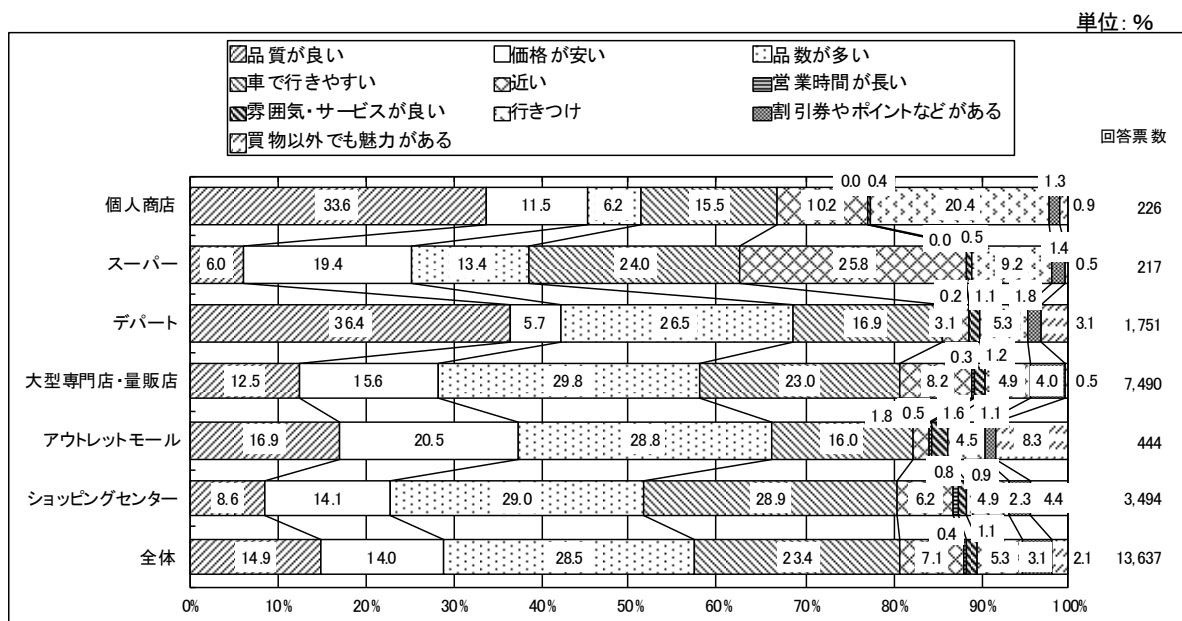
[背広・スーツ]

回答票数*の最も多い大型専門店・量販店では「品数が多い」(29.8%)の割合が最も高く、「車で行きやすい」(23.0%)が続いている。

2番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「品数が多い」(29.0%)と「車で行きやすい」(28.9%)が拮抗している。

3番目に回答票数の多いデパートでは「品質が良い」(36.4%)が最も高く、「品数が多い」(26.5%)が続いている。

図表6-33-1 買物店舗形態別買物店舗選択理由(背広・スーツ)



* 回答票数：買物店舗形態回答者のうち、買物店舗選択理由に回答した者（以下、すべての品目で同じ）
 * コンビニエンスストアでは通常、背広・スーツの取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、背広・スーツについては、品質の良いものをデパートで購入する層が一定数存在している。ただし、全体的な傾向としては、車でアクセスしやすく、低価格帯の在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

近年、スーパーでも低価格の背広・スーツを販売していることもあるため、ごく少数であるが、スーパーを「価格が安い」や「車で行きやすい」の理由で買物場所として選んでいる回答者もみられる。

アウトレットモールでは、さまざまなブランド品のスーツを割安な価格で手に入れることができるため、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」の理由で買物場所として選んでいる回答者もみられる。

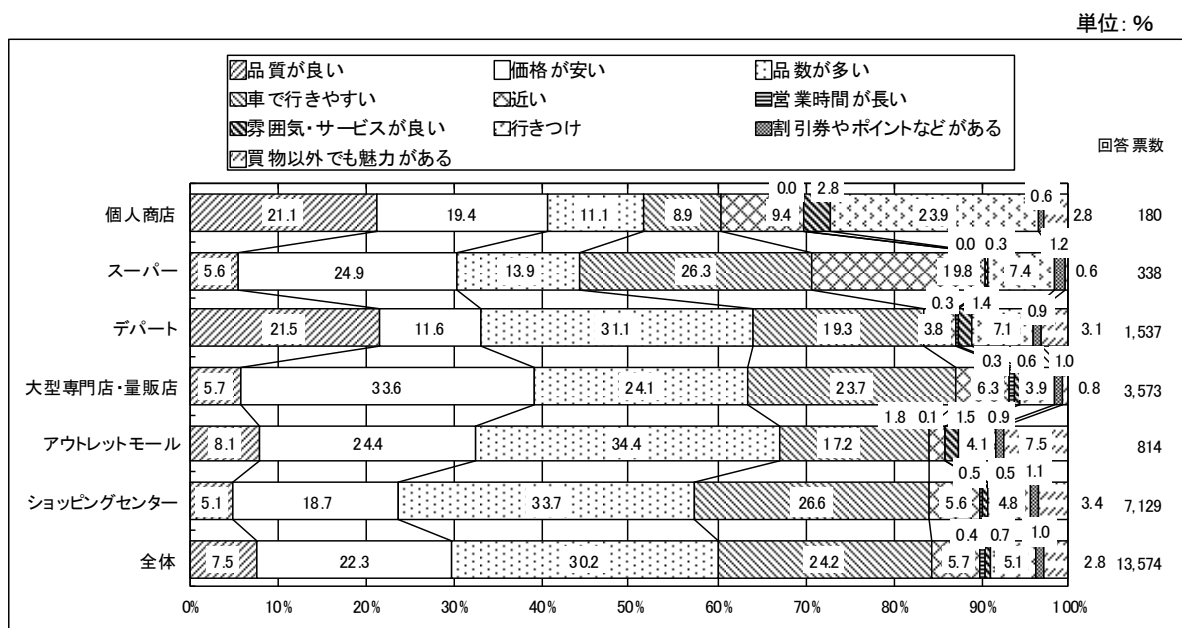
[セーター・ブラウス]

回答票数の最も多いショッピングセンターでは「品数が多い」(33.7%)の割合が最も高く、「車で行きやすい」(26.6%)が続いている。

2番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「価格が安い」(33.6%)の割合が最も高く、「品数が多い」(24.1%)が続いている。

3番目に回答票数の多いデパートでは「品数が多い」(31.1%)が最も高く、「品質が良い」(21.5%)が続いている。

図表6-33-2 買物店舗形態別買物店舗選択理由（セーター・ブラウス）



* コンビニエンスストアでは通常、セーター・ブラウスの取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

セーター・ブラウスについて、品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、背広・スーツと同様の傾向がみられる。品質の良いものをデパートで購入する層が一定数存在しているが、全体的な傾向としては、車でアクセスしやすく、比較的低価格の商品を複数のテナント等から選べるショッピングセンターや、低価格帯の在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

近年、スーパーでも低価格のセーター・ブラウスを販売していることもあるため、少数であるが、スーパーを「価格が安い」や「車で行きやすい」の理由で買物場所として選んでいる回答者もみられる。

アウトレットモールでは、さまざまなブランド品のセーター・ブラウスを割安な価格で手に入れることができるため、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」の理由で買物場所として選んでいる回答者もみられる。

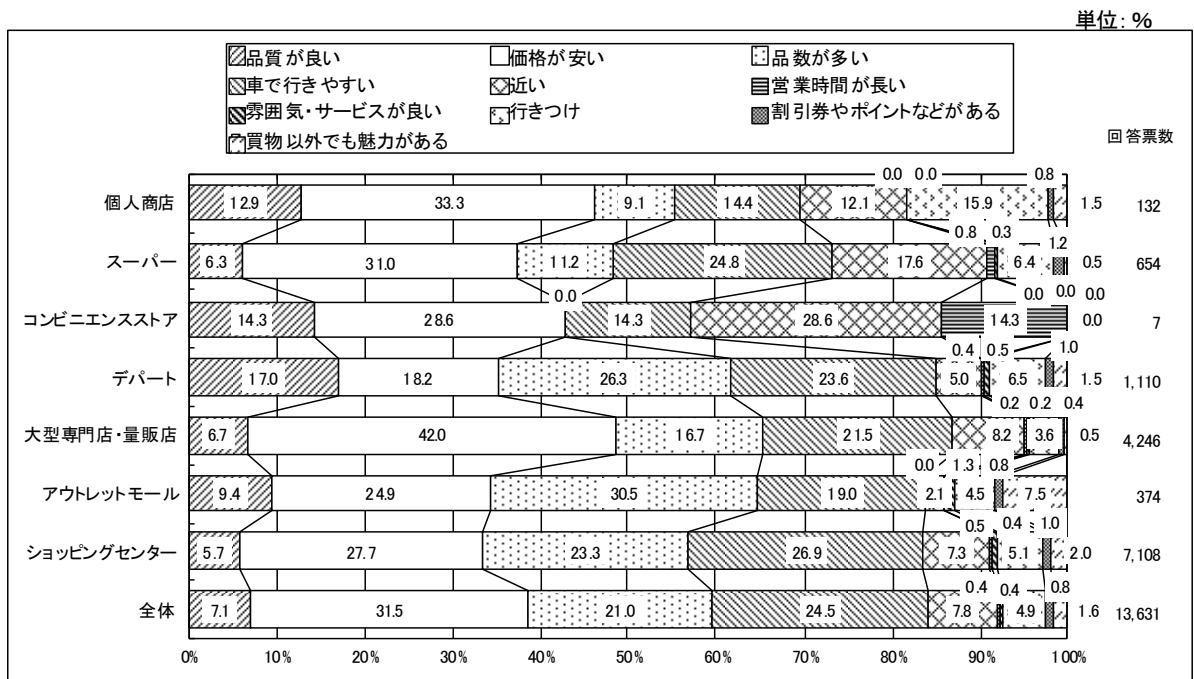
[下着]

回答票数の最も多いショッピングセンターでは「価格が安い」(27.7%)と「車で行きやすい」(26.9%)が拮抗しており、「品数が多い」(23.3%)が続いている。

2番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「価格が安い」(42.0%)の割合が最も高く、「車で行きやすい」(21.5%)が続いている。

3番目に回答票数の多いデパートでは「品数が多い」(26.3%)が最も高く、「車で行きやすい」(23.6%)が続いている。「品質が良い」(17.0%)がショッピングセンター、大型専門店・量販店と比較して高い。

図表6-33-3 買物店舗形態別買物店舗選択理由(下着)



下着について品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、背広・スーツ、セーター・ブラウスと同様の傾向がみられる。品質の良いものをデパートで購入する層が一定数存在しているが、全体的な傾向としては、車でアクセスしやすく、比較的低価格の商品を複数のテナント等から選べるショッピングセンターや、低価格帯の在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

スーパーでの買物割合も比較的高く、日用品に近いものとして認識されていることも考えられる。

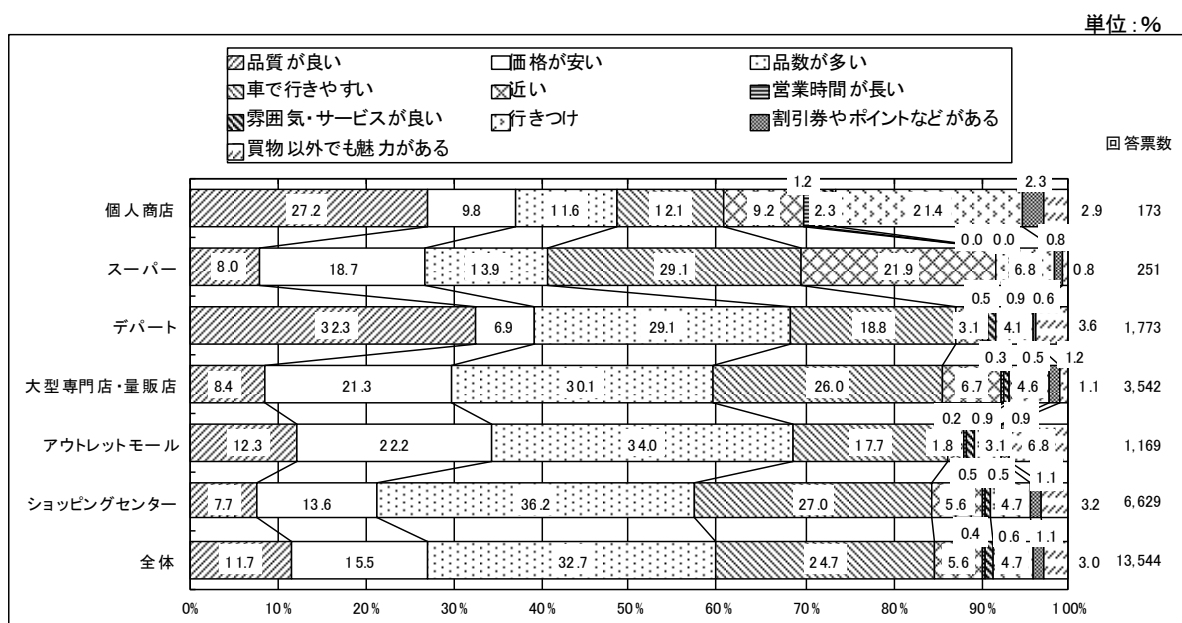
[靴・バッグ]

回答票数の最も多いショッピングセンターでは「品数が多い」(36.2%)の割合が最も高く、「車で行きやすい」(27.0%)が続いている。

2番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「品数が多い」(30.1%)の割合が最も高く、「車で行きやすい」(26.0%)が続いている。

3番目に回答票数の多いデパートでは「品質が良い」(32.3%)が最も高く、「品数が多い」(29.1%)が続いている。

図表6-33-4 物店舗形態別買物店舗選択理由（靴・バッグ）



* コンビニエンスストアでは通常、靴・バッグの取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、靴・バッグについては、品質の良いものをデパートで購入する層が少なくない。ただし、全体的な傾向としては、車でアクセスしやすく、比較的低価格の商品を複数のテナント等から選べるショッピングセンターや、在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

アウトレットモールでは、さまざまなブランド品の靴・バッグを割安な価格で手に入れることができるため、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」の理由で買物場所として選んでいる回答者が、他の品目と比較して多い。

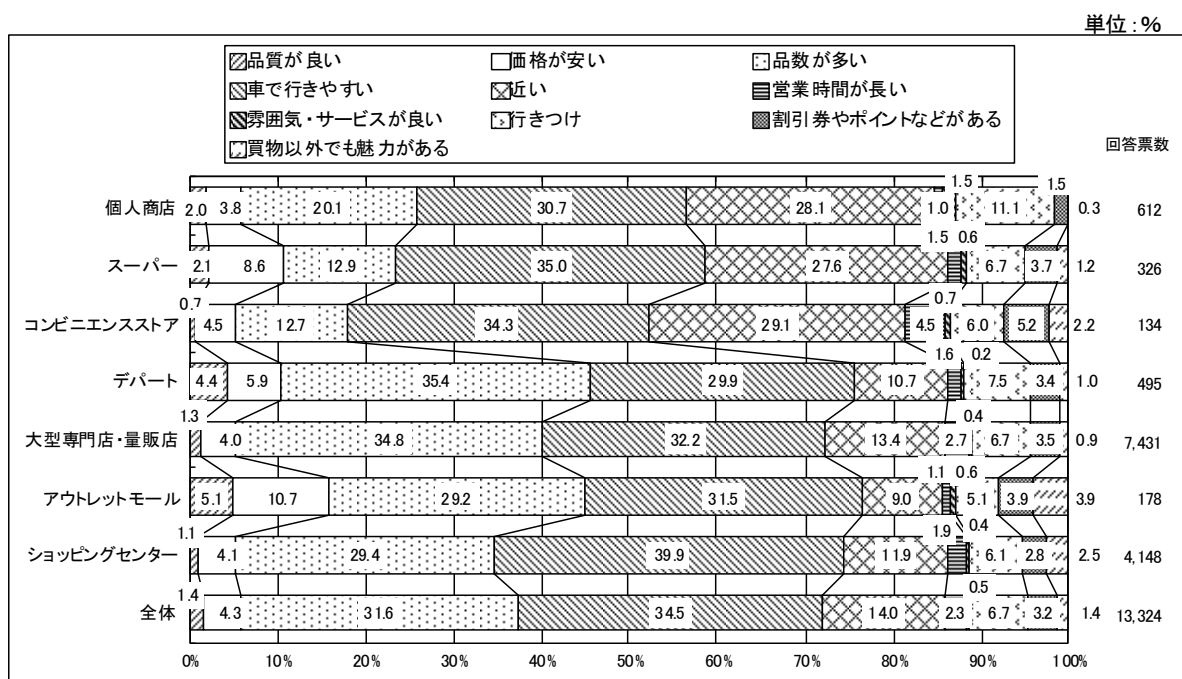
[本・CD]

回答票数の最も多い大型専門店・量販店では「品数が多い」(34.8%)の割合が最も高く、「車で行きやすい」(32.2%)が続いている。

2番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」(39.9%)の割合が最も高く、「品数が多い」(29.4%)が続いている。

3番目に回答票数の多い個人商店では「車で行きやすい」(30.7%)が最も高く、「近い」(28.1%)が続いているが、大型専門店・量販店、ショッピングセンターと比較して回答票数に開きがある。

図表6-33-5 買物店舗形態別買物店舗選択理由(本・CD)



品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、本・CDについては、在庫が豊富で、車でアクセスしやすい大型専門店・量販店が買物場所として選ばれている。

車でアクセスしやすく、一定の在庫を抱える書店やCDショップが入居するショッピングセンターを買物場所として選んでいる回答者も多い。

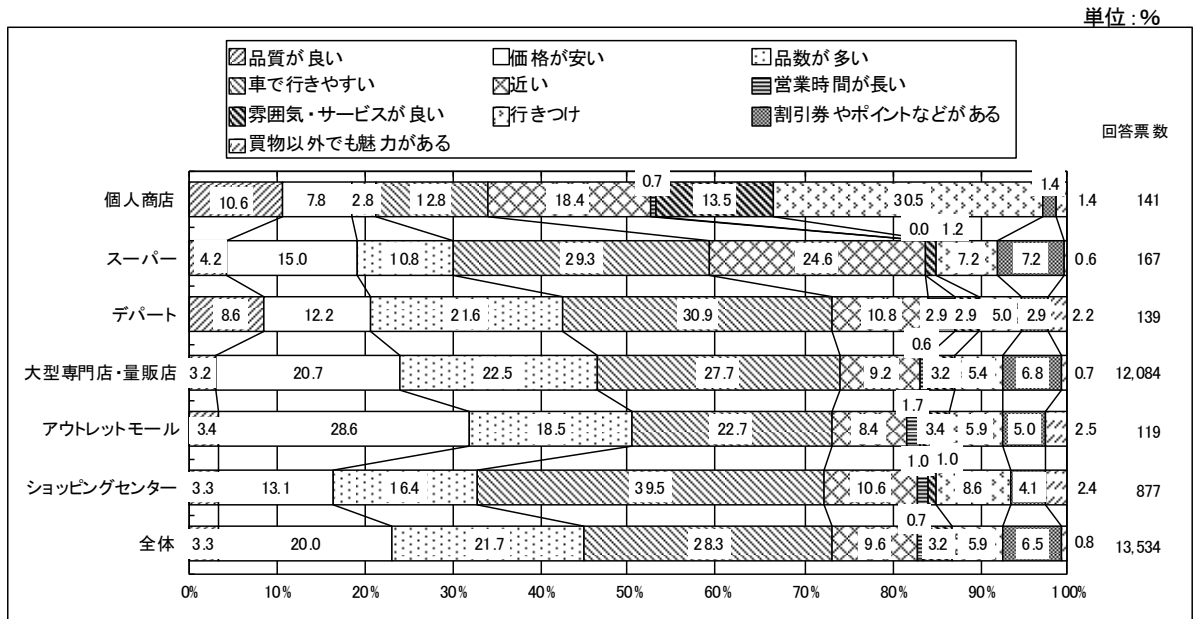
本・CDは個人商店を選んでいる回答者も比較的多く、「車で行きやすい」、「近い」などアクセスのしやすさで選ばれている。

[家電製品]

回答票数の圧倒的に多い大型専門店・量販店では「車で行きやすい」(27.7%)の割合が最も高く、「品数が多い」(22.5%)が続いている。

2番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」(39.5%)の割合が最も高く、「品数が多い」(16.4%)が続いているが、大型専門店・量販店と比較して回答票数に大きな開きがある。

図表6-33-6 買物店舗形態別買物店舗選択理由(家電製品)



* コンビニエンスストアでは通常、家電製品の取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、家電製品については、回答者のほとんどが、車でアクセスしやすく、在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店を買物場所として選んでいる。

「行きつけ」、「雰囲気・サービスがよい」の理由で個人商店を選んでいる回答者もみられる。

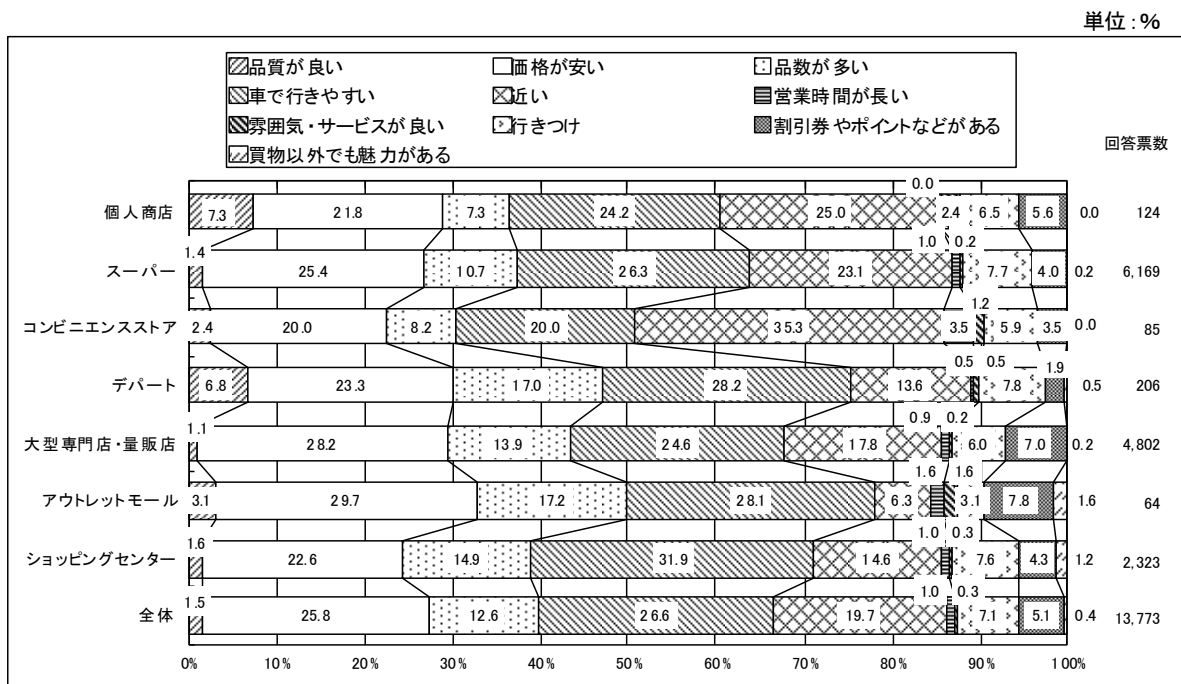
[日用品]

回答票数の最も多いスーパーでは「車で行きやすい」(26.3%)と「価格が安い」(25.4%)が拮抗しており、「近い」(23.1%)が続いている。

2番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「価格が安い」(28.2%)の割合が最も高く、「車で行きやすい」(24.6%)が続いている。

3番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」(31.9%)が最も高く、「価格が安い」(22.6%)が続いている。

図表6-33-7 買物店舗形態別買物店舗選択理由(日用品)



品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、日用品については、近くて、低価格帯の商品が揃うスーパーが買物場所として選ばれている。

大型専門店・量販店やショッピングセンターも、「価格が安い」や「車で行きやすい」の理由で買物場所として選ばれているため、日用品については、低価格のものをまとめて揃えたいという消費者のニーズがあると考えられる。

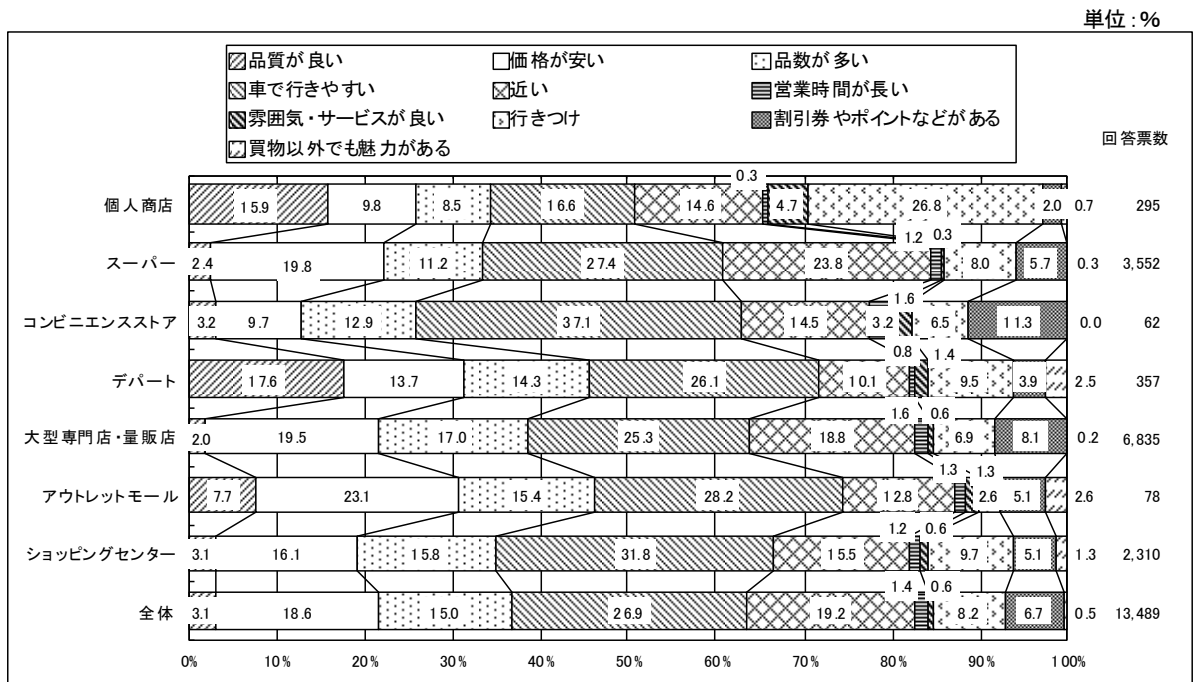
[医薬品・化粧品]

回答票数の最も多い大型専門店・量販店では「車で行きやすい」(25.3%)の割合が最も高く、「価格が安い」(19.5%)が続いている。

2番目に回答票数の多いスーパーでは「車で行きやすい」(27.4%)の割合が最も高く、「近い」(23.8%)が続いている。

3番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」(31.8%)の割合が最も高く、「価格が安い」(16.1%)が続いている。

図表 6-33-8 買物店舗形態別買物店舗選択理由 (医薬品・化粧品)



品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、医薬品・化粧品については、近くて、車でアクセスしやすく、低価格帯の商品が揃う大型専門店・量販店、スーパーやショッピングセンターが買物場所として選ばれている。

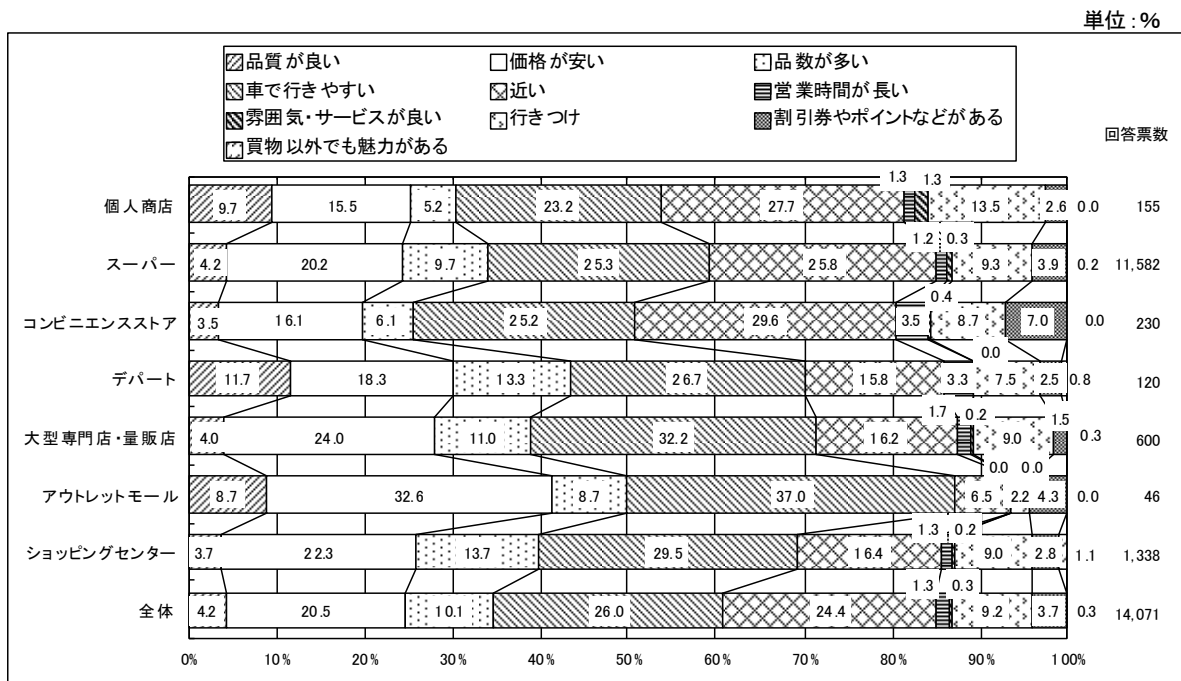
また、「品質が良い」という理由で、個人商店やデパートを選択している回答者もみられる。

[食料品]

回答票数の圧倒的に多いスーパーでは「近い」(25.8%)と「車で行きやすい」(25.3%)が拮抗しており、「価格が安い」(20.2%)が続いている。

2番目に回答票数の多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」(29.5%)の割合が最も高く、「価格が安い」(22.3%)が続いているが、スーパーと比較して回投票数に大きな開きがある。

図表6-33-9 買物店舗形態別買物店舗選択理由（食料品）



品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、食料品については、最も最寄性の高い品目であることから、近隣のスーパーが買物場所として選ばれている。

「車で行きやすい」という理由で、食料品売場のあるショッピングセンターを選択している回答者もみられる。

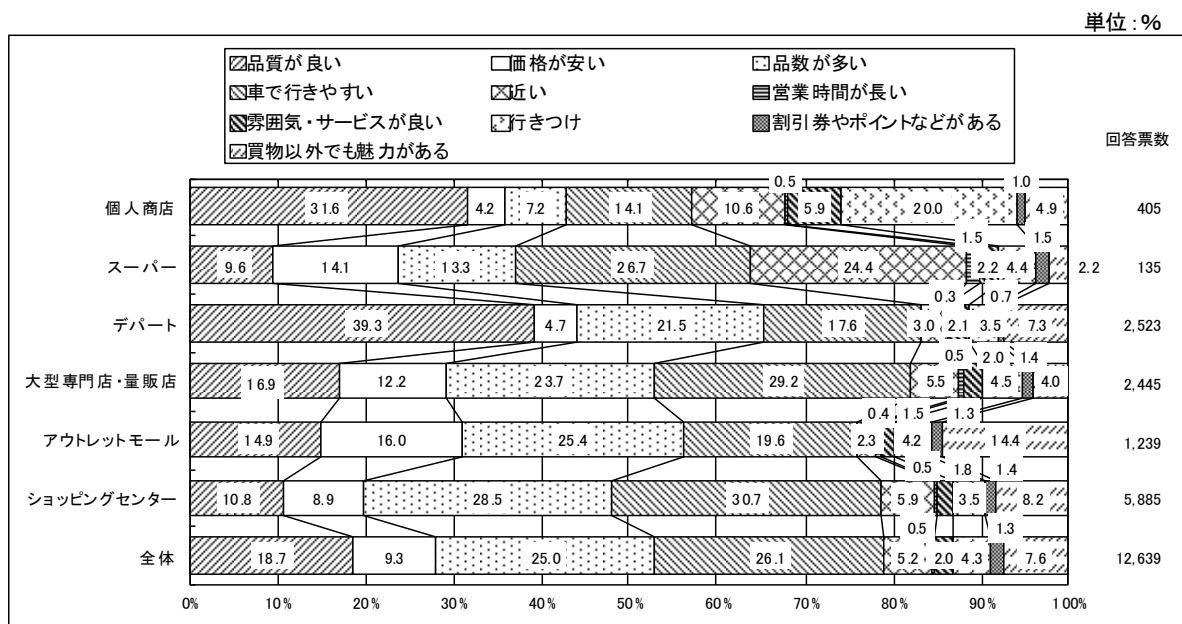
[時計・アクセサリー]

回答票数の最も多いショッピングセンターでは「車で行きやすい」(30.7%)の割合が最も高く、「品数が多い」(28.5%)が続いている。

2番目に回答票数の多いデパートでは「品質が良い」(39.3%)が最も高く、「品数が多い」(21.5%)が続いている。

3番目に回答票数の多い大型専門店・量販店では「車で行きやすい」(29.2%)の割合が最も高く、「品数が多い」(23.7%)が続いている。

図表6-33-10 買物店舗形態別買物店舗選択理由(時計・アクセサリー)



*コンビニエンスストアでは通常、時計・アクセサリーの取り扱いがないのが一般的であることから、分析の対象外とした。

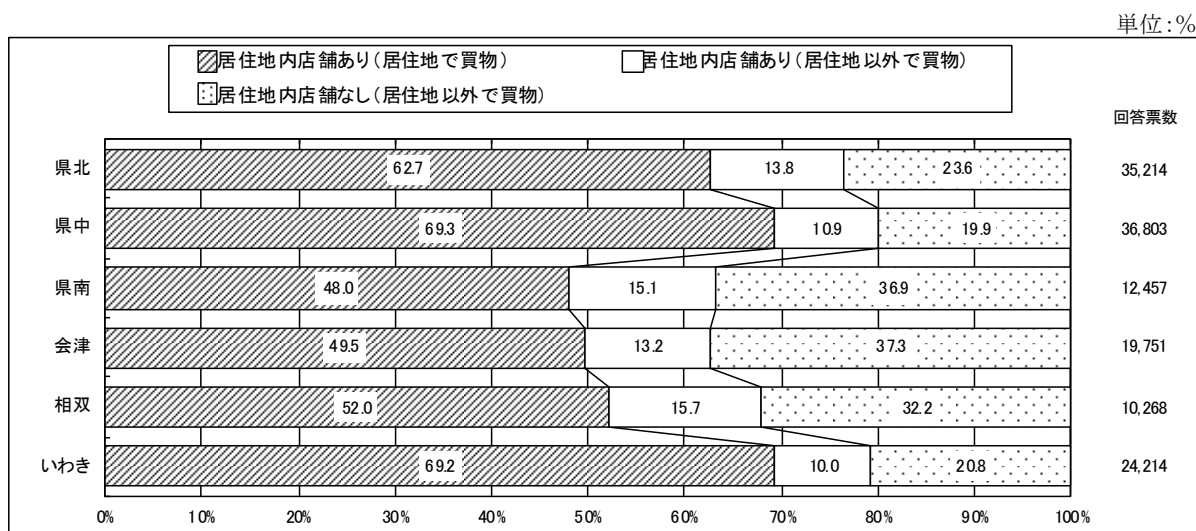
品目別の買物店舗の利用状況と買物店舗の選択理由をあわせて分析すると、時計・アクセサリーについては、車でアクセスしやすく、比較的低価格の商品を複数のテナント等から選べるショッピングセンターが選ばれているが、「品質が良い」を理由にデパートで購入する層も多い。また、低価格帯の在庫を数多く取り扱う大型専門店・量販店も選ばれている。

アウトレットモールでは、さまざまなブランド品の時計・アクセサリーを割安な価格で手に入れることができるため、「品数が多い」、「価格が安い」、「品質が良い」の理由で買物場所として選んでいる回答者も比較的多い。

オ 居住地内の買物店舗有無と買物場所の関係【補正データあり】

ここでは、居住地内における買物店舗の有無が買物行動に与える影響について分析していく。ブロック別の 11 品目合計について集計したものが図表 6-34 である。

図表 6-34 買物店舗の有無と買物場所の関係（ブロック別・11 品目合計）



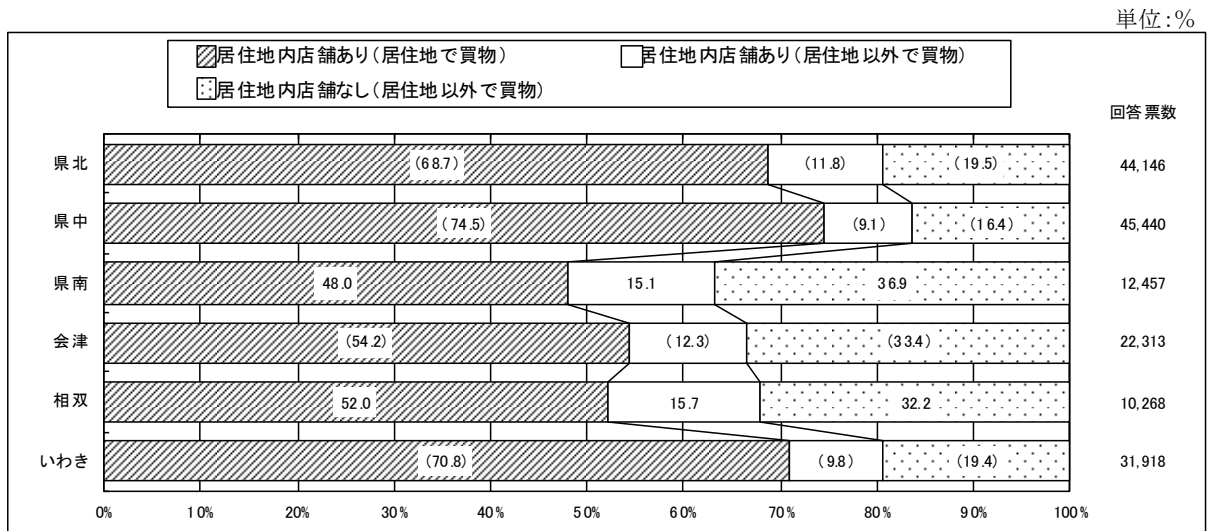
*回答票数：品目別居住地内の買物店舗の有無回答者のうち、品目別買物場所に回答した者の数の居住地（ブロック）別合計

今回調査では、人口規模の大きい 4 市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）の標本数を調整しているため、「居住地内店舗あり（居住地で買物）」の割合が極端に低くなっている。

前回（平成 28 年度）調査と比較するために、4 市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値は「図表 6-34 買物店舗の有無と買物場所の関係（ブロック別・11 品目合計）〈補正データ〉」のとおりとなる。（参考値であることに留意。）

居住地内に買物店舗があるものの、居住地以外で買物をする割合は、相双ブロック（15.7%）で最も高く、次いで県南ブロック（15.1%）、会津ブロック（12.3%）が続いている。

図表 6-34 買物店舗の有無と買物場所の関係（ブロック別・11品目合計）〈補正データ〉



注) 今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）について、標本数の調整を行っている。

前回調査と比較するために、4市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を（ ）で記載する。（参考値であることに留意。）

以下では、居住地内における買物店舗の有無が買物行動に与える影響について、ブロック別、品目別に分析していく（図表6-35-1から図表6-35-6）。

(ア) 県北ブロック【補正データあり】

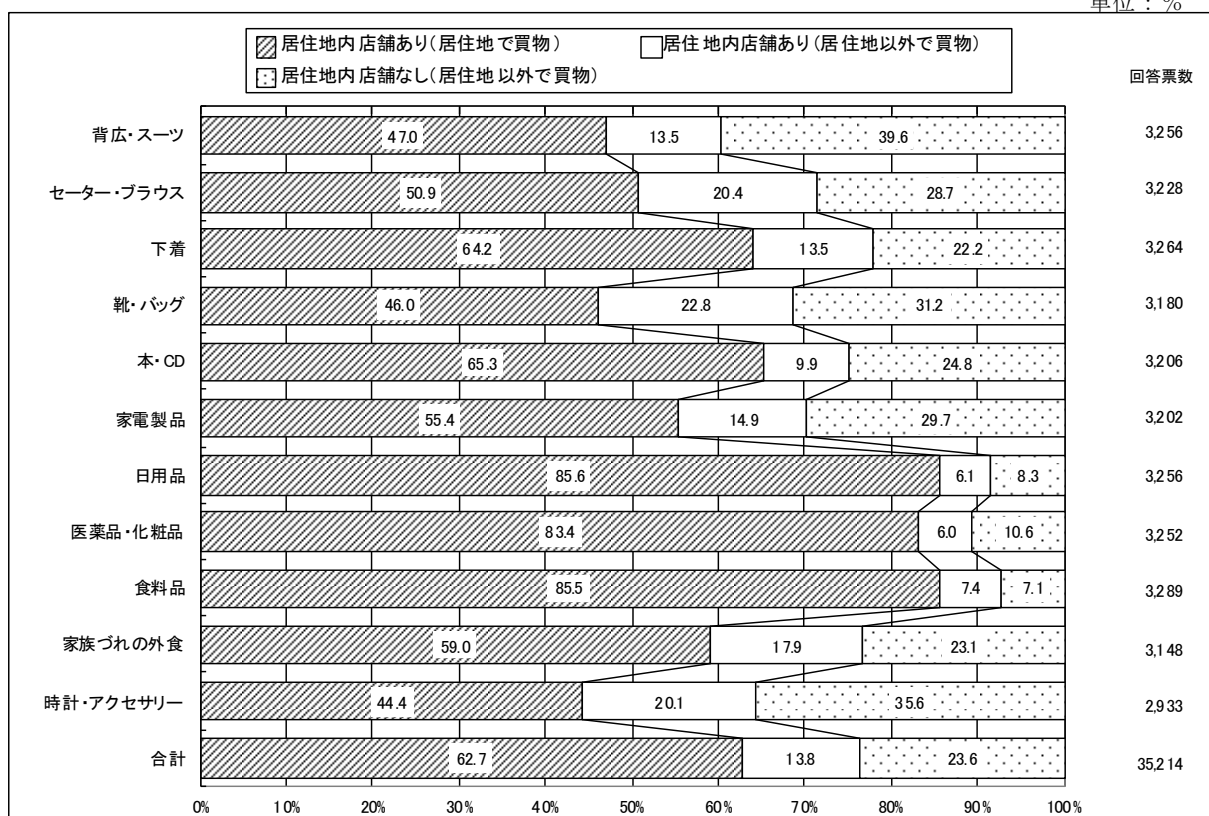
居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」(22.8%)であり、次いで「セーター・ブラウス」(20.4%)、「時計・アクセサリー」(20.1%)、「家族づれの夕食」(17.9%)となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、それぞれ80%以上が居住地内の店舗において買物をしている。

11 品目合計で見ると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は13.8%である。

図表 6-35-1 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係 (県北ブロック)

単位：%



* 回答票数：品目別居住地内の買物店舗の有無回答者のうち、品目別買物場所に回答した者の数
(以下、すべてのブロックで同じ)

今回調査では、人口規模の大きい4市(福島市、郡山市、会津若松市、いわき市)の標本数を調整しているため、「居住地内店舗あり(居住地で買物)」の割合が極端に低くなっている。

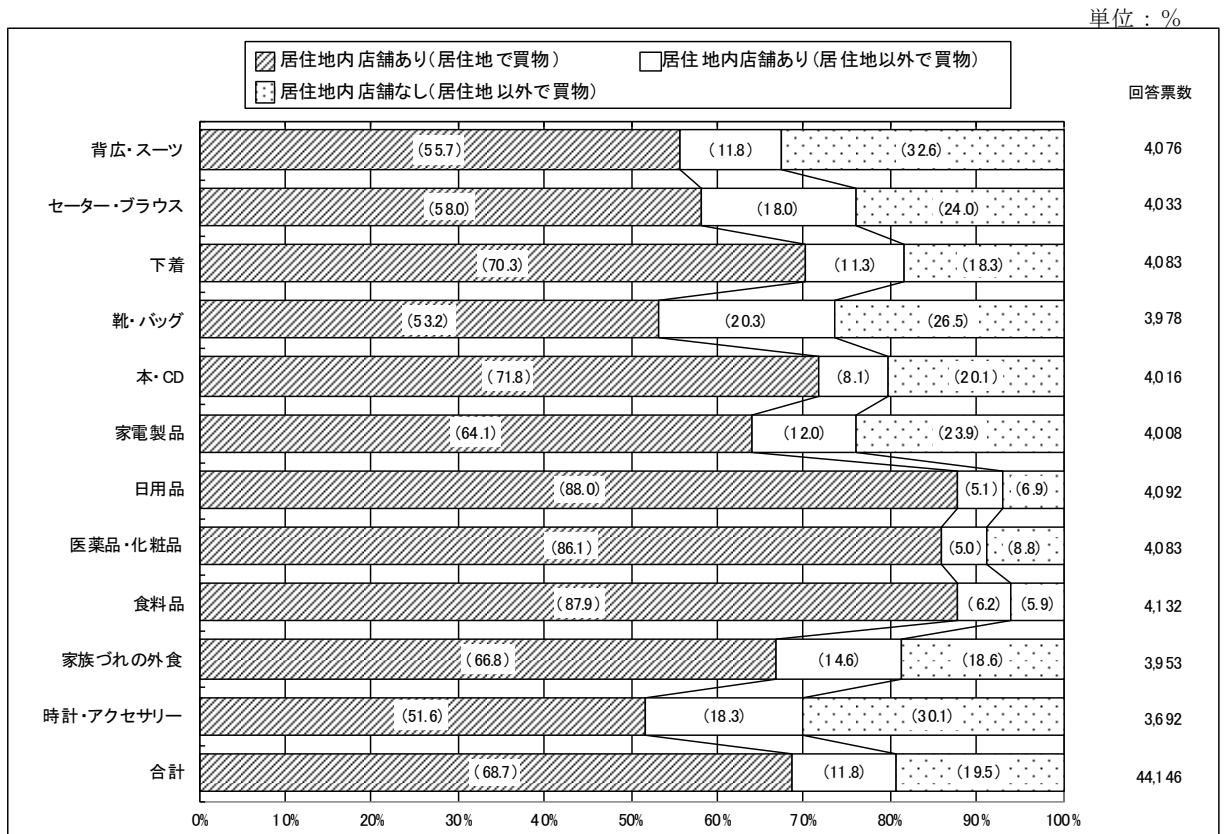
前回(平成28年度)調査と比較するために、福島市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値は「図表6-35-1 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係(県北ブロック)〈補正データ〉」のとおりとなる。(参考値であることに留意。)

補正した数値によりみると、居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」(20.3%)であり、次いで「時計・アクセサリー」(18.3%)、「セーター・ブラウス」(18.0%)、「家族づれの夕食」(14.6%)となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、それぞれ80%以上が居住地内の店舗において買物をしている。

11 品目合計で見ると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は11.8%である。

図表6-35-1 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（県北ブロック）〈補正データ〉



注) 今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）について、標本数の調整を行っている。

前回調査と比較するために、福島市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を（ ）で記載する。（参考値であることに留意。）

(イ) 県中ブロック【補正データあり】

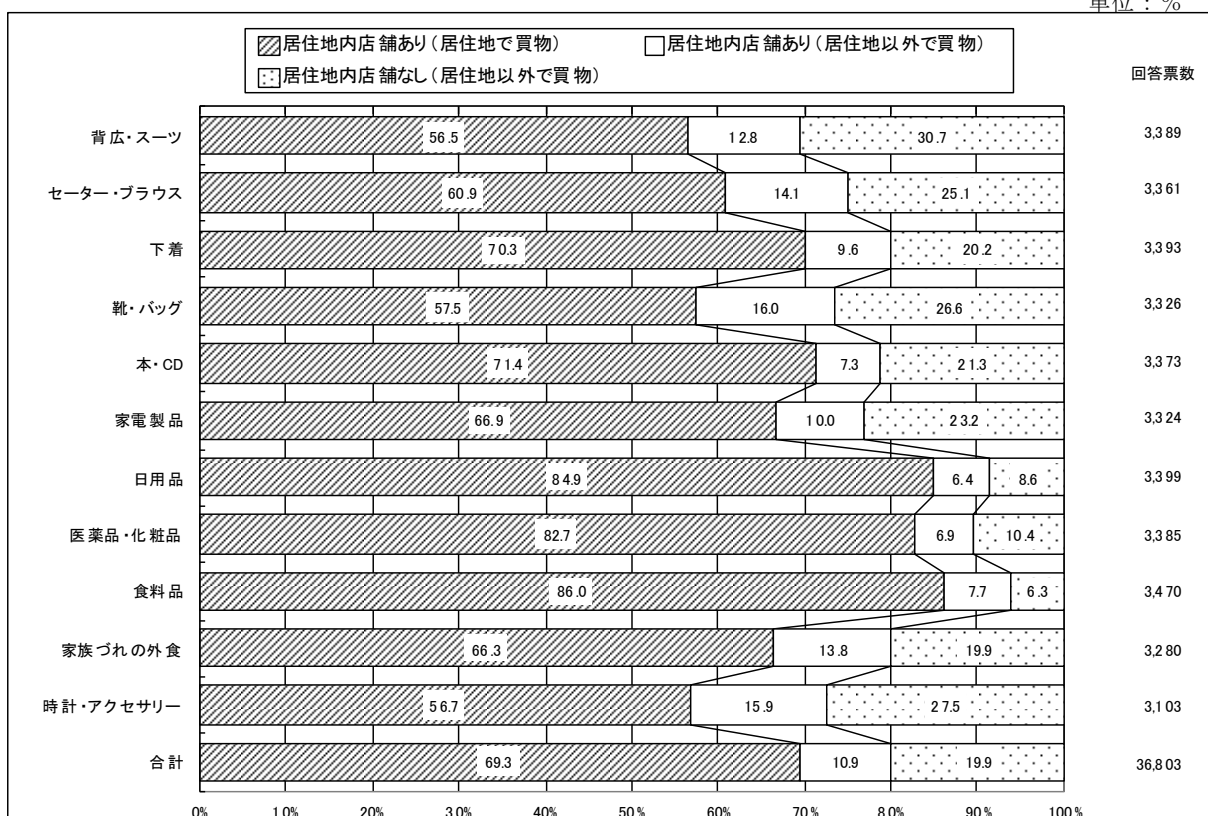
居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」(16.0%)であり、次いで「時計・アクセサリ」(15.9%)、「セーター・ブラウス」(14.1%)、「家族づれの夕食」(13.8%)となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、80%以上が居住地内の店舗において買物をしている。

また、11品目合計でみると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は10.9%である。

図表6-35-2 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（県中ブロック）

単位：%



今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）の標本数を調整しているため、「居住地内店舗あり（居住地で買物）」の割合が極端に低くなっている。

前回（平成28年度）調査と比較するために、郡山市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値は「図表6-35-2 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（県中ブロック）〈補正データ〉」のとおりとなる。（参考値であることに留意。）

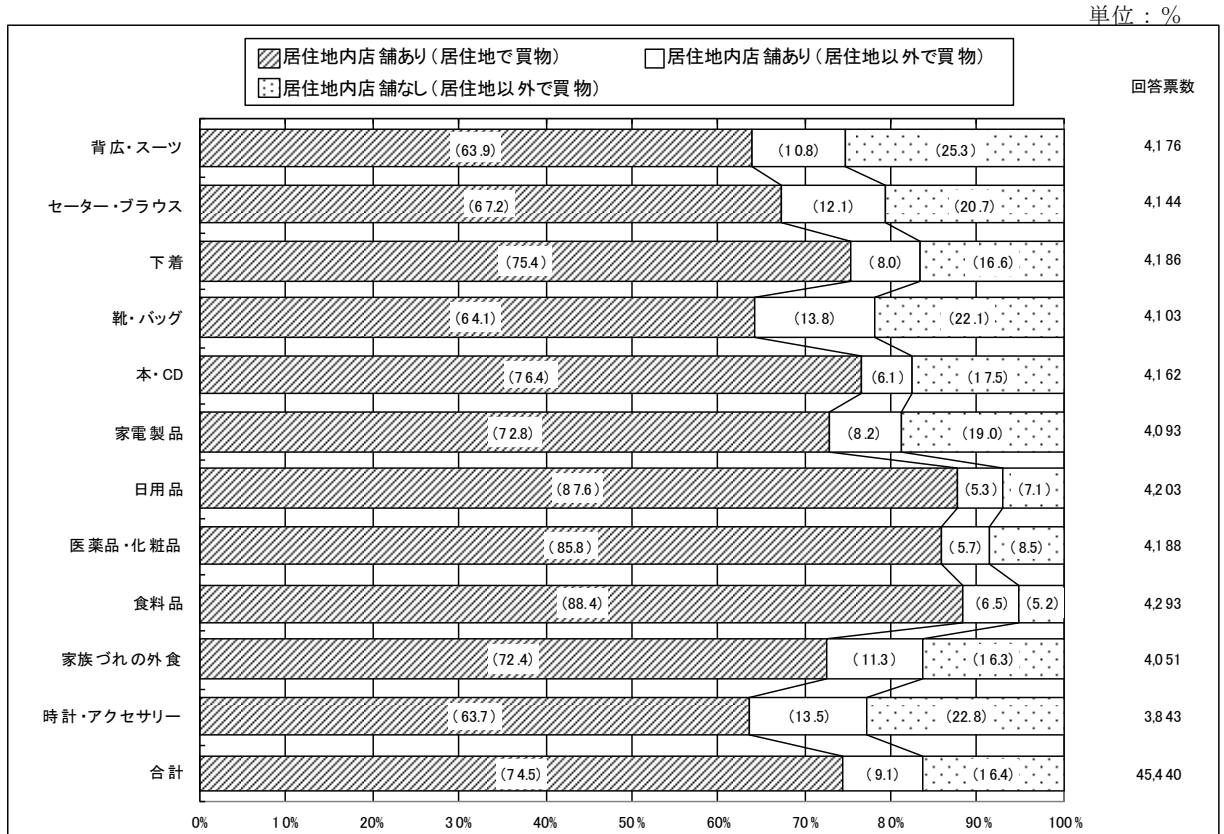
補正した数値によりみても、居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」(13.8%)であり、次いで「時計・アクセサリ」(13.5%)、「セーター・ブラウス」(12.1%)、「家族づれの夕食」(11.3%)となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、それぞれ80%以上

が居住地内の店舗において買物をしている。

11 品目合計で見ると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は 9.1%である。

図表 6-35-2 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（県中ブロック）〈補正データ〉



注) 今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）について、標本数の調整を行っている。

前回調査と比較するために、郡山市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を（ ）で記載する。（参考値であることに留意。）

(ウ) 県南ブロック

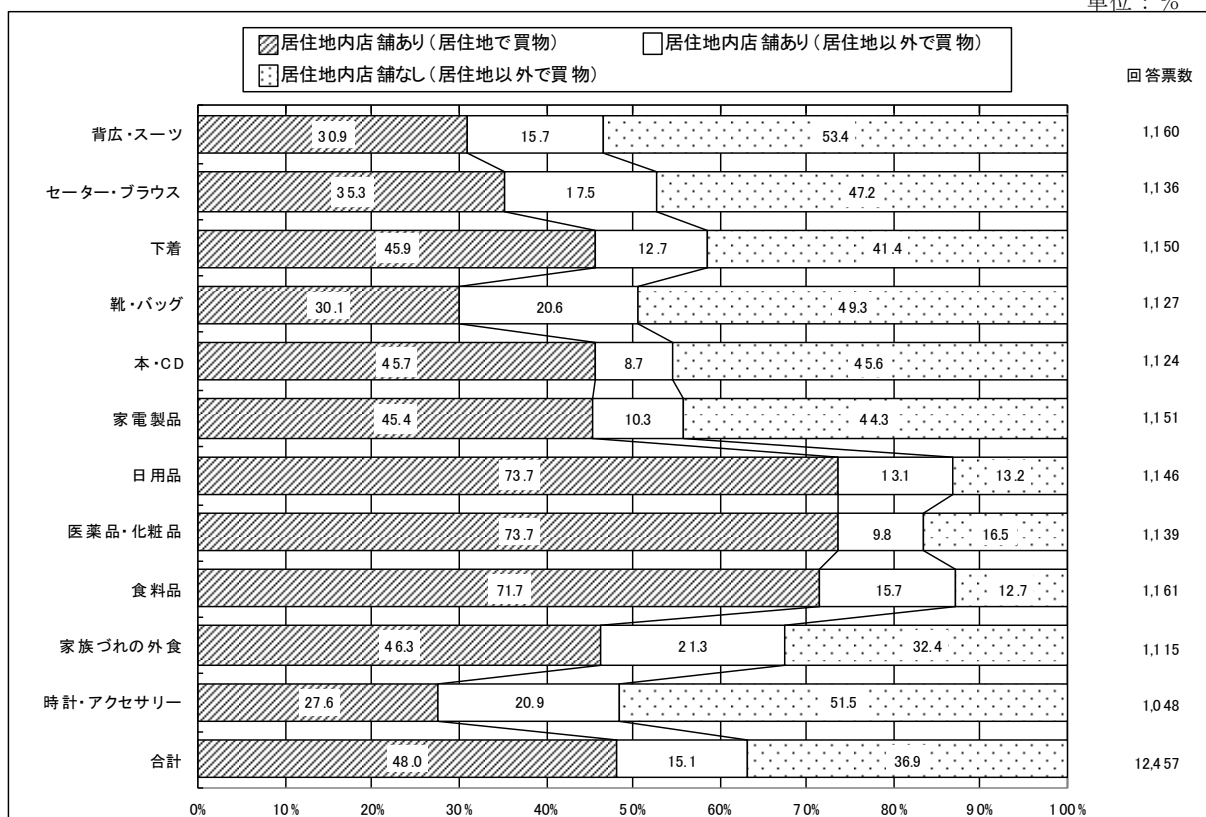
居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「家族づれの
 外食」(21.3%)であり、次いで「時計・アクセサリ」(20.9%)、「靴・バッグ」(20.6%)、
 「セーター・ブラウス」(17.5%)となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、それぞれ10%前後
 が居住地内に店舗があっても居住地以外の店舗で買物をしており、他のブロックと比較
 して高い割合を占めている。

また、11品目合計でみると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の
 割合が15.1%で、相双ブロックに次いで高い。

図表6-35-3 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（県南ブロック）

単位：%

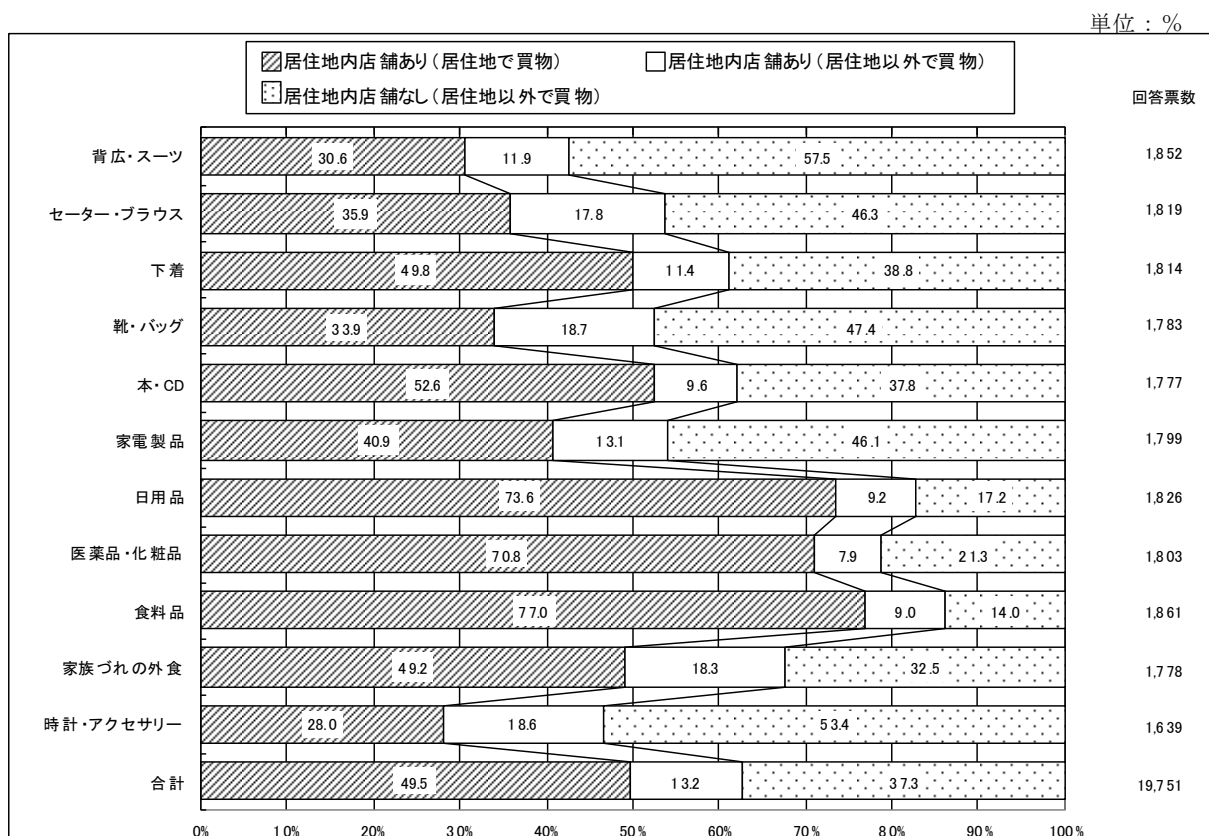


(エ) 会津ブロック【補正データあり】

居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」(18.7%)であり、次いで「時計・アクセサリー」(18.6%)、「家族づれの夕食」(18.3%)、「セーター・ブラウス」(17.8%)となっている。

11 品目合計で見ると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は13.2%である。

図表 6-35-4 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（会津ブロック）



今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）の標本数を調整しているため、「居住地内店舗あり（居住地で買物）」の割合が極端に低くなっている。

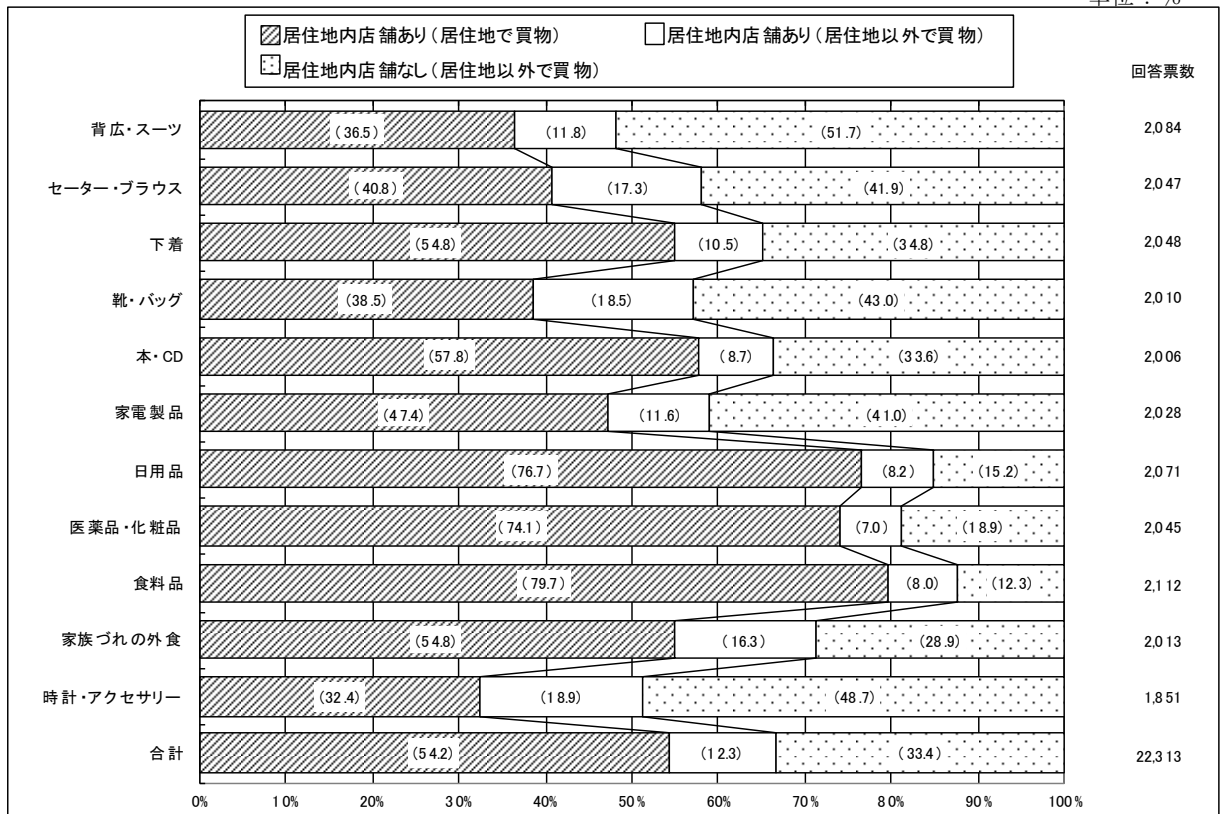
前回（平成28年度）調査と比較するために、会津若松市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値は「図表6-35-4 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（会津ブロック）〈補正データ〉」のとおりとなる。（参考値であることに留意。）

補正した数値によりみても、居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「時計・アクセサリー」(18.9%)であり、次いで「靴・バッグ」(18.5%)、「セーター・ブラウス」(17.3%)、「家族づれの夕食」(16.3%)となっている。

11 品目合計で見ると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は12.3%である。

図表 6-35-4 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（会津ブロック）〈補正データ〉

単位：％



注) 今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）について、標本数の調整を行っている。

前回調査と比較するために、会津若松市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を（ ）で記載する。（参考値であることに留意。）

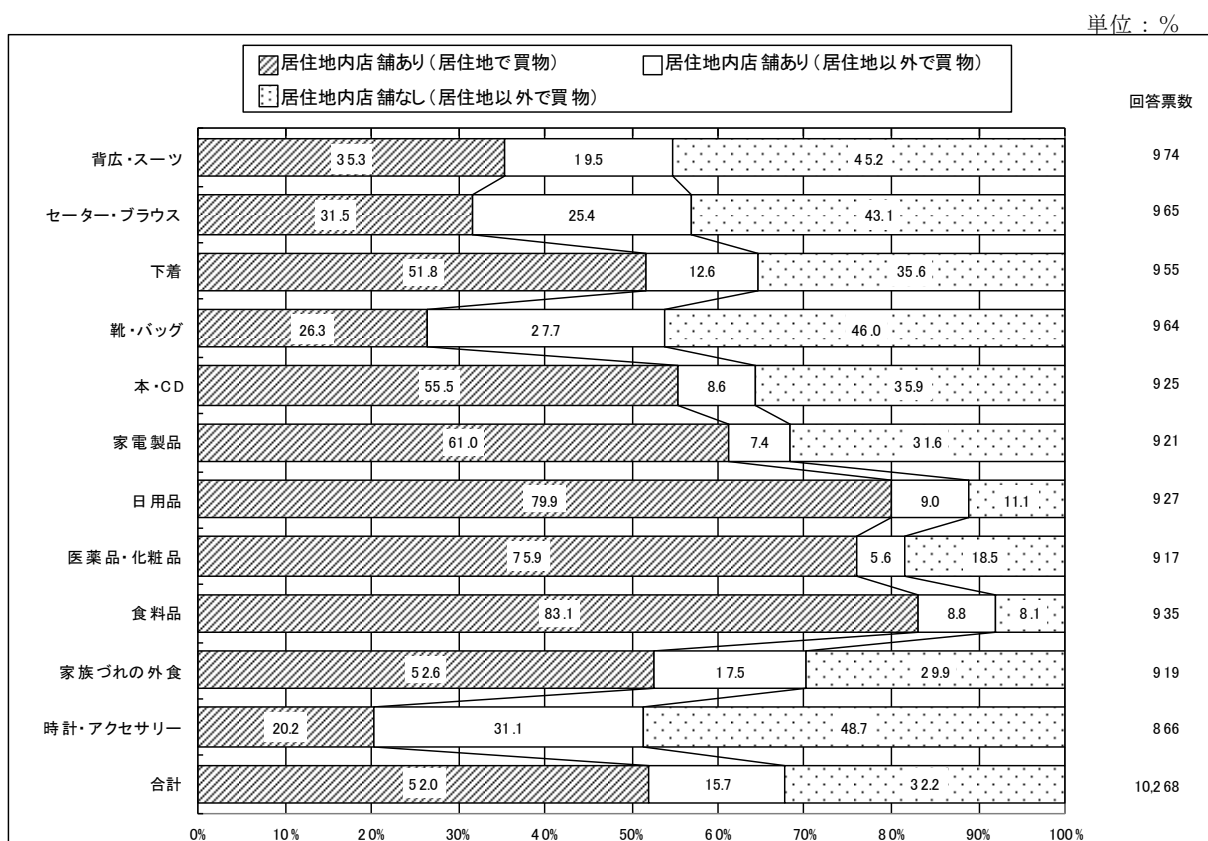
(オ) 相双ブロック

居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「時計・アクセサリー」(31.1%)であり、次いで「靴・バッグ」(27.7%)、「セーター・ブラウス」(25.4%)、「背広・スーツ」(19.5%)となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、居住地内の店舗において買物をしている割合がそれぞれ75%以上となっている。

また、11品目合計でみると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合が15.7%で、他のブロックと比較して最も高い。

図表6-35-5 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係(相双ブロック)



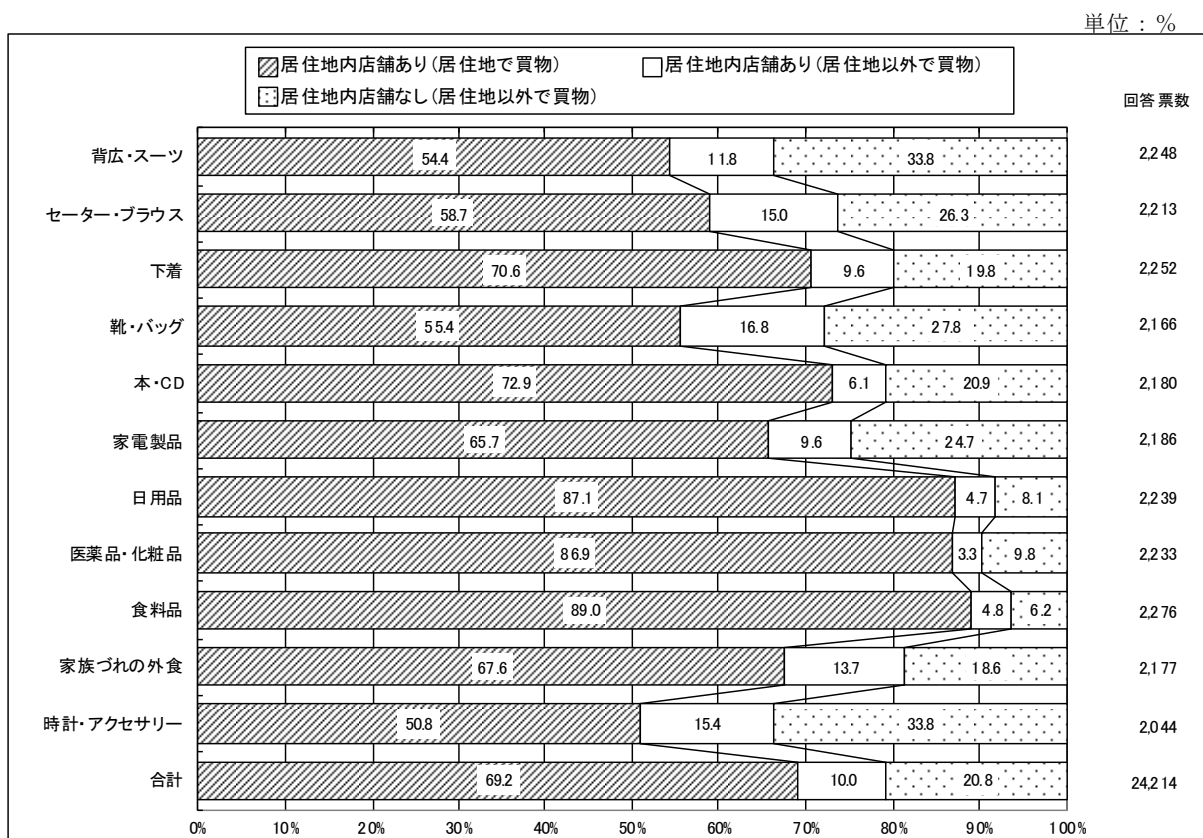
(カ) いわきブロック【補正データあり】

居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」(16.8%)であり、次いで「時計・アクセサリー」(15.4%)、「セーター・ブラウス」(15.0%)、「家族づれの夕食」(13.7%)となっている。

一方、最寄品である「日用品」、「医薬品・化粧品」、「食料品」では、それぞれ85%以上が居住地内の店舗において買物をしている。

11 品目合計で見ると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は10.0%である。

図表 6-35-6 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係 (いわきブロック)



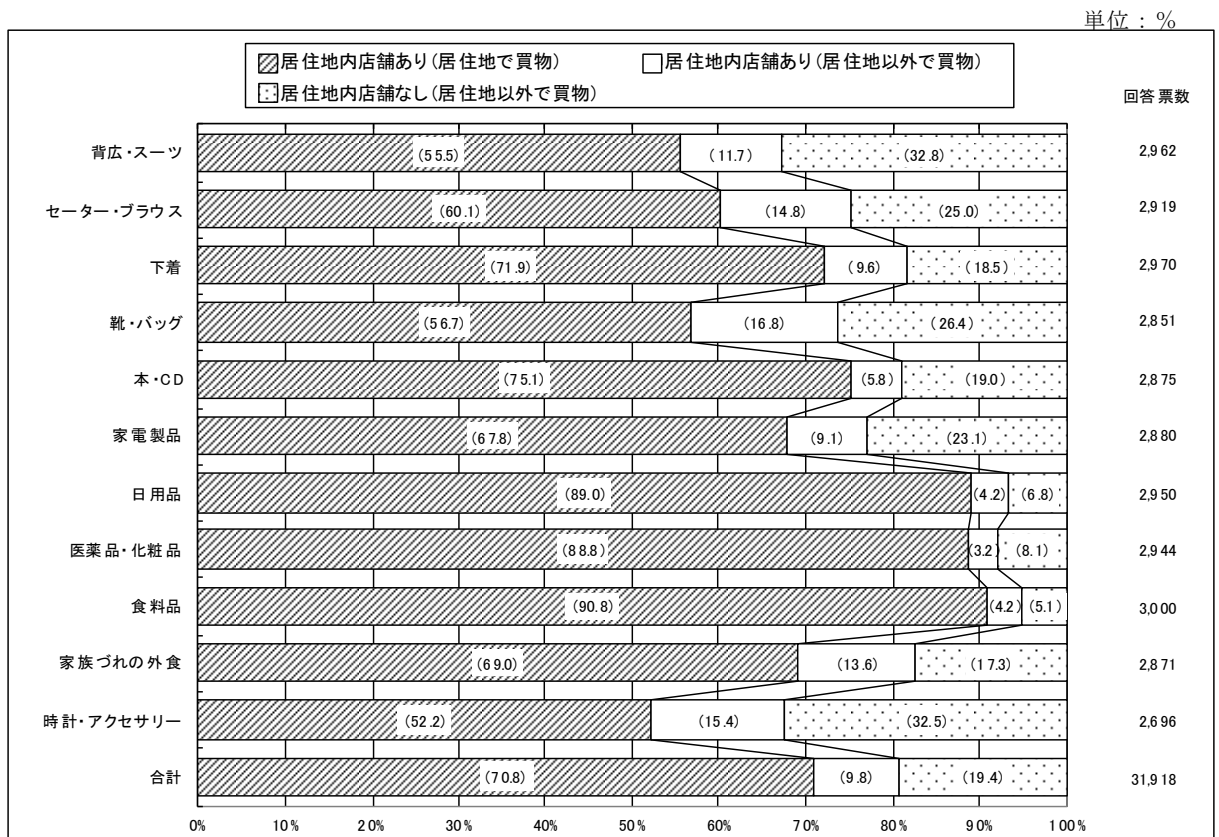
今回調査では、人口規模の大きい4市(福島市、郡山市、会津若松市、いわき市)の標本数を調整しているため、「居住地内店舗あり(居住地で買物)」の割合が低くなっている。

前回(平成28年度)調査と比較するために、いわき市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値は「図表6-35-6 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係(いわきブロック)〈補正データ〉」のとおりとなる。(参考値であることに留意。)

補正した数値によりみても、居住地内に店舗があるが、居住地以外で買物をする割合が最も高いのは「靴・バッグ」(16.8%)であり、次いで「時計・アクセサリー」(15.4%)、「セーター・ブラウス」(14.8%)、「家族づれの夕食」(13.6%)となっている。

11 品目合計で見ると、居住地内に店舗があっても居住地以外で買物をする者の割合は9.8%である。

図表6-35-6 品目別・買物店舗の有無と買物場所の関係（いわきブロック）〈補正データ〉



注) 今回調査では、人口規模の大きい4市（福島市、郡山市、会津若松市、いわき市）について、標本数の調整を行っている。

前回調査と比較するために、いわき市の標本数を前回調査と同程度とした場合の補正数値を（ ）で記載する。（参考値であることに留意。）

7 通信販売の利用状況

ここでは、通信販売の利用状況について分析する。「カタログ・テレビ」の利用と「インターネット」の利用を分離し、それぞれ独立した項目として調査した。

県合計でみた場合、「カタログ・テレビ」の利用割合が 2.9%、「インターネット」の利用割合が 28.1%で、合わせて 31.0%が通信販売を利用している。前回（平成 28 年度）調査と比較すると 5.0 ポイントの増加となっている。内訳をみると、「カタログ・テレビ」の利用は 2.0 ポイント減少し、「インターネット」の利用は 7.0 ポイント増加している。

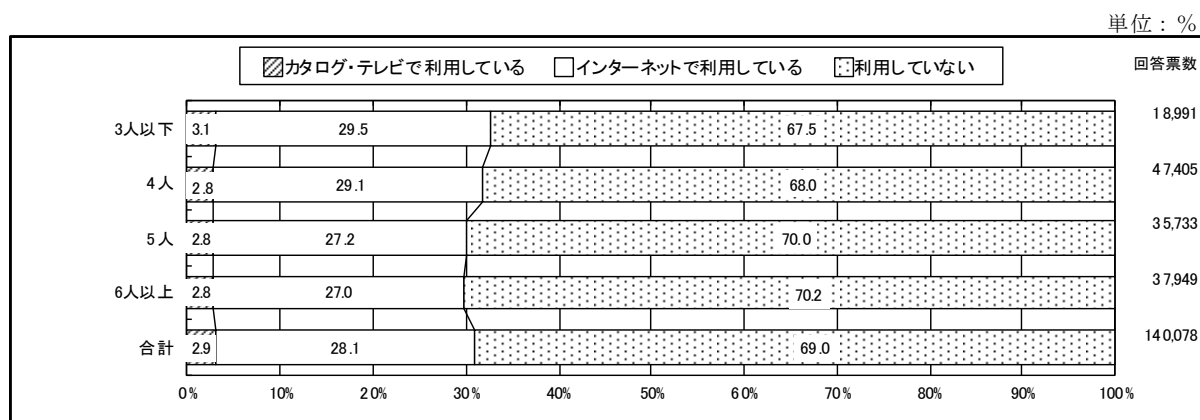
情報社会の進展とともに、「インターネット」の利用割合は今後も増加傾向にあると考える。以下では、家族人数別、買物支出別、ブロック別、品目別にさらに詳しくみていく。

（1）家族人数別にみた通信販売の利用状況

家族人数別にみた通信販売の利用状況を示したものが、図表 7-1 である。

家族人数に応じた差は比較的少ないが、家族人数が少ないほど通信販売を利用している割合が高い。理由として、家族人数が少ない家庭は年齢層の低い世代で構成され、通信販売の利用に積極的であることが考えられる。

図表 7-1 家族人数別通信販売利用状況



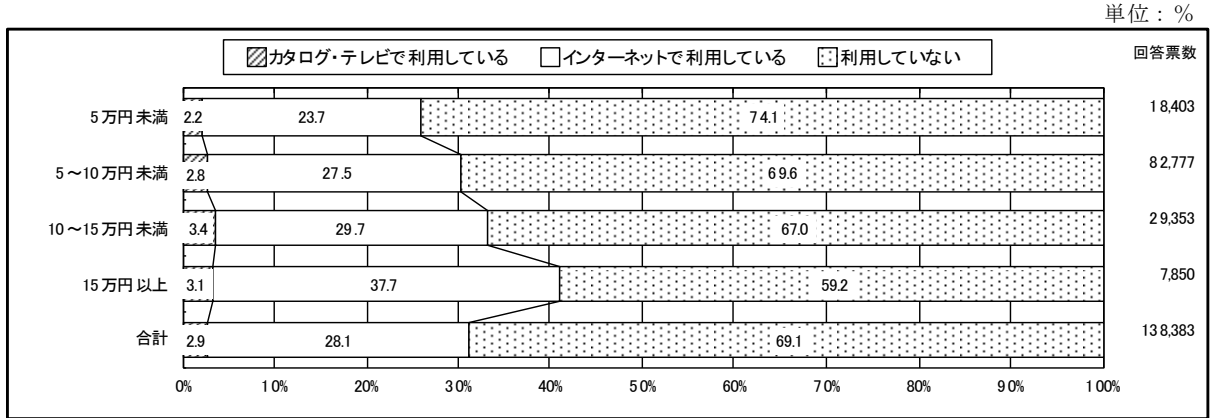
* 回答票数：家族の人数回答者のうち、品目別通信販売の利用に回答した者の合計

（2）買物支出別にみた通信販売の利用状況

買物支出別にみた通信販売の利用状況を示したものが、図表 7-2 である。

「カタログ・テレビ」の利用割合は買物支出に応じた大きな差は認められないが、「インターネット」の利用割合は買物支出が多くなるほど高くなる傾向にある。

図表 7-2 買物支出別通信販売利用状況



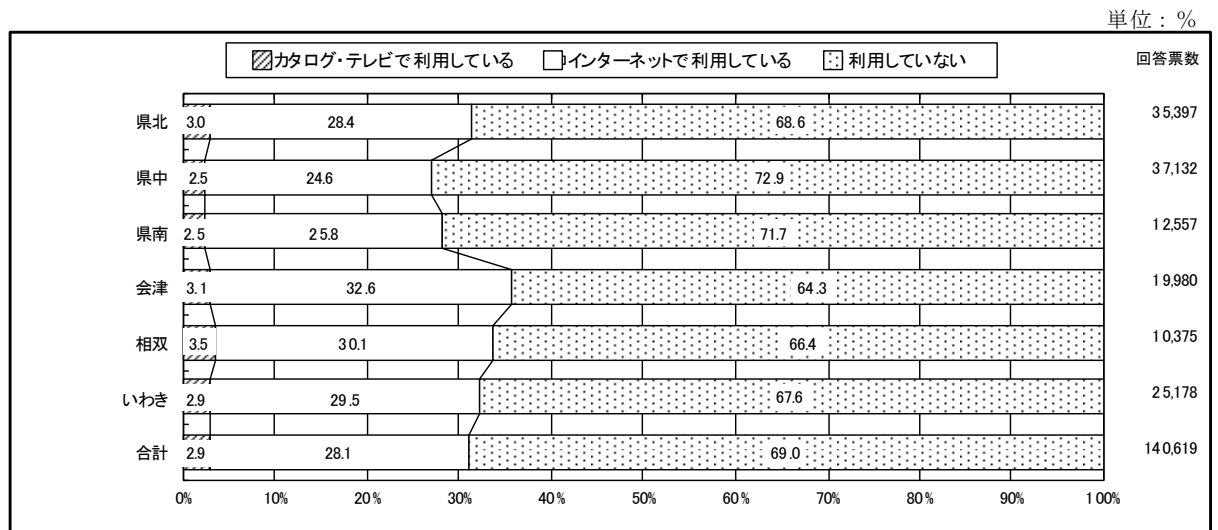
* 回答票数：月々の買物支出回答者のうち、品目別通信販売の利用に回答した者の合計

(3) ブロック別にみた通信販売の利用状況

ブロック別にみた通信販売の利用状況を示したものが、図表 7-3 である。

他のブロックと比較して通信販売の利用割合が高いのは、前回調査と同様、会津ブロックと相双ブロックである。通信販売のうち、「インターネット」の利用割合が高いのも会津ブロックと相双ブロックである。県中ブロックでは「カタログ・テレビ」、「インターネット」の利用割合が低い。

図表 7-3 ブロック別通信販売利用状況



* 回答票数：品目別通信販売の利用回答者の居住地ブロック別合計

(4) 品目別にみた通信販売の利用状況

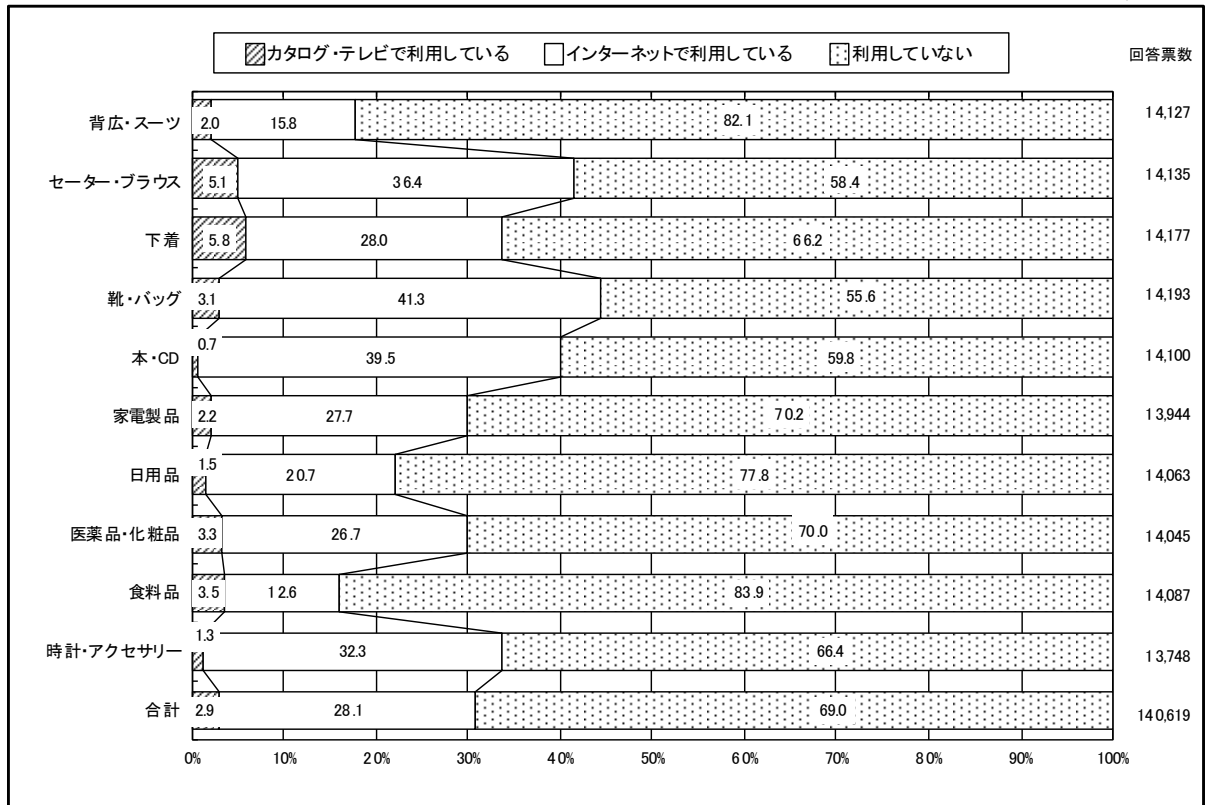
品目別にみた通信販売の利用状況を示したものが、図表 7-4 である。

通信販売の利用割合が他の品目と比較して高いのは「靴・バッグ」、「セーター・ブラウス」、「本・CD」であり、これら品目の通信販売の利用割合は 40%を超えている。「下着」、「セーター・ブラウス」では、他の品目と比較して「カタログ・テレビ」の利用割合が高く、「本・CD」、「靴・バッグ」では、他の品目と比較して「インターネット」の利用割合が高く、約 40%

となっている。これに対して「食料品」、「背広・スーツ」は通信販売を「利用していない」の割合が高い。

図表 7 - 4 品目別通信販売利用状況

単位：%



* 回答票数：品目別通信販売の利用回答者

8 居住地の買物環境の満足度

ここでは、居住地の買物環境が、どのような理由により、どのように感じられているのかを分析した。

(1) 市部・町村部別にみた居住地の買物環境の満足度

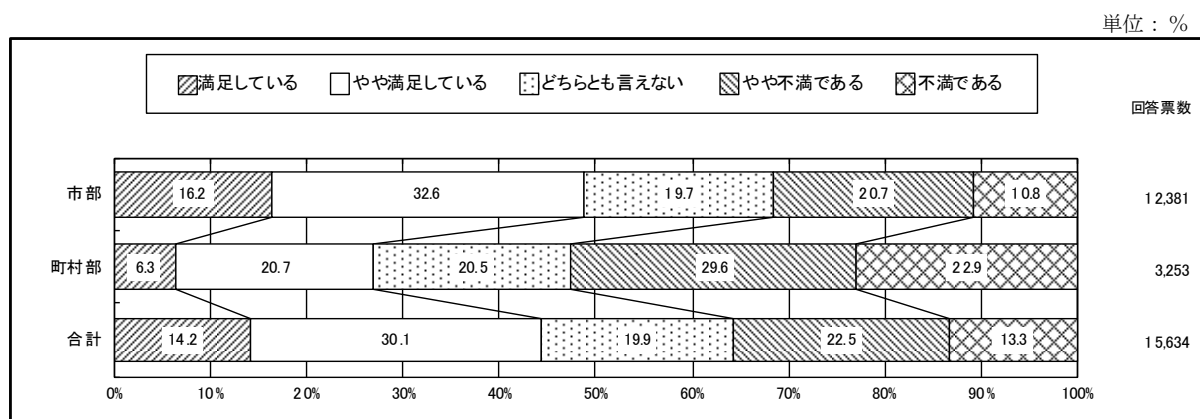
図表 8-1 は、市部・町村部別にみた居住地の買物環境の満足度を示したものである。

合計をみると「やや満足している」(30.1%)の割合が最も高く、「やや不満である」(22.5%)、「どちらとも言えない」(19.9%)、「満足している」(14.2%)、「不満である」(13.3%)の順となっている。

市部・町村部別にみると、市部では「やや満足している」(32.6%)の割合が最も高く、「満足している」(16.2%)と合わせると約半数が「満足」と回答している。町村部では「やや不満である」(29.6%)が最も高く、「不満である」(22.9%)と合わせると半数以上が「不満」と回答している。

前回(平成28年度)調査と比較すると、合計では「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合は2.0ポイント減少し、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合は1.2ポイント増加している。満足層の割合は、市部(1.6ポイント減少)と比較して町村部(2.2ポイント増加)では増加傾向にある。

図表 8-1 市部・町村部別居住地の買物環境の満足度



(2) ブロック別にみた居住地の買物環境の満足度

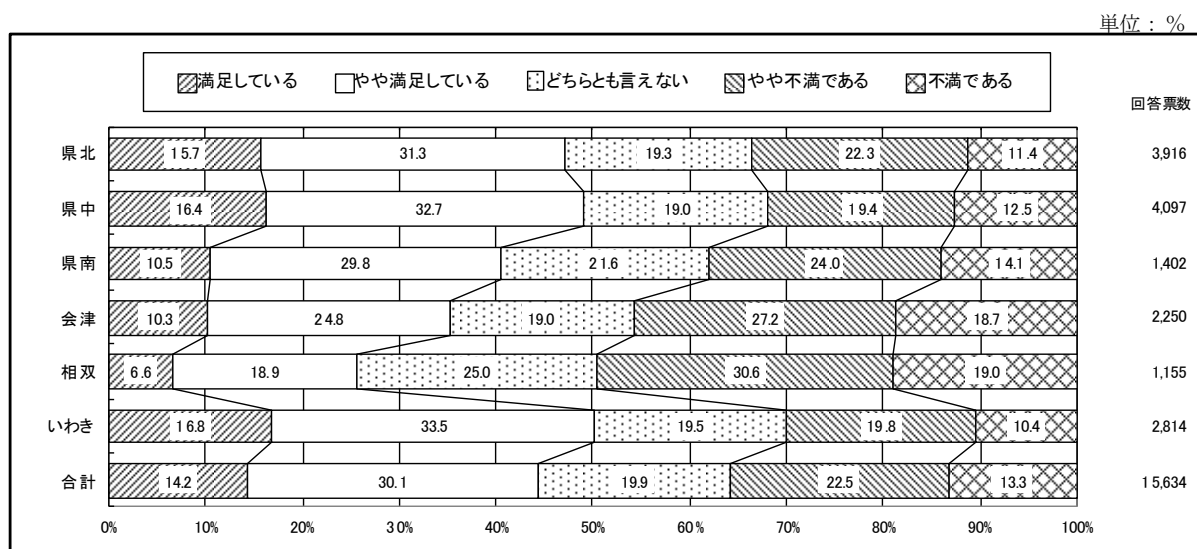
図表 8-2 は、ブロック別にみた居住地の買物環境の満足度を示したものである。

「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が半数を超えているのはいわきブロック（50.3%）であり、県中ブロック、県北ブロック、県南ブロックでも満足層の割合が、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合を上回っている。

一方、相双ブロックでは不満層の割合が 49.6%と約半数となっている。会津ブロックでも不満層の割合が 45.9%と満足層の割合の 35.1%を上回っている。

不満層の割合が高い会津ブロックは、他のブロックと比較して町村部を多く抱えている。また、不満層の割合が半数を超える相双ブロックについては、ブロック内に原子力災害による避難指示等により買物環境が十分整備されていない地域を含む状況も考慮する必要がある。

図表 8-2 ブロック別居住地の買物環境の満足度



(3) ブロック別・都市別にみた居住地の買物環境の満足度

図表8-3-1から図表8-3-6は、ブロック別・都市別にみた居住地の買物環境の満足度を整理したものである。以下、ブロックごとに詳細をみていく。

ア 県北ブロック

「満足している」は、旧安達町(25.0%)、福島市(21.9%)、旧保原町(18.8%)などで高く、「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは旧安達町(63.7%)である。他に旧本宮町、旧保原町、福島市で満足層が半数を超えている。町村部の旧安達町、保原町の満足度が高いのは、居住地内に多品目を取り扱う大型のショッピングセンターがあることが理由の一つとして考えられる。

一方、「不満である」は、旧東和町(54.5%)、旧岩代町(50.0%)、旧月舘町(40.5%)などで高く、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が最も高いのは旧岩代町(82.4%)である。他に旧東和町、旧霊山町、国見町、旧月舘町、桑折町で不満層が半数を超えている。町村部では、地元や近隣にショッピングセンター等がある場合などを除き、不満層の割合が高い。

図表8-3-1 市町村・地区別居住地の買物環境の満足度(県北ブロック)

	上段は実数、下段は%					合 計
	満足 している	やや 満足 している	どちら でもない	やや 不満 である	不満 である	
福島市	426 21.9	677 34.7	324 16.6	370 19.0	152 7.8	1,949 100.0
旧飯野町	3 6.8	9 20.5	12 27.3	10 22.7	10 22.7	44 100.0
二本松市	24 8.0	69 23.1	73 24.4	87 29.1	46 15.4	299 100.0
旧安達町	31 25.0	48 38.7	22 17.7	19 15.3	4 3.2	124 100.0
旧岩代町	0 0.0	4 5.9	8 11.8	22 32.4	34 50.0	68 100.0
旧東和町	1 1.8	4 7.3	5 9.1	15 27.3	30 54.5	55 100.0
旧伊達町	12 9.0	47 35.1	39 29.1	31 23.1	5 3.7	134 100.0
旧梁川町	7 4.5	38 24.7	43 27.9	51 33.1	15 9.7	154 100.0
旧保原町	40 18.8	84 39.4	38 17.8	40 18.8	11 5.2	213 100.0
旧霊山町	0 0.0	10 14.9	14 20.9	30 44.8	13 19.4	67 100.0
旧月舘町	1 2.4	5 11.9	10 23.8	9 21.4	17 40.5	42 100.0
旧本宮町	40 17.4	100 43.5	44 19.1	31 13.5	15 6.5	230 100.0
旧白沢村	2 2.4	15 17.9	25 29.8	23 27.4	19 22.6	84 100.0
桑折町	5 3.8	31 23.8	26 20.0	49 37.7	19 14.6	130 100.0
国見町	3 2.9	17 16.2	18 17.1	31 29.5	36 34.3	105 100.0
川俣町	9 7.3	40 32.3	29 23.4	32 25.8	14 11.3	124 100.0
大玉村	11 11.7	29 30.9	25 26.6	24 25.5	5 5.3	94 100.0
合計	615 15.7	1,227 31.3	755 19.3	874 22.3	445 11.4	3,916 100.0

イ 県中ブロック

「満足している」は、郡山市 (22.5%) で最も高く、次いで須賀川市 (19.6%) となっている。「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは郡山市 (61.8%) である。他に須賀川市、鏡石町で満足層が半数を超えている。

一方、「不満である」は、旧大越町 (54.0%)、旧都路村 (50.0%)、古殿町 (45.8%) などで高く、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が最も高いのは旧大越町 (84.0%) である。他に旧都路村、古殿町、旧滝根町、旧岩瀬村、浅川町、平田村、天栄村、小野町、旧長沼町、石川町、玉川村で不満層が半数を超えており、他のブロック同様、町村部では不満層の割合が高い。

図表 8-3-2 市町村・地区別居住地の買物環境の満足度 (県中ブロック)

上段は実数、下段は%

	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	合計
郡山市	469 22.5	817 39.3	341 16.4	292 14.0	161 7.7	2,080 100.0
須賀川市	132 19.6	256 38.0	152 22.6	98 14.5	36 5.3	674 100.0
旧長沼町	1 2.1	6 12.5	16 33.3	16 33.3	9 18.8	48 100.0
旧岩瀬村	2 4.8	5 11.9	5 11.9	13 31.0	17 40.5	42 100.0
旧滝根町	1 3.2	1 3.2	6 19.4	14 45.2	9 29.0	31 100.0
旧大越町	1 2.0	2 4.0	5 10.0	15 30.0	27 54.0	50 100.0
旧都路村	0 0.0	0 0.0	4 18.2	7 31.8	11 50.0	22 100.0
旧常葉町	6 9.1	18 27.3	13 19.7	17 25.8	12 18.2	66 100.0
旧船引町	16 8.7	69 37.5	31 16.8	45 24.5	23 12.5	184 100.0
鏡石町	19 15.8	46 38.3	29 24.2	19 15.8	7 5.8	120 100.0
天栄村	2 4.1	5 10.2	11 22.4	12 24.5	19 38.8	49 100.0
石川町	6 3.9	28 18.3	40 26.1	50 32.7	29 19.0	153 100.0
玉川村	1 1.4	10 14.3	23 32.9	23 32.9	13 18.6	70 100.0
平田村	1 1.3	10 12.8	15 19.2	26 33.3	26 33.3	78 100.0
浅川町	0 0.0	3 3.8	20 25.0	34 42.5	23 28.7	80 100.0
古殿町	1 1.7	5 8.5	5 8.5	21 35.6	27 45.8	59 100.0
三春町	9 4.9	41 22.3	44 23.9	56 30.4	34 18.5	184 100.0
小野町	4 3.7	19 17.8	20 18.7	36 33.6	28 26.2	107 100.0
合計	671 16.4	1,341 32.7	780 19.0	794 19.4	511 12.5	4,097 100.0

ウ 県南ブロック

「満足している」は、西郷村（17.0%）で最も高く、次いで白河市（16.9%）となっている。西郷村には多品目を取り扱う大型のショッピングセンターがあることが満足につながっていると考えられる。「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは西郷村（59.1%）で、他に白河市で満足層が半数を超えている。

一方、「不満である」は、鮫川村（53.5%）、矢祭町（41.3%）、旧大信村（31.7%）などで高く、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が最も高いのは鮫川村（81.4%）である。他に矢祭町、旧大信村、泉崎村、旧表郷村、旧東村、埴町で不満層が半数を超えている。町村部では、地元や近隣にショッピングセンター等がある場合などを除き、不満層の割合が高い。

図表 8-3-3 市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（県南ブロック）

上段は実数、下段は%

	満足している	いやや満足している	えどちらともい言	不や満であるや	不満足である	合計
白 河 市	80 16.9	188 39.8	88 18.6	90 19.1	26 5.5	472 100.0
旧 表 郷 村	0 0.0	10 16.4	17 27.9	17 27.9	17 27.9	61 100.0
旧 東 村	0 0.0	16 24.2	17 25.8	19 28.8	14 21.2	66 100.0
旧 大 信 村	2 4.9	4 9.8	10 24.4	12 29.3	13 31.7	41 100.0
西 郷 村	27 17.0	67 42.1	29 18.2	24 15.1	12 7.5	159 100.0
泉 崎 村	3 3.9	9 11.8	18 23.7	31 40.8	15 19.7	76 100.0
中 島 村	0 0.0	17 32.1	15 28.3	14 26.4	7 13.2	53 100.0
矢 吹 町	17 12.1	39 27.7	40 28.4	36 25.5	9 6.4	141 100.0
棚 倉 町	13 8.4	44 28.4	41 26.5	37 23.9	20 12.9	155 100.0
矢 祭 町	1 1.6	5 7.9	9 14.3	22 34.9	26 41.3	63 100.0
埴 町	3 4.2	18 25.0	13 18.1	22 30.6	16 22.2	72 100.0
鮫 川 村	1 2.3	1 2.3	6 14.0	12 27.9	23 53.5	43 100.0
合 計	147 10.5	418 29.8	303 21.6	336 24.0	198 14.1	1,402 100.0

エ 会津ブロック

「満足している」は、会津若松市（16.9%）が最も高く、次いで会津坂下町（16.8%）である。「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは会津坂下町（54.7%）で、他に会津若松市で満足層が半数を超えている。

一方、「不満である」は、金山町（73.3%）、旧館岩村（57.1%）、只見町（55.9%）、旧高郷村（54.5%）、北塩原村（53.3%）、磐梯町（53.1%）などで高く、不満層の割合が最も高いのは金山町と旧伊南村（ともに86.6%）である。他に旧館岩村、旧南郷村、檜枝岐村、旧新鶴村、三島町、旧高郷村、只見町、磐梯町、下郷町、北塩原村、柳津町、旧山都町、旧熱塩

加納村、湯川村、旧田島町、西会津町、昭和村、旧北会津村、旧河東町など多くの町村で不満層が半数を超えている。

図表 8-3-4 市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（会津ブロック）

	上段は実数、下段は%					合 計
	満足している	いやや満足している	どちらともいえない	不満である	不満である	
会津若松市	129 16.9	256 33.6	158 20.7	149 19.6	70 9.2	762 100.0
旧北会津村	3 6.4	12 25.5	6 12.8	18 38.3	8 17.0	47 100.0
旧河東町	3 3.3	23 25.6	16 17.8	30 33.3	18 20.0	90 100.0
喜多方市	27 10.0	76 28.0	57 21.0	76 28.0	35 12.9	271 100.0
旧塩川町	4 8.2	8 16.3	15 30.6	15 30.6	7 14.3	49 100.0
旧山都町	0 0.0	3 8.8	8 23.5	17 50.0	6 17.6	34 100.0
旧高郷村	1 4.5	1 4.5	2 9.1	6 27.3	12 54.5	22 100.0
旧熱塩加納村	1 3.3	3 10.0	7 23.3	9 30.0	10 33.3	30 100.0
北塩原村	3 10.0	2 6.7	3 10.0	6 20.0	16 53.3	30 100.0
西会津町	3 8.3	9 25.0	4 11.1	13 36.1	7 19.4	36 100.0
磐梯町	0 0.0	2 6.3	4 12.5	9 28.1	17 53.1	32 100.0
猪苗代町	12 10.6	21 18.6	31 27.4	32 28.3	17 15.0	113 100.0
会津坂下町	27 16.8	61 37.9	22 13.7	37 23.0	14 8.7	161 100.0
湯川村	1 2.1	7 14.9	10 21.3	11 23.4	18 38.3	47 100.0
柳津町	1 2.9	5 14.3	4 11.4	15 42.9	10 28.6	35 100.0
三島町	0 0.0	0 0.0	2 18.2	4 36.4	5 45.5	11 100.0
金山町	0 0.0	0 0.0	2 13.3	2 13.3	11 73.3	15 100.0
昭和村	1 11.1	1 11.1	2 22.2	2 22.2	3 33.3	9 100.0
旧会津高田町	3 3.5	21 24.4	21 24.4	21 24.4	20 23.3	86 100.0
旧会津本郷町	2 4.1	14 28.6	9 18.4	12 24.5	12 24.5	49 100.0
旧新鶴村	1 1.9	5 9.6	3 5.8	16 30.8	27 51.9	52 100.0
旧田島町	8 6.7	22 18.3	22 18.3	51 42.5	17 14.2	120 100.0
旧館岩村	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	4 57.1	7 100.0
旧伊南村	0 0.0	1 6.7	1 6.7	8 53.3	5 33.3	15 100.0
旧南郷村	1 3.8	0 0.0	3 11.5	12 46.2	10 38.5	26 100.0
下郷町	0 0.0	4 11.1	5 13.9	18 50.0	9 25.0	36 100.0
檜枝岐村	0 0.0	0 0.0	1 16.7	5 83.3	0 0.0	6 100.0
只見町	1 1.7	1 1.7	9 15.3	15 25.4	33 55.9	59 100.0
合 計	232 10.3	558 24.8	428 19.0	611 27.2	421 18.7	2,250 100.0

オ 相双ブロック

「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が半数を超えている市町村はない。「不満である」は、浪江町（100%）、川内村（61.5%）、旧小高町（60.9%）で割合が高い。「やや不満である」は、檜葉町と葛尾村（ともに 50%）、旧鹿島町（33.6%）、富岡町（33.3%）で割合が高い。浪江町、葛尾村、飯舘村、富岡町などで標本数が極めて少ないことに留意する必要がある。

相馬市と飯舘村を除いたすべての町村で「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が、「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合を上回っている。

図表 8-3-5 市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（相双ブロック）

上段は実数、下段は%

	満足している	満足している やや	どちらとも 言えない	不満である やや	不満である	合計
相馬市	42 10.3	107 26.2	116 28.4	102 25.0	41 10.0	408 100.0
旧原町市	24 6.3	74 19.4	97 25.4	133 34.8	54 14.1	382 100.0
旧鹿島町	4 2.7	23 15.4	44 29.5	50 33.6	28 18.8	149 100.0
旧小高町	0 0.0	1 4.3	1 4.3	7 30.4	14 60.9	23 100.0
広野町	1 4.3	3 13.0	4 17.4	5 21.7	10 43.5	23 100.0
檜葉町	0 0.0	1 4.2	5 20.8	12 50.0	6 25.0	24 100.0
富岡町	0 0.0	0 0.0	1 11.1	3 33.3	5 55.6	9 100.0
川内村	0 0.0	0 0.0	2 15.4	3 23.1	8 61.5	13 100.0
大熊町	-	-	-	-	-	-
双葉町	-	-	-	-	-	-
浪江町	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0
葛尾村	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	4 100.0
新地町	3 2.6	9 7.8	18 15.7	36 31.3	49 42.6	115 100.0
飯舘村	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	4 100.0
合計	76 6.6	218 18.9	289 25.0	353 30.6	219 19.0	1,155 100.0

カ いわきブロック

「満足している」は、小名浜地区（27.7%）が最も高く、次いで内郷地区（25.1%）である。「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは小名浜地区（67.8%）で、他に満足層が半数を超えているのは、常磐地区、内郷地区、平地区、好間地区である。

一方、「不満である」は、川前地区（88.9%）、田人地区（73.3%）などで高く、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満層の割合が最も高いのは川前地区（100.0%）である。他に田人地区、大久・久之浜地区、遠野地区、小川地区、四倉地区、三和地区で不満層が半数を超えている。規模の小さな地区では不満層の割合が高い。

図表 8-3-6 市町村・地区別居住地の買物環境の満足度（いわきブロック）

上段は実数、下段は%

	満足している	満足している やや	どちらとも 言えない	不満である やや	不満である	合計
平地区	146 17.2	290 34.2	164 19.3	188 22.1	61 7.2	849 100.0
内郷地区	42 25.1	53 31.7	35 21.0	28 16.8	9 5.4	167 100.0
常磐地区	50 17.8	113 40.2	62 22.1	45 16.0	11 3.9	281 100.0
小名浜地区	170 27.7	246 40.1	93 15.2	76 12.4	28 4.6	613 100.0
勿来地区	43 9.9	161 37.2	107 24.7	95 21.9	27 6.2	433 100.0
四倉地区	4 3.3	23 19.0	28 23.1	31 25.6	35 28.9	121 100.0
大久・久之浜地区	0 0.0	4 8.0	7 14.0	12 24.0	27 54.0	50 100.0
小川地区	0 0.0	5 6.8	17 23.0	22 29.7	30 40.5	74 100.0
川前地区	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	8 88.9	9 100.0
三和地区	4 10.3	6 15.4	9 23.1	11 28.2	9 23.1	39 100.0
好間地区	13 14.0	34 36.6	15 16.1	21 22.6	10 10.8	93 100.0
遠野地区	2 2.9	6 8.6	11 15.7	24 34.3	27 38.6	70 100.0
田人地区	0 0.0	1 6.7	1 6.7	2 13.3	11 73.3	15 100.0
合計	474 16.8	942 33.5	549 19.5	556 19.8	293 10.4	2,814 100.0

(4) 市部・町村部別にみた居住地の買物環境の満足度の理由

図表8-4から図表8-6は、市部・町村部別にみた居住地の買物環境の満足度の理由を示したものである。

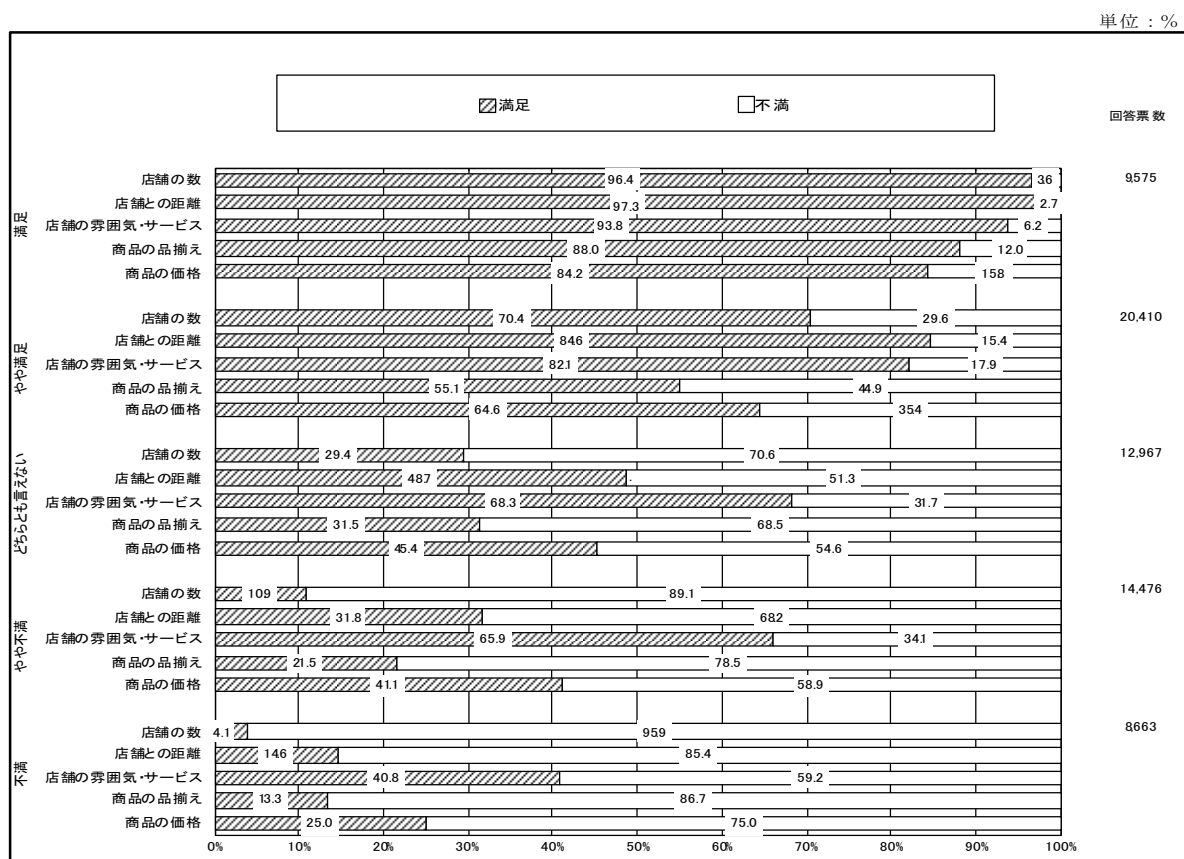
合計で見ると、居住地の買物環境に「満足」している居住者の、満足の理由として最も割合が高いのは「店舗との距離」で97.3%、次いで「店舗の数」(96.4%)、「店舗の雰囲気・サービス」(93.8%)の順である。

一方、居住地の買物環境を「不満」としている居住者の、不満の理由として最も高いのは「店舗の数」(95.9%)、次いで「商品の品揃え」(86.7%)である。

市部・町村部別にみると、居住地の買物環境に「満足」している居住者の、満足の理由として最も高いのは、市部・町村部ともに「店舗との距離」、次いで「店舗の数」である。

「不満」としている居住者の、不満の理由として最も高いのは、市部・町村部ともに「店舗の数」であるが、次いで市部では「店舗との距離」、町村部では「商品の品揃え」である。

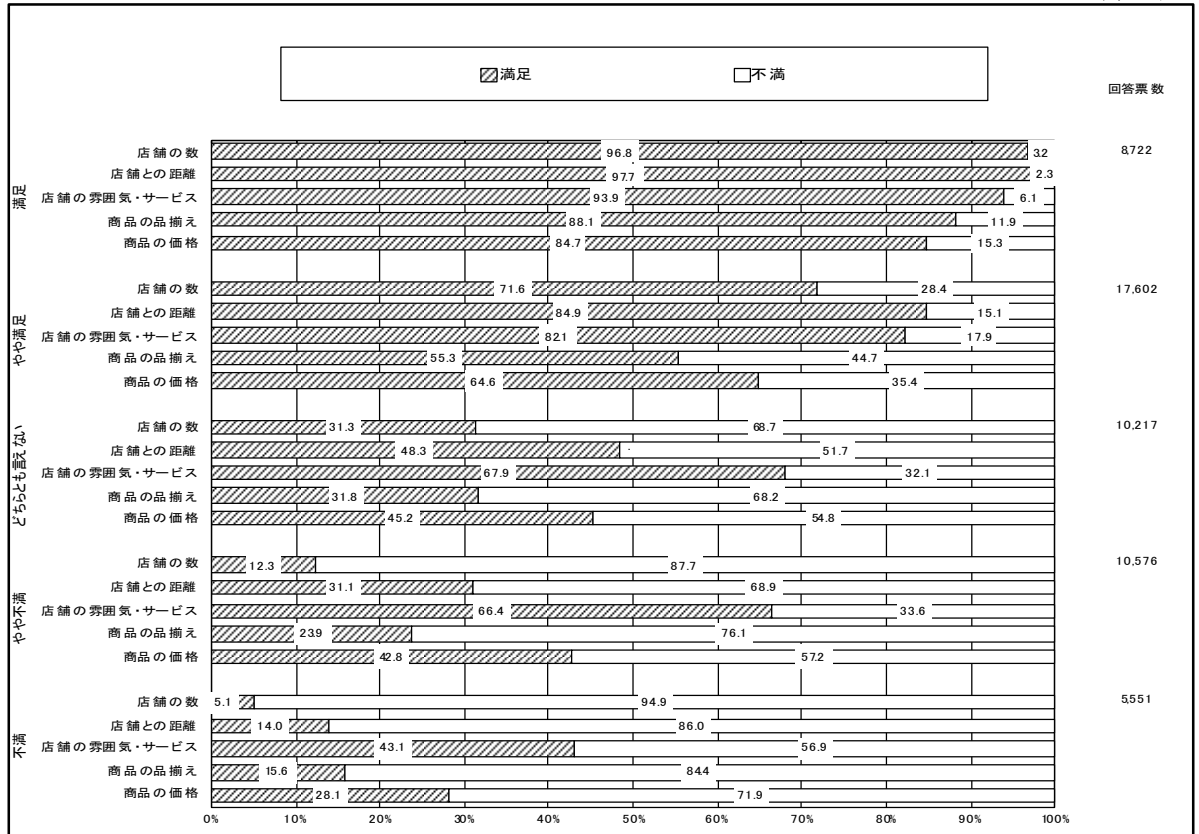
図表8-4 居住地の買物環境の満足度の理由（合計）



* 回答票数：居住地の買物環境に対する満足度回答者のうち、居住地の買物環境に対する満足度の理由に回答した者の居住地（市部・町村部）別回答

図表 8-5 居住地の買物環境の満足度の理由（市部）

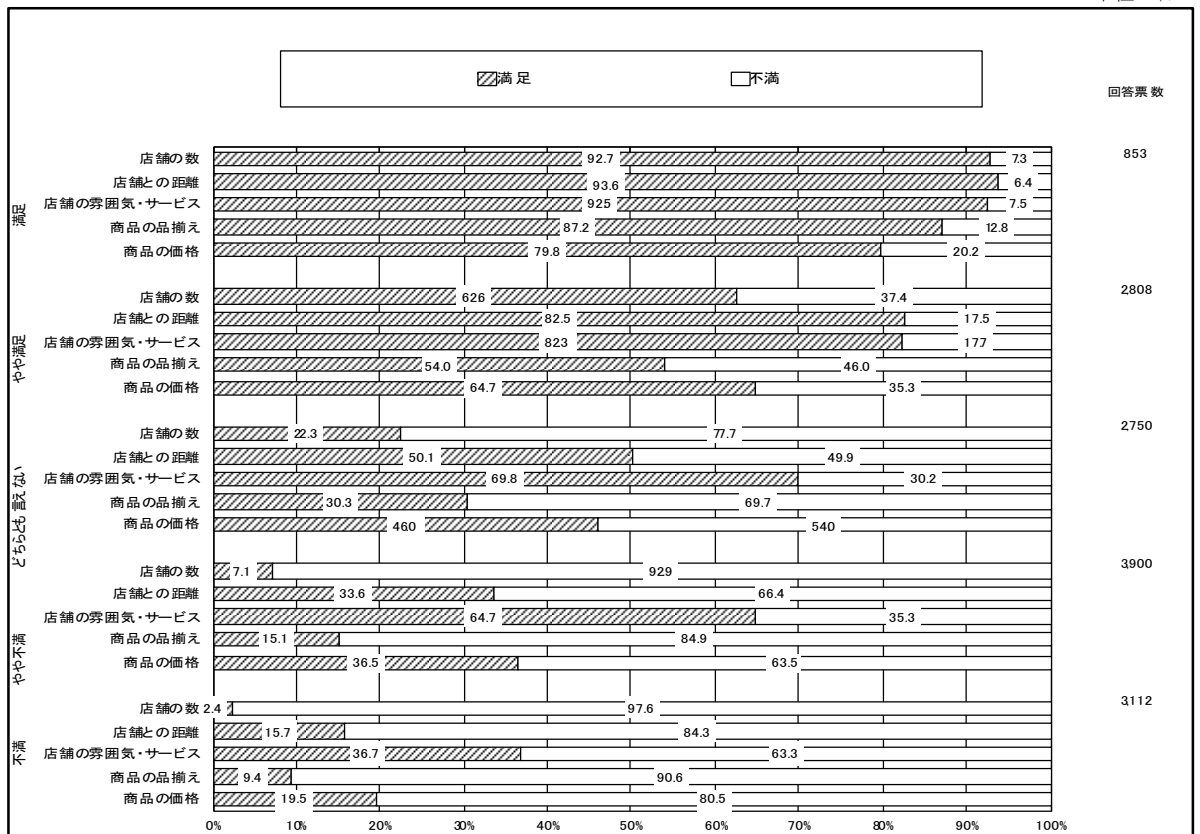
単位：％



* 回答票数：居住地の買物環境に対する満足度回答者のうち、居住地の買物環境に対する満足度の理由に回答した者の居住地（市部・町村部）別回答

図表 8-6 居住地の買物環境の満足度の理由（町村部）

単位：％



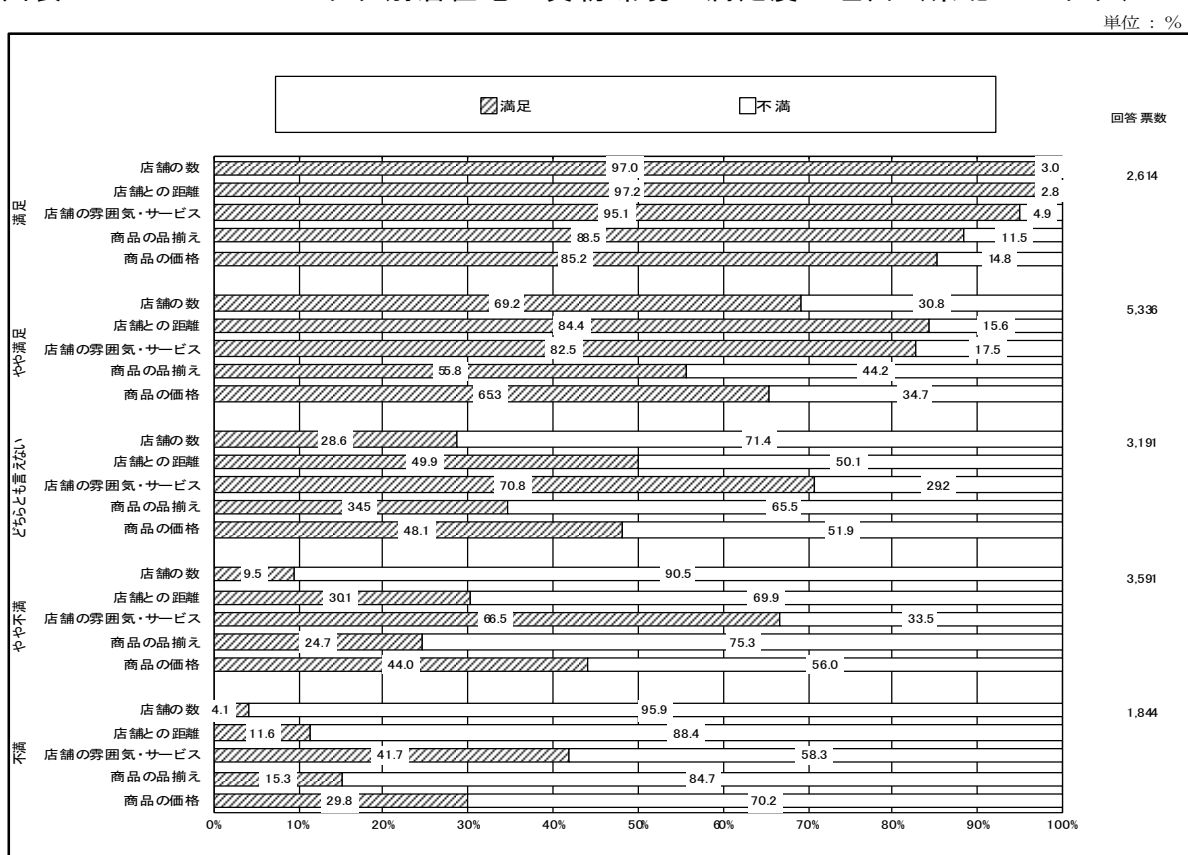
(5) ブロック別にみた居住地の買物環境の満足度の理由

図表8-7-1から図表8-7-6は、ブロック別にみた居住地の買物環境の満足度の理由を示したものである。

全ブロックに共通して、居住地の買物環境に「満足」している居住者の、満足の理由として割合が高いのは「店舗との距離」と「店舗の数」、「不満」としている居住者の、不満の理由として高いのは「店舗の数」と「商品の品揃え」であり、「店舗の数」が居住地の買物環境の満足度に大きな影響を与えていることが分かる。

居住地の買物環境を「不満」と回答している居住者でも、「店舗の雰囲気・サービス」については「満足」と回答している者の割合が高いため、「店舗の雰囲気・サービス」が買物環境の満足度に与える影響は小さいことがわかる。

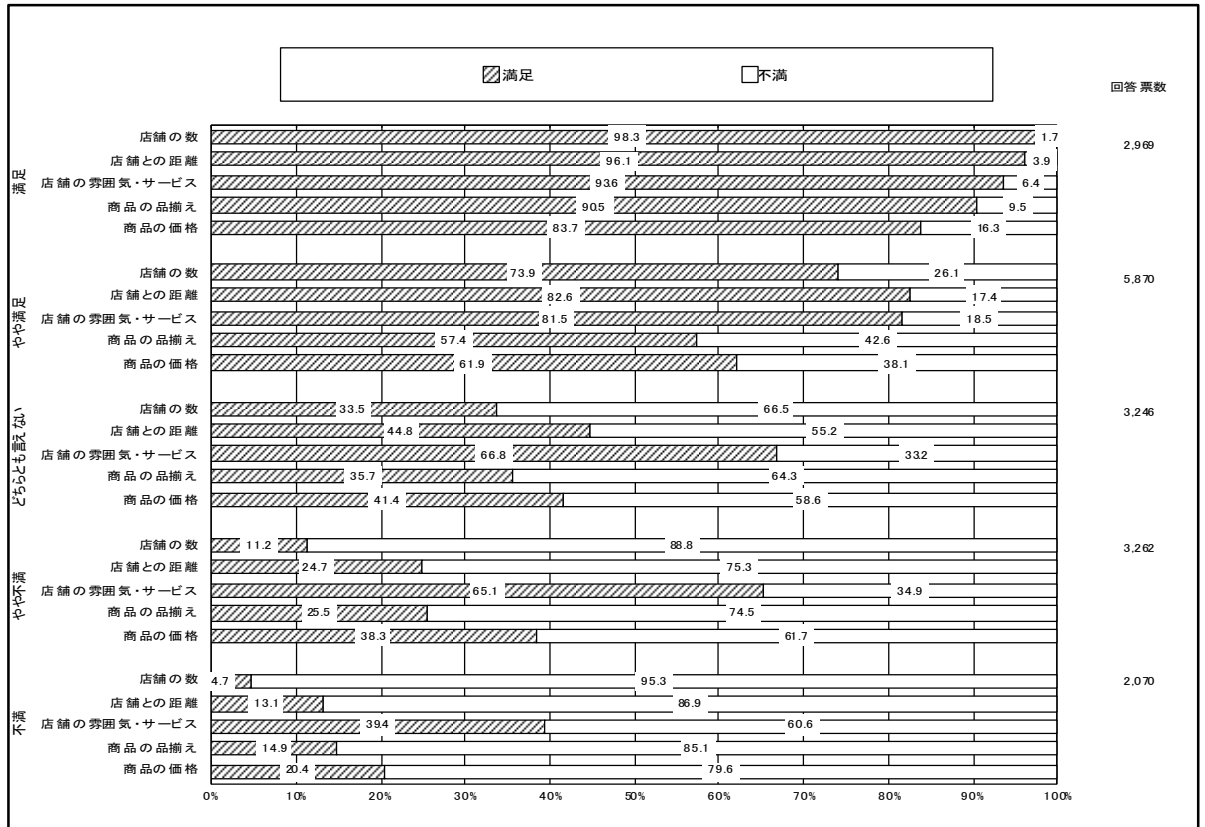
図表8-7-1 ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（県北ブロック）



* 回答票数：居住地の買物環境に対する満足度回答者のうち、居住地の買物環境に対する満足度の理由に回答した者の居住地（ブロック）別回答

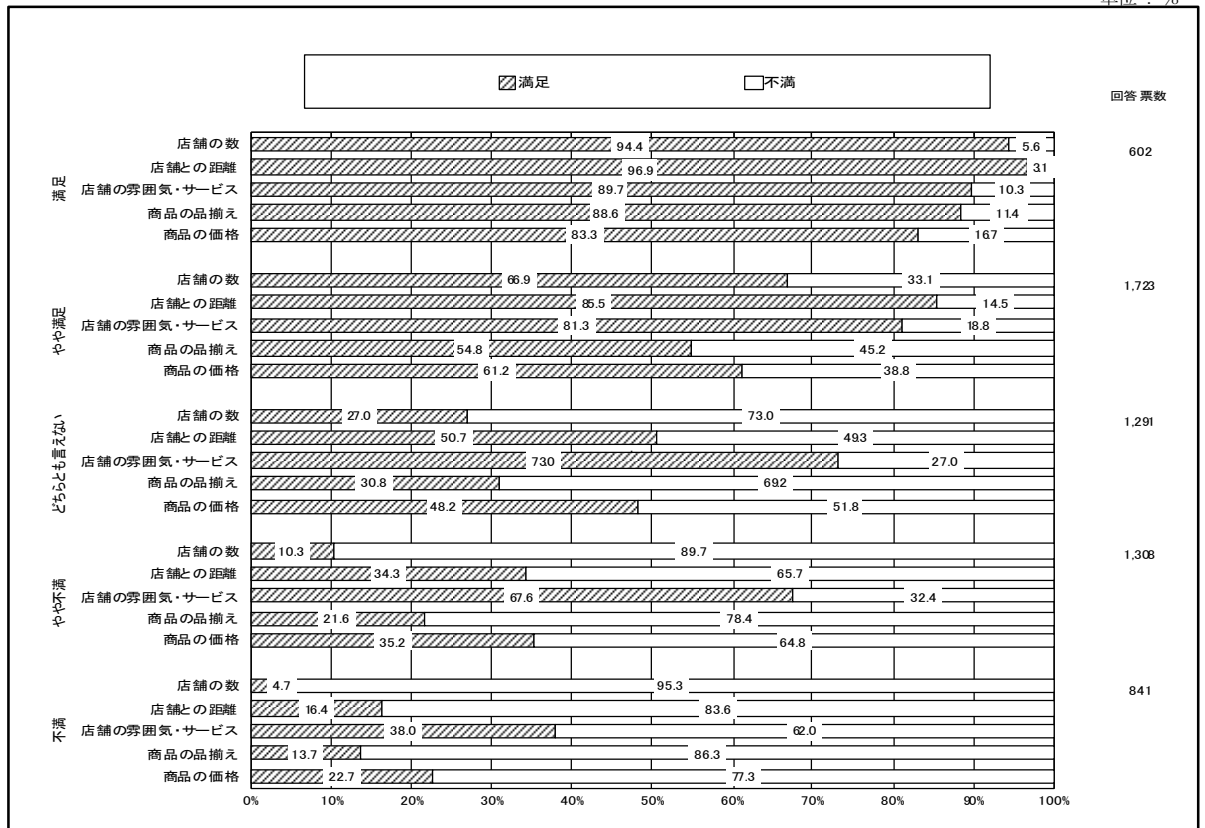
図表 8-7-2 ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（県中ブロック）

単位：％

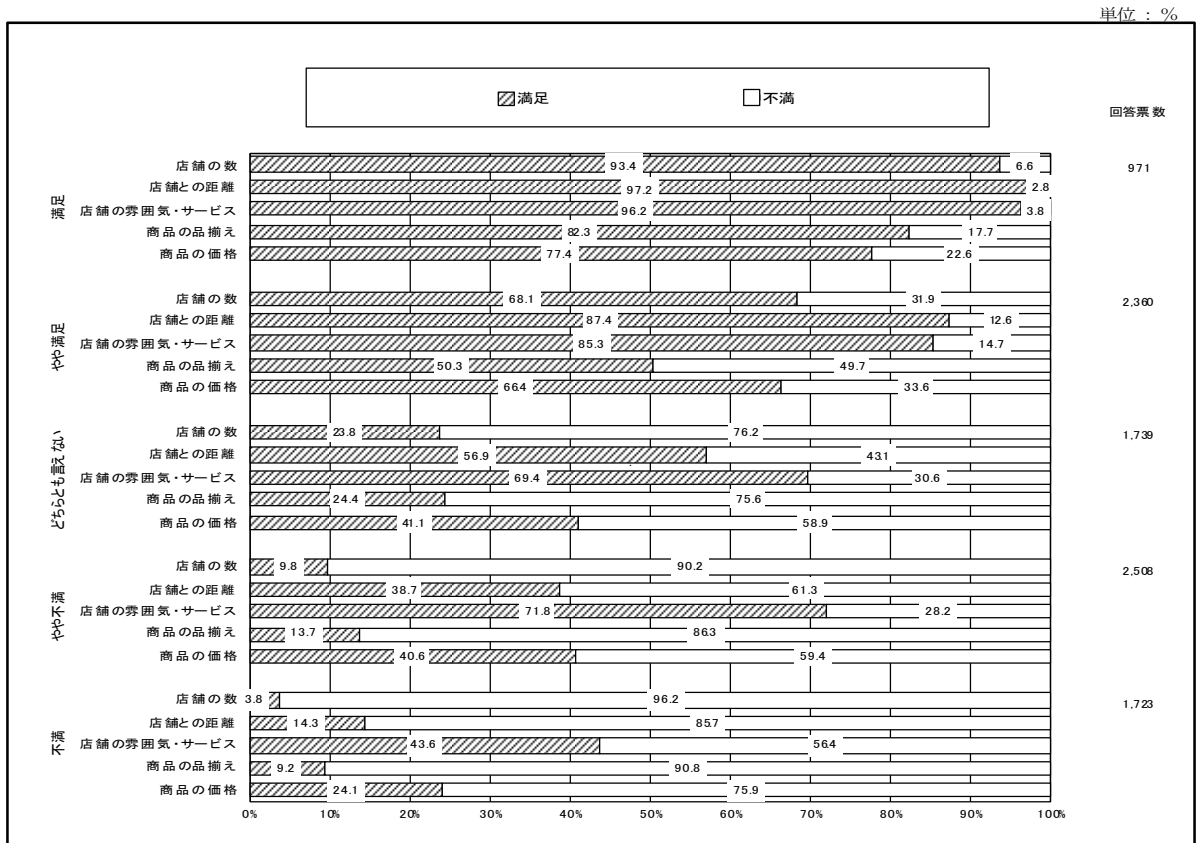


図表 8-7-3 ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（県南ブロック）

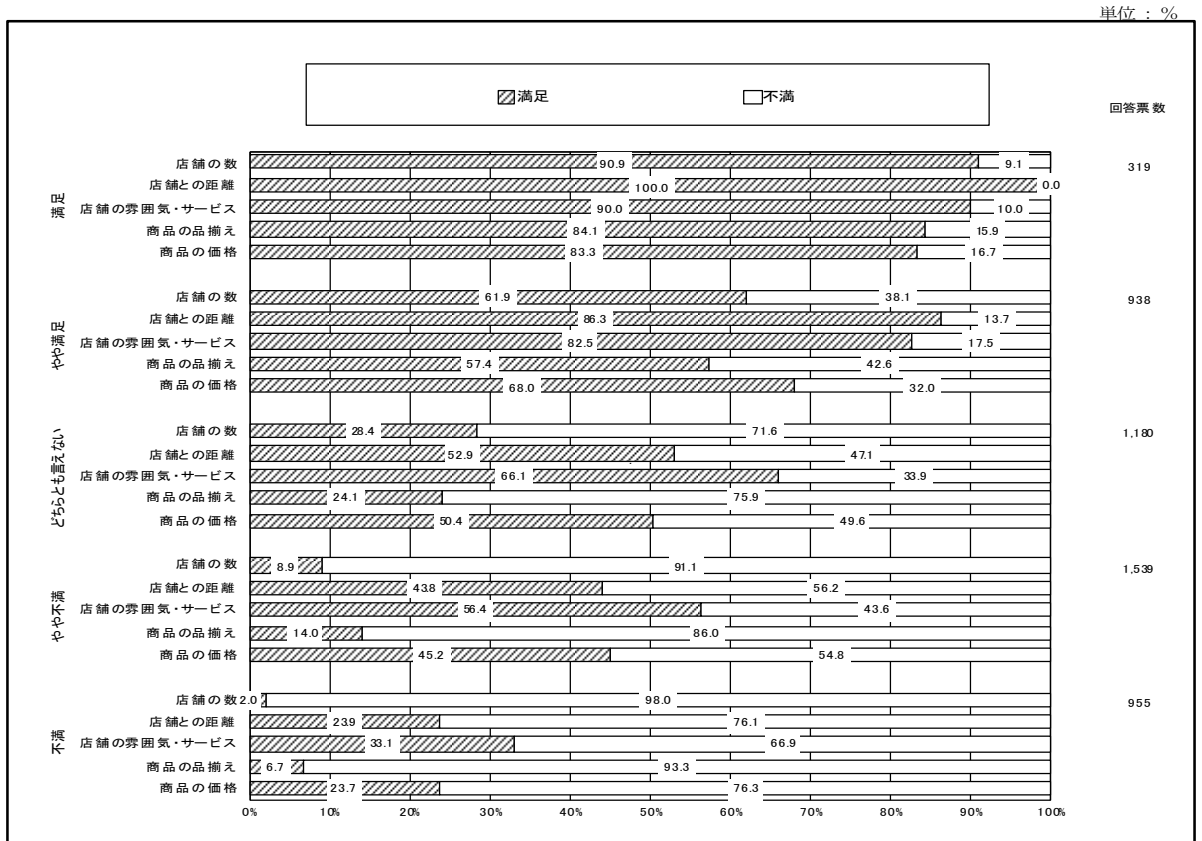
単位：％



図表 8-7-4 ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（会津ブロック）

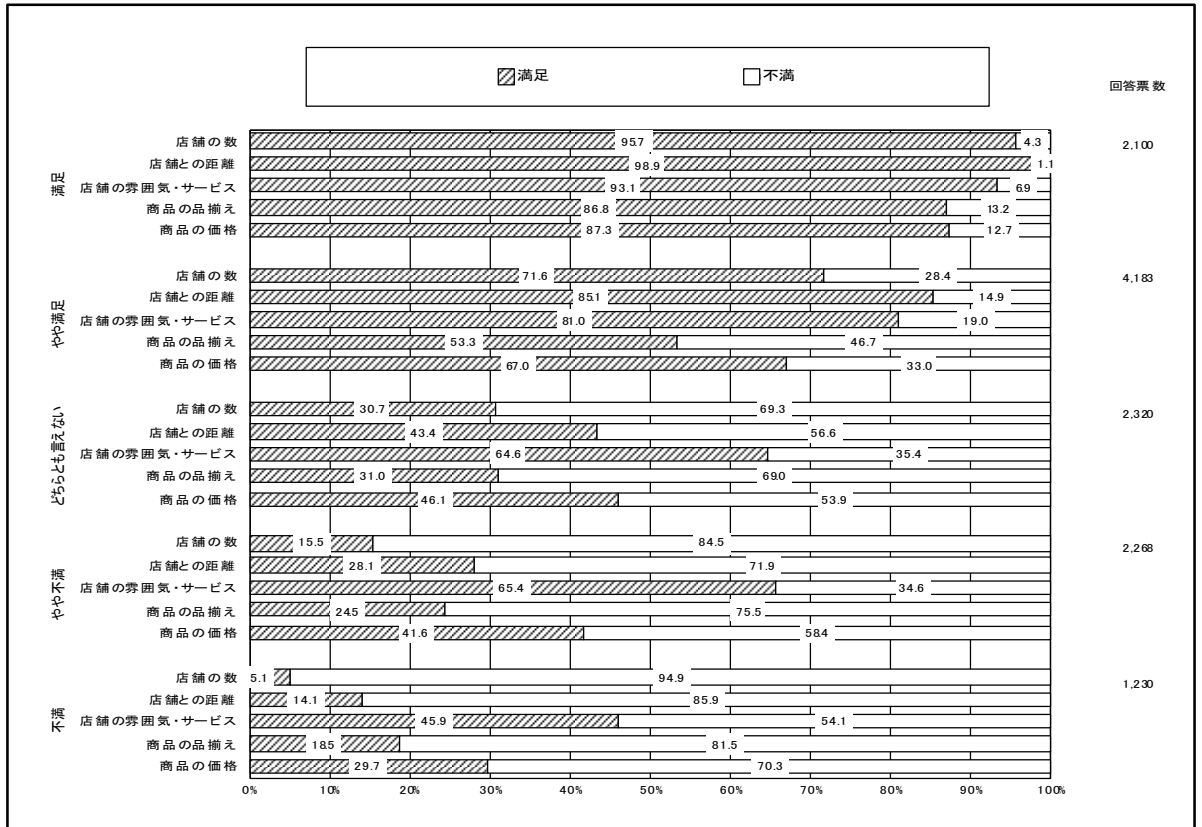


図表 8-7-5 ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（相双ブロック）



図表 8-7-6 ブロック別居住地の買物環境の満足度の理由（いわきブロック）

単位：%



9 中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

ここでは、消費者が買物以外のどのような理由で中心部商業地に出かけているかについて分析する。

なお、本設問は複数回答であるため、文中に表記されている構成比は有効回答者に占める回答数の割合である。

(1) 買物支出別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

買物支出別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由を示したものが、図表9-1である。

合計をみると「食事」の割合が最も高く、52.8%と回答者の半数以上が理由としてあげている。次いで「病院」(38.8%)、「娯楽施設（映画館など）」(33.5%)、「銀行、郵便局」(32.3%)が続いている。

図表9-1 買物支出別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

単位：％（複数回答）

	通 勤	食 事	病 院	(文 化 施 館 な 施 設 な ど)	(娯 楽 施 館 な 施 設 な ど)	市 民 イ ン テ ル ア ク テ ィ ブ	市 役 所 、 役 場	銀 行 、 郵 便 局	イ ベ ン ト	居 住 し て い る
5万円未満	28.9	48.2	40.7	8.7	30.3	0.5	23.1	31.9	16.3	6.1
5～10万円未満	26.1	53.8	39.0	10.8	34.1	0.5	18.2	32.4	17.4	6.6
10～15万円未満	25.2	53.0	37.0	13.5	33.9	0.4	19.6	31.9	16.8	7.8
15万円以上	24.2	53.6	38.7	12.9	32.3	0.8	18.7	32.7	17.6	8.0
全 体	26.2	52.8	38.8	11.2	33.5	0.5	19.2	32.3	17.1	6.9

(2) 市部・町村部別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

居住地の市部・町村部別にみた、中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由を示したものが、図表9-2である。

市部では「文化施設（図書館など）」、「娯楽施設（映画館など）」、「イベント」の割合が町村部と比べて高い。市部では中心部商業地に、文化、娯楽施設が充実していることが背景にあると考えられる。

一方、町村部では「病院」、「銀行、郵便局」の割合が市部に比べて高い。町村部には文化、娯楽施設が少なく、「病院」、「銀行、郵便局」の支店などが中心部に集中していることが背景として考えられる。

図表 9-2 市部・町村部別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

単位：％（複数回答）

	通 勤	食 事	病 院	（文 化 館 な ど ） 設 施	（娛 楽 館 な ど ） 設 施	テ ィ ・ ア ポ ラ 活 動	市 役 所 、 役 場	銀 行 、 郵 便 局	イ ベ ン ト	居 住 し て い る
市 部	25.8	53.5	36.5	12.5	34.0	0.5	19.4	31.0	18.0	7.1
町 村 部	27.4	50.0	47.5	6.5	31.4	0.4	18.3	37.1	13.6	5.9
全 体	26.1	52.8	38.8	11.2	33.5	0.5	19.2	32.2	17.1	6.9

（3）ブロック別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

ブロック別にみた中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由を示したものが、図表 9-3 である。

相双ブロックを除くブロックでは「食事」の割合が最も高く、相双ブロックでは「銀行、郵便局」の割合が最も高い。

「食事」に次いで、県北ブロック、いわきブロックでは「娯楽施設（映画館など）」の割合が高いが、県中ブロック、県南ブロック、会津ブロックでは「病院」の割合が高い。相双ブロックでは「銀行、郵便局」に次いで「病院」の割合が高い。

図表 9-3 ブロック別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

単位：％（複数回答）

	通 勤	食 事	病 院	（文 化 館 な ど ） 設 施	（娛 楽 館 な ど ） 設 施	テ ィ ・ ア ポ ラ 活 動	市 役 所 、 役 場	銀 行 、 郵 便 局	イ ベ ン ト	居 住 し て い る
県 北	23.7	54.5	34.7	7.9	45.6	0.7	16.0	26.1	22.8	5.6
県 中	27.3	51.6	40.4	9.6	33.4	0.4	18.8	28.7	17.2	7.8
県 南	26.9	55.4	44.0	13.6	21.7	0.2	18.5	40.5	12.0	8.1
会 津	30.2	47.0	41.7	11.7	21.4	0.9	23.1	36.0	14.5	8.8
相 双	25.4	44.1	45.3	10.6	22.2	0.3	25.4	49.8	11.3	6.3
い わ き	24.4	58.9	34.7	16.9	36.7	0.2	18.9	31.7	15.9	5.5
全 体	26.1	52.8	38.8	11.2	33.5	0.5	19.2	32.2	17.1	6.9

以下、ブロック別に、都市別の中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由の図表（9-4-1～9-4-6）を掲載しているが、標本数のごくわずかな都市では、少数の標本でも割合が大きく変化することを念頭において参照していただきたい。

図表9-4-1 市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

県北ブロック

上段は実数、下段は%（複数回答）

	通勤	食事	病院	（文 化 館 な ど ） 設 置	（娛 楽 館 な ど ） 設 置	市 民 ・ ア ポ ラ 活 動	市 役 所 、 役 場	銀 行 、 郵 便 局	イ ベ ン ト	居 住 し て い る	全 体
福島市	394 20.9	1,025 54.3	498 26.4	191 10.1	1,037 55.0	13 0.7	222 11.8	272 14.4	575 30.5	110 5.8	1,886 100.0
旧飯野町	7 15.9	29 65.9	25 56.8	1 2.3	24 54.5	0 0.0	7 15.9	9 20.5	7 15.9	0 0.0	44 100.0
二本松市	87 29.8	143 49.0	126 43.2	23 7.9	77 26.4	1 0.3	77 26.4	137 46.9	27 9.2	13 4.5	292 100.0
旧安達町	29 24.2	66 55.0	56 46.7	5 4.2	38 31.7	3 2.5	28 23.3	48 40.0	15 12.5	11 9.2	120 100.0
旧岩代町	27 42.9	36 57.1	42 66.7	1 1.6	20 31.7	1 1.6	10 15.9	25 39.7	5 7.9	1 1.6	63 100.0
旧東和町	15 28.3	39 73.6	29 54.7	3 5.7	30 56.6	2 3.8	7 13.2	6 11.3	5 9.4	2 3.8	53 100.0
旧伊達町	34 26.2	80 61.5	47 36.2	9 6.9	58 44.6	1 0.8	19 14.6	30 23.1	23 17.7	4 3.1	130 100.0
旧梁川町	40 27.4	77 52.7	46 31.5	8 5.5	68 46.6	0 0.0	22 15.1	50 34.2	28 19.2	9 6.2	146 100.0
旧保原町	44 21.9	109 54.2	67 33.3	8 4.0	74 36.8	2 1.0	35 17.4	83 41.3	44 21.9	24 11.9	201 100.0
旧霊山町	26 40.6	41 64.1	40 62.5	9 14.1	27 42.2	0 0.0	6 9.4	18 28.1	6 9.4	0 0.0	64 100.0
旧月館町	13 32.5	22 55.0	24 60.0	0 0.0	15 37.5	0 0.0	8 20.0	11 27.5	4 10.0	0 0.0	40 100.0
旧本宮町	48 21.4	109 48.7	110 49.1	14 6.3	53 23.7	1 0.4	71 31.7	110 49.1	32 14.3	14 6.3	224 100.0
旧白沢村	28 35.0	44 55.0	54 67.5	0 0.0	19 23.8	0 0.0	13 16.3	38 47.5	3 3.8	0 0.0	80 100.0
桑折町	30 23.4	77 60.2	26 20.3	10 7.8	65 50.8	0 0.0	20 15.6	37 28.9	30 23.4	6 4.7	128 100.0
国見町	23 22.1	59 56.7	25 24.0	9 8.7	44 42.3	0 0.0	22 21.2	34 32.7	26 25.0	7 6.7	104 100.0
川俣町	26 21.3	53 43.4	57 46.7	5 4.1	46 37.7	0 0.0	26 21.3	49 40.2	17 13.9	9 7.4	122 100.0
大玉村	25 27.5	56 61.5	41 45.1	3 3.3	34 37.4	2 2.2	12 13.2	30 33.0	16 17.6	1 1.1	91 100.0
全体	896 23.7	2,065 54.5	1,313 34.7	299 7.9	1,729 45.6	26 0.7	605 16.0	987 26.1	863 22.8	211 5.6	3,788 100.0

図表9-4-2 市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

県中ブロック

上段は実数、下段は% (複数回答)

	通勤	食事	病院	(文 化 館 な ど) 設 置	(娛 楽 館 な ど) 設 置	市 民 ・ ア 活 動	市 役 所 、 役 場	銀 行 、 郵 便 局	イ ベ ン ト	居 住 し て い る	全 体
郡山市	549 27.0	1,060 52.1	695 34.2	211 10.4	809 39.8	7 0.3	303 14.9	406 20.0	436 21.4	194 9.5	2,035 100.0
須賀川市	150 23.1	339 52.2	235 36.2	116 17.8	132 20.3	1 0.2	193 29.7	264 40.6	100 15.4	46 7.1	650 100.0
旧長沼町	19 40.4	33 70.2	24 51.1	3 6.4	22 46.8	0 0.0	9 19.1	10 21.3	7 14.9	0 0.0	47 100.0
旧岩瀬村	22 56.4	28 71.8	18 46.2	1 2.6	8 20.5	0 0.0	2 5.1	12 30.8	7 17.9	0 0.0	39 100.0
旧滝根町	6 21.4	14 50.0	17 60.7	0 0.0	12 42.9	0 0.0	4 14.3	6 21.4	4 14.3	0 0.0	28 100.0
旧大越町	16 35.6	28 62.2	30 66.7	0 0.0	11 24.4	0 0.0	4 8.9	16 35.6	5 11.1	0 0.0	45 100.0
旧都路村	1 4.5	14 63.6	15 68.2	1 4.5	6 27.3	0 0.0	4 18.2	8 36.4	3 13.6	0 0.0	22 100.0
旧常葉町	17 27.0	32 50.8	34 54.0	2 3.2	13 20.6	1 1.6	17 27.0	26 41.3	6 9.5	4 6.3	63 100.0
旧船引町	62 34.4	83 46.1	102 56.7	11 6.1	40 22.2	1 0.6	44 24.4	69 38.3	15 8.3	26 14.4	180 100.0
鏡石町	34 29.1	57 48.7	42 35.9	6 5.1	36 30.8	1 0.9	27 23.1	46 39.3	15 12.8	8 6.8	117 100.0
天栄村	16 33.3	27 56.3	25 52.1	3 6.3	19 39.6	0 0.0	3 6.3	22 45.8	5 10.4	0 0.0	48 100.0
石川町	40 27.8	59 41.0	76 52.8	6 4.2	44 30.6	2 1.4	21 14.6	66 45.8	17 11.8	8 5.6	144 100.0
玉川村	16 23.9	38 56.7	39 58.2	5 7.5	18 26.9	0 0.0	9 13.4	23 34.3	10 14.9	2 3.0	67 100.0
平田村	17 22.1	50 64.9	46 59.7	1 1.3	30 39.0	1 1.3	8 10.4	20 26.0	7 9.1	2 2.6	77 100.0
浅川町	21 26.9	30 38.5	30 38.5	5 6.4	21 26.9	1 1.3	24 30.8	26 33.3	6 7.7	9 11.5	78 100.0
古殿町	17 28.8	26 44.1	36 61.0	1 1.7	21 35.6	0 0.0	15 25.4	16 27.1	9 15.3	4 6.8	59 100.0
三春町	59 33.3	90 50.8	95 53.7	9 5.1	56 31.6	0 0.0	37 20.9	64 36.2	18 10.2	3 1.7	177 100.0
小野町	26 24.5	47 44.3	50 47.2	2 1.9	30 28.3	1 0.9	25 23.6	44 41.5	16 15.1	5 4.7	106 100.0
全体	1,088 27.3	2,055 51.6	1,609 40.4	383 9.6	1,328 33.4	16 0.4	749 18.8	1,144 28.7	686 17.2	311 7.8	3,982 100.0

図表 9-4-3 市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

県南ブロック

上段は実数、下段は% (複数回答)

	通 勤	食 事	病 院	(文 化 館 な ど) 設 置	(娛 楽 館 な ど) 設 置	市 民 ・ ア ポ ラ 活 動	市 役 所 、 役 場	銀 行 、 郵 便 局	イ ベ ン ト	居 住 し て い る	全 体
白 河 市	114 25.1	259 56.9	154 33.8	94 20.7	55 12.1	0 0.0	101 22.2	205 45.1	58 12.7	57 12.5	455 100.0
旧 表 郷 村	29 49.2	44 74.6	42 71.2	2 3.4	12 20.3	0 0.0	5 8.5	11 18.6	8 13.6	0 0.0	59 100.0
旧 東 村	18 27.3	46 69.7	46 69.7	7 10.6	21 31.8	1 1.5	3 4.5	14 21.2	6 9.1	0 0.0	66 100.0
旧 大 信 村	17 41.5	25 61.0	23 56.1	3 7.3	9 22.0	1 2.4	2 4.9	17 41.5	1 2.4	0 0.0	41 100.0
西 郷 村	48 31.0	103 66.5	77 49.7	23 14.8	32 20.6	0 0.0	18 11.6	68 43.9	14 9.0	7 4.5	155 100.0
泉 崎 村	24 33.3	34 47.2	33 45.8	4 5.6	22 30.6	0 0.0	12 16.7	24 33.3	8 11.1	4 5.6	72 100.0
中 島 村	11 21.2	30 57.7	27 51.9	6 11.5	20 38.5	0 0.0	8 15.4	20 38.5	5 9.6	2 3.8	52 100.0
矢 吹 町	29 21.2	68 49.6	50 36.5	14 10.2	31 22.6	0 0.0	25 18.2	61 44.5	20 14.6	13 9.5	137 100.0
棚 倉 町	37 24.7	76 50.7	64 42.7	12 8.0	36 24.0	0 0.0	33 22.0	65 43.3	17 11.3	11 7.3	150 100.0
矢 祭 町	11 17.7	25 40.3	29 46.8	5 8.1	24 38.7	0 0.0	16 25.8	27 43.5	11 17.7	6 9.7	62 100.0
埴 町	15 21.1	23 32.4	32 45.1	10 14.1	24 33.8	1 1.4	18 25.4	30 42.3	11 15.5	8 11.3	71 100.0
鮫 川 村	13 31.7	21 51.2	22 53.7	5 12.2	10 24.4	0 0.0	11 26.8	9 22.0	4 9.8	2 4.9	41 100.0
全 体	366 26.9	754 55.4	599 44.0	185 13.6	296 21.7	3 0.2	252 18.5	551 40.5	163 12.0	110 8.1	1,361 100.0

図表9-4-4 市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

会津ブロック

上段は実数、下段は% (複数回答)

	通 勤	食 事	病 院	(文 図 書 化 館 な ど) 設 施	(娛 楽 館 な ど) 設 施	市 民 イ ・ ア 活 動	市 役 所 、 役 場	銀 行 、 郵 便 局	イ ベ ン ト	居 住 し て い る	全 体
会津若松市	191 25.8	316 42.7	189 25.5	162 21.9	94 12.7	7 0.9	250 33.8	268 36.2	113 15.3	97 13.1	740 100.0
旧北会津村	17 37.0	31 67.4	21 45.7	12 26.1	7 15.2	0 0.0	5 10.9	11 23.9	6 13.0	2 4.3	46 100.0
旧河東町	35 43.2	47 58.0	40 49.4	10 12.3	14 17.3	3 3.7	9 11.1	27 33.3	12 14.8	3 3.7	81 100.0
喜多方市	73 27.9	127 48.5	85 32.4	13 5.0	52 19.8	2 0.8	67 25.6	106 40.5	45 17.2	30 11.5	262 100.0
旧塩川町	17 38.6	22 50.0	19 43.2	2 4.5	14 31.8	0 0.0	10 22.7	13 29.5	7 15.9	1 2.3	44 100.0
旧山都町	18 58.1	13 41.9	24 77.4	0 0.0	12 38.7	0 0.0	4 12.9	10 32.3	6 19.4	0 0.0	31 100.0
旧高郷村	12 57.1	12 57.1	17 81.0	2 9.5	4 19.0	0 0.0	1 4.8	7 33.3	2 9.5	0 0.0	21 100.0
旧熱塩加納村	14 48.3	16 55.2	14 48.3	4 13.8	4 13.8	2 6.9	1 3.4	14 48.3	4 13.8	0 0.0	29 100.0
北塩原村	13 44.8	14 48.3	23 79.3	1 3.4	8 27.6	0 0.0	2 6.9	13 44.8	3 10.3	0 0.0	29 100.0
西会津町	10 31.3	16 50.0	16 50.0	1 3.1	8 25.0	0 0.0	6 18.8	13 40.6	6 18.8	2 6.3	32 100.0
磐梯町	12 37.5	22 68.8	21 65.6	2 6.3	4 12.5	0 0.0	5 15.6	10 31.3	2 6.3	1 3.1	32 100.0
猪苗代町	30 27.3	50 45.5	48 43.6	11 10.0	31 28.2	1 0.9	24 21.8	45 40.9	11 10.0	10 9.1	110 100.0
会津坂下町	51 32.7	62 39.7	69 44.2	7 4.5	37 23.7	2 1.3	41 26.3	71 45.5	16 10.3	16 10.3	156 100.0
湯川村	21 45.7	26 56.5	24 52.2	3 6.5	14 30.4	0 0.0	5 10.9	21 45.7	3 6.5	2 4.3	46 100.0
柳津町	10 30.3	14 42.4	11 33.3	1 3.0	7 21.2	0 0.0	7 21.2	12 36.4	4 12.1	4 12.1	33 100.0
三島町	3 27.3	5 45.5	6 54.5	1 9.1	5 45.5	0 0.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0	3 27.3	11 100.0
金山町	2 14.3	9 64.3	13 92.9	0 0.0	7 50.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3	0 0.0	14 100.0
昭和村	1 11.1	2 22.2	8 88.9	0 0.0	4 44.4	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	9 100.0
旧会津高田町	34 42.5	50 62.5	41 51.2	2 2.5	21 26.3	0 0.0	13 16.3	22 27.5	14 17.5	2 2.5	80 100.0
旧会津本郷町	15 34.9	25 58.1	20 46.5	5 11.6	10 23.3	0 0.0	4 9.3	15 34.9	2 4.7	1 2.3	43 100.0
旧新鶴村	24 48.0	33 66.0	31 62.0	1 2.0	12 24.0	0 0.0	2 4.0	18 36.0	6 12.0	1 2.0	50 100.0
旧田島町	33 28.0	48 40.7	57 48.3	4 3.4	33 28.0	0 0.0	28 23.7	53 44.9	15 12.7	10 8.5	118 100.0
旧館岩村	0 0.0	1 16.7	5 83.3	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	6 100.0
旧伊南村	0 0.0	7 50.0	13 92.9	2 14.3	3 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0	14 100.0
旧南郷村	2 8.0	12 48.0	21 84.0	0 0.0	10 40.0	1 4.0	2 8.0	0 0.0	4 16.0	1 4.0	25 100.0
下郷町	9 25.0	18 50.0	21 58.3	3 8.3	13 36.1	1 2.8	3 8.3	6 16.7	7 19.4	3 8.3	36 100.0
檜枝岐村	0 0.0	3 50.0	5 83.3	0 0.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	6 100.0
只見町	6 10.2	16 27.1	39 66.1	3 5.1	27 45.8	0 0.0	6 10.2	16 27.1	18 30.5	1 1.7	59 100.0
全 体	653 30.2	1,017 47.0	901 41.7	252 11.7	462 21.4	19 0.9	499 23.1	779 36.0	314 14.5	191 8.8	2,163 100.0

図表9-4-5 市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

相双ブロック

上段は実数、下段は%（複数回答）

	通勤	食事	病院	(文 化 館 な ど) 設 置	(娛 楽 館 な ど) 設 置	市 民 ・ ア ポ ラ 活 動	市 役 所 、 役 場	銀 行 、 郵 便 局	イ ベ ン ト	居 住 し て い る	全 体
相馬市	103 26.0	159 40.2	171 43.2	32 8.1	73 18.4	1 0.3	114 28.8	217 54.8	37 9.3	30 7.6	396 100.0
旧原町市	78 21.2	163 44.3	174 47.3	55 14.9	61 16.6	1 0.3	101 27.4	203 55.2	44 12.0	22 6.0	368 100.0
旧鹿島町	42 29.0	65 44.8	66 45.5	15 10.3	42 29.0	1 0.7	30 20.7	64 44.1	17 11.7	6 4.1	145 100.0
旧小高町	10 43.5	12 52.2	11 47.8	2 8.7	7 30.4	0 0.0	4 17.4	7 30.4	1 4.3	1 4.3	23 100.0
広野町	7 30.4	14 60.9	12 52.2	4 17.4	5 21.7	0 0.0	3 13.0	5 21.7	3 13.0	2 8.7	23 100.0
檜葉町	3 13.0	12 52.2	13 56.5	0 0.0	11 47.8	0 0.0	3 13.0	7 30.4	4 17.4	2 8.7	23 100.0
富岡町	2 25.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	3 37.5	4 50.0	0 0.0	2 25.0	8 100.0
川内村	4 33.3	4 33.3	7 58.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0	1 8.3	8 66.7	0 0.0	0 0.0	12 100.0
大熊町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
双葉町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浪江町	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0
葛尾村	1 25.0	3 75.0	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
新地町	33 29.5	55 49.1	45 40.2	10 8.9	42 37.5	0 0.0	24 21.4	39 34.8	18 16.1	5 4.5	112 100.0
飯舘村	1 25.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	4 100.0
全 体	284 25.4	494 44.1	507 45.3	119 10.6	248 22.2	3 0.3	284 25.4	557 49.8	127 11.3	71 6.3	1,119 100.0

図表 9-4-6 市町村・地区別中心部商業地へ買物以外に出かける主な理由

いわきブロック

上段は実数、下段は% (複数回答)

	通 勤	食 事	病 院	(文 図 書 化 館 な ど) 設 施	(娛 楽 館 な ど) 設 施	市 民 ・ ア ポ ラ 活 動	市 役 所 、 役 場	銀 行 、 郵 便 局	イ ベ ン ト	居 住 し て い る	全 体
平 地 区	216 25.7	468 55.6	286 34.0	214 25.4	217 25.8	3 0.4	247 29.3	272 32.3	100 11.9	70 8.3	842 100.0
内 郷 地 区	43 26.2	104 63.4	58 35.4	32 19.5	70 42.7	0 0.0	25 15.2	54 32.9	29 17.7	5 3.0	164 100.0
常 磐 地 区	57 20.8	152 55.5	59 21.5	40 14.6	109 39.8	0 0.0	57 20.8	98 35.8	59 21.5	9 3.3	274 100.0
小 名 浜 地 区	113 19.0	359 60.2	170 28.5	77 12.9	217 36.4	1 0.2	98 16.4	191 32.0	110 18.5	42 7.0	596 100.0
勿 来 地 区	78 18.4	262 61.6	171 40.2	47 11.1	213 50.1	1 0.2	47 11.1	108 25.4	79 18.6	15 3.5	425 100.0
四 倉 地 区	40 35.4	71 62.8	43 38.1	12 10.6	49 43.4	0 0.0	11 9.7	27 23.9	16 14.2	4 3.5	113 100.0
大 久 之 浜 地 区	14 28.0	37 74.0	23 46.0	7 14.0	26 52.0	0 0.0	1 2.0	13 26.0	11 22.0	1 2.0	50 100.0
小 川 地 区	39 52.7	47 63.5	34 45.9	11 14.9	19 25.7	0 0.0	2 2.7	36 48.6	6 8.1	1 1.4	74 100.0
川 前 地 区	2 25.0	4 50.0	5 62.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	8 100.0
三 和 地 区	5 13.2	24 63.2	25 65.8	6 15.8	13 34.2	0 0.0	8 21.1	14 36.8	6 15.8	1 2.6	38 100.0
好 間 地 区	24 25.3	54 56.8	36 37.9	17 17.9	43 45.3	0 0.0	14 14.7	30 31.6	18 18.9	3 3.2	95 100.0
遠 野 地 区	36 52.2	42 60.9	37 53.6	2 2.9	32 46.4	1 1.4	9 13.0	20 29.0	3 4.3	1 1.4	69 100.0
田 人 地 区	7 50.0	3 21.4	11 78.6	0 0.0	5 35.7	0 0.0	2 14.3	9 64.3	0 0.0	0 0.0	14 100.0
全 体	674 24.4	1,627 58.9	958 34.7	466 16.9	1,015 36.7	6 0.2	523 18.9	875 31.7	439 15.9	152 5.5	2,762 100.0

10 中心部商業地の商店街に望むもの

ここでは、中心部商業地の商店街についての消費者意識を分析し、中心部商業地の商店街活性化に向けた施策立案に資することを目的に、中心部商業地の商店街に何を望んでいるのかを分析した。

また、今回「キャッシュレス決済」の項目を新たに設け、全部で12項目を設定し、当てはまるものを3つまで選択してもらった。

なお、本設問は複数回答であるため、表記されている構成比は有効回答者に占める回答数の割合である。

(1) 中心部商業地の商店街に望むもの

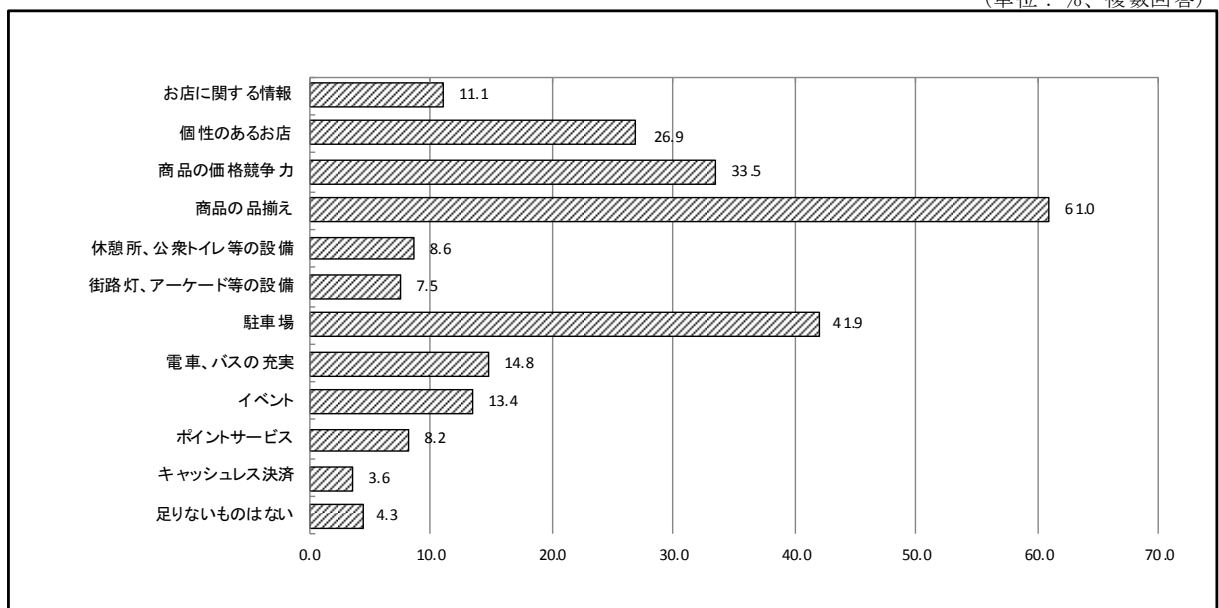
中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表10-1である。

全体で最も割合が高いのが「商品の品揃え」(61.0%)であり、次いで、「駐車場」(41.9%)、「商品の価格競争力」(33.5%)、「個性のあるお店」(26.9%)の順である。「キャッシュレス決済」(3.6%)及び「足りないものはない」(4.3%)はわずかであった。

中心部商業地の商店街へは車で出かけ、品揃えの良い個性のあるお店で割安に商品を手に入れたい、という消費者のニーズがみえる。

図表10-1 中心部商業地の商店街に望むもの

(単位：%、複数回答)



回答票数：15,400

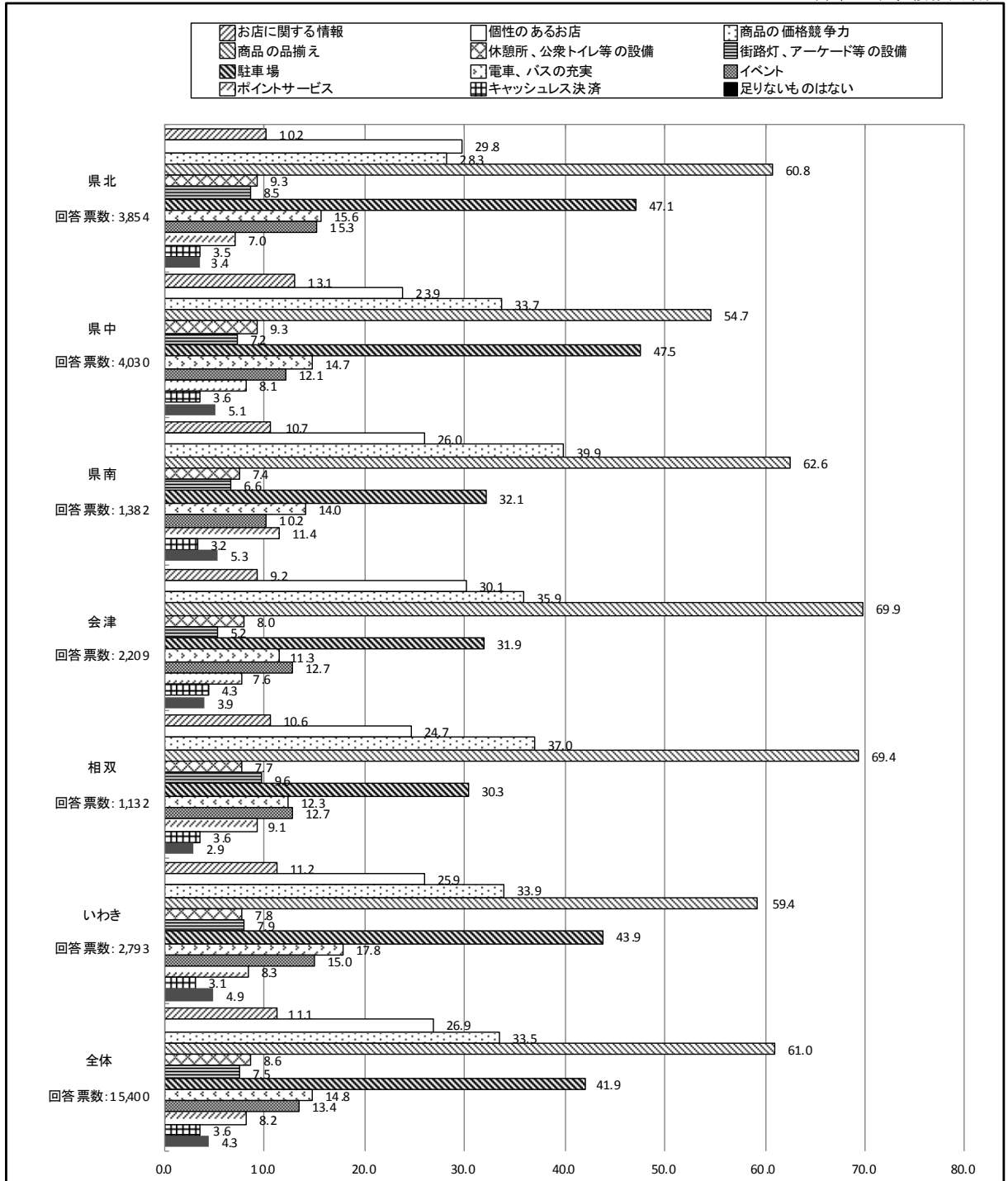
(2) ブロック別にみた中心部商業地の商店街に望むもの

ブロック別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表10-2である。

すべてのブロックで「商品の品揃え」の割合が高い。次いで県北ブロック、県中ブロック、いわきブロックでは「駐車場」、県南ブロック、会津ブロック、相双ブロックでは「商品の価格競争力」である。「キャッシュレス決済」及び「足りないものはない」の割合は、すべてのブロックでわずかである。

図表10-2 ブロック別中心部商業地の商店街に望むもの

(単位：%、複数回答)



*回答票数：中心部商業地の商店街に望むもの回答者の居住地（ブロック）別合計

以下、各ブロック別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果をみていく。

ア 県北ブロック

県北ブロックでは、全体で見ると、他のブロック同様、「商品の品揃え」(60.8%)の割合が最も高い。次いで「駐車場」(47.1%)、「個性のあるお店」(29.8%)、「商品の価格競争力」(28.3%)の順である。「キャッシュレス決済」(3.5%)及び「足りないものはない」(3.4%)の割合は極めて低い。

すべての市町村で「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「駐車場」が高いのが13市町村、「商品の価格競争力」が4町、「個性のあるお店」が1町である(同率を含むため1町が重複)。

「商品の品揃え」は、特に旧梁川町(74.0%)、桑折町(73.8%)、旧霊山町(72.3%)、国見町(71.3%)、旧伊達町(68.5%)などで高い。

「商品の価格競争力」は、旧東和町(40.7%)、旧岩代町(40.3%)、旧白沢村(38.3%)、旧月舘町(37.5%)、国見町(35.6%)などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、旧本宮町(57.1%)、福島市(52.6%)、旧飯野町(50.0%)、旧白沢村(49.4%)、二本松市(45.1%)などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、二本松市と国見町(ともに33.7%)、福島市(32.6%)などで高い。

一方、「足りないものはない」の割合は、旧東和町(9.3%)、川俣町(8.9%)、旧岩代町(6.0%)などで比較的高い。

図表 10-3-1 市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（県北ブロック）

上段は実数、下段は% 複数回答

	お 店 に 関 す る 情 報	個 性 の あ る お 店	商 品 の 価 格 競 争 力	商 品 の 品 揃 え	休 憩 所 、 公 衆 ト イ レ 等 の 設 備	街 路 灯 、 ア ー ケ ード 等 の 設 備	駐 車 場	電 車 、 バ ス の 充 実	イ ン ベ ン ト	ポ イ ン ト サ ー ビ ス	キ ャ ッ シ ュ レ ス 決 済	足 り な い も の は な い	全 体
福 島 市	210 10.9	631 32.6	460 23.8	1,114 57.6	186 9.6	167 8.6	1,016 52.6	301 15.6	396 20.5	88 4.6	58 3.0	64 3.3	1,933 100.0
旧 飯 野 町	3 7.1	7 16.7	14 33.3	24 57.1	2 4.8	8 19.0	21 50.0	8 19.0	7 16.7	5 11.9	3 7.1	0 0.0	42 100.0
二 本 松 市	25 8.4	100 33.7	102 34.3	193 65.0	30 10.1	31 10.4	134 45.1	34 11.4	25 8.4	24 8.1	11 3.7	4 1.3	297 100.0
旧 安 達 町	12 9.9	39 32.2	37 30.6	70 57.9	13 10.7	11 9.1	40 33.1	13 10.7	18 14.9	18 14.9	5 4.1	6 5.0	121 100.0
旧 岩 代 町	9 13.4	13 19.4	27 40.3	44 65.7	7 10.4	3 4.5	20 29.9	7 10.4	7 10.4	7 10.4	4 6.0	4 6.0	67 100.0
旧 東 和 町	3 5.6	8 14.8	22 40.7	35 64.8	4 7.4	2 3.7	20 37.0	5 9.3	6 11.1	4 7.4	3 5.6	5 9.3	54 100.0
旧 伊 達 町	9 6.9	38 29.2	42 32.3	89 68.5	11 8.5	12 9.2	61 46.9	15 11.5	14 10.8	9 6.9	7 5.4	5 3.8	130 100.0
旧 梁 川 町	11 7.5	34 23.3	51 34.9	108 74.0	17 11.6	15 10.3	43 29.5	22 15.1	23 15.8	11 7.5	5 3.4	3 2.1	146 100.0
旧 保 原 町	18 8.8	64 31.2	65 31.7	125 61.0	18 8.8	18 8.8	83 40.5	29 14.1	22 10.7	24 11.7	6 2.9	12 5.9	205 100.0
旧 霊 山 町	5 7.7	21 32.3	18 27.7	47 72.3	5 7.7	7 10.8	20 30.8	16 24.6	9 13.8	7 10.8	0 0.0	3 4.6	65 100.0
旧 月 舘 町	3 7.5	7 17.5	15 37.5	26 65.0	3 7.5	4 10.0	15 37.5	9 22.5	4 10.0	2 5.0	2 5.0	1 2.5	40 100.0
旧 本 宮 町	26 11.5	45 19.9	61 27.0	133 58.8	15 6.6	13 5.8	129 57.1	42 18.6	20 8.8	12 8.8	8 5.3	8 3.5	226 100.0
旧 白 沢 村	8 9.9	18 22.2	31 38.3	50 61.7	9 11.1	5 6.2	40 49.4	18 22.2	6 7.4	6 7.4	5 6.2	1 1.2	81 100.0
桑 折 町	14 10.8	36 27.7	38 29.2	96 73.8	12 9.2	8 6.2	55 42.3	20 15.4	11 8.5	8 6.2	4 3.1	2 1.5	130 100.0
国 見 町	12 11.9	34 33.7	36 35.6	72 71.3	6 5.9	5 5.0	37 36.6	14 13.9	9 8.9	16 15.8	2 2.0	0 0.0	101 100.0
川 俣 町	19 15.3	31 25.0	36 29.0	76 61.3	9 7.3	7 5.6	42 33.9	25 20.2	8 6.5	10 8.1	5 4.0	11 8.9	124 100.0
大 玉 村	8 8.7	22 23.9	34 37.0	42 45.7	12 13.0	11 12.0	38 41.3	25 27.2	6 6.5	11 12.0	4 4.3	1 1.1	92 100.0
全 体	395 10.2	1,148 29.8	1,089 28.3	2,344 60.8	359 9.3	327 8.5	1,814 47.1	603 15.6	591 15.3	270 7.0	136 3.5	130 3.4	3,854 100.0

イ 県中ブロック

県中ブロックでは、全体で見ると、「商品の品揃え」(54.7%)の割合が最も高く、次いで「駐車場」(47.5%)、「商品の価格競争力」(33.7%)、「個性のあるお店」(23.9%)の順である。「キャッシュレス決済」(3.6%)及び「足りないものはない」(5.1%)の割合は極めて低い。

郡山市では「駐車場」(56.1%)が最も高く、次いで「商品の品揃え」(47.5%)であるが、郡山市以外の市町村では「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「商品の価格競争力」が高いのが13町村、「駐車場」が5市町村である(同率を含むため1町が重複)。

「商品の品揃え」は、特に浅川町(75.3%)、旧都路村(75.0%)、古殿町(74.1%)、旧岩瀬村と平田村(ともに71.4%)、天栄村(67.3%)、旧常葉町(66.2%)、三春町と小野町(ともに65.7%)などで高い。

「商品の価格競争力」は、小野町(58.1%)、旧大越町(53.2%)、旧長沼町(45.8%)、旧滝根町(44.8%)、平田村(44.2%)、旧常葉町(43.1%)などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、郡山市の他、旧滝根町(51.7%)、須賀川市(51.1%)などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、旧岩瀬村(28.6%)、古殿町(27.1%)などで高い。

一方、「足りないものはない」の割合は、旧都路村(15.0%)、平田村(10.4%)、天栄村(10.2%)で10%を超えている。

図表 10-3-2 市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（県中ブロック）

上段は実数、下段は% 複数回答

	お 店 に 関 す る 情 報	個 性 の あ る お 店	商 品 の 価 格 競 争 力	商 品 の 品 揃 え	休 憩 所 、 公 衆 ト イ レ 等 の 設 備	街 路 灯 、 ア ー ケ ー ド 等 の 設 備	駐 車 場	電 車 、 バ ス の 充 実	イ ン テ ル ネ ット	ポ イ ン ト サ ー ビ ス	キ ャ ッ シ ュ レ ス 決 済	足 り な い も の は な い	全 体
郡山市	287 13.9	488 23.7	629 30.5	979 47.5	197 9.6	157 7.6	1,155 56.1	331 16.1	278 13.5	133 6.5	63 3.1	110 5.3	2,060 100.0
須賀川市	92 14.0	171 26.1	192 29.3	361 55.0	69 10.5	41 6.3	335 51.1	88 13.4	91 13.9	53 8.1	32 4.9	29 4.4	656 100.0
旧長沼町	2 4.2	13 27.1	22 45.8	27 56.3	5 10.4	5 10.4	16 33.3	7 14.6	4 8.3	0 0.0	2 4.2	4 8.3	48 100.0
旧岩瀬村	5 11.9	12 28.6	16 38.1	30 71.4	4 9.5	1 2.4	19 45.2	2 4.8	3 7.1	7 16.7	0 0.0	2 4.8	42 100.0
旧滝根町	4 13.8	7 24.1	13 44.8	17 58.6	2 6.9	0 0.0	15 51.7	2 6.9	0 0.0	3 10.3	1 3.4	1 3.4	29 100.0
旧大越町	4 8.5	9 19.1	25 53.2	33 70.2	2 4.3	3 6.4	13 27.7	8 17.0	7 14.9	4 8.5	2 4.3	2 4.3	47 100.0
旧都路村	3 15.0	4 20.0	8 40.0	15 75.0	1 5.0	0 0.0	3 15.0	4 20.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	20 100.0
旧常葉町	6 9.2	15 23.1	28 43.1	49 66.2	9 13.8	8 12.3	15 23.1	11 16.9	2 3.1	7 10.8	3 4.6	4 6.2	65 100.0
旧船引町	15 8.2	50 27.5	69 37.9	111 61.0	18 9.9	17 9.3	61 33.5	26 14.3	19 10.4	22 12.1	8 4.4	9 4.9	182 100.0
鏡石町	15 12.6	28 23.5	44 37.0	75 63.0	8 6.7	12 10.1	34 28.6	10 8.4	15 12.6	18 15.1	4 3.4	7 5.9	119 100.0
天栄村	9 18.4	7 14.3	16 32.7	33 67.3	5 10.2	5 10.2	16 32.7	5 10.2	3 6.1	4 8.2	3 6.1	5 10.2	49 100.0
石川町	18 12.1	37 24.8	52 34.9	96 64.4	12 8.1	10 6.7	56 37.6	24 16.1	18 12.1	13 8.7	6 4.0	5 3.4	149 100.0
玉川村	6 8.7	18 26.1	22 31.9	41 59.4	6 8.7	10 14.5	21 30.4	19 27.5	6 8.7	8 11.6	0 0.0	1 1.4	69 100.0
平田村	14 18.2	12 15.6	34 44.2	55 71.4	5 6.5	2 2.6	19 24.7	8 10.4	6 7.8	7 9.1	2 2.6	8 10.4	77 100.0
浅川町	7 9.1	17 22.1	33 42.9	58 75.3	3 3.9	3 3.9	15 19.5	9 11.7	8 10.4	11 14.3	5 6.5	4 5.2	77 100.0
古殿町	9 15.5	16 27.6	21 36.2	43 74.1	9 15.5	4 6.9	14 24.1	9 15.5	3 5.2	9 15.5	3 5.2	1 1.7	58 100.0
三春町	18 10.1	37 20.8	74 41.6	117 65.7	10 5.6	6 3.4	75 42.1	18 10.1	15 8.4	15 8.4	9 5.1	10 5.6	178 100.0
小野町	15 14.3	23 21.9	61 58.1	69 65.7	10 9.5	6 5.7	32 30.5	12 11.4	11 10.5	11 10.5	2 1.9	2 1.9	105 100.0
全 体	529 13.1	964 23.9	1,359 33.7	2,203 54.7	375 9.3	290 7.2	1,914 47.5	593 14.7	489 12.1	326 8.1	146 3.6	207 5.1	4,030 100.0

ウ 県南ブロック

県南ブロックでは、全体で見ると、「商品の品揃え」(62.6%)の割合が最も高く、次いで「商品の価格競争力」(39.9%)、「駐車場」(32.1%)、「個性のあるお店」(26.0%)の順である。「足りないものはない」(5.3%)の割合は低いものの、ブロック別では最も高い。なお、「キャッシュレス決済」の割合は3.2%であった。

すべての市町村で「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「商品の価格競争力」が高いのが10町村、「駐車場」が2市村である。

「商品の品揃え」は、特に矢祭町(84.1%)、埴町(75.0%)、中島村(70.4%)、棚倉町(68.0%)、鮫川村(67.4%)などで高い。

「商品の価格競争力」は、旧表郷村(50.8%)、鮫川村(46.5%)、矢祭町(46.0%)、中島村(44.4%)、泉崎村(41.1%)などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、白河市(41.1%)、西郷村(40.0%)などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、旧表郷村(34.4%)、旧東村(31.8%)、白河市(29.8%)などで高い。

一方、「足りないものはない」の割合は、鮫川村(9.3%)、旧表郷村(8.2%)、泉崎村(6.8%)などで比較的高い。

図表 10-3-3 市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（県南ブロック）

上段は実数、下段は% 複数回答

	お 店 に 関 す る 情 報	個 性 の あ る お 店	商 品 の 価 格 競 争 力	商 品 の 品 揃 え	休 憩 所 、 公 衆 ト イ レ 等 の 設 備	街 路 灯 、 ア ー ケ ー ド 等 の 設 備	駐 車 場	電 車 、 バ ス の 充 実	イ ン テ ン ト	ポ イ ン ト サ ー ビ ス	キ ャ ッ シ ュ レ ス 決 着	足 り な い も の は な い	全 体
白 河 市	56 12.2	137 29.8	175 38.0	271 58.9	31 6.7	33 7.2	189 41.1	55 12.0	46 10.0	57 12.4	14 3.0	26 5.7	460 100.0
旧 表 郷 村	8 13.1	21 34.4	31 50.8	38 62.3	3 4.9	1 1.6	20 32.8	11 18.0	5 8.2	4 6.6	2 3.3	5 8.2	61 100.0
旧 東 村	6 9.1	21 31.8	26 39.4	37 56.1	3 4.5	3 4.5	17 25.8	15 22.7	12 18.2	6 9.1	1 1.5	2 3.0	86 100.0
旧 大 信 村	6 15.0	8 20.0	16 40.0	26 65.0	1 2.5	4 10.0	8 20.0	7 17.5	5 12.5	6 15.0	1 2.5	2 5.0	40 100.0
西 郷 村	16 10.0	37 23.1	60 37.5	84 52.5	23 14.4	19 11.9	64 40.0	20 12.5	16 10.0	24 15.0	8 5.0	6 3.8	160 100.0
泉 崎 村	6 8.2	17 23.3	30 41.1	46 63.0	7 9.6	1 1.4	17 23.3	15 20.5	6 8.2	6 8.2	1 1.4	5 6.8	73 100.0
中 島 村	7 13.0	13 24.1	24 44.4	38 70.4	2 3.7	2 3.7	9 16.7	8 14.8	6 11.1	7 13.0	1 1.9	1 1.9	54 100.0
矢 吹 町	10 7.3	40 29.2	56 40.9	85 62.0	11 8.0	7 5.1	43 31.4	18 13.1	8 5.8	15 10.9	3 2.2	8 5.8	137 100.0
棚 倉 町	17 11.1	38 24.8	58 37.9	104 68.0	9 5.9	11 7.2	38 24.8	20 13.1	14 9.2	14 9.2	6 3.9	9 5.9	153 100.0
矢 祭 町	7 11.1	8 12.7	29 46.0	53 84.1	2 3.2	3 4.8	12 19.0	13 20.6	11 17.5	7 11.1	3 4.8	1 1.6	63 100.0
塙 町	3 4.2	13 18.1	26 36.1	54 75.0	4 5.6	3 4.2	17 23.6	8 11.1	7 9.7	12 16.7	4 5.6	4 5.6	72 100.0
鮫 川 村	6 14.0	6 14.0	20 46.5	29 67.4	6 14.0	4 9.3	10 23.3	3 7.0	5 11.6	0 0.0	0 0.0	4 9.3	43 100.0
全 体	148 10.7	359 26.0	551 39.9	865 62.6	102 7.4	91 6.6	444 32.1	193 14.0	141 10.2	158 11.4	44 3.2	73 5.3	1,382 100.0

エ 会津ブロック

会津ブロックでは、全体で見ると、「商品の品揃え」(69.9%)の割合が最も高く、次いで「商品の価格競争力」(35.9%)、「駐車場」(31.9%)、「個性のあるお店」(30.1%)の順である。「商品の品揃え」の割合は、ブロック別で最も高い。「キャッシュレス決済」(4.3%)及び「足りないものはない」(3.9%)の割合は極めて低い。

三島町では「商品の価格競争力」(72.7%)、旧館岩村では「個性のあるお店」(66.7%)が最も高いが、三島町と旧館岩村以外の市町村で「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「商品の価格競争力」が高いのが22市町村、「駐車場」が4市町である。

「商品の品揃え」は、特に只見町(89.8%)、柳津町(88.2%)、湯川村(87.0%)、檜枝岐村(83.3%)、旧田島町(81.8%)、旧新鶴村(81.6%)、旧山都町(79.4%)、旧伊南村(78.6%)、旧北会津村(77.8%)、旧会津本郷町(77.1%)などで高い。

「商品の価格競争力」は、三島町に次いで、金山町(60.0%)、只見町(55.9%)、旧南郷村(52.0%)、檜枝岐村(50.0%)、旧館岩村(50.0%)、旧田島町(49.6%)などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、金山町(66.7%)、旧山都町(52.9%)、会津若松市(45.8%)などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、旧館岩村に次いで、旧塩川町(42.6%)などで高い。

一方、「足りないものはない」は、旧高郷村(14.3%)で10%を超えているが、8町村では0%である。

図表 10-3-4 市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（会津ブロック）

上段は実数、下段は% 複数回答

	お 店 に 関 す る 情 報	個 性 の あ る お 店	商 品 の 価 格 競 争 力	商 品 の 品 揃 え	休 憩 所 、 公 衆 ト イ レ 等 の 設 備	街 路 灯 、 ア ー ケ ー ド 等 の 設 備	駐 車 場	電 車 、 バ ス の 充 実	イ ン テ ル ネ ット	ポ イ ン ト サ ー ビ ス	キ ャ ッ シ ュ レ ス 決 着	足 り な い も の は な い	全 体
会津若松市	71 9.5	279 37.2	207 27.6	472 62.8	74 9.9	29 3.9	344 45.8	66 8.8	122 16.2	49 6.5	32 4.3	27 3.6	751 100.0
旧北会津村	4 8.9	8 17.8	17 37.8	35 77.8	2 4.4	0 0.0	16 35.6	5 11.1	7 15.6	2 4.4	1 2.2	2 4.4	45 100.0
旧河東町	13 14.9	24 27.6	34 39.1	62 71.3	5 5.7	4 4.6	31 35.6	11 12.6	10 11.5	6 6.9	4 4.6	2 2.3	87 100.0
喜多方市	18 6.8	91 34.3	101 38.1	191 72.1	23 8.7	28 10.6	79 29.8	33 12.5	35 13.2	23 8.7	4 1.5	9 3.4	265 100.0
旧塩川町	2 4.3	20 42.6	16 34.0	30 63.8	4 8.5	4 8.5	11 23.4	4 8.5	9 19.1	1 2.1	2 4.3	3 6.4	47 100.0
旧山都町	5 14.7	7 20.6	15 44.1	27 79.4	5 14.7	0 0.0	18 52.9	3 8.8	1 2.9	6 17.6	2 5.9	0 0.0	34 100.0
旧高郷村	4 19.0	2 9.5	8 38.1	13 61.9	1 4.8	1 4.8	5 23.8	2 9.5	2 9.5	3 14.3	0 0.0	3 14.3	21 100.0
旧熱塩加納村	2 6.7	5 16.7	9 30.0	22 73.3	2 6.7	2 6.7	5 16.7	7 23.3	4 13.3	3 10.0	1 3.3	1 3.3	30 100.0
北塩原村	5 16.7	7 23.3	12 40.0	20 66.7	4 13.3	1 3.3	6 20.0	6 20.0	5 16.7	1 3.3	1 3.3	0 0.0	30 100.0
西会津町	3 8.1	8 21.6	14 37.8	28 75.7	1 2.7	0 0.0	6 16.2	3 8.1	2 5.4	1 2.7	3 8.1	2 5.4	37 100.0
磐梯町	4 12.9	8 25.8	11 35.5	23 74.2	1 3.2	1 3.2	4 12.9	6 19.4	2 6.5	2 6.5	0 0.0	3 9.7	31 100.0
猪苗代町	10 9.1	26 23.6	46 41.8	73 66.4	4 3.6	9 8.2	17 15.5	18 16.4	16 14.5	12 10.9	2 1.8	5 4.5	110 100.0
会津坂下町	13 8.2	43 27.0	59 37.1	103 64.8	19 11.9	15 9.4	43 27.0	17 10.7	20 12.6	13 8.2	7 4.4	9 5.7	159 100.0
湯川村	5 10.9	16 34.8	20 43.5	40 87.0	5 10.9	0 0.0	13 28.3	4 8.7	1 2.2	1 2.2	2 4.3	0 0.0	46 100.0
柳津町	2 5.9	11 32.4	12 35.3	30 88.2	3 8.8	2 5.9	2 5.9	3 8.8	3 8.8	3 8.8	1 2.9	1 2.9	34 100.0
三島町	1 9.1	4 36.4	8 72.7	6 54.5	2 18.2	0 0.0	4 36.4	1 9.1	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	11 100.0
金山町	3 20.0	5 33.3	9 60.0	10 66.7	2 13.3	0 0.0	10 66.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	15 100.0
昭和村	0 0.0	1 11.1	2 22.2	3 33.3	1 11.1	0 0.0	1 11.1	1 11.1	2 22.2	2 22.2	0 0.0	1 11.1	9 100.0
旧会津高田町	6 7.2	23 27.7	29 34.9	63 75.9	3 3.6	2 2.4	17 20.5	12 14.5	13 15.7	7 8.4	5 6.0	5 6.0	83 100.0
旧会津本郷町	4 8.3	8 16.7	14 29.2	37 77.1	3 6.3	4 8.3	21 43.8	5 10.4	3 6.3	2 4.2	4 8.3	2 4.2	48 100.0
旧新鶴村	5 10.2	12 24.5	18 36.7	40 81.6	2 4.1	3 6.1	7 14.3	10 20.4	5 10.2	7 14.3	5 10.2	1 2.0	49 100.0
旧田島町	7 5.8	34 28.1	60 49.6	99 81.8	5 4.1	5 4.1	17 14.0	13 10.7	12 9.9	7 5.8	6 5.0	6 5.0	121 100.0
旧舘岩村	1 16.7	4 66.7	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	6 100.0
旧伊南村	0 0.0	4 28.6	6 42.9	11 78.6	0 0.0	0 0.0	3 21.4	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	14 100.0
旧南郷村	6 24.0	4 16.0	13 52.0	19 76.0	0 0.0	1 4.0	4 16.0	3 12.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	25 100.0
下郷町	3 8.3	6 16.7	13 36.1	25 69.4	3 8.3	1 2.8	8 22.2	7 19.4	4 11.1	5 13.9	1 2.8	1 2.8	36 100.0
檜枝岐村	1 16.7	2 33.3	3 50.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	6 100.0
只見町	6 10.2	4 6.8	33 55.9	53 89.8	2 3.4	2 3.4	12 20.3	8 13.6	1 1.7	5 8.5	6 10.2	0 0.0	59 100.0
全 体	204 9.2	666 30.1	792 35.9	1,543 69.9	176 8.0	114 5.2	705 31.9	249 11.3	281 12.7	168 7.6	94 4.3	86 3.9	2,209 100.0

オ 相双ブロック

相双ブロックでは、全体で見ると、「商品の品揃え」(69.4%)の割合が最も高く、次いで「商品の価格競争力」(37.0%)、「駐車場」(30.3%)、「個性のあるお店」(24.7%)の順である。「足りないものはない」(2.9%)の割合はブロック別で最も低い。なお、「キャッシュレス決済」の割合は3.6%であった。

「商品の品揃え」は、特に旧小高町(90.9%)、檜葉町(87.0%)、川内村(84.6%)、広野町(77.3%)などで高い。

「商品の価格競争力」は、浪江町に次いで、旧小高町(63.6%)、富岡町(55.6%)、広野町と葛尾村(ともに50.0%)などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、飯舘村に次いで、旧原町市(37.8%)が高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、浪江町に次いで、旧鹿島町(30.2%)などで高い。

一方、「足りないものはない」は、12市町村中7町村が0%である。

なお、浪江町、葛尾村、飯舘村、富岡町、川内村、広野町、檜葉町については、回答票数が少ないことに留意が必要である。

図表 10-3-5 市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（相双ブロック）

上段は実数、下段は% 複数回答

	お 店 に 関 す る 情 報	個 性 の あ る お 店	商 品 の 価 格 競 争 力	商 品 の 品 揃 え	休 憩 所 、 公 衆 ト イ レ 等 の 設 備	街 路 灯 、 ア ー ケ ー ド 等 の 設 備	駐 車 場	電 車 、 バ ス の 充 実	イ ン テ ル ネ ット	ポ イ ン ト サ ー ビ ス	キ ャ ッ シ ュ レ ス 決 済	足 り な い も の は な い	全 体
相馬市	36 9.0	98 24.6	151 37.8	246 61.7	35 8.8	39 9.8	126 31.6	43 10.8	54 13.5	43 10.8	20 5.0	17 4.3	399 100.0
旧原町市	45 12.1	101 27.1	117 31.4	270 72.4	22 5.9	36 9.7	141 37.8	46 12.3	51 13.7	32 8.6	11 2.9	6 1.6	373 100.0
旧鹿島町	13 8.7	45 30.2	51 34.2	105 70.5	12 8.1	14 9.4	39 26.2	19 12.8	19 12.8	11 7.4	5 3.4	6 4.0	149 100.0
旧小高町	2 9.1	3 13.6	14 63.6	20 90.9	2 9.1	1 4.5	5 22.7	3 13.6	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 100.0
広野町	4 18.2	6 27.3	11 50.0	17 77.3	2 9.1	4 18.2	2 9.1	4 18.2	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	22 100.0
檜葉町	2 8.7	3 13.0	11 47.8	20 87.0	2 8.7	1 4.3	2 8.7	2 8.7	1 4.3	5 21.7	1 4.3	0 0.0	23 100.0
富岡町	4 44.4	2 22.2	5 55.6	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 100.0
川内村	1 7.7	2 15.4	3 23.1	11 84.6	0 0.0	1 7.7	1 7.7	5 38.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	13 100.0
大熊町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
双葉町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浪江町	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
葛尾村	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
新地町	12 10.6	18 15.9	52 46.0	87 77.0	11 9.7	12 10.6	23 20.4	13 11.5	14 12.4	9 8.0	3 2.7	3 2.7	113 100.0
飯館村	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	4 100.0
全体	120 10.6	280 24.7	419 37.0	786 69.4	87 7.7	109 9.6	343 30.3	139 12.3	144 12.7	103 9.1	41 3.6	33 2.9	1,132 100.0

カ いわきブロック

いわきブロックでは、全体で見ると、「商品の品揃え」(59.4%)の割合が最も高く、次いで「駐車場」(43.9%)、「商品の価格競争力」(33.9%)、「個性のあるお店」(25.9%)の順である。「キャッシュレス決済」(3.1%)及び「足りないものはない」(4.9%)の割合は極めて低い。

三和地区では「駐車場」(45.0%)が最も高いが、三和地区以外の地区では「商品の品揃え」の割合が最も高い。次いで、「駐車場」が8地区、「商品の価格競争力」が高いのが2地区、「お店に関する情報」が2地区である。

「商品の品揃え」は、特に久之浜・大久地区(71.4%)、遠野地区(71.0%)、田人地区(66.7%)、内郷地区(64.0%)、四倉地区(60.5%)、勿来地区(60.1%)などで高い。

「商品の価格競争力」は、久之浜・大久地区(44.9%)、勿来地区(37.8%)、四倉地区(37.0%)、常磐地区(35.9%)、小名浜地区(35.2%)などで高い。

「商品の品揃え」の割合が高い市町村と「商品の価格競争力」の割合が高い市町村は、共通する傾向がみられ、「商品の品揃え」と「商品の価格競争力」は関連が高いことが推量される。

「駐車場」は、常磐地区(51.1%)、平地区(49.4%)、好間地区(45.2%)などで高くなっている。

また、「個性のあるお店」は、久之浜・大久地区(36.7%)、三和地区(35.0%)、好間地区(33.3%)などで高い。

一方、「足りないものはない」は、小川地区(9.5%)で比較的高い。

図表 10-3-6 市町村・地区別中心部商業地の商店街に望むもの（いわきブロック）

上段は実数 下段は% 複数回答

	お 店 に 関 す る 情 報	個 性 の あ る お 店	商 品 の 価 格 競 争 力	商 品 の 品 揃 え	休 憩 所 、 公 衆 ト イ レ 等 の 設 備	街 路 灯 、 ア ー ケ ー ド 等 の 設 備	駐 車 場	電 車 、 バ ス の 充 実	イ ン テ ル ネ ット	ポ イ ン ト サ ー ビ ス	キ ャ ッ シ ュ レ ス 決 済	足 り な い も の は な い	全 体
平 地 区	85 10.0	24.5 28.9	260 30.7	510 60.1	68 8.0	73 8.6	419 49.4	131 15.4	123 14.5	58 6.8	32 3.8	42 5.0	848 100.0
内 郷 地 区	19 11.6	50 30.5	56 34.1	105 64.0	10 6.1	17 10.4	71 43.3	25 15.2	27 16.5	20 12.2	3 1.8	6 3.7	164 100.0
常 磐 地 区	24 8.7	65 23.6	99 35.9	156 56.5	24 8.7	20 7.2	141 51.1	34 12.3	44 15.9	30 10.9	10 3.6	18 6.5	276 100.0
小 名 浜 地 区	57 9.3	144 23.6	215 35.2	348 57.0	46 7.5	45 7.4	261 42.7	119 19.5	106 17.3	57 9.3	14 2.3	26 4.3	611 100.0
勿 来 地 区	47 11.0	95 22.3	161 37.8	256 60.1	35 8.2	31 7.3	162 38.0	90 21.1	60 14.1	31 7.3	12 2.8	25 5.9	426 100.0
四 倉 地 区	14 11.8	27 22.7	44 37.0	72 60.5	10 8.4	8 6.7	48 40.3	23 19.3	10 8.4	11 9.2	5 4.2	6 5.0	119 100.0
久 之 浜・大 久 地 区	7 14.3	18 36.7	22 44.9	35 71.4	2 4.1	4 8.2	11 22.4	7 14.3	4 8.2	3 6.1	3 6.1	3 6.1	49 100.0
小 川 地 区	14 18.9	17 23.0	24 32.4	42 56.8	3 4.1	4 5.4	27 36.5	20 27.0	10 13.5	2 2.7	1 1.4	7 9.5	74 100.0
川 前 地 区	5 55.6	1 11.1	1 11.1	5 55.6	1 11.1	0 0.0	2 22.2	3 33.3	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	9 100.0
三 和 地 区	8 20.0	14 35.0	8 20.0	16 40.0	6 15.0	3 7.5	18 45.0	10 25.0	11 27.5	1 2.5	1 2.5	0 0.0	40 100.0
好 間 地 区	12 12.9	31 33.3	29 31.2	54 58.1	8 8.6	12 12.9	42 45.2	18 19.4	11 11.8	9 9.7	3 3.2	3 3.2	93 100.0
遠 野 地 区	16 23.2	13 18.8	24 34.8	49 71.0	3 4.3	4 5.8	21 30.4	16 23.2	9 13.0	9 13.0	2 2.9	2 2.9	69 100.0
田 人 地 区	6 40.0	3 20.0	5 33.3	10 66.7	2 13.3	1 6.7	3 20.0	2 13.3	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	15 100.0
全 体	314 11.2	723 25.9	948 33.9	1,658 59.4	218 7.8	222 7.9	1,226 43.9	498 17.8	418 15.0	233 8.3	86 3.1	138 4.9	2,793 100.0

(3) 商圏タイプ（居住地）別にみた中心部商業地の商店街に望むもの

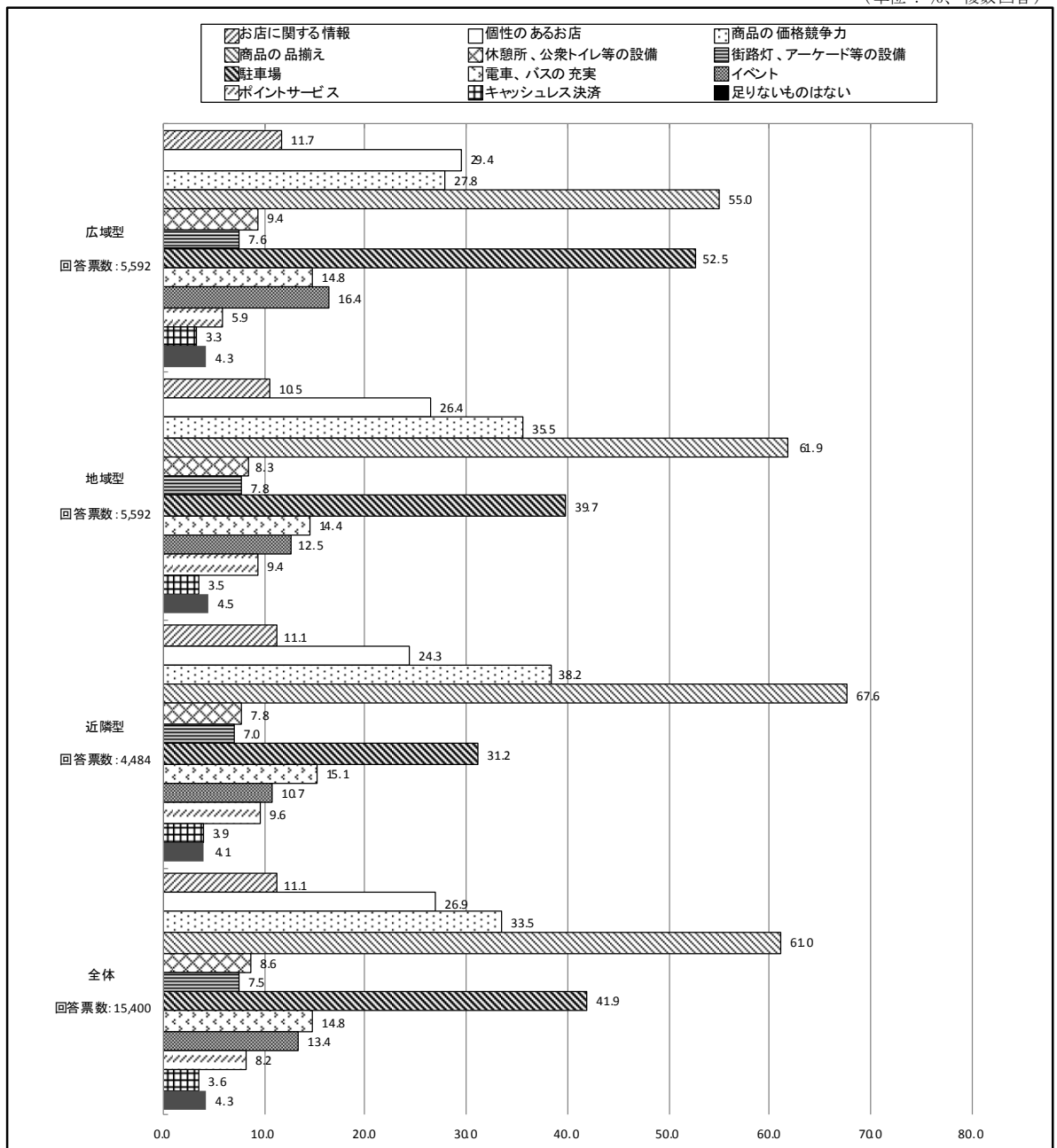
商圏タイプ（居住地）別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表10-4である。

すべての商圏タイプで「商品の品揃え」の割合が高く、特に近隣型（67.6%）では高くなっている。次いで、広域型と地域型では「駐車場」、近隣型では「商品の価格競争力」である。「キャッシュレス決済」及び「足りないものはない」の割合は、すべての商圏タイプで極めて低い。

商圏規模が小さくなるほど、「商品の品揃え」、「商品の価格競争力」の割合が高くなり、商圏規模が大きくなるほど「駐車場」の割合が高くなる傾向がみられる。

図表10-4 商圏タイプ（居住地）別中心部商業地の商店街に望むもの

（単位：％、複数回答）



*回答票数：中心部商業地の商店街に望むもの回答者の居住地（ブロック）別合計

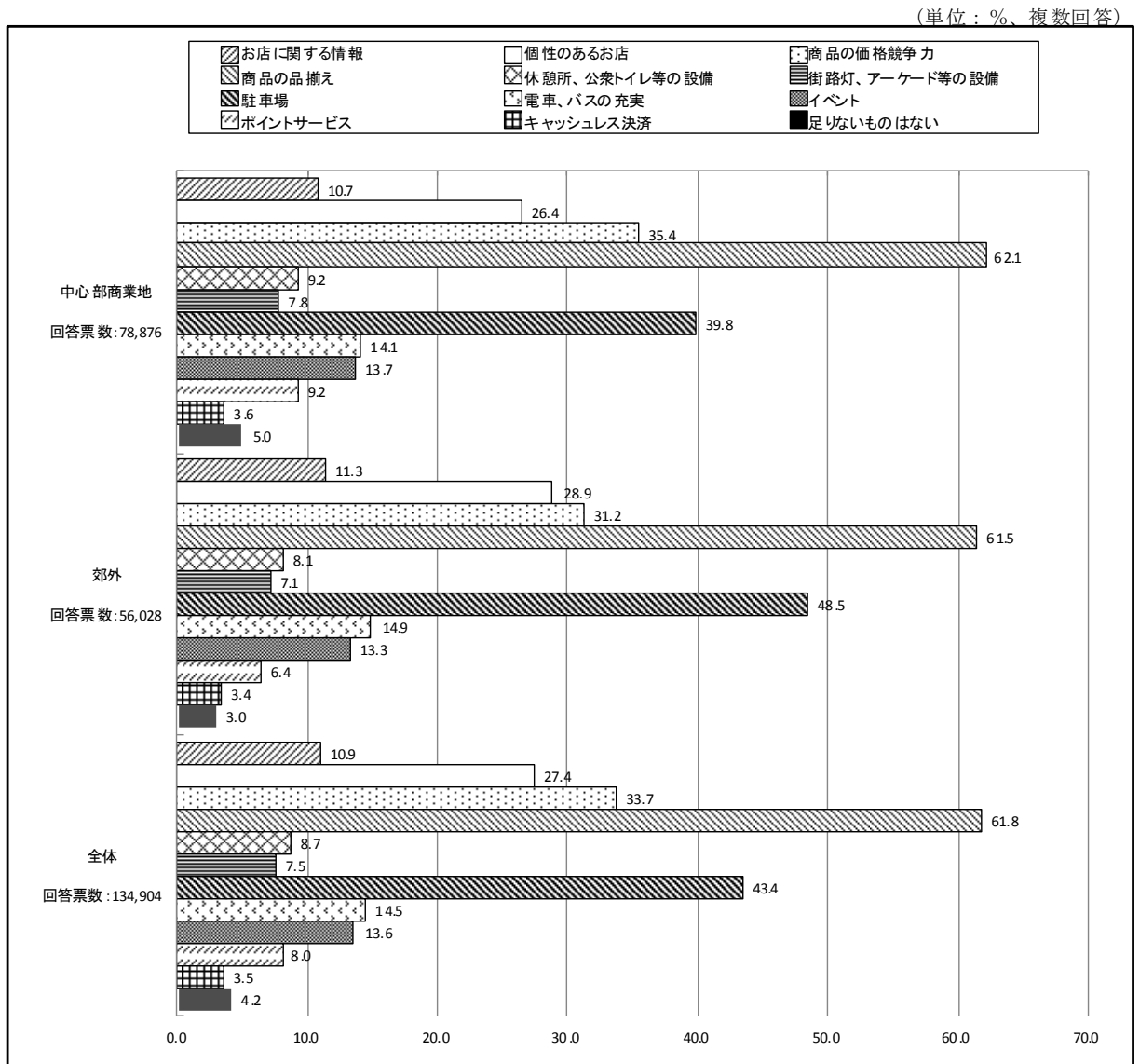
(4) 買物店舗の立地特性別にみた中心部商業地の商店街に望むもの

買物店舗の立地特性別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表10-5-1である。

中心部商業地で買物をしている消費者、郊外で買物をしている消費者とも「商品の品揃え」、次いで、「駐車場」を選択している割合が高い。「個性のあるお店」の割合は郊外のほうがわずかに高い。「足りないものはない」の割合は、わずかに中心部商業地のほうが高いが、どちらも極めて低い。

日頃、車で郊外の店舗に買物に出かけている消費者は、中心部商業地の商店街にも車でアクセスしやすい環境整備を望んでいることが推量される。

図表10-5-1 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの



*回答票数：品目別買物店舗の立地場所回答者のうち、中心部商業地の商店街に望むものに回答した者の合計

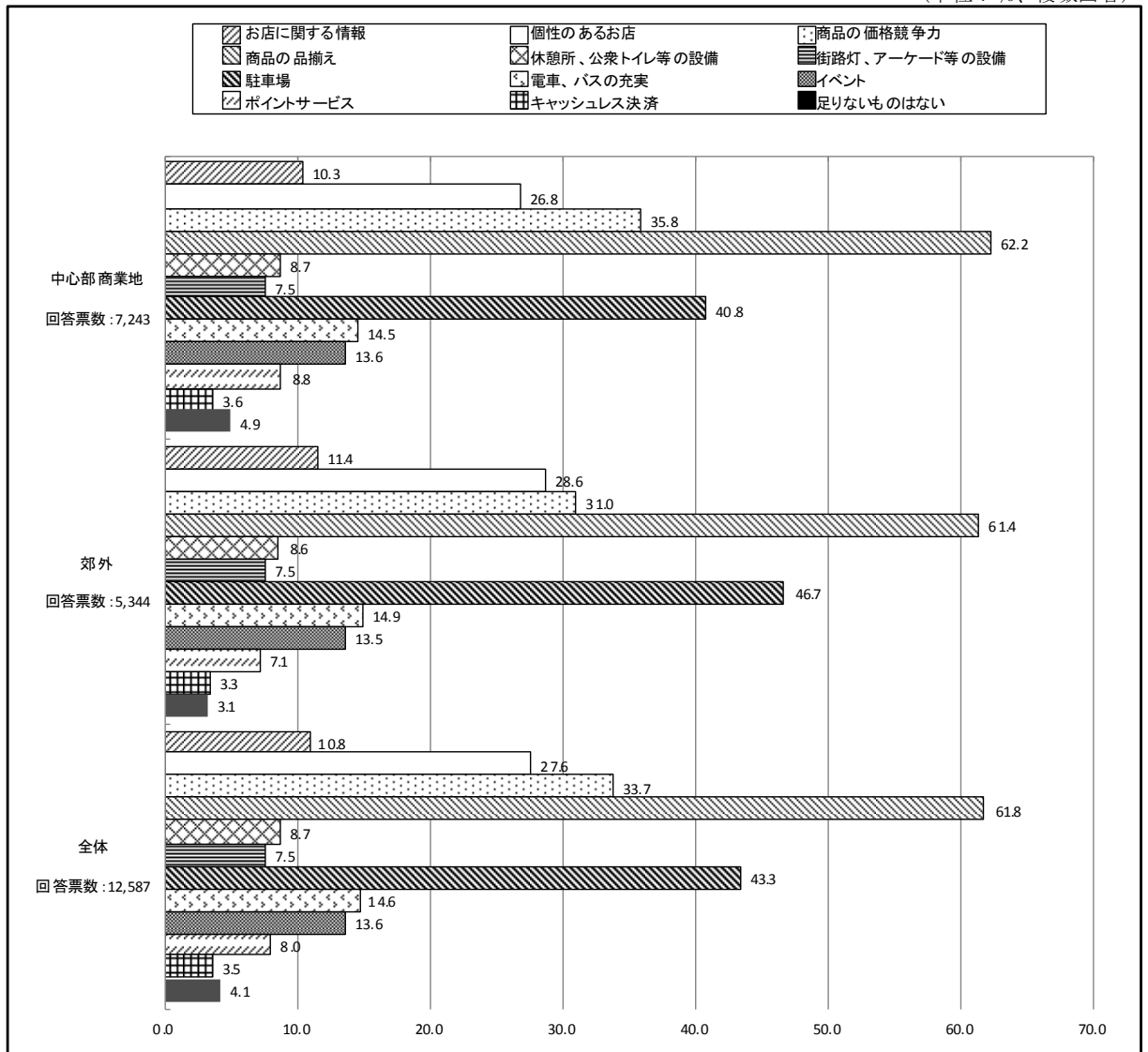
以下、買物店舗の立地場所別に中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を、買物品目別に示したものが、図表10-5-2から図表10-5-12である。

品目別に分析を行なったが、どの品目も同様の傾向となり、品目別の相違点はみられなかった。

どの品目においても、中心部商業地で買物をしている消費者も、郊外で買物をしている消費者も、中心部商業地の商店街に望むものは「商品の品揃え」、次いで、「駐車場」を選択している割合が最も高い。「商品の価格競争力」は中心部商業地がわずかに高く、「個性のあるお店」の割合は郊外のほうが高い。「足りないものはない」の割合は、わずかに中心部商業地のほうが高いが、どちらも極めて低い。他の項目では、中心部商業地と郊外で傾向の違いはみられない。

図表 10-5-2 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（背広・スーツ）

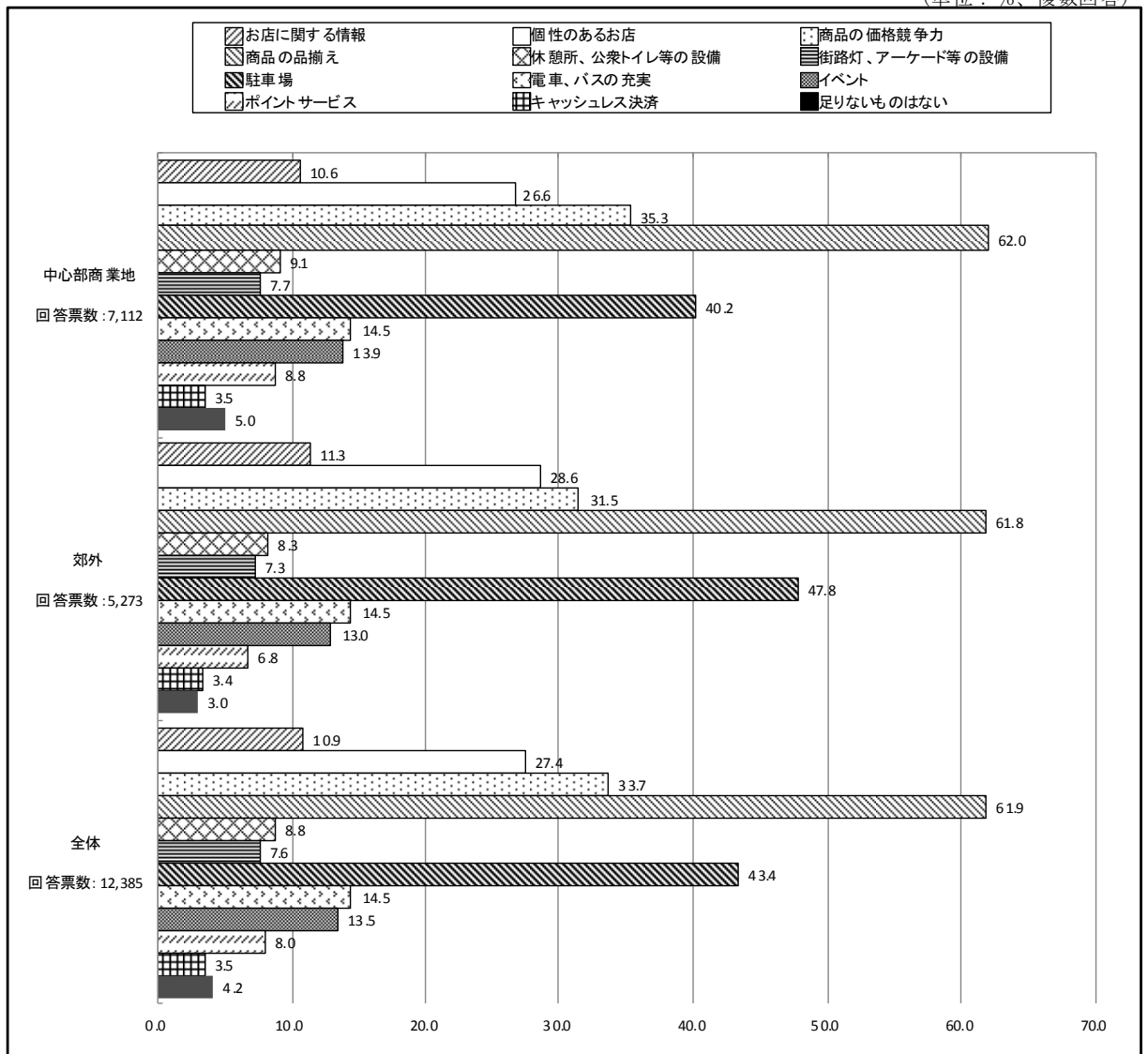
（単位：％、複数回答）



*回答票数：買物店舗の立地場所回答者のうち、中心部商業地の商店街に望むものに回答した者
（以下、すべての品目で同じ）

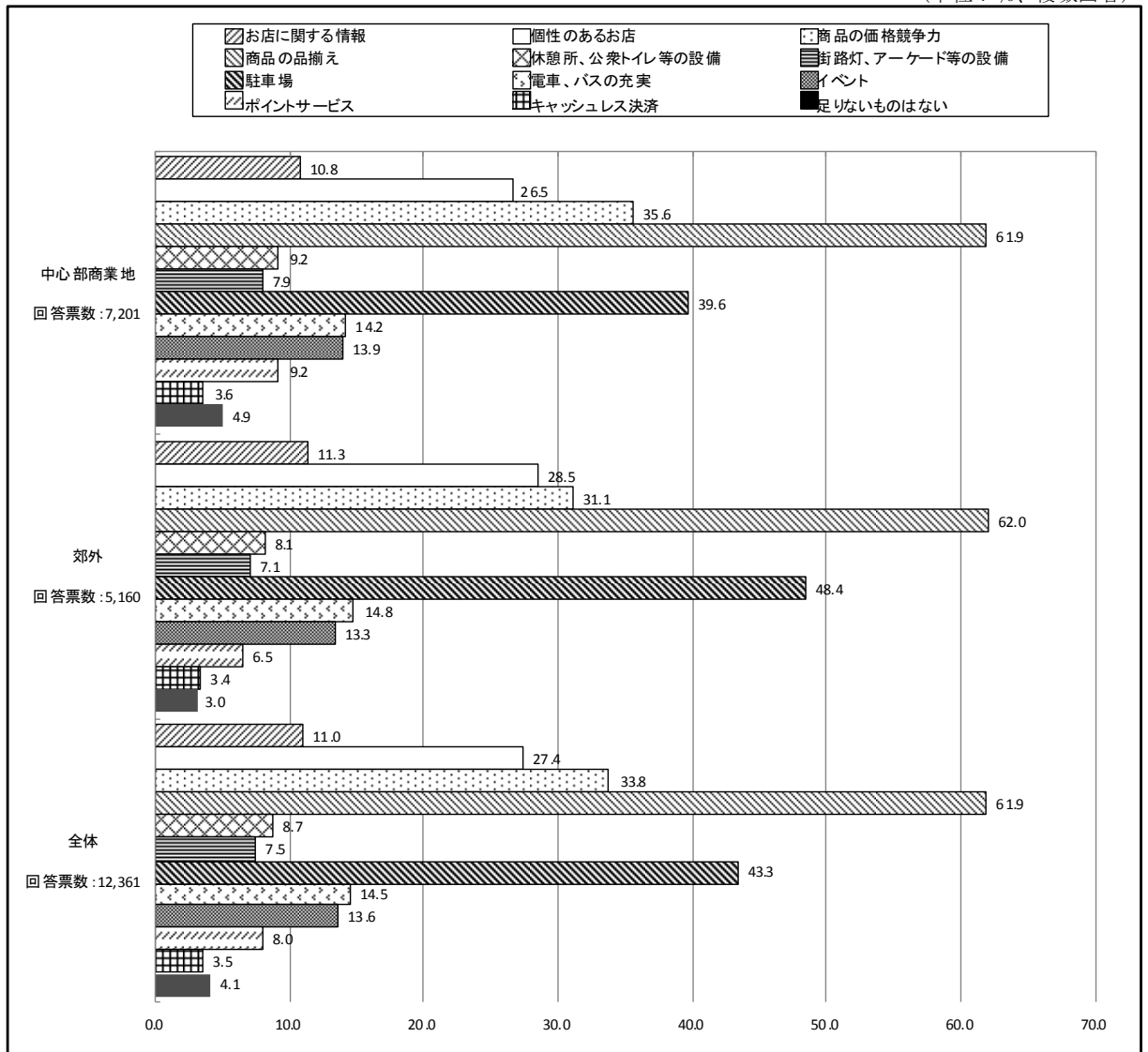
図表 10-5-3 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（セーター・ブラウス）

(単位：％、複数回答)



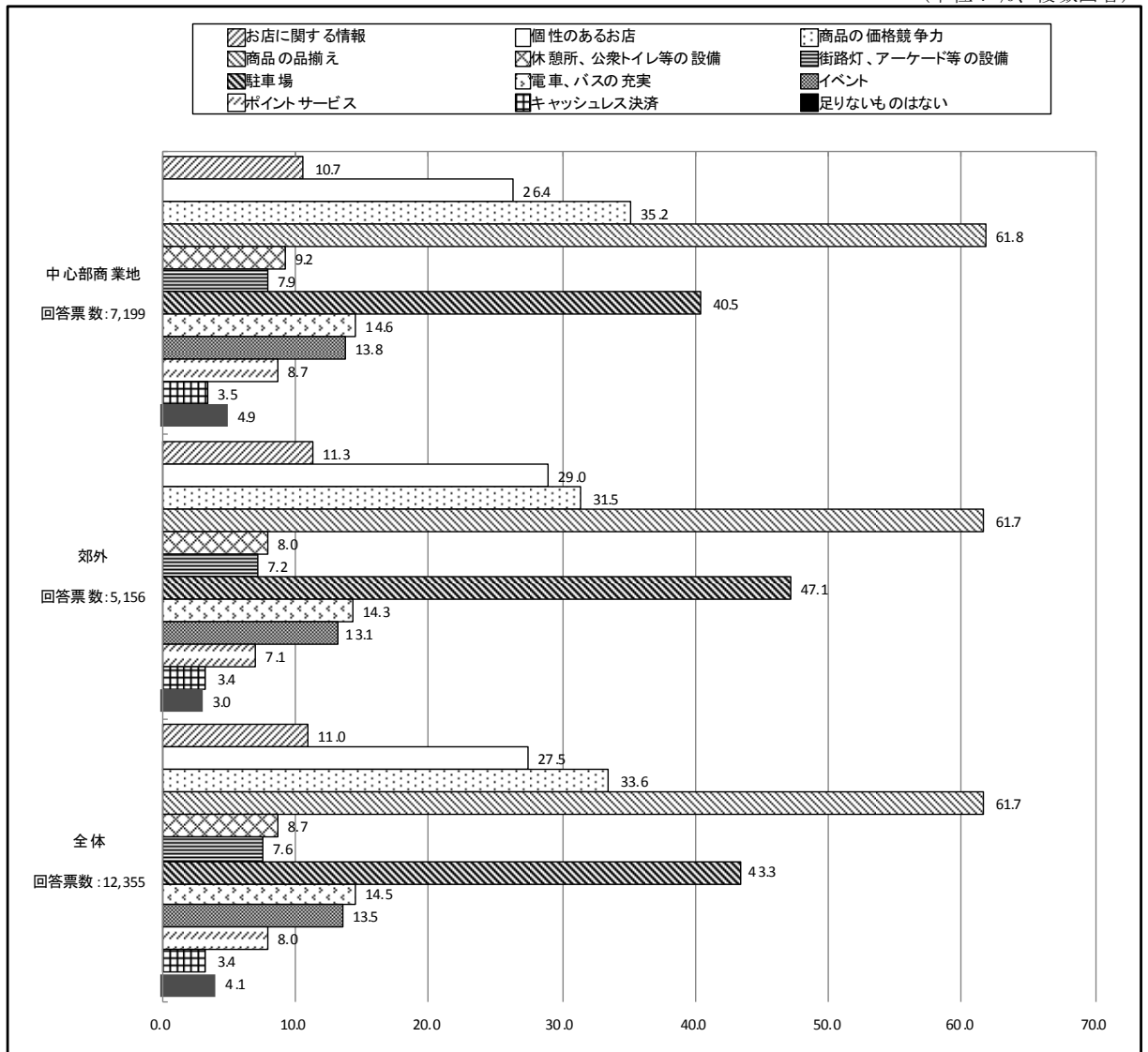
図表 10-5-4 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（下着）

（単位：％、複数回答）



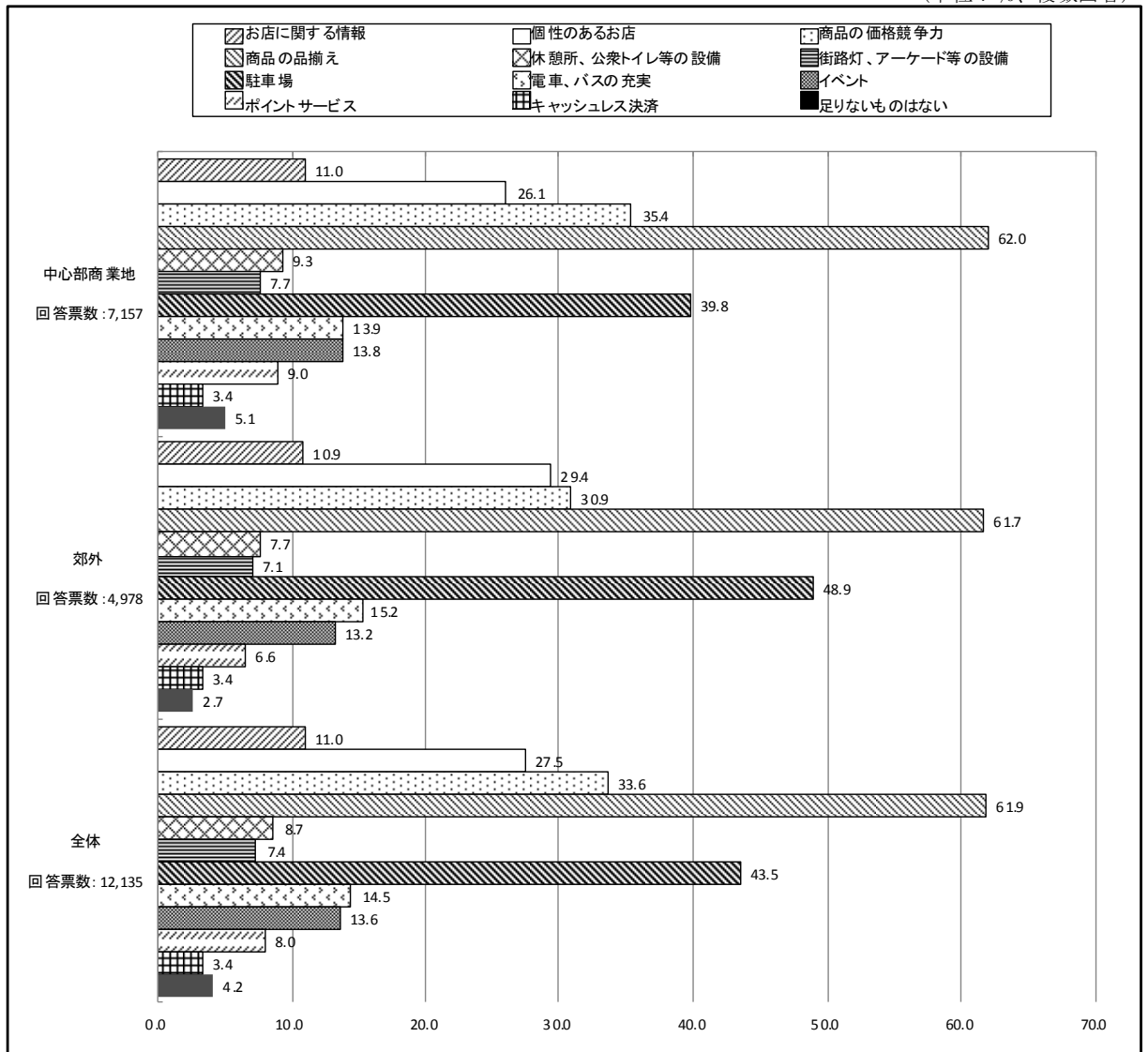
図表 10-5-5 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（靴・バッグ）

(単位：％、複数回答)



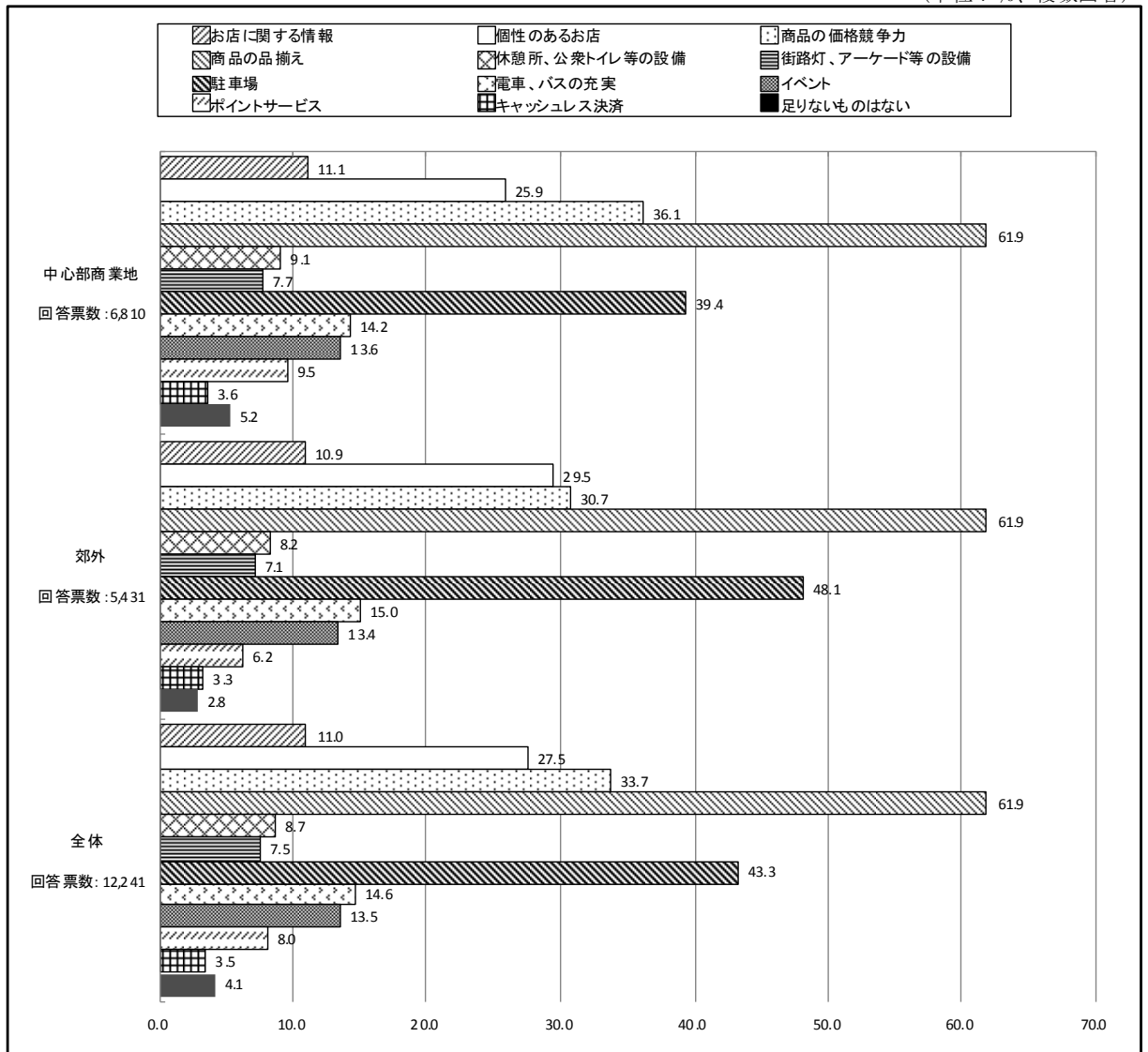
図表 10-5-6 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（本・CD）

（単位：％、複数回答）



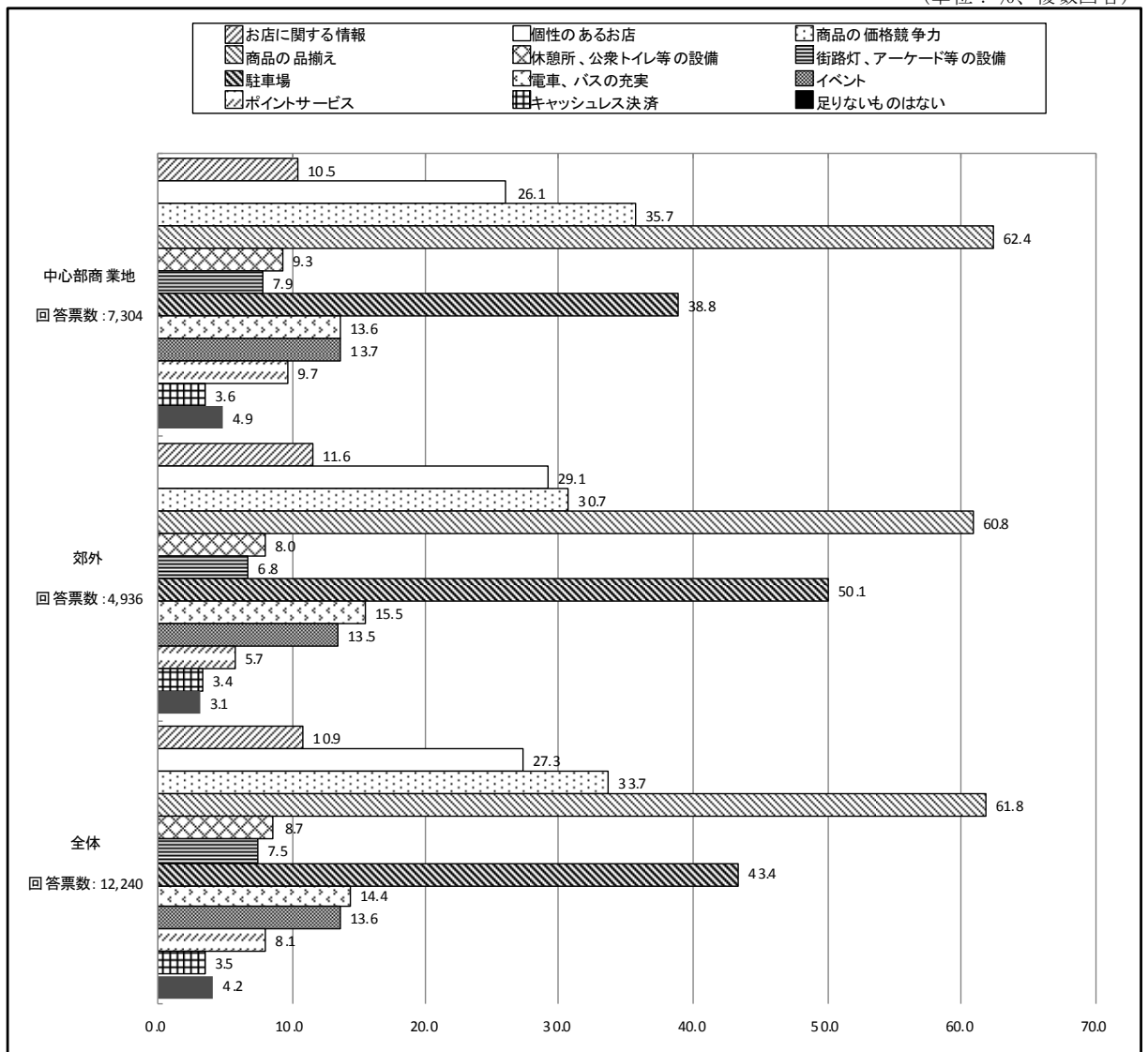
図表 10-5-7 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（家電製品）

(単位：%、複数回答)



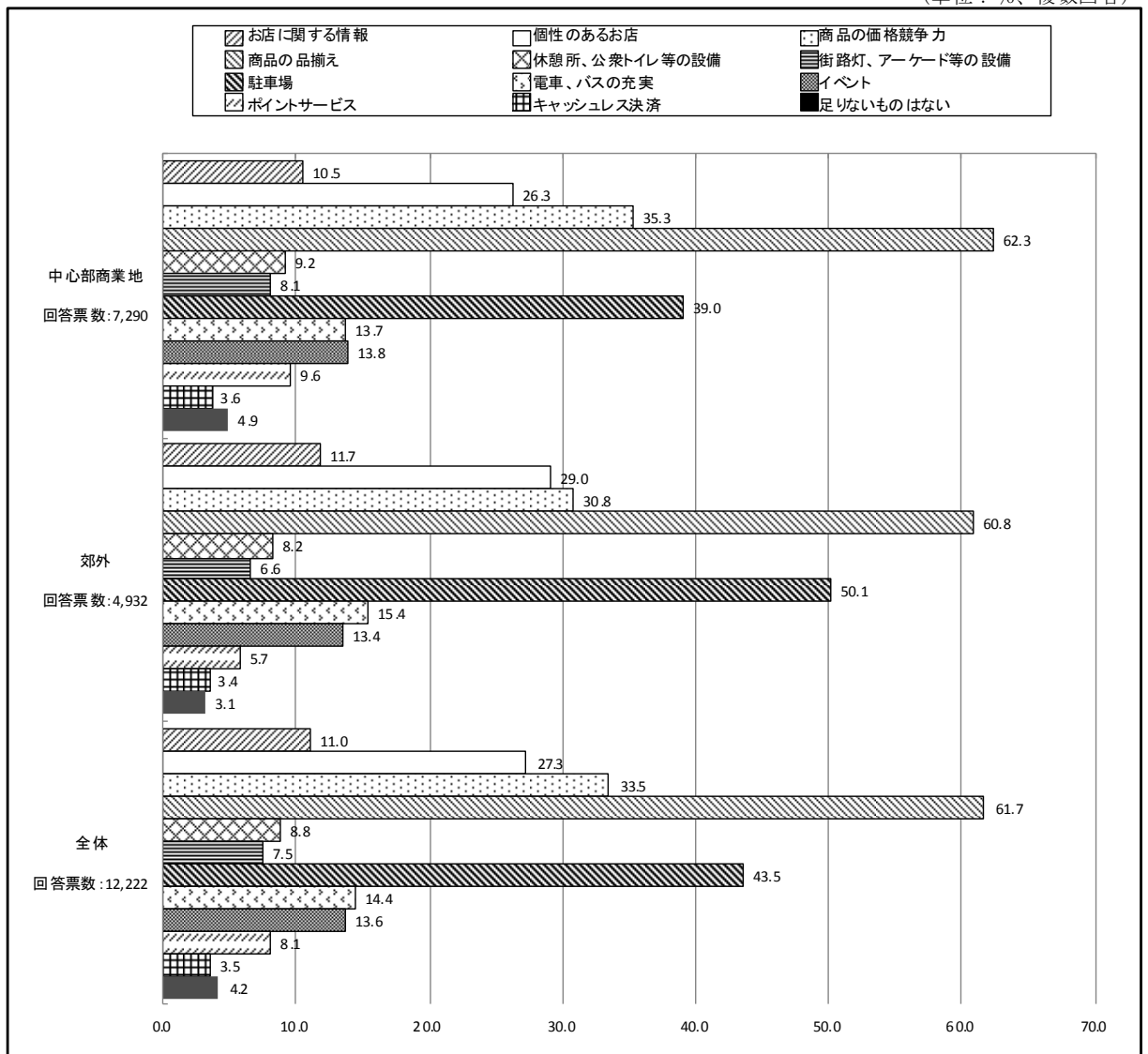
図表 10-5-8 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（日用品）

(単位：%、複数回答)



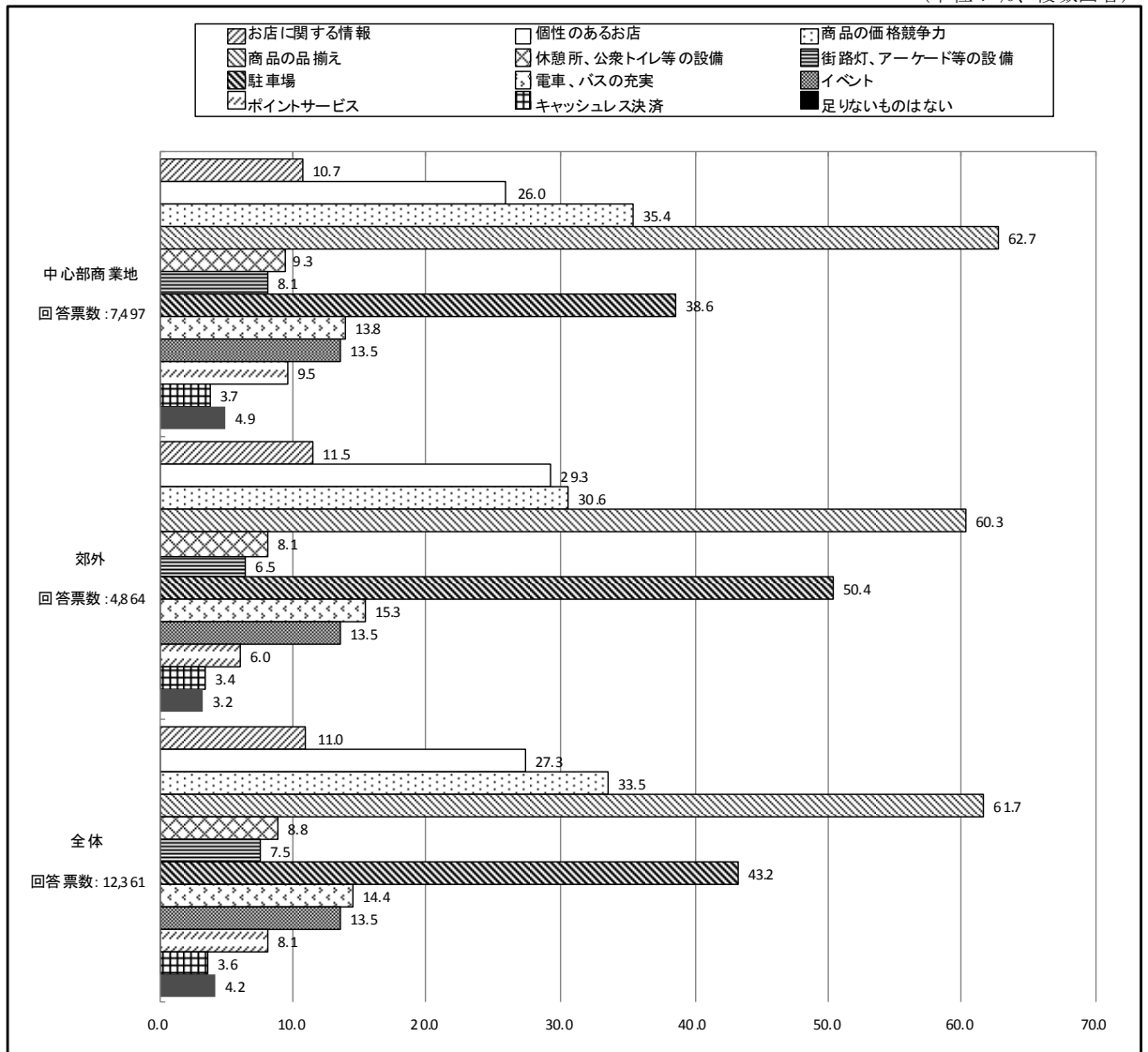
図表 10-5-9 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（医薬品・化粧品）

(単位：%、複数回答)



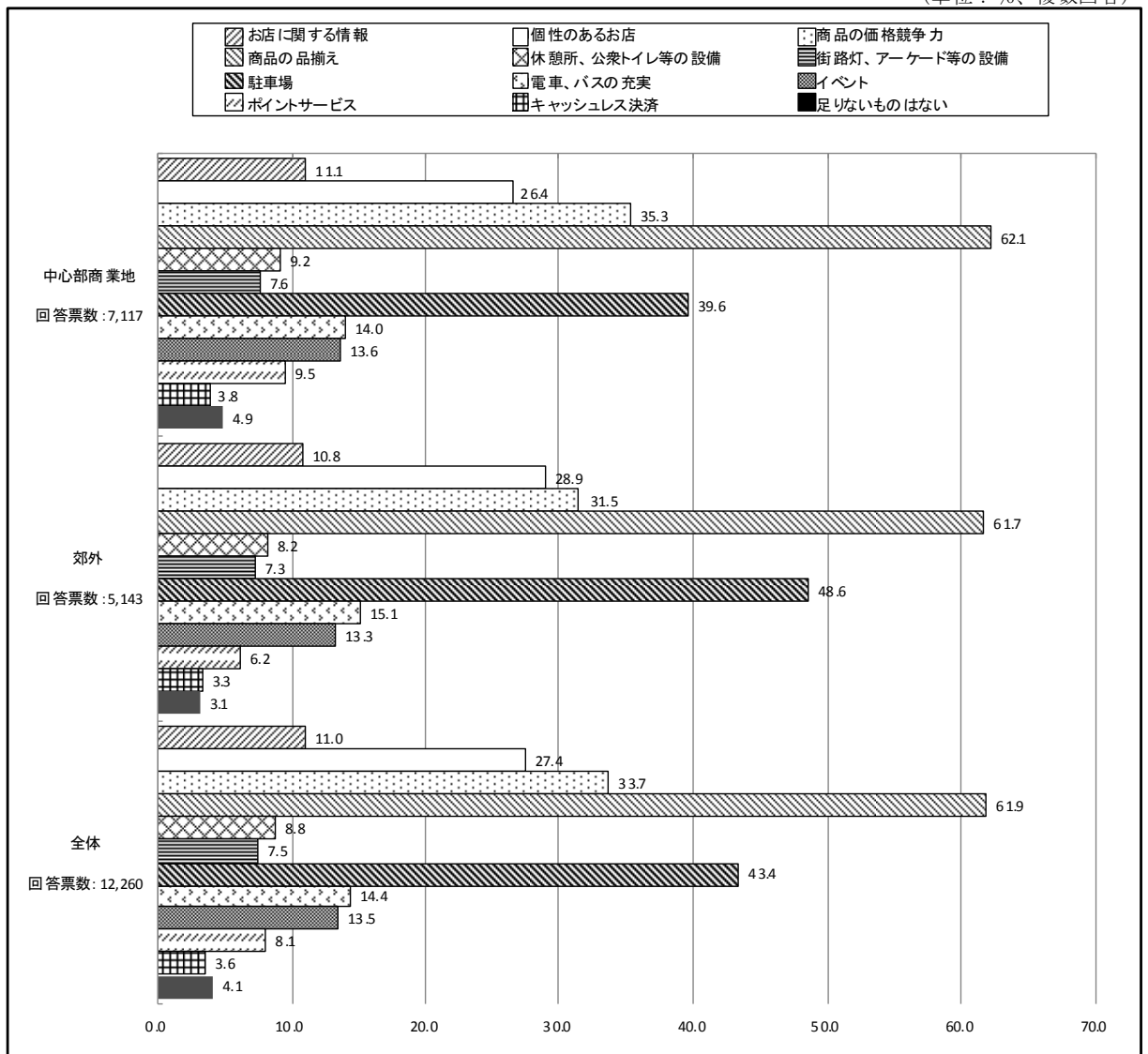
図表 10-5-10 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（食料品）

(単位：%、複数回答)



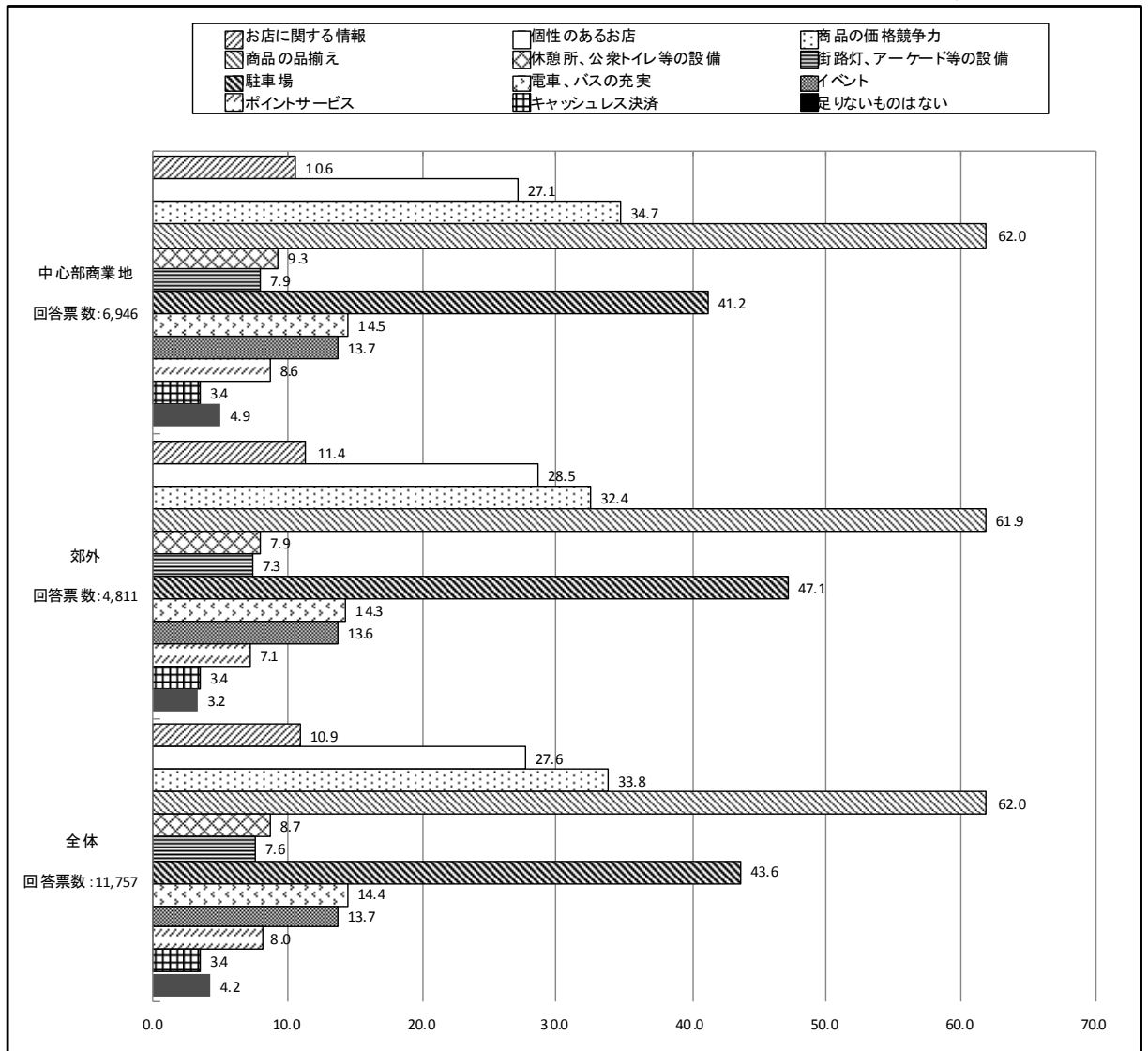
図表 10-5-11 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（家族づれの夕食）

(単位：％、複数回答)



図表 10-5-12 買物店舗の立地場所別中心部商業地の商店街に望むもの（時計・アクセサリ）

（単位：％、複数回答）



(5) 買物店舗形態別にみた中心部商業地の商店街に望むもの

利用している買物店舗の形態別に、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表10-6-1である。

利用している買物店舗形態のすべてで「商品の品揃え」を選択している割合が最も高く、次いで「駐車場」である。

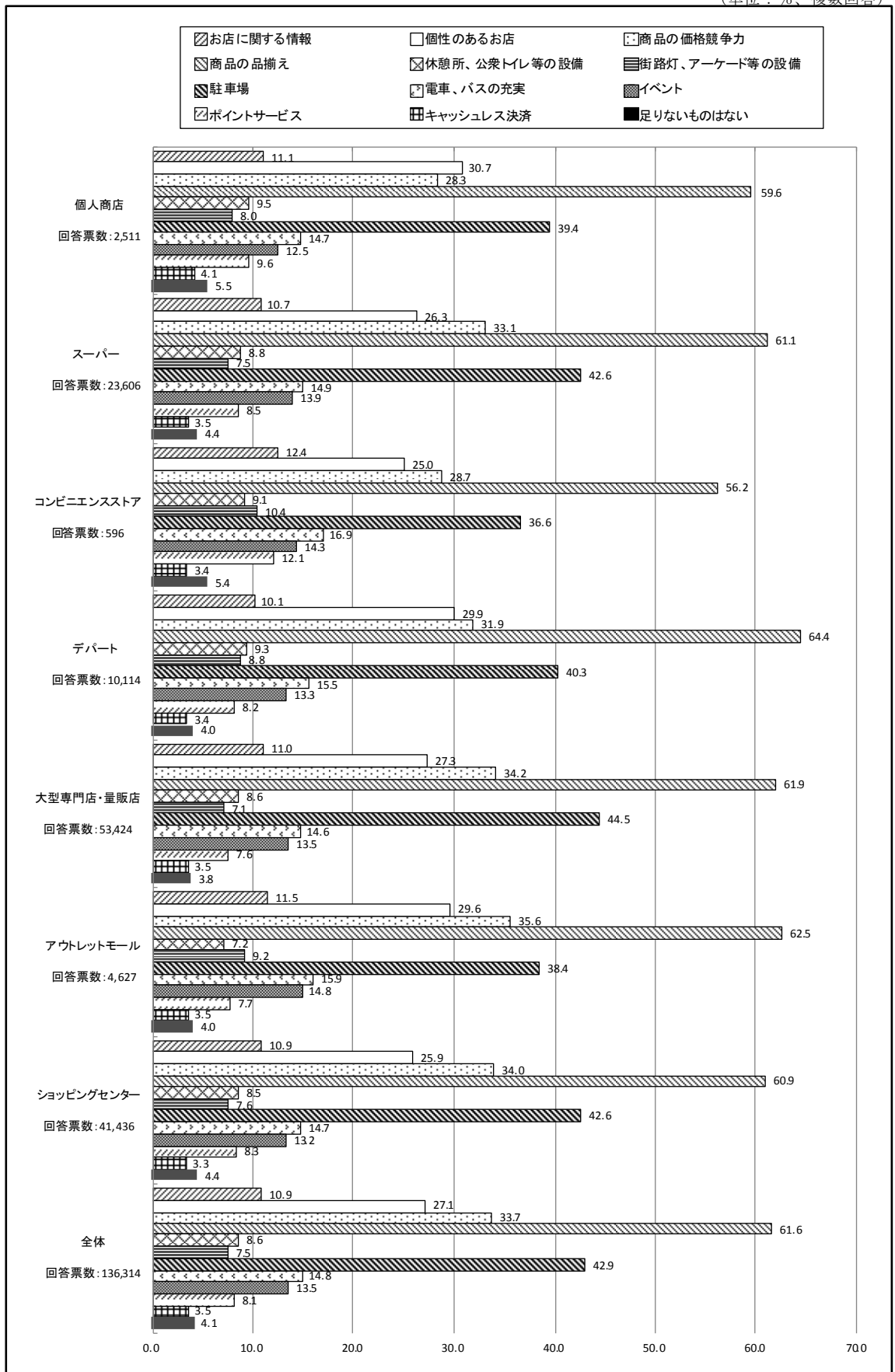
アウトレットモール利用者の「商品の品揃え」(62.5%)の割合は、買物店舗形態の中で最も高いが、コンビニエンスストアを除くすべての店舗形態で60%程度と高い。

買物店舗形態の中で、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」(44.5%)、「商品の価格競争力」の割合が最も高い店舗形態は「アウトレットモール」(35.6%)、「個性のあるお店」の割合が最も高い店舗形態は「個人商店」(30.7%)である。「キャッシュレス決済」及び「足りないものはない」の割合は、すべての店舗形態で極めて低いが、「個人商店」でわずかに高くなっている。

消費者が中心部商業地の商店街に望むものは、利用している買物店舗形態によって大きな違いはない。

図表 10-6-1 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの

(単位：％、複数回答)



*回答票数：品目別買物店舗形態回答者のうち、中心部商業地の商店街に望むものに回答した者の合計

以下、買物店舗の形態別に中心部商業地の商店街に望むものの集計を、買物品目別に示したものが、図表10-6-2から図表10-6-11である。

ア 背広・スーツ

背広・スーツの買物をしている店舗形態のすべてで「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、アウトレットモール利用者では「商品の価格競争力」が高いが、それ以外の店舗形態では「駐車場」が高い。

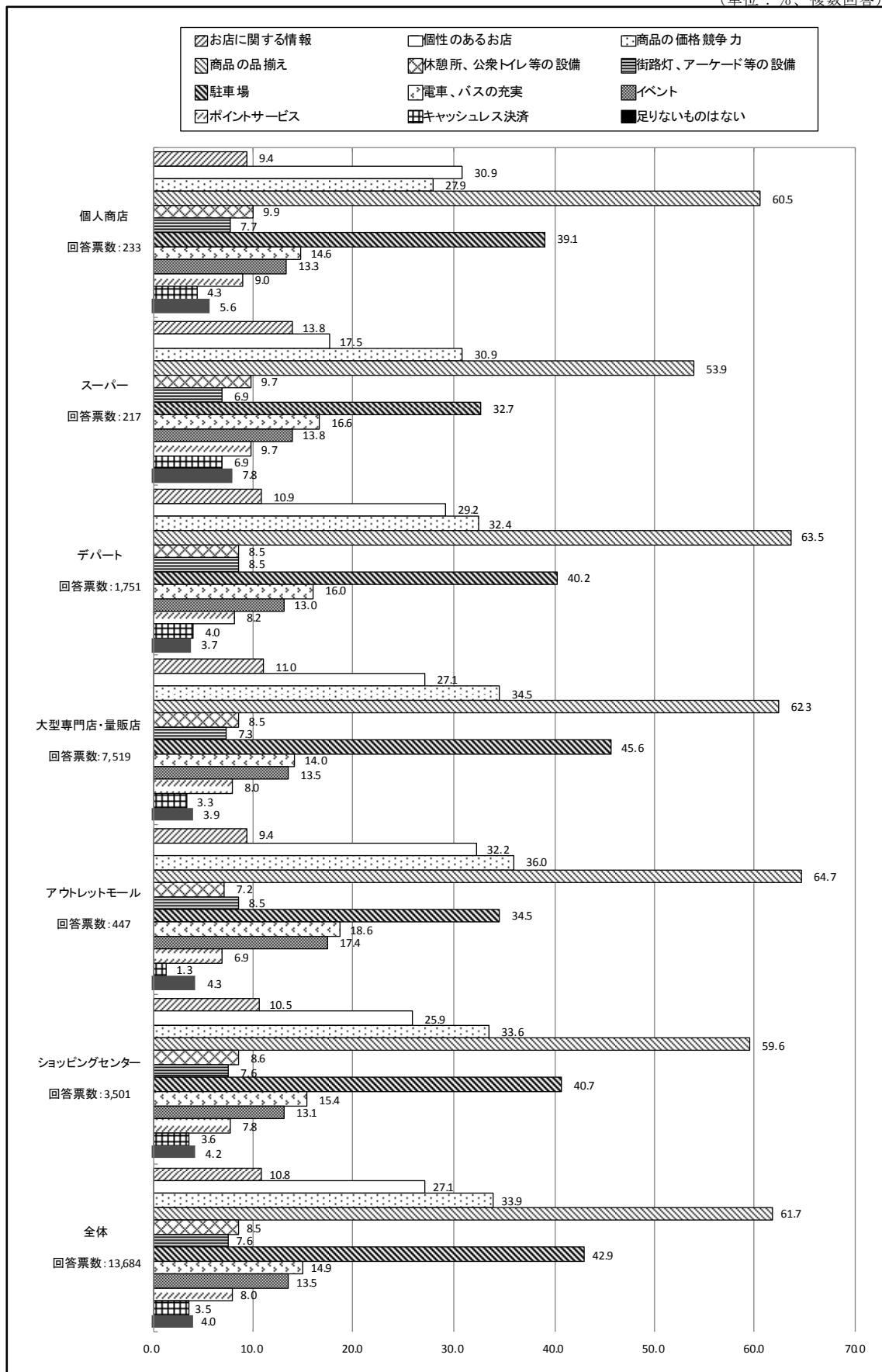
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「アウトレットモール」(64.7%)、次いで「デパート」(63.5%)、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」(45.6%)、次いで「ショッピングセンター」(40.7%)である。「商品の価格競争力」の割合は「アウトレットモール」(36.0%)と「大型専門店・量販店」(34.5%)、「個性のあるお店」は「アウトレットモール」(32.2%)と「個人商店」(30.9%)で高い。アウトレットモールでは、「個性のあるお店」、「商品の価格競争力」、「駐車場」の割合がほぼ同程度である。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」と「個人商店」の割合が、他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、背広・スーツのコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表 10-6-2 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（背広・スーツ）

（単位：％、複数回答）



*回答票数：買物店舗形態回答者のうち、中心部商業地の商店街に望むものに回答した者（以下、すべての品目で同じ）

イ セーター・ブラウス

セーター・ブラウスの買物をしている店舗形態のすべてで「商品の品揃え」を選択している割合が最も高く、次いで「駐車場」である。

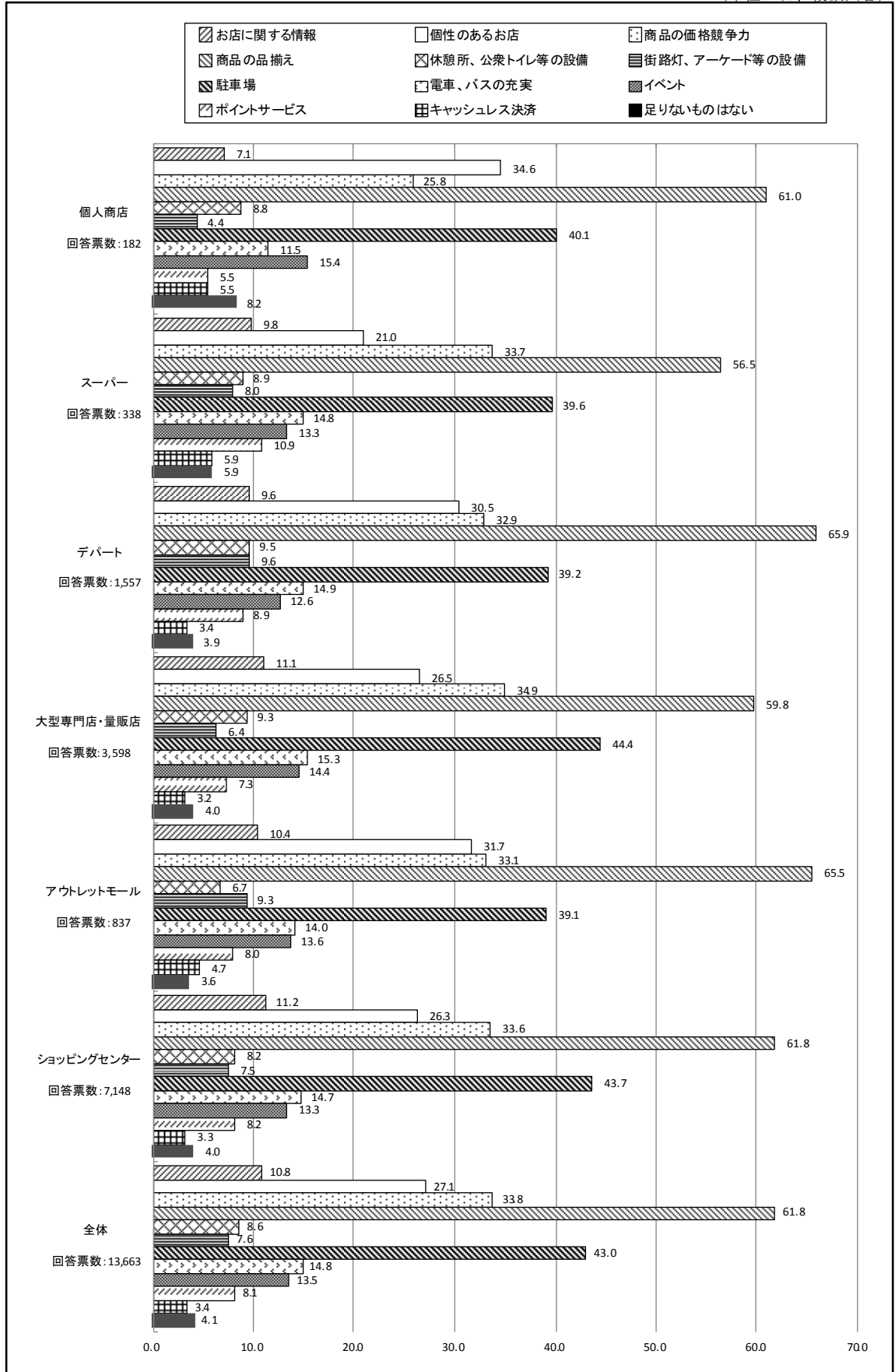
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「デパート」(65.9%)、次いで「アウトレットモール」(65.5%)、「ショッピングセンター」(61.8%)、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」(44.4%)、次いで「ショッピングセンター」(43.7%)である。「商品の価格競争力」の割合は「大型専門店・量販店」(34.9%)と「ショッピングセンター」(33.6%)、「個性のあるお店」は「個人商店」(34.6%)と「アウトレットモール」(31.7%)で高い。アウトレットモールでは、「個性のあるお店」、「商品の価格競争力」の割合がほぼ同程度である。

「足りないものはない」の割合は、「個人商店」と「スーパー」の割合が、他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、セーター・ブラウスのコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表 10-6-3 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（セーター・ブラウス）

(単位：%、複数回答)



ウ 下着

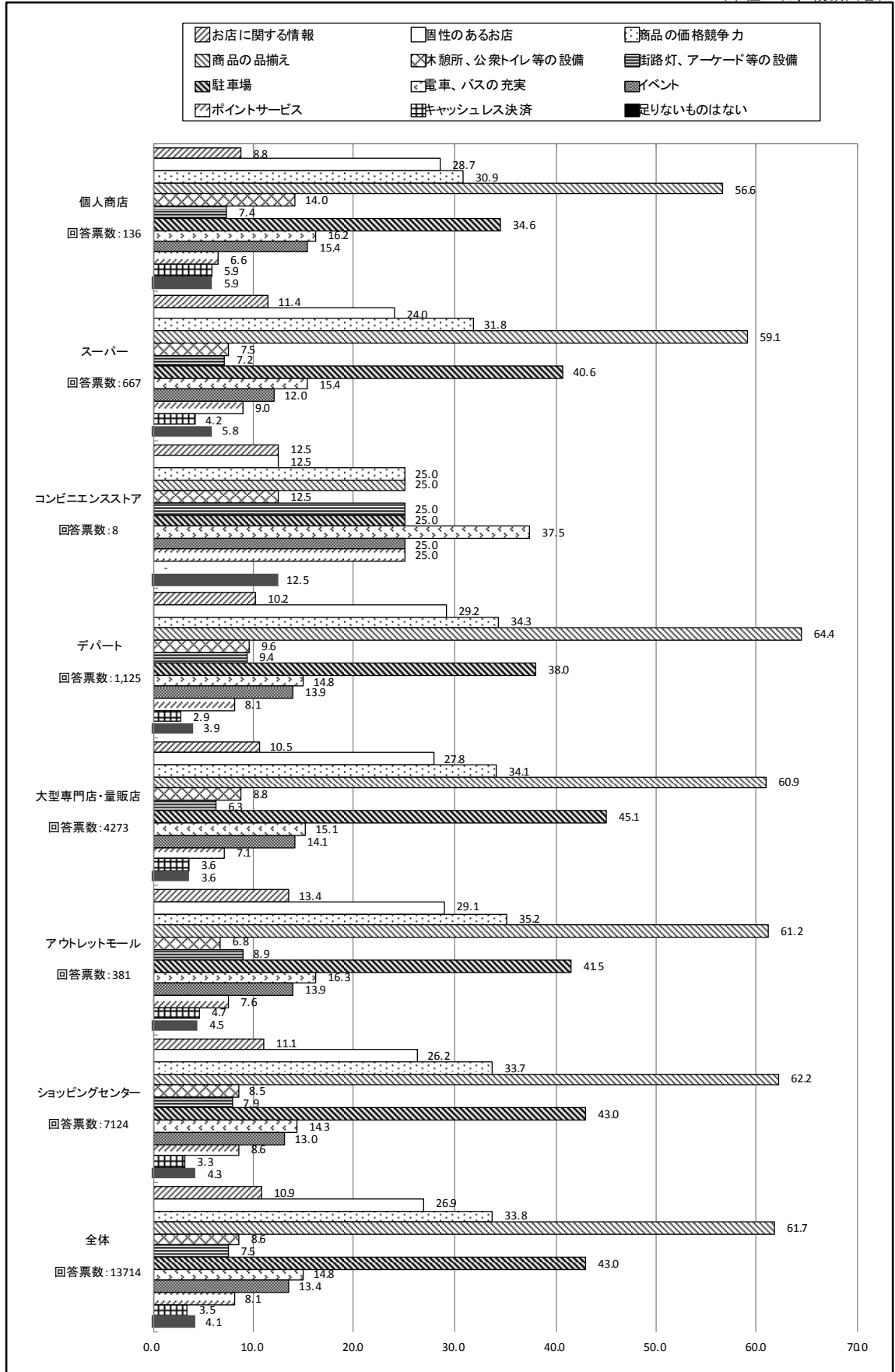
下着の買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、コンビニエンスストアの利用者では「電車、バスの充実」が高いが、それ以外の店舗形態では「駐車場」が高い。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「デパート」(64.4%)、次いで「ショッピングセンター」(62.2%)、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」(45.1%)、次いで「ショッピングセンター」(43.0%)である。「商品の価格競争力」の割合は「アウトレットモール」(35.2%)と「デパート」(34.3%)、「個性のあるお店」は「デパート」(29.2%)と「アウトレットモール」(29.1%)で高い。デパートでは、「商品の価格競争力」と「駐車場」の割合がほぼ同程度である。

「足りないものはない」の割合は、「コンビニエンスストア」を除くすべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

図表 10-6-4 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（下着）

（単位：％、複数回答）



エ 靴・バッグ

靴・バッグの買物をしている店舗形態のすべてで「商品の品揃え」を選択している割合が最も高く、次いで「駐車場」である。

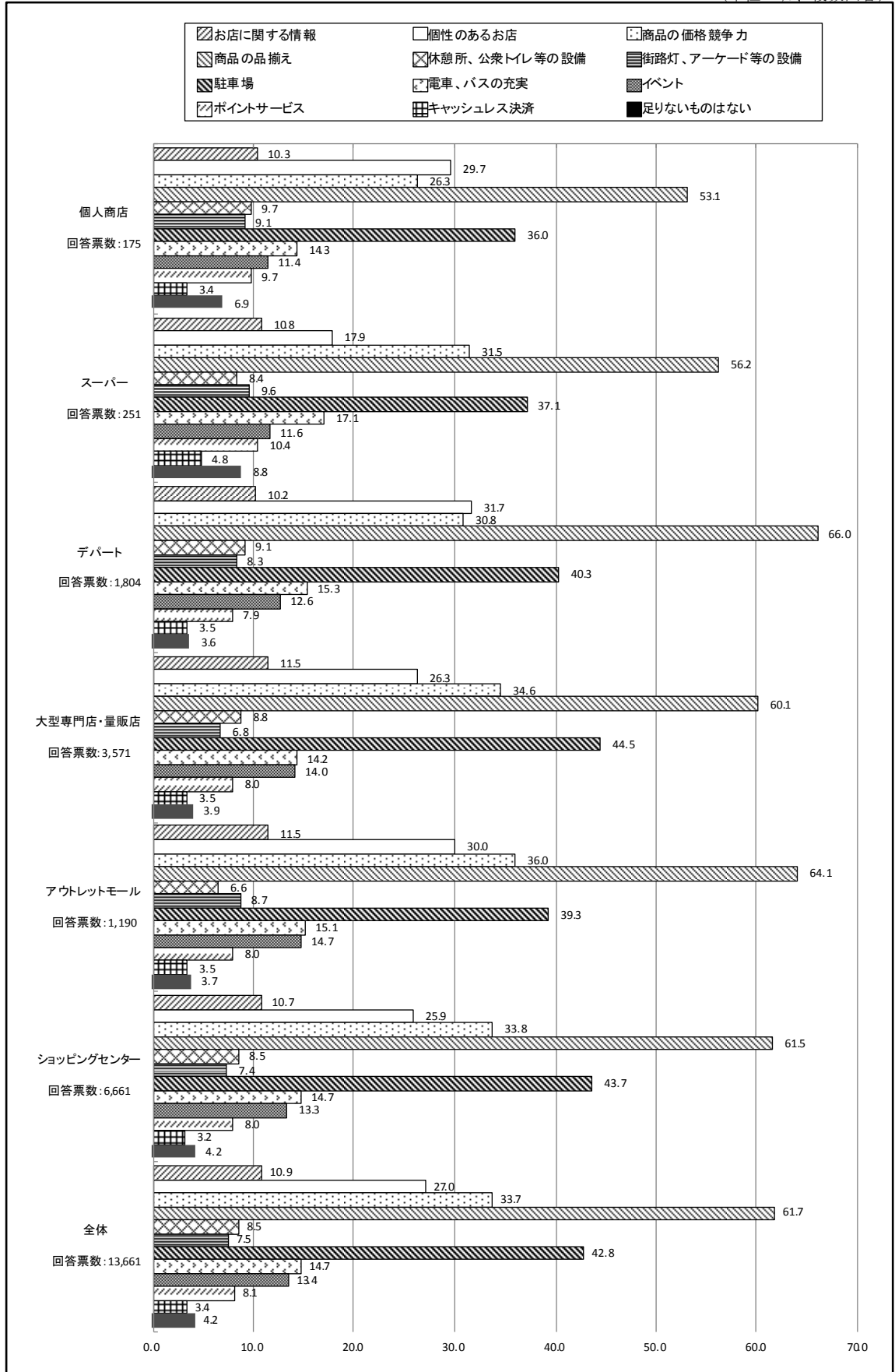
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「デパート」(66.0%)、次いで「アウトレットモール」(64.1%)、「ショッピングセンター」(61.5%)、「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」(44.5%)、次いで「ショッピングセンター」(43.7%)である。「商品の価格競争力」の割合は「アウトレットモール」(36.0%)と「大型専門店・量販店」(34.6%)、「個性のあるお店」は「アウトレットモール」(30.0%)と「個人商店」(29.7%)で高い。デパートでは、「個性のあるお店」と「商品の価格競争力」の割合がほぼ同程度である。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」と「個人商店」の割合が、他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、靴・バッグのコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表 10-6-5 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（靴・バッグ）

(単位：%、複数回答)



オ 本・CD

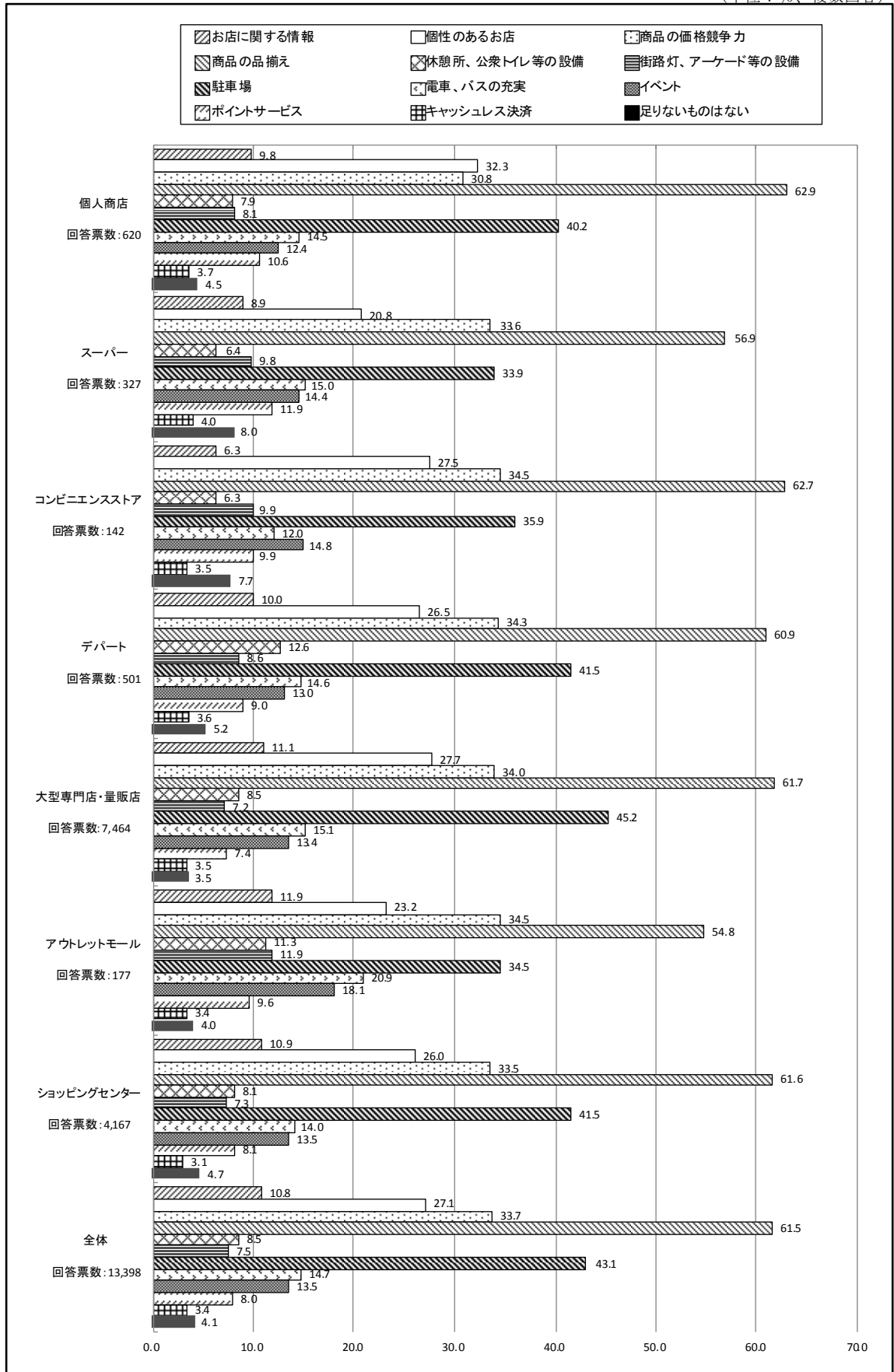
本・CDの買物をしている店舗形態のすべてで「商品の品揃え」を選択している割合が最も高く、次いで「駐車場」である。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「個人商店」(62.9%)、次いで「コンビニエンスストア」(62.7%)である。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」(45.2%)、次いで「デパート」と「ショッピングセンター」(ともに41.5%)である。「商品の価格競争力」の割合は「コンビニエンスストア」と「アウトレットモール」(ともに34.5%)、「個性のあるお店」は「個人商店」(32.3%)と「大型専門店・量販店」(27.7%)で高い。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」と「コンビニエンスストア」の割合が、他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

図表 10-6-6 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（本・CD）

（単位：％、複数回答）



カ 家電製品

家電製品の買物をしている店舗形態のすべてで「商品の品揃え」を選択している割合が最も高く、次いで、「駐車場」である。

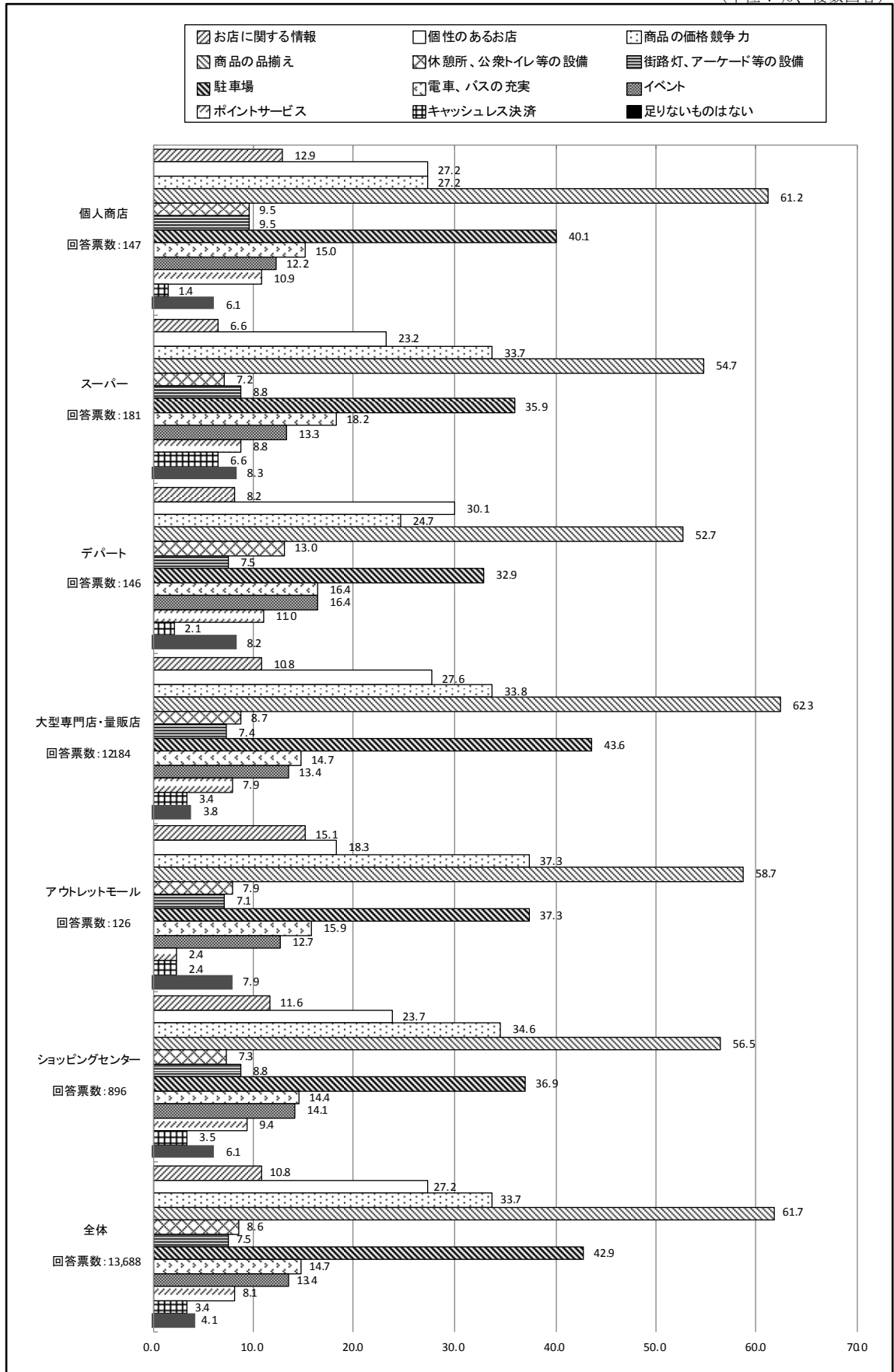
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」(62.3%)、次いで「個人商店」(61.2%)、「商品の価格競争力」の割合が最も高い店舗形態は「アウトレットモール」(37.3%)と「ショッピングセンター」(34.6%)である。「駐車場」の割合は「大型専門店・量販店」(43.6%)、次いで「個人商店」(40.1%)、「個性のあるお店」は「デパート」(30.1%)と「大型専門店・量販店」(27.6%)で高い。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」と「デパート」の割合が他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、家電製品のコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表 10-6-7 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（家電製品）

(単位：%、複数回答)



キ 日用品

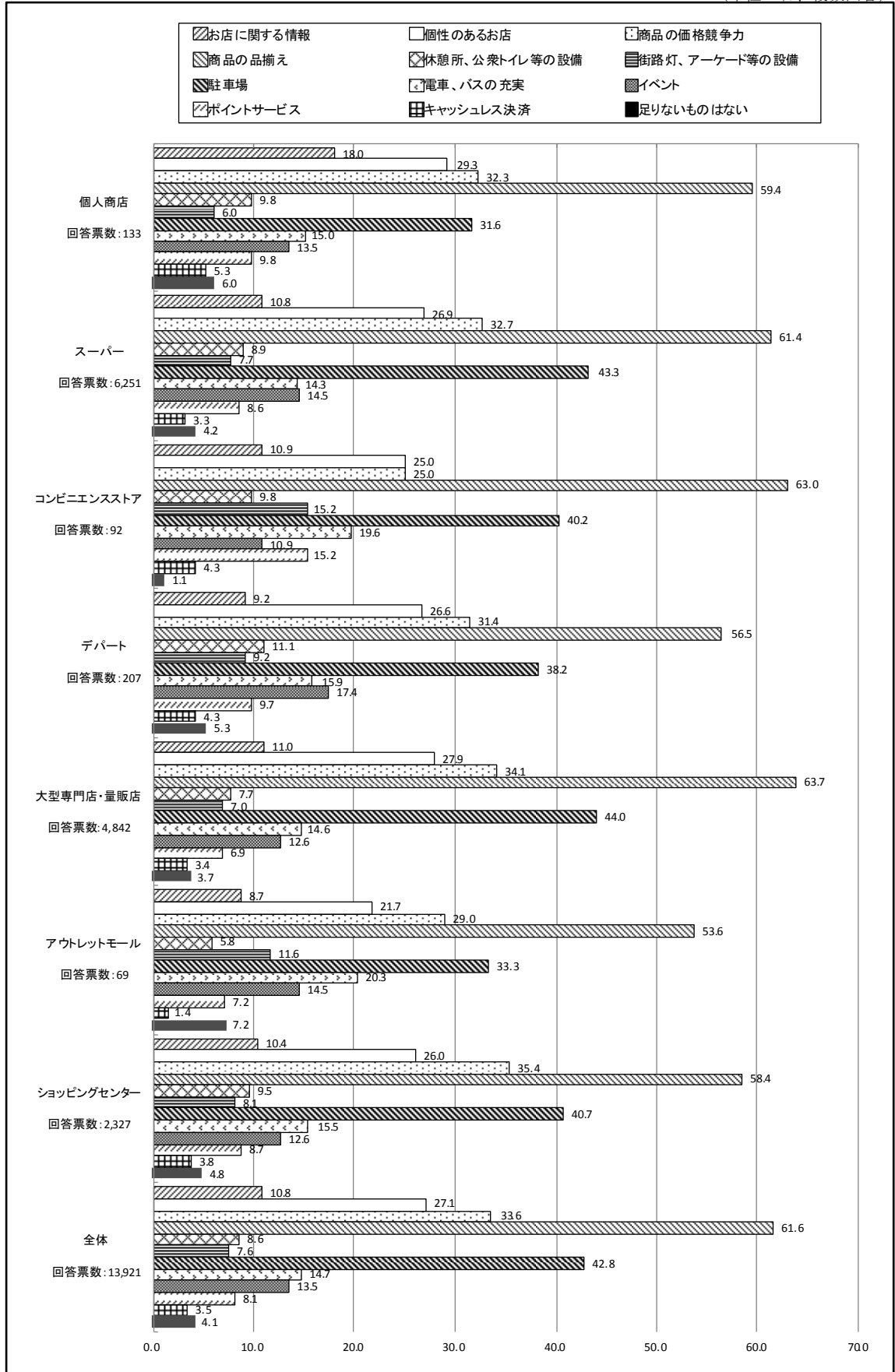
日用品の買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、個人商店の利用者では「商品の価格競争力」が高いが、それ以外の店舗形態では「駐車場」が高い。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」(63.7%)、次いで「コンビニエンスストア」(63.0%)であるが、すべての店舗形態が60%程度で高い。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」(44%)、次いで「スーパー」(43.3%)である。「商品の価格競争力」の割合は「ショッピングセンター」(35.4%)と「大型専門店・量販店」(34.1%)、「個性のあるお店」は「個人商店」(29.3%)と「大型専門店・量販店」(27.9%)で高い。

「足りないものはない」の割合は、「アウトレットモール」と「個人商店」の割合が他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

図表 10-6-8 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（日用品）

(単位：%、複数回答)



ク 医薬品・化粧品

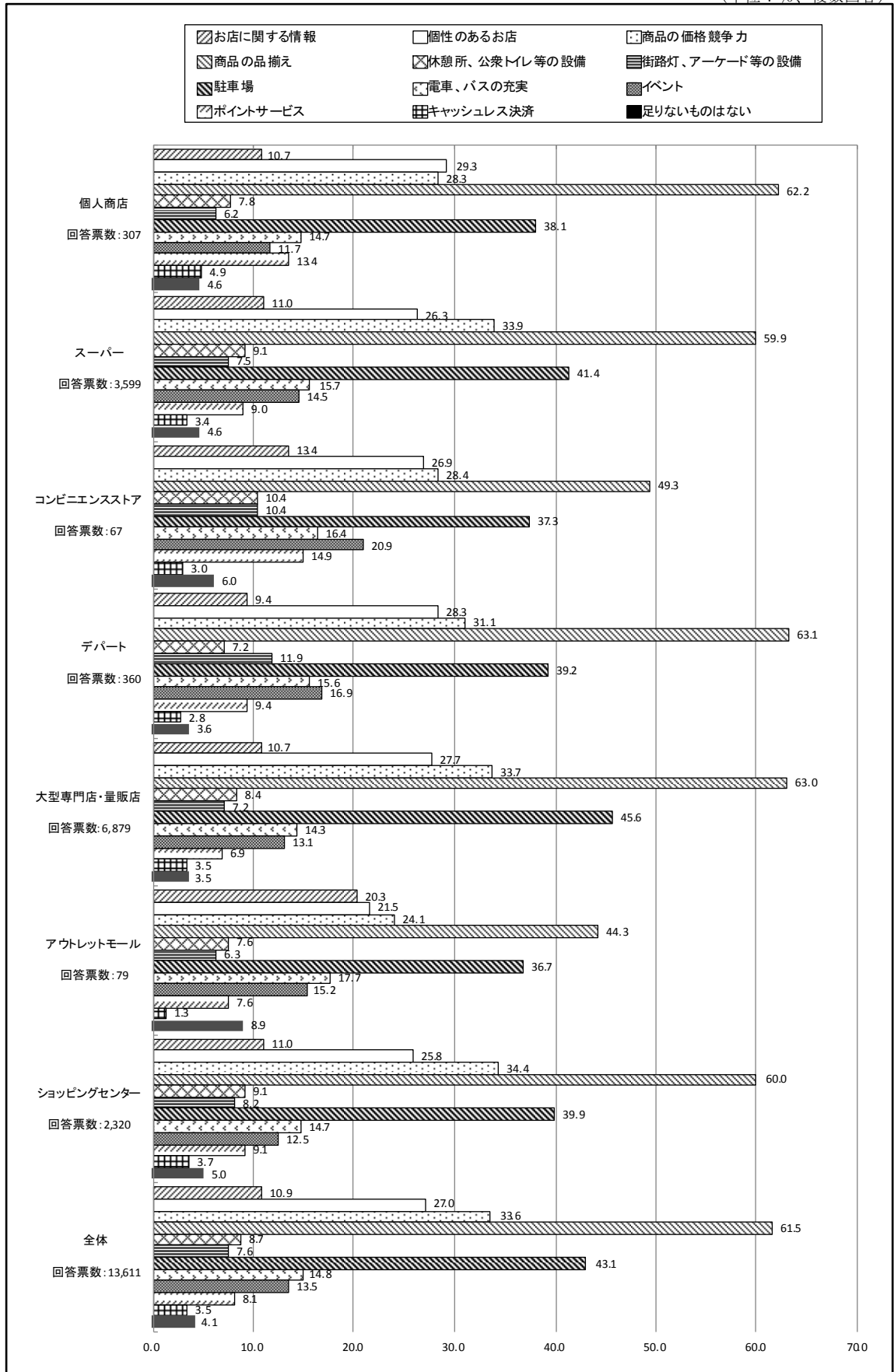
医薬品・化粧品の買物をしている店舗形態のすべてで「商品の品揃え」を選択している割合が最も高く、次いで「駐車場」である。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「デパート」（63.1%）であるが、コンビニエンスストア、アウトレットモールを除いた店舗形態で、60%程度と高い。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「大型専門店・量販店」（45.6%）である。「商品の価格競争力」の割合は「ショッピングセンター」（34.4%）が最も高い。「個性のあるお店」は「個人商店」（29.3%）と「デパート」（28.3%）で高い。

「足りないものはない」の割合は、「アウトレットモール」と「コンビニエンスストア」の割合が他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

図表 10-6-9 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（医薬品・化粧品）

(単位：％、複数回答)



ケ 食料品

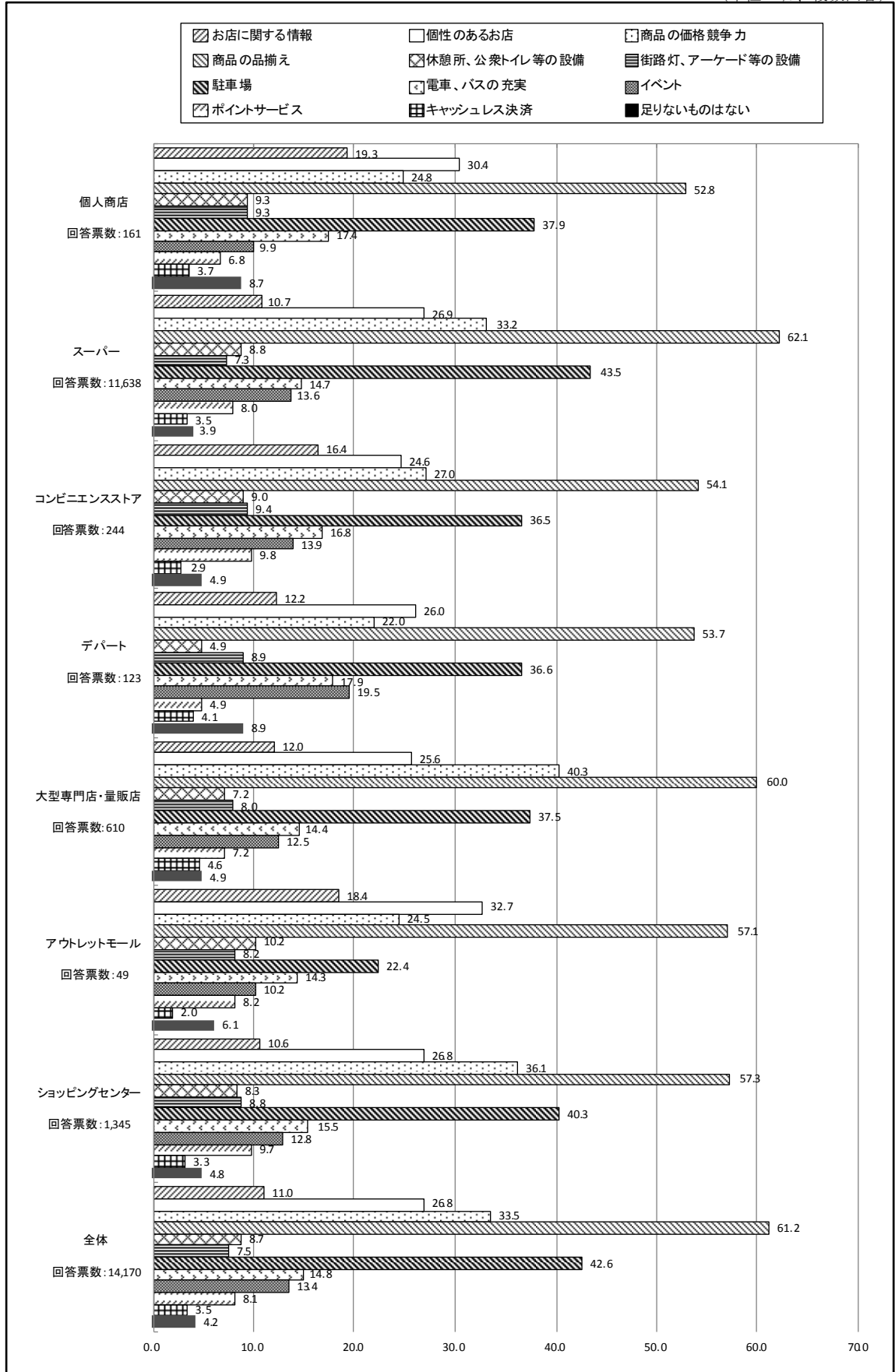
食料品の買物をしている店舗形態のすべてで、「商品の品揃え」を選択している割合が最も高い。次いで、個人商店、スーパー、コンビニエンスストア、デパート、ショッピングセンターの利用者では「駐車場」が高いが、アウトレットモールの利用者では「個性のあるお店」が高く、大型専門店・量販店利用者では「商品の価格競争力」と「駐車場」がほぼ同率である。

「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「スーパー」(62.1%)であり、次いで、「大型専門店・量販店」(60.0%)、「ショッピングセンター」(57.3%)である。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「スーパー」(43.5%)、次いで「ショッピングセンター」(40.3%)である。「商品の価格競争力」は、「大型専門店・量販店」(40.3%)、「ショッピングセンター」(36.1%)で高い。「個性のあるお店」は「アウトレットモール」(32.7%)、「個人商店」(30.4%)で高い。デパートでは「イベント」(19.5%)の割合が、他の店舗形態と比較して高い。

「足りないものはない」の割合は、「デパート」と「個人商店」の割合が他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。

図表10-6-10 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（食料品）

(単位：%、複数回答)



コ 時計・アクセサリ

時計・アクセサリの買物をしている店舗形態のすべてで「商品の品揃え」を選択している割合が最も高く、次いで「駐車場」である。

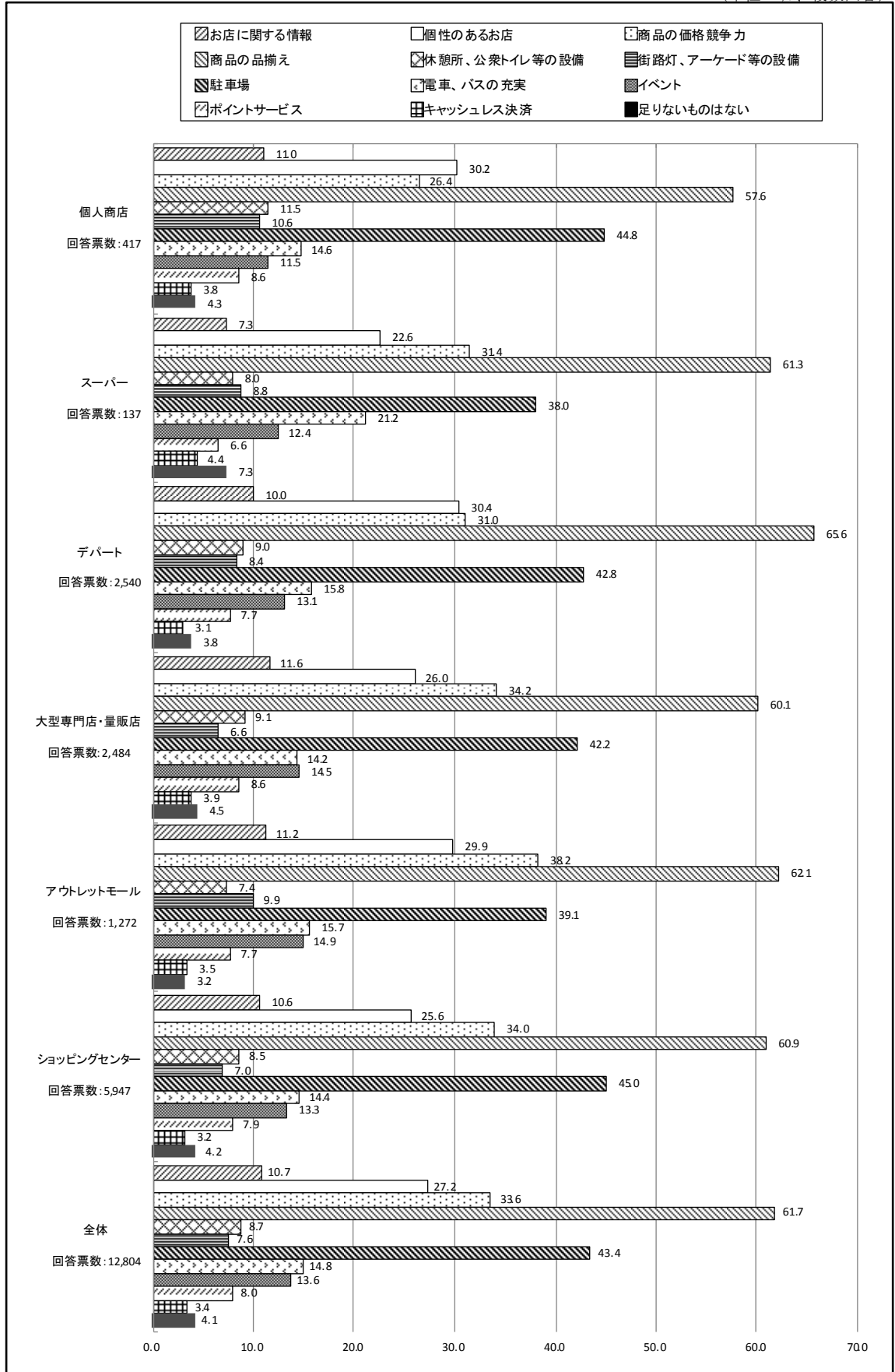
「商品の品揃え」の割合が最も高い店舗形態は「デパート」(65.6%)、次いで「アウトレットモール」(62.1%)、「スーパー」(61.3%)であるが、すべての店舗形態が60%程度で高い。「駐車場」の割合が最も高い店舗形態は「ショッピングセンター」(45.0%)、「個人商店」(44.8%)である。「商品の価格競争力」の割合は「アウトレットモール」(38.2%)と「大型専門店・量販店」(34.2%)、「個性のあるお店」は「デパート」(30.4%)、「個人商店」(30.2%)、「アウトレットモール」(29.9%)で高い。

「足りないものはない」の割合は、「スーパー」の割合が他の店舗形態と比較するとわずかに高いものの、すべての店舗形態で極めて低い。他の項目では、買物店舗の形態による傾向の違いはみられない。

なお、時計・アクセサリのコンビニエンスストアにおける購買率は極めて低いと想定されることから、コンビニエンスストアについての分析は行わない。

図表 10-6-11 買物店舗形態別中心部商業地の商店街に望むもの（時計・アクセサリー）

（単位：％、複数回答）



(6) 居住地の買物環境に不満と回答した者が中心部商業地の商店街に望むもの

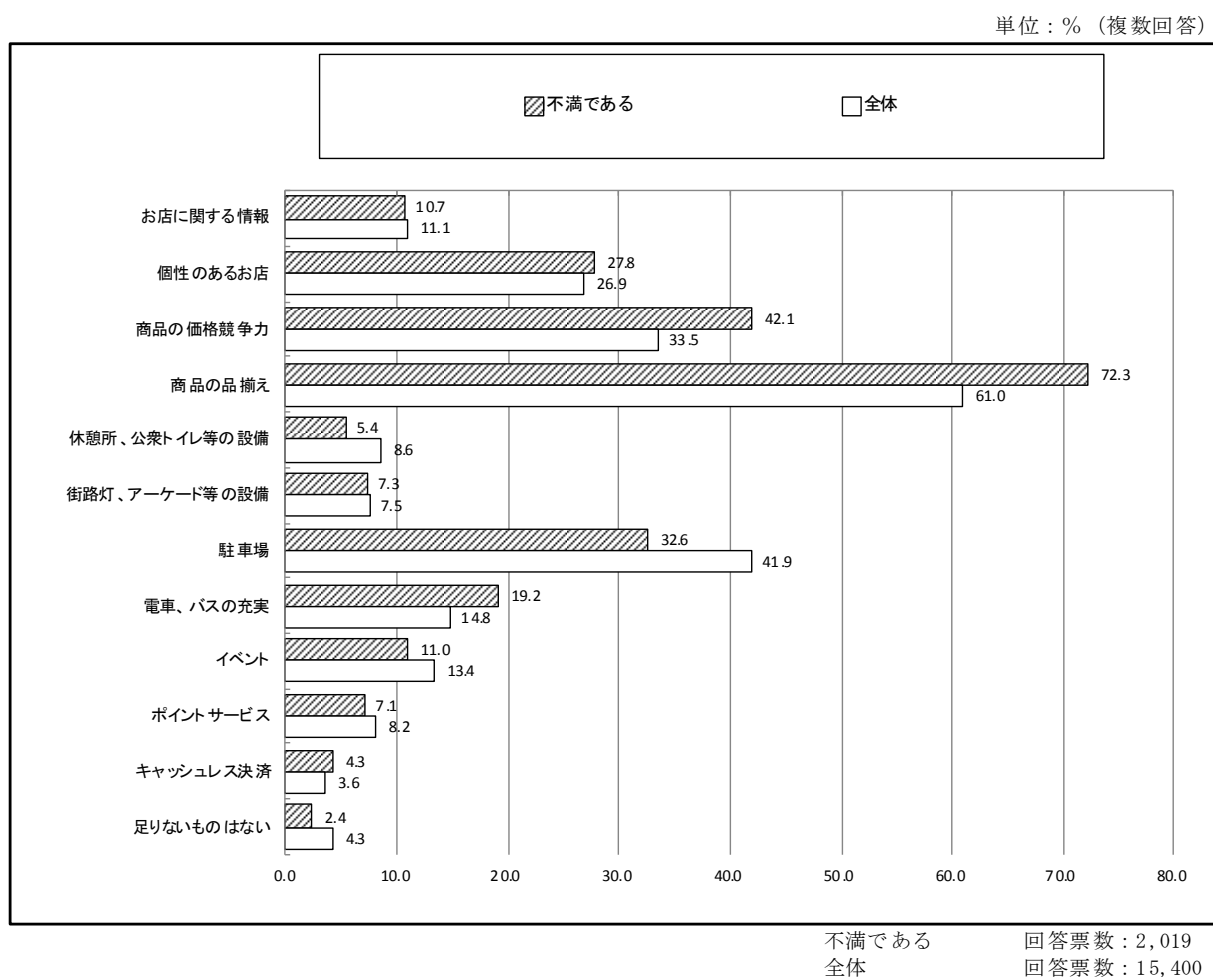
消費者のより強いニーズを把握するため、居住地の買物環境に「不満である」と回答した消費者が、中心部商業地の商店街に望むものの集計結果を示したものが、図表10-7である。

「商品の品揃え」(72.3%)の割合が最も高く、中心部商業地の商店街に望むものの回答者全体の割合(61.0%)と比較して11.3ポイント高い。次いで、「商品の価格競争力」(42.1%)、「駐車場」(32.6%)、「個性のあるお店」(27.8%)と続いている。

回答者全体と比較すると、「商品の品揃え」、「商品の価格競争力」、「個性のあるお店」で、居住地の買物環境に「不満である」と回答した消費者の割合が上回っている。

不満である：居住地の買物環境に対する満足度で「不満である」を選択した回答者
 全体：中心部商業地の商店街に望むものの全回答者

図表10-7 居住地の買物環境に不満と回答した者が中心部商業地の商店街に望むもの



1 1 震災後の買物で意識していること

ここでは、消費者が、震災後どのような視点で買物をしているのかを分析した。

なお、本設問は複数回答であるため、文中に表記されている構成比は有効回答者に占める回答数の割合である。

(1) 市部・町村部別にみた震災後の買物で意識していること

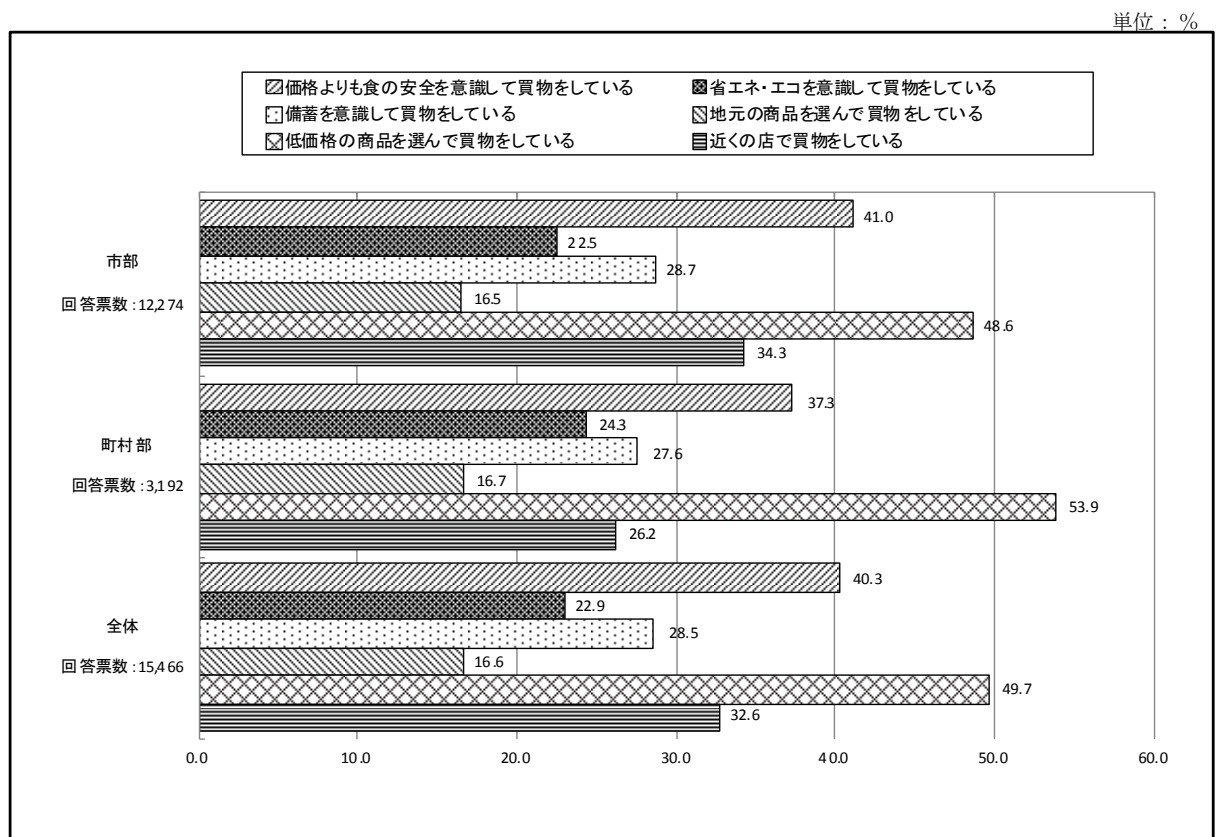
市部・町村部別にみた震災後の買物で意識していることの集計結果を示したものが、図表 1 1 - 1 である。

全体では「低価格の商品を選んで買物をしている」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」が 40.3%と高い。以下は「近くの店で買物をしている」、「備蓄を意識して買物をしている」、「省エネ・エコを意識して買物をしている」、「地元の商品を選んで買物をしている」の順となっている。

前回（平成 28 年度）調査と比較して、大きな変化はみられない。

市部・町村部ともに「低価格の商品を選んで買物をしている」の割合が最も高く、次いで「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」である。

図表 1 1 - 1 市部・町村部別 震災後の買物で意識していること



*回答票数：震災後の買物で意識していること回答者の居住地（市部・町村部）別合計

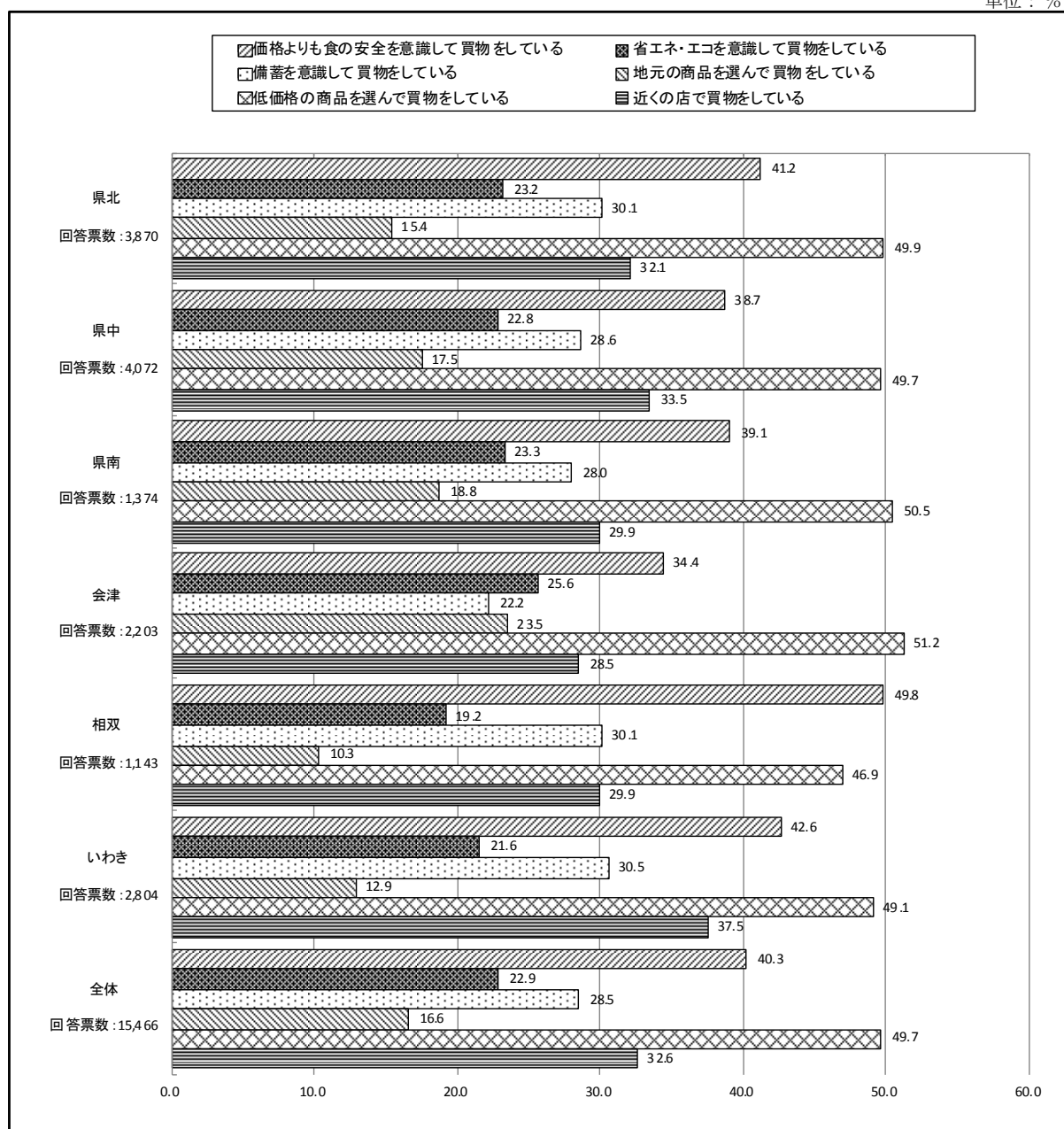
(2) ブロック別にみた震災後の買物で意識していること

ブロック別にみた震災後の買物で意識していることの集計結果を示したものが、図表 1 1 - 2 である。

前回調査では、相双ブロック、いわきブロック以外で「低価格の商品を選んで買物をしている」の割合が最も高かったが、今回は、相双ブロック以外で「低価格の商品を選んで買物をしている」の割合が最も高く、次いで「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」の割合が高い。相双ブロックでは「価格よりも食の安全を意識して買物をしている」が 49.8% と最も高く、依然として原子力災害の影響による食の安全に対する意識が高いことが考えられる。

図表 1 1 - 2 ブロック別 震災後の買物で意識していること

単位：%



*回答票数：震災後の買物で意識していること回答者の居住地（ブロック）別合計

また、ブロック別に各市町村の震災後の買物で意識していることの集計結果を図表11-3-1から図表11-3-6に示している。ただし、標本数の少ない町村・地区では、他の市町村・地区に比べて構成比の変動が大きいことに留意して参照いただきたい。

図表11-3-1 市町村・地区別 震災後の買物で意識していること（県北ブロック）

上段は実数、下段は%

	てしの価 て安格 い買全よ るし識食	物を省 を意エ し識ネ てし・ いてエ る買コ	いて備 買蓄 物を意 をし識 るてし	し選地 ん元の てでの い買商 る物を	をを低 し選価 してん てい格 る買の る物品	物近 をく のし の店 いで る買	全 体
福島市	793 41.0	423 21.9	603 31.2	340 17.6	902 46.7	685 35.4	1,933 100.0
旧飯野町	13 29.5	9 20.5	13 29.5	7 15.9	29 65.9	11 25.0	44 100.0
二本松市	123 41.6	69 23.3	80 27.0	56 18.9	144 48.6	93 31.4	296 100.0
旧安達町	53 42.7	29 23.4	40 32.3	22 17.7	67 54.0	46 37.1	124 100.0
旧岩代町	30 44.8	21 31.3	24 35.8	11 16.4	44 65.7	11 16.4	67 100.0
旧東和町	30 54.5	13 23.6	14 25.5	10 18.2	26 47.3	5 9.1	55 100.0
旧伊達町	54 40.9	25 18.9	34 25.8	18 13.6	66 50.0	42 31.8	132 100.0
旧梁川町	67 45.3	41 27.7	46 31.1	12 8.1	79 53.4	37 25.0	148 100.0
旧保原町	93 44.7	57 27.4	62 29.8	18 8.7	107 51.4	66 31.7	208 100.0
旧霊山町	31 48.4	23 35.9	11 17.2	6 9.4	35 54.7	19 29.7	64 100.0
旧月舘町	18 43.9	11 26.8	12 29.3	4 9.8	23 56.1	14 34.1	41 100.0
旧本宮町	80 35.7	40 17.9	62 27.7	30 13.4	122 54.5	71 31.7	224 100.0
旧白沢村	34 40.5	23 27.4	22 26.2	11 13.1	50 59.5	17 20.2	84 100.0
桑折町	51 39.8	33 25.8	44 34.4	10 7.8	71 55.5	36 28.1	128 100.0
国見町	46 45.1	31 30.4	32 31.4	15 14.7	60 58.8	16 15.7	102 100.0
川俣町	49 38.9	31 24.6	37 29.4	13 10.3	58 46.0	36 28.6	126 100.0
大玉村	28 29.8	19 20.2	29 30.9	13 13.8	48 51.1	37 39.4	94 100.0
全体	1,593 41.2	898 23.2	1,165 30.1	596 15.4	1,931 49.9	1,242 32.1	3,870 100.0

図表 1 1 - 3 - 2 市町村・地区別 震災後の買物で意識していること（県中ブロック）

上段は実数、下段は%

	てしの価 て安格 い買全よ 物をりも るし識食	物を省 を意エ し識ネ てし・ いてエ る買コ	いて備 買蓄 物を意 をし識 るてし	し選地 んでの い買商 る物を をを	をを低 し選価 してん格 いるでの る買商 る物品	物近 をくの ししの て店 いで る買	全 体
郡 山 市	820 39.4	460 22.1	603 29.0	372 17.9	948 45.6	773 37.2	2,080 100.0
須 賀 川 市	269 40.1	171 25.5	195 29.1	131 19.5	322 48.0	228 34.0	671 100.0
旧 長 沼 町	16 32.7	10 20.4	15 30.6	8 16.3	20 40.8	17 34.7	49 100.0
旧 岩 瀬 村	14 35.0	8 20.0	14 35.0	5 12.5	25 62.5	6 15.0	40 100.0
旧 滝 根 町	8 26.7	8 26.7	12 40.0	3 10.0	17 56.7	5 16.7	30 100.0
旧 大 越 町	24 49.0	10 20.4	15 30.6	4 8.2	27 55.1	9 18.4	49 100.0
旧 都 路 村	10 43.5	4 17.4	6 26.1	3 13.0	17 73.9	5 21.7	23 100.0
旧 常 葉 町	22 34.9	14 22.2	16 25.4	10 15.9	38 60.3	15 23.8	63 100.0
旧 船 引 町	61 33.2	43 23.4	42 22.8	40 21.7	98 53.3	62 33.7	184 100.0
鏡 石 町	44 37.0	31 26.1	33 27.7	23 19.3	69 58.0	45 37.8	119 100.0
天 栄 村	21 43.8	10 20.8	17 35.4	5 10.4	29 60.4	8 16.7	48 100.0
石 川 町	48 32.0	40 26.7	39 26.0	28 18.7	87 58.0	41 27.3	150 100.0
玉 川 村	22 31.9	15 21.7	29 42.0	8 11.6	38 55.1	16 23.2	69 100.0
平 田 村	28 35.9	12 15.4	14 17.9	12 15.4	53 67.9	27 34.6	78 100.0
浅 川 町	31 39.2	11 13.9	24 30.4	13 16.5	45 57.0	19 24.1	79 100.0
古 殿 町	22 37.9	17 29.3	21 36.2	7 12.1	32 55.2	16 27.6	58 100.0
三 春 町	75 42.4	36 20.3	36 20.3	26 14.7	95 53.7	45 25.4	177 100.0
小 野 町	40 38.1	28 26.7	33 31.4	14 13.3	63 60.0	29 27.6	105 100.0
全 体	1,575 38.7	928 22.8	1,164 28.6	712 17.5	2,023 49.7	1,366 33.5	4,072 100.0

図表 1 1 - 3 - 3 市町村・地区別 震災後の買物で意識していること（県南ブロック）

上段は実数、下段は%

	てしの価 て安格 い買全よ 物をりを を意も るし識食	物を省 を意エ し識ネ てし・ いてエ る買コ	いて備 買蓄 物を意 をし識 るてし	し選地 んでの い買商 る物を をを	をを低 し選価 してん い格 る買の る物商 品	物近 をくの ししの て店 いで る買	全 体
白 河 市	198 42.3	102 21.8	118 25.2	93 19.9	213 45.5	171 36.5	468 100.0
旧 表 郷 村	18 29.5	17 27.9	18 29.5	15 24.6	39 63.9	12 19.7	61 100.0
旧 東 村	23 34.8	17 25.8	20 30.3	12 18.2	36 54.5	18 27.3	66 100.0
旧 大 信 村	13 34.2	5 13.2	15 39.5	2 5.3	23 60.5	9 23.7	38 100.0
西 郷 村	60 37.5	44 27.5	45 28.1	35 21.9	84 52.5	47 29.4	160 100.0
泉 崎 村	26 36.1	16 22.2	24 33.3	10 13.9	32 44.4	25 34.7	72 100.0
中 島 村	19 36.5	11 21.2	21 40.4	9 17.3	28 53.8	9 17.3	52 100.0
矢 吹 町	58 42.6	32 23.5	37 27.2	23 16.9	67 49.3	44 32.4	136 100.0
棚 倉 町	52 34.9	46 30.9	34 22.8	25 16.8	84 56.4	45 30.2	149 100.0
矢 祭 町	27 44.3	12 19.7	20 32.8	13 21.3	32 52.5	7 11.5	61 100.0
埴 町	33 46.5	10 14.1	17 23.9	14 19.7	36 50.7	18 25.4	71 100.0
鮫 川 村	10 25.0	8 20.0	16 40.0	7 17.5	20 50.0	6 15.0	40 100.0
全 体	537 39.1	320 23.3	385 28.0	258 18.8	694 50.5	411 29.9	1,374 100.0

図表 1 1 - 3 - 4 市町村・地区別 震災後の買物で意識していること（会津ブロック）

上段は実数、下段は%

	てしの価 て安格 い買全よ るし物を るし識食	物を省 を意工 し識ネ いてし・ る買エ る買コ	いて備 買蓄 物を意 をし識 るてし	し選地 ん元 での商 い買物 るをを	をを低 を選価 して格 いるで る買物 品	物近 をく の店 いで る買	全 体
会津若松市	273 36.4	180 24.0	159 21.2	204 27.2	348 46.5	258 34.4	749 100.0
旧北会津村	13 28.3	13 28.3	11 23.9	12 26.1	20 43.5	12 26.1	46 100.0
旧河東町	29 33.7	22 25.6	21 24.4	23 26.7	46 53.5	22 25.6	86 100.0
喜多方市	90 34.2	64 24.3	46 17.5	67 25.5	147 55.9	90 34.2	263 100.0
旧塩川町	20 40.8	15 30.6	14 28.6	10 20.4	22 44.9	13 26.5	49 100.0
旧山都町	10 29.4	14 41.2	11 32.4	13 38.2	20 58.8	3 8.8	34 100.0
旧高郷村	8 36.4	5 22.7	3 13.6	8 36.4	10 45.5	7 31.8	22 100.0
旧熱塩加納村	12 44.4	10 37.0	4 14.8	4 14.8	17 63.0	1 3.7	27 100.0
北塩原村	12 40.0	1 3.3	11 36.7	4 13.3	16 53.3	10 33.3	30 100.0
西会津町	12 33.3	15 41.7	6 16.7	3 8.3	21 58.3	4 11.1	36 100.0
磐梯町	13 40.6	12 37.5	7 21.9	5 15.6	18 56.3	3 9.4	32 100.0
猪苗代町	36 32.4	19 17.1	28 25.2	16 14.4	54 48.6	29 26.1	111 100.0
会津坂下町	45 28.7	42 26.8	37 23.6	30 19.1	89 56.7	56 35.7	157 100.0
湯川村	22 47.8	9 19.6	9 19.6	10 21.7	25 54.3	13 28.3	46 100.0
柳津町	10 29.4	13 38.2	7 20.6	5 14.7	19 55.9	7 20.6	34 100.0
三島町	5 50.0	3 30.0	2 20.0	4 40.0	4 40.0	1 10.0	10 100.0
金山町	4 28.6	4 28.6	5 35.7	7 50.0	8 57.1	1 7.1	14 100.0
昭和村	2 25.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	8 100.0
旧会津高田町	24 28.6	21 25.0	18 21.4	18 21.4	46 54.8	30 35.7	84 100.0
旧会津本郷町	13 27.7	17 36.2	10 21.3	9 19.1	28 59.6	6 12.8	47 100.0
旧新鶴村	20 39.2	14 27.5	9 17.6	13 25.5	27 52.9	14 27.5	51 100.0
旧田島町	38 31.7	30 25.0	18 15.0	20 16.7	73 60.8	25 20.8	120 100.0
旧館岩村	0 0.0	3 42.9	5 71.4	2 28.6	5 71.4	0 0.0	7 100.0
旧伊南村	7 46.7	3 20.0	5 33.3	4 26.7	6 40.0	5 33.3	15 100.0
旧南郷村	7 28.0	5 20.0	6 24.0	4 16.0	8 32.0	7 28.0	25 100.0
下郷町	15 42.9	10 28.6	13 37.1	6 17.1	15 42.9	5 14.3	35 100.0
檜枝岐村	3 50.0	2 33.3	3 50.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	6 100.0
只見町	15 25.4	18 30.5	18 30.5	14 23.7	31 52.5	5 8.5	59 100.0
全体	758 34.4	565 25.6	489 22.2	518 23.5	1,127 51.2	628 28.5	2,203 100.0

図表 1 1-3-5 市町村・地区別 震災後の買物で意識していること（相双ブロック）

上段は実数、下段は%

	てしの価 て安格 い買全よ るし物を 意識し るし識食	物を省 を意エ し識ネ して・ いてエ る買コ	いて備 買蓄 物を意 をし識 るてし	し選地 んでの い買商 る物を をを	をを低 し選価 してん てい格 る買の る物商 品品	物近 をくの をし の店 てい で る買	全 体
相馬市	187 46.4	77 19.1	105 26.1	38 9.4	193 47.9	128 31.8	403 100.0
旧原町市	207 54.3	71 18.6	124 32.5	29 7.6	167 43.8	121 31.8	381 100.0
旧鹿島町	70 47.6	30 20.4	48 32.7	14 9.5	70 47.6	48 32.7	147 100.0
旧小高町	8 38.1	2 9.5	8 38.1	4 19.0	13 61.9	3 14.3	21 100.0
広野町	12 52.2	4 17.4	8 34.8	4 17.4	13 56.5	4 17.4	23 100.0
檜葉町	10 43.5	2 8.7	7 30.4	1 4.3	13 56.5	8 34.8	23 100.0
富岡町	2 22.2	3 33.3	2 22.2	0 0.0	2 22.2	7 77.8	9 100.0
川内村	2 15.4	1 7.7	7 53.8	0 0.0	8 61.5	3 23.1	13 100.0
大熊町	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
双葉町	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
浪江町	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
葛尾村	3 75.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	4 100.0
新地町	65 57.0	26 22.8	33 28.9	26 22.8	53 46.5	16 14.0	114 100.0
飯舘村	2 50.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	4 100.0
全体	569 49.8	220 19.2	344 30.1	118 10.3	536 46.9	342 29.9	1,143 100.0

図表 1 1-3-6 市町村・地区別 震災後の買物で意識していること（いわきブロック）

上段は実数、下段は%

	てしの価 て安格 い買全よ るし識食	物を意 を識し しして る買	いて備 買蓄 物を意 をし識 るてし	し選地 んで元 い買の る物品 をを	をを低 し選価 してん る買格 る物品の	物近 をく をし しての る店 る買で	全 体
平 地 区	403 48.1	189 22.6	248 29.6	111 13.2	358 42.7	332 39.6	838 100.0
内 郷 地 区	65 38.9	38 22.8	46 27.5	21 12.6	81 48.5	65 38.9	167 100.0
常 磐 地 区	122 43.4	64 22.8	88 31.3	29 10.3	142 50.5	106 37.7	281 100.0
小 名 浜 地 区	256 41.8	119 19.4	194 31.6	68 11.1	302 49.3	240 39.2	613 100.0
勿 来 地 区	174 40.1	84 19.4	131 30.2	58 13.4	225 51.8	180 41.5	434 100.0
四 倉 地 区	39 32.5	25 20.8	30 25.0	18 15.0	61 50.8	36 30.0	120 100.0
久之浜・大久地区	22 44.0	7 14.0	20 40.0	6 12.0	33 66.0	12 24.0	50 100.0
小 川 地 区	27 37.5	25 34.7	21 29.2	10 13.9	47 65.3	15 20.8	72 100.0
川 前 地 区	3 33.3	2 22.2	4 44.4	0 0.0	6 66.7	2 22.2	9 100.0
三 和 地 区	21 52.5	12 30.0	11 27.5	6 15.0	20 50.0	9 22.5	40 100.0
好 間 地 区	31 32.0	21 21.6	25 25.8	22 22.7	49 50.5	41 42.3	97 100.0
遠 野 地 区	26 37.7	19 27.5	29 42.0	9 13.0	45 65.2	11 15.9	69 100.0
田 人 地 区	6 42.9	1 7.1	9 64.3	4 28.6	7 50.0	2 14.3	14 100.0
全 体	1,195 42.6	606 21.6	856 30.5	362 12.9	1,376 49.1	1,051 37.5	2,804 100.0

1 2 歩いて暮らせる買物環境の状況

平成 17 年 10 月に制定した「福島県商業まちづくりの推進に関する条例」に基づくまちづくりを実現するための基本的な方向性である「持続可能な歩いて暮らせるまちづくり」と「身近な場所で最寄品を購入できるまちづくり」の観点から、「最寄性の高い品目の買物場所」、「買物に利用する交通手段」、「買物頻度にかかる分析」という 3 つの視点から分析している。

(1) 最寄性の高い品目の買物場所について

本節では、最寄性の高い品目である「食料品」と「医薬品・化粧品」を対象に、居住場所別にみた買物場所について分析していく。

ア 食料品

食料品の買物場所を合計で見ると、居住地が中心部商業地の場合の買物場所は、中心部商業地 88.1%、郊外 11.9%、居住地が中心部その他の場合の買物場所は、中心部商業地 67.5%、郊外 32.5%と、中心部に居住している人は中心部購買率が高い。居住地が郊外の場合の買物場所は、中心部商業地 44.3%、郊外 55.7%と、郊外購買率が高い。

ブロック別にみると、すべてのブロックで、居住地が中心部商業地、中心部その他の場合、買物場所は中心部商業地の割合が高いが、居住地が郊外の場合、県北ブロック、県中ブロック、いわきブロックの買物場所は郊外の割合が高く、県南ブロック、会津ブロック、相双ブロックでは中心部商業地の割合が高い。

以上の結果から、全体的にみて、居住地が中心部の場合は、食料品の買物場所は中心部となる傾向にあるものの、居住地が郊外の場合は、買物場所が中心部と郊外に分かれる傾向にある。これは、郊外の買物場所（店舗）の充実度が影響するものと考えられ、特に、県北ブロック、県中ブロックでは、福島市と郡山市という人口が多く郊外に大型店の出店が多い都市で、郊外居住者が郊外で食料品を買う割合が高いためである。会津若松市も同様に郊外居住者が郊外で食料品を買う割合が高いが、会津ブロックでは多くの町村部で構成されているため、合計では郊外居住者が中心部で食料品を買う割合が高くなっている。

図表 1 2 - 1 ブロック別・最寄性の高い品目の買物場所（食料品）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所		居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外
県北ブロック	中心部	商業地	480 83.2	97 16.8	県南ブロック	中心部	商業地	183 90.6	19 9.4	相双ブロック	中心部	商業地	137 90.1	15 9.9
		その他	495 57.6	364 42.4			その他	274 76.5	84 23.5			その他	203 74.1	71 25.9
	郊外		528 31.4	1,152 68.6		郊外		337 63.8	191 36.2		郊外		275 60.4	180 39.6
県中ブロック	中心部	商業地	706 86.7	108 13.3	会津ブロック	中心部	商業地	328 90.6	34 9.4	いわきブロック	中心部	商業地	476 92.6	38 7.4
		その他	531 64.0	299 36.0			その他	372 67.6	178 32.4			その他	491 77.3	144 22.7
	郊外		661 40.9	955 59.1		郊外		423 54.6	352 45.4		郊外		469 45.8	556 54.2
										合計	中心部	商業地	2,310 88.1	311 11.9
												その他	2,366 67.5	1,140 32.5
											郊外	2,693 44.3	3,386 55.7	

図表 1 2 - 2 - 1 最寄性の高い品目の買物場所（食料品 県北ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外
福島市	中心部	商業地	269	52	旧霊山町	中心部	商業地	2	2
		その他	83.8	16.2			50.0	50.0	
	郊外		228	201		その他	7	8	
			53.1	46.9		郊外		17	18
		153	713			48.6	51.4		
		17.7	82.3						
旧飯野町	中心部	商業地	4	1	旧月舘町	中心部	商業地	3	1
		その他	80.0	20.0			75.0	25.0	
	郊外		4	7		その他	1	4	
			36.4	63.6		郊外		4	16
		5	9			20.0	80.0		
		35.7	64.3						
二本松市	中心部	商業地	26	5	旧本宮町	中心部	商業地	25	5
		その他	83.9	16.1			83.3	16.7	
	郊外		46	30		その他	34	20	
			60.5	39.5		郊外		34	64
		63	66			34.7	65.3		
		48.8	51.2						
旧安達町	中心部	商業地	26	1	旧白沢村	中心部	商業地	1	0
		その他	96.3	3.7			100.0	0.0	
	郊外		17	3		その他	8	3	
			85.0	15.0		郊外		23	25
		28	18			47.9	52.1		
		60.9	39.1						
旧岩代町	中心部	商業地	0	1	桑折町	中心部	商業地	7	4
		その他	0.0	100.0			63.6	36.4	
	郊外		7	5		その他	16	17	
			58.3	41.7		郊外		20	39
		23	17			33.9	66.1		
		57.5	42.5						
旧東和町	中心部	商業地	1	0	国見町	中心部	商業地	8	4
		その他	100.0	0.0			66.7	33.3	
	郊外		3	1		その他	10	8	
			75.0	25.0		郊外		23	21
		22	15			52.3	47.7		
		59.5	40.5						
旧伊達町	中心部	商業地	8	5	川俣町	中心部	商業地	14	2
		その他	61.5	38.5			87.5	12.5	
	郊外		17	13		その他	16	7	
			56.7	43.3		郊外		27	23
		16	42			54.0	46.0		
		27.6	72.4						
旧梁川町	中心部	商業地	26	6	大玉村	中心部	商業地	6	3
		その他	81.3	18.8			66.7	33.3	
	郊外		38	7		その他	8	13	
			84.4	15.6		郊外		17	23
		25	21			42.5	57.5		
		54.3	45.7						
旧保原町	中心部	商業地	54	5	合計	中心部	商業地	480	97
		その他	91.5	8.5			83.2	16.8	
	郊外		35	17		その他	495	364	
			67.3	32.7		郊外		57.6	42.4
		28	22			31.4	68.6		
		56.0	44.0						

図表 1 2 - 2 - 2 最寄性の高い品目の買物場所（食料品 県中ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外
郡山市	中心部	商業地	464	61.1	天栄村	中心部	商業地	1	2
		その他	88.4	11.6			33.3	66.7	
	郊外	その他	274	157		その他	2	4	
		その他	63.6	36.4		33.3	66.7		
		郊外	227	553			郊外	9	14
			29.1	70.9				39.1	60.9
須賀川市	中心部	商業地	123	19	石川町	中心部	商業地	10	3
		その他	86.6	13.4			76.9	23.1	
	郊外	その他	97	64		その他	19	11	
		その他	60.2	39.8		63.3	36.7		
		郊外	97	129			郊外	30	36
			42.9	57.1				45.5	54.5
旧長沼町	中心部	商業地	0	1	玉川村	中心部	商業地	5	3
		その他	0.0	100.0			62.5	37.5	
	郊外	その他	4	0		その他	4	1	
		その他	100.0	0.0		80.0	20.0		
		郊外	15	13			郊外	22	14
			53.6	46.4				61.1	38.9
旧岩瀬村	中心部	商業地	0	0	平田村	中心部	商業地	1	2
		その他	0.0	0.0			33.3	66.7	
	郊外	その他	0	1		その他	9	2	
		その他	0.0	100.0		81.8	18.2		
		郊外	24	11			郊外	26	18
			68.6	31.4				59.1	40.9
旧滝根町	中心部	商業地	1	0	浅川町	中心部	商業地	9	3
		その他	100.0	0.0			75.0	25.0	
	郊外	その他	2	6		その他	12	8	
		その他	25.0	75.0		60.0	40.0		
		郊外	7	8			郊外	14	16
			46.7	53.3				46.7	53.3
旧大越町	中心部	商業地	2	0	古殿町	中心部	商業地	4	2
		その他	100.0	0.0			66.7	33.3	
	郊外	その他	7	3		その他	9	5	
		その他	70.0	30.0		64.3	35.7		
		郊外	18	7			郊外	13	12
			72.0	28.0				52.0	48.0
旧都路村	中心部	商業地	1	0	三春町	中心部	商業地	16	1
		その他	100.0	0.0			94.1	5.9	
	郊外	その他	3	1		その他	22	9	
		その他	75.0	25.0		71.0	29.0		
		郊外	9	2			郊外	48	39
			81.8	18.2				55.2	44.8
旧常葉町	中心部	商業地	4	2	小野町	中心部	商業地	10	2
		その他	66.7	33.3			83.3	16.7	
	郊外	その他	9	3		その他	11	4	
		その他	75.0	25.0		73.3	26.7		
		郊外	19	14			郊外	21	28
			57.6	42.4				42.9	57.1
旧船引町	中心部	商業地	31	4	合計	中心部	商業地	706	108
		その他	88.6	11.4			86.7	13.3	
	郊外	その他	22	8		その他	531	299	
		その他	73.3	26.7		64.0	36.0		
		郊外	52	24			郊外	661	955
			68.4	31.6				40.9	59.1
鏡石町	中心部	商業地	24	3	鏡石町	中心部	商業地	24	3
		その他	88.9	11.1			88.9	11.1	
	郊外	その他	25	12		その他	25	12	
		その他	67.6	32.4		67.6	32.4		
		郊外	10	17			郊外	10	17
			37.0	63.0				37.0	63.0

図表 1 2 - 2 - 3 最寄性の高い品目の買物場所（食料品 県南ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外
白河市	中心部	商業地	103	5	矢吹町	中心部	商業地	17	7
			95.4	4.6				70.8	29.2
	その他	119	29	その他	31	8			
		80.4	19.6			79.5	20.5		
	郊外	95	36		郊外	30	11		
		72.5	27.5			73.2	26.8		
旧表郷村	中心部	商業地	1	0	棚倉町	中心部	商業地	18	2
			100.0	0.0				90.0	10.0
	その他	12	2	その他	29	8			
		85.7	14.3			78.4	21.6		
	郊外	21	14		郊外	37	19		
		60.0	40.0			66.1	33.9		
旧東村	中心部	商業地	6	1	矢祭町	中心部	商業地	6	1
			85.7	14.3				85.7	14.3
	その他	7	3	その他	7	4			
		70.0	30.0			63.6	36.4		
	郊外	15	17		郊外	17	14		
		46.9	53.1			54.8	45.2		
旧大信村	中心部	商業地	1	0	埴町	中心部	商業地	12	0
			100.0	0.0				100.0	0.0
	その他	7	0	その他	13	3			
		100.0	0.0			81.3	18.8		
	郊外	20	7		郊外	20	6		
		74.1	25.9			76.9	23.1		
西郷村	中心部	商業地	10	1	鮫川村	中心部	商業地	1	1
			90.9	9.1				50.0	50.0
	その他	30	6	その他	1	6			
		83.3	16.7			14.3	85.7		
	郊外	37	28		郊外	14	14		
		56.9	43.1			50.0	50.0		
泉崎村	中心部	商業地	4	0	合計	中心部	商業地	183	19
			100.0	0.0				90.6	9.4
	その他	11	9	その他	274	84			
		55.0	45.0			76.5	23.5		
	郊外	14	17		郊外	337	191		
		45.2	54.8			63.8	36.2		
中島村	中心部	商業地	4	1					
			80.0	20.0					
	その他	7	6						
		53.8	46.2						
	郊外	17	8						
		68.0	32.0						

図表 1 2 - 2 - 4 最寄性の高い品目の買物場所（食料品 会津ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地		買物場所		居住地		買物場所		居住地		買物場所				
		中心部商業地	郊外			中心部商業地	郊外			中心部商業地	郊外			
会津若松市	中心部	商業地	189 92.6	15 7.4	磐梯町	中心部	商業地	2 100.0	0 0.0	旧新鶴村	中心部	商業地	2 100.0	0 0.0
		その他	141 54.7	117 45.3			その他	4 100.0	0 0.0			その他	3 37.5	5 62.5
	郊外	32 24.8	97 75.2	郊外		12 66.7	6 33.3	郊外	11 37.9		18 62.1			
旧北会津村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	猪苗代町	中心部	商業地	11 91.7	1 8.3	旧田島町	中心部	商業地	13 92.9	1 7.1
		その他	2 66.7	1 33.3			その他	32 97.0	1 3.0			その他	35 94.6	2 5.4
	郊外	15 44.1	19 55.9	郊外		26 65.0	14 35.0	郊外	28 68.3		13 31.7			
旧河東町	中心部	商業地	9 90.0	1 10.0	会津坂下町	中心部	商業地	32 88.9	4 11.1	旧館岩村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0
		その他	10 66.7	5 33.3			その他	21 84.0	4 16.0			その他	1 100.0	0 0.0
	郊外	21 51.2	20 48.8	郊外		44 67.7	21 32.3	郊外	5 100.0		0 0.0			
喜多方市	中心部	商業地	44 89.8	5 10.2	湯川村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	旧伊南村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0
		その他	55 72.4	21 27.6			その他	2 25.0	6 75.0			その他	2 100.0	0 0.0
	郊外	48 68.6	22 31.4	郊外		9 40.9	13 59.1	郊外	4 44.4		5 55.6			
旧塩川町	中心部	商業地	3 100.0	0 0.0	柳津町	中心部	商業地	5 100.0	0 0.0	旧南郷村	中心部	商業地	1 100.0	0 0.0
		その他	10 76.9	3 23.1			その他	6 85.7	1 14.3			その他	3 75.0	1 25.0
	郊外	13 68.4	6 31.6	郊外		5 41.7	7 58.3	郊外	6 40.0		9 60.0			
旧山都町	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	三島町	中心部	商業地	1 33.3	2 66.7	下郷町	中心部	商業地	2 100.0	0 0.0
		その他	1 100.0	0 0.0			その他	0 0.0	0 0.0			その他	6 100.0	0 0.0
	郊外	26 81.3	6 18.8	郊外		6 85.7	1 14.3	郊外	8 57.1		6 42.9			
旧高郷村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	金山町	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	檜枝岐村	中心部	商業地	0 0.0	1 100.0
		その他	1 33.3	2 66.7			その他	2 100.0	0 0.0			その他	0 0.0	0 0.0
	郊外	11 84.6	2 15.4	郊外		6 54.5	5 45.5	郊外	3 75.0		1 25.0			
旧熱塩加納村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	昭和村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	只見町	中心部	商業地	1 100.0	0 0.0
		その他	1 100.0	0 0.0			その他	2 100.0	0 0.0			その他	7 77.8	2 22.2
	郊外	15 68.2	7 31.8	郊外		3 75.0	1 25.0	郊外	12 46.2		14 53.8			
北塩原村	中心部	商業地	2 100.0	0 0.0	旧会津高田町	中心部	商業地	5 83.3	1 16.7	合計	中心部	商業地	328 90.6	34 9.4
		その他	4 100.0	0 0.0			その他	10 71.4	4 28.6			その他	372 67.6	178 32.4
	郊外	15 75.0	5 25.0	郊外		16 47.1	18 52.9	郊外	423 54.6		352 45.4			
西会津町	中心部	商業地	2 100.0	0 0.0	旧会津本郷町	中心部	商業地	4 57.1	3 42.9					
		その他	5 83.3	1 16.7			その他	6 75.0	2 25.0					
	郊外	14 77.8	4 22.2	郊外		9 42.9	12 57.1							

図表 1 2 - 2 - 5 最寄性の高い品目の買物場所（食料品 相双ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地		買物場所		居住地		買物場所			
		中心商業地	郊外			中心商業地	郊外		
相馬市	中心部	商業地	60	3	大熊町	中心部	商業地	-	-
		その他	95.2	4.8			その他	-	-
	郊外	商業地	86	15		商業地	-	-	
		その他	85.1	14.9		その他	-	-	
		101	41			郊外	-	-	
		71.1	28.9			郊外	-	-	
旧原町市	中心部	商業地	46	7	双葉町	中心部	商業地	-	-
		その他	86.8	13.2			その他	-	-
	郊外	商業地	70	34		商業地	-	-	
		その他	67.3	32.7		その他	-	-	
		59	86			郊外	-	-	
		40.7	59.3			郊外	-	-	
旧鹿島町	中心部	商業地	15	3	浪江町	中心部	商業地	0	0
		その他	83.3	16.7			その他	0.0	0.0
	郊外	商業地	18	9		商業地	0	1	
		その他	66.7	33.3		その他	0.0	100.0	
		49	23			郊外	0	0	
		68.1	31.9			郊外	0.0	0.0	
旧小高町	中心部	商業地	2	0	葛尾村	中心部	商業地	0	0
		その他	100.0	0.0			その他	0.0	0.0
	郊外	商業地	5	4		商業地	1	1	
		その他	55.6	44.4		その他	50.0	50.0	
		5	2			郊外	0	2	
		71.4	28.6			郊外	0.0	100.0	
広野町	中心部	商業地	3	0	新地町	中心部	商業地	6	1
		その他	100.0	0.0			その他	85.7	14.3
	郊外	商業地	2	1		商業地	14	4	
		その他	66.7	33.3		その他	77.8	22.2	
		7	1			郊外	37	19	
		87.5	12.5			郊外	66.1	33.9	
檜葉町	中心部	商業地	2	0	飯館村	中心部	商業地	1	0
		その他	100.0	0.0			その他	100.0	0.0
	郊外	商業地	5	1		商業地	0	0	
		その他	83.3	16.7		その他	0.0	0.0	
		6	2			郊外	1	2	
		75.0	25.0			郊外	33.3	66.7	
富岡町	中心部	商業地	2	1	合計	中心部	商業地	137	15
		その他	66.7	33.3			その他	90.1	9.9
	郊外	商業地	2	0		商業地	203	71	
		その他	100.0	0.0		その他	74.1	25.9	
		3	0			郊外	275	180	
		100.0	0.0			郊外	60.4	39.6	
川内町	中心部	商業地	0	0					
		その他	0.0	0.0					
	郊外	商業地	0	1					
		その他	0.0	100.0					
		7	2						
		77.8	22.2						

図表 1 2 - 2 - 6 最寄性の高い品目の買物場所（食料品 いわきブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所	
			中心商業地	郊外				中心商業地	郊外
平地区	中心部	商業地	142 94.7	8 5.3	小川地区	中心部	商業地	3 75.0	1 25.0
		その他	168 79.6	43 20.4			7 87.5	1 12.5	
	郊外	142 44.9	174 55.1	郊外		37 75.5	12 24.5		
内郷地区	中心部	商業地	21 87.5	3 12.5	川前地区	中心部	商業地	1 100.0	0 0.0
		その他	33 76.7	10 23.3			0 0.0	1 100.0	
	郊外	24 40.7	35 59.3	郊外		4 80.0	1 20.0		
常磐地区	中心部	商業地	45 83.3	9 16.7	三和地区	中心部	商業地	4 100.0	0 0.0
		その他	45 70.3	19 29.7			6 85.7	1 14.3	
	郊外	31 34.1	60 65.9	郊外		10 50.0	10 50.0		
小名浜地区	中心部	商業地	169 94.9	9 5.1	好間地区	中心部	商業地	16 100.0	0 0.0
		その他	111 76.6	34 23.4			21 84.0	4 16.0	
	郊外	75 47.2	84 52.8	郊外		13 43.3	17 56.7		
勿来地区	中心部	商業地	59 89.4	7 10.6	遠野地区	中心部	商業地	4 100.0	0 0.0
		その他	69 76.7	21 23.3			10 100.0	0 0.0	
	郊外	66 38.2	107 61.8	郊外		26 61.9	16 38.1		
四倉地区	中心部	商業地	11 91.7	1 8.3	田人地区	中心部	商業地	1 100.0	0 0.0
		その他	14 73.7	5 26.3			1 100.0	0 0.0	
	郊外	21 46.7	24 53.3	郊外		8 72.7	3 27.3		
大久・久之浜地区	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	合計	中心部	商業地	476 92.6	38 7.4
		その他	6 54.5	5 45.5			491 77.3	144 22.7	
	郊外	12 48.0	13 52.0	郊外		469 45.8	556 54.2		

イ 医薬品・化粧品

医薬品・化粧品の買物場所を合計でみると、居住地が中心部商業地の場合の買物場所は、中心部商業地 86.0%、郊外 14.0%、居住地が中心部その他の場合の買物場所は、中心部商業地 65.6%、郊外 34.4%と、中心部に居住している人は中心部購買率が高い。居住地が郊外の場合の買物場所は、中心部商業地 44.3%、郊外 55.7%と、郊外購買率が高い。

ブロック別にみると、すべてのブロックで、居住地が中心部商業地、中心部その他の場合、買物場所は中心部商業地の割合が高いが、居住地が郊外の場合、県北ブロック、県中ブロック、いわきブロックの買物場所は郊外の割合が高く、県南ブロック、会津ブロック、相双ブロックでは中心部商業地の割合が高い。

以上の結果から、全体的にみると食料品同様、居住地が中心部の場合は、医薬品・化粧品の買物場所は中心部となる傾向にあるものの、居住地が郊外の場合は、買物場所が中心部と郊外に分かれる。これは郊外の買物場所(店舗)の充実度が影響するものと考えられ、特に、県北ブロック、県中ブロックでは、福島市と郡山市という人口が多く郊外に大型店の出店が多い都市で、郊外居住者が郊外で医薬品・化粧品を買う割合が高いためである。会津若松市も同様に郊外居住者が郊外で医薬品・化粧品を買う割合が高いが、会津ブロックでは多くの町村部で構成されているため、合計では郊外居住者が中心部で医薬品・化粧品を買う割合が高くなっている。

図表 1 2 - 3 ブロック別・最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所		居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外
県北 ブ ロ ッ ク	中 心 部	商業地	456	109	県南 ブ ロ ッ ク	中 心 部	商業地	177	27	相 双 ブ ロ ッ ク	中 心 部	商業地	132	14
			80.7	19.3				86.8	13.2				90.4	9.6
		その他	489	374				258	92				196	82
		56.7	43.3		73.7	26.3		70.5	29.5					
	郊外		566	1,098	郊外		296	216	郊外		262	190		
			34.0	66.0			57.8	42.2				58.0	42.0	
県中 ブ ロ ッ ク	中 心 部	商業地	687	115	会津 ブ ロ ッ ク	中 心 部	商業地	306	51	い わ き ブ ロ ッ ク	中 心 部	商業地	459	45
			85.7	14.3				85.7	14.3				91.1	8.9
		その他	520	305				339	197				477	147
		63.0	37.0		63.2	36.8		76.4	23.6					
	郊外		658	945	郊外		410	354	郊外		475	546		
			41.0	59.0			53.7	46.3				46.5	53.5	
合 計			中心部		中心部		中心部		中心部		中心部		中心部	
			商業地	2,217	361	商業地	2,217	361	商業地	2,217	361	商業地	2,217	361
			その他	86.0	14.0	その他	86.0	14.0	その他	86.0	14.0	その他	86.0	14.0
合 計			郊外		郊外		郊外		郊外		郊外		郊外	
			2,279	1,197	2,279	1,197	2,279	1,197	2,279	1,197				
合 計			65.6		65.6		65.6		65.6		65.6		65.6	
			34.4	34.4	34.4	34.4	34.4	34.4	34.4	34.4				
合 計			2,667		2,667		2,667		2,667		2,667		2,667	
			44.3	55.7	44.3	55.7	44.3	55.7	44.3	55.7				

図表 1 2 - 4 - 1 最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 県北ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外
福島市	中心部	商業地	254	58	旧霊山町	中心部	商業地	2	2
			81.4	18.6				50.0	50.0
		その他	225	206				5	7
		52.2	47.8		41.7	58.3			
	郊外	178	683		郊外	18	17		
		20.7	79.3			51.4	48.6		
旧飯野町	中心部	商業地	3	2	旧月舘町	中心部	商業地	2	1
			60.0	40.0				66.7	33.3
		その他	3	10				1	4
		23.1	76.9		20.0	80.0			
	郊外	5	8		郊外	3	17		
		38.5	61.5			15.0	85.0		
二本松市	中心部	商業地	25	6	旧本宮町	中心部	商業地	24	5
			80.6	19.4				82.8	17.2
		その他	50	28				30	22
		64.1	35.9		57.7	42.3			
	郊外	75	55		郊外	35	62		
		57.7	42.3			36.1	63.9		
旧安達町	中心部	商業地	26	1	旧白沢村	中心部	商業地	1	0
			96.3	3.7				100.0	0.0
		その他	17	3				6	5
		85.0	15.0		54.5	45.5			
	郊外	32	16		郊外	26	22		
		66.7	33.3			54.2	45.8		
旧岩代町	中心部	商業地	0	1	桑折町	中心部	商業地	8	3
			0.0	100.0				72.7	27.3
		その他	7	4				17	17
		63.6	36.4		50.0	50.0			
	郊外	20	18		郊外	23	34		
		52.6	47.4			40.4	59.6		
旧東和町	中心部	商業地	1	0	国見町	中心部	商業地	9	3
			100.0	0.0				75.0	25.0
		その他	4	0				11	6
		100.0	0.0		64.7	35.3			
	郊外	22	15		郊外	20	21		
		59.5	40.5			48.8	51.2		
旧伊達町	中心部	商業地	9	5	川俣町	中心部	商業地	11	5
			64.3	35.7				68.8	31.3
		その他	20	10				13	12
		66.7	33.3		52.0	48.0			
	郊外	17	41		郊外	25	24		
		29.3	70.7			51.0	49.0		
旧梁川町	中心部	商業地	26	3	大玉村	中心部	商業地	6	3
			89.7	10.3				66.7	33.3
		その他	37	8				9	13
		82.2	17.8		40.9	59.1			
	郊外	25	20		郊外	16	22		
		55.6	44.4			42.1	57.9		
旧保原町	中心部	商業地	49	11	合計	中心部	商業地	456	109
			81.7	18.3				80.7	19.3
		その他	34	19				489	374
		64.2	35.8		56.7	43.3			
	郊外	26	23		郊外	566	1,098		
		53.1	46.9			34.0	66.0		

図表 1 2 - 4 - 2 最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 県中ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外
郡山市	中心部	商業地	457	61.1	天栄村	中心部	商業地	1	2.2
		その他	88.2	11.8			33.3	66.7	
	郊外	その他	281	151		2	3		
		その他	65.0	35.0		40.0	60.0		
		243	530			8	14		
		31.4	68.6			36.4	63.6		
須賀川市	中心部	商業地	122	18	石川町	中心部	商業地	9	4
		その他	87.1	12.9			69.2	30.8	
	郊外	その他	96	65		20	10		
		その他	59.6	40.4		66.7	33.3		
		95	133			31	34		
		41.7	58.3			47.7	52.3		
旧長沼町	中心部	商業地	0	1	玉川村	中心部	商業地	7	1
		その他	0.0	100.0			87.5	12.5	
	郊外	その他	3	1		4	1		
		その他	75.0	25.0		80.0	20.0		
		16	12			21	12		
		57.1	42.9			63.6	36.4		
旧岩瀬村	中心部	商業地	0	0	平田村	中心部	商業地	2	1
		その他	0.0	0.0			66.7	33.3	
	郊外	その他	0	1		9	3		
		その他	0.0	100.0		75.0	25.0		
		21	13			25	17		
		61.8	38.2			59.5	40.5		
旧滝根町	中心部	商業地	1	0	浅川町	中心部	商業地	8	3
		その他	100.0	0.0			72.7	27.3	
	郊外	その他	3	5		11	9		
		その他	37.5	62.5		55.0	45.0		
		7	9			15	16		
		43.8	56.3			48.4	51.6		
旧大越町	中心部	商業地	2	0	古殿町	中心部	商業地	4	2
		その他	100.0	0.0			66.7	33.3	
	郊外	その他	6	4		7	5		
		その他	60.0	40.0		58.3	41.7		
		18	5			11	14		
		78.3	21.7			44.0	56.0		
旧都路村	中心部	商業地	1	0	三春町	中心部	商業地	13	6
		その他	100.0	0.0			68.4	31.6	
	郊外	その他	3	1		19	11		
		その他	75.0	25.0		63.3	36.7		
		9	2			42	49		
		81.8	18.2			46.2	53.8		
旧常葉町	中心部	商業地	2	3	小野町	中心部	商業地	9	2
		その他	40.0	60.0			81.8	18.2	
	郊外	その他	8	5		9	5		
		その他	61.5	38.5		64.3	35.7		
		16	16			18	30		
		50.0	50.0			37.5	62.5		
旧船引町	中心部	商業地	26	7	合計	中心部	商業地	687	115
		その他	78.8	21.2			85.7	14.3	
	郊外	その他	20	9		520	305		
		その他	69.0	31.0		63.0	37.0		
		51	24			658	945		
		68.0	32.0			41.0	59.0		
鏡石町	中心部	商業地	23	4					
		その他	85.2	14.8					
	郊外	その他	19	16					
		その他	54.3	45.7					
		11	15						
		42.3	57.7						

図表 1 2 - 4 - 3 最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 県南ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所		
			中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外	
白河市	中心部	商業地	103	7	矢吹町	中心部	商業地	15	9	
			93.6	6.4				62.5	37.5	
	その他	118	32			29	7			
		78.7	21.3			80.6	19.4			
	郊外	84	44		郊外	29	13			
		65.6	34.4			69.0	31.0			
旧表郷村	中心部	商業地	1	0	棚倉町	中心部	商業地	13	5	
			100.0	0.0				72.2	27.8	
	その他	11	2			22	12			
		84.6	15.4			64.7	35.3			
	郊外	16	17		郊外	32	23			
		48.5	51.5			58.2	41.8			
旧東村	中心部	商業地	6	1	矢祭町	中心部	商業地	6	1	
			85.7	14.3				85.7	14.3	
	その他	8	2			7	4			
		80.0	20.0			63.6	36.4			
	郊外	15	16		郊外	15	15			
		48.4	51.6			50.0	50.0			
旧大信村	中心部	商業地	1	0	埴町	中心部	商業地	12	0	
			100.0	0.0				100.0	0.0	
	その他	5	1			11	4			
		83.3	16.7			73.3	26.7			
	郊外	17	9		郊外	15	11			
		65.4	34.6			57.7	42.3			
西郷村	中心部	商業地	11	1	鮫川村	中心部	商業地	1	2	
			91.7	8.3				33.3	66.7	
	その他	26	8			1	6			
		76.5	23.5			14.3	85.7			
	郊外	35	28		郊外	13	12			
		55.6	44.4			52.0	48.0			
泉崎村	中心部	商業地	4	0	合計	中心部	商業地	177	27	
			100.0	0.0				86.8	13.2	
	その他	13	7			258	92			
		65.0	35.0			73.7	26.3			
	郊外	11	18		郊外	296	216			
		37.9	62.1			57.8	42.2			
中島村	中心部	商業地	4	1						
			80.0	20.0						
	その他	7	7							
		50.0	50.0							
	郊外	14	10							
		58.3	41.7							

図表 1 2 - 4 - 4 最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 会津ブロック）

居住地		買物場所		居住地		買物場所		居住地		買物場所				
		中心部商業地	郊外			中心部商業地	郊外			中心部商業地	郊外			
会津若松市	中心部	商業地	176 88.0	24 12.0	磐梯町	中心部	商業地	0 0.0	2 100.0	旧新鶴村	中心部	商業地	2 100.0	0 0.0
		その他	130 52.0	120 48.0			その他	4 100.0	0 0.0			その他	3 37.5	5 62.5
	郊外	33 26.4	92 73.6	郊外		11 61.1	7 38.9	郊外	14 50.0		14 50.0			
旧北会津村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	猪苗代町	中心部	商業地	12 100.0	0 0.0	旧田島町	中心部	商業地	13 92.9	1 7.1
		その他	3 100.0	0 0.0			その他	31 93.9	2 6.1			その他	31 88.6	4 11.4
	郊外	15 45.5	18 54.5	郊外		23 59.0	16 41.0	郊外	28 75.7		9 24.3			
旧河東町	中心部	商業地	9 90.0	1 10.0	会津坂下町	中心部	商業地	29 80.6	7 19.4	旧館岩村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0
		その他	9 56.3	7 43.8			その他	19 79.2	5 20.8			その他	1 100.0	0 0.0
	郊外	24 53.3	21 46.7	郊外		40 60.6	26 39.4	郊外	5 100.0		0 0.0			
喜多方市	中心部	商業地	43 89.6	5 10.4	湯川村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	旧伊南村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0
		その他	51 68.0	24 32.0			その他	2 25.0	6 75.0			その他	1 100.0	0 0.0
	郊外	39 57.4	29 42.6	郊外		9 39.1	14 60.9	郊外	5 50.0		5 50.0			
旧塩川町	中心部	商業地	3 100.0	0 0.0	柳津町	中心部	商業地	3 60.0	2 40.0	旧南郷村	中心部	商業地	1 100.0	0 0.0
		その他	9 69.2	4 30.8			その他	4 57.1	3 42.9			その他	2 50.0	2 50.0
	郊外	13 68.4	6 31.6	郊外		4 33.3	8 66.7	郊外	10 71.4		4 28.6			
旧山都町	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	三島町	中心部	商業地	0 0.0	2 100.0	下郷町	中心部	商業地	2 100.0	0 0.0
		その他	1 100.0	0 0.0			その他	0 0.0	0 0.0			その他	4 66.7	2 33.3
	郊外	26 81.3	6 18.8	郊外		6 75.0	2 25.0	郊外	8 61.5		5 38.5			
旧高郷村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	金山町	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	檜枝岐村	中心部	商業地	0 0.0	1 100.0
		その他	3 100.0	0 0.0			その他	1 100.0	0 0.0			その他	0 0.0	0 0.0
	郊外	8 66.7	4 33.3	郊外		6 50.0	6 50.0	郊外	1 33.3		2 66.7			
旧熱塩加納村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	昭和村	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	只見町	中心部	商業地	1 100.0	0 0.0
		その他	1 100.0	0 0.0			その他	2 100.0	0 0.0			その他	4 57.1	3 42.9
	郊外	12 57.1	9 42.9	郊外		4 100.0	0 0.0	郊外	14 58.3		10 41.7			
北塩原村	中心部	商業地	2 100.0	0 0.0	旧会津高田町	中心部	商業地	4 66.7	2 33.3	合計	中心部	商業地	306 85.7	51 14.3
		その他	4 100.0	0 0.0			その他	8 57.1	6 42.9			その他	339 63.2	197 36.8
	郊外	12 63.2	7 36.8	郊外		16 47.1	18 52.9	郊外	410 53.7		354 46.3			
西会津町	中心部	商業地	2 100.0	0 0.0	旧会津本郷町	中心部	商業地	4 50.0	4 50.0					
		その他	5 83.3	1 16.7			その他	6 66.7	3 33.3					
	郊外	14 73.7	5 26.3	郊外		10 47.6	11 52.4							

上段は実数、下段は%

図表 1 2 - 4 - 5 最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 相双ブロック）

上段は実数、下段は%

居住地		買物場所		居住地		買物場所			
		中心部	商業地			郊外	中心部	商業地	郊外
相馬市	中心部	商業地	60	5	大熊町	中心部	商業地	-	-
		その他	92.3	7.7			その他	-	-
	郊外	78	24	郊外		-	-		
		76.5	23.5						
		88	51						
		63.3	36.7						
旧原町市	中心部	商業地	42	4	双葉町	中心部	商業地	-	-
		その他	91.3	8.7			その他	-	-
	郊外	74	31	郊外		-	-		
		70.5	29.5						
		62	80						
		43.7	56.3						
旧鹿島町	中心部	商業地	14	2	浪江町	中心部	商業地	0	0
		その他	87.5	12.5			その他	0.0	0.0
	郊外	18	9	郊外		0	1		
		66.7	33.3						
		50	26						
		65.8	34.2						
旧小高町	中心部	商業地	2	0	葛尾村	中心部	商業地	0	0
		その他	100.0	0.0			その他	0.0	0.0
	郊外	6	3	郊外		0	2		
		66.7	33.3						
		5	2						
		71.4	28.6						
広野町	中心部	商業地	3	0	新地町	中心部	商業地	6	1
		その他	100.0	0.0			その他	85.7	14.3
	郊外	2	1	郊外		10	8		
		66.7	33.3						
		6	2						
		75.0	25.0						
檜葉町	中心部	商業地	2	1	飯館村	中心部	商業地	1	0
		その他	66.7	33.3			その他	100.0	0.0
	郊外	6	2	郊外		0	0		
		75.0	25.0						
		7	2						
		77.8	22.2						
富岡町	中心部	商業地	2	1	合計	中心部	商業地	132	14
		その他	66.7	33.3			その他	90.4	9.6
	郊外	2	0	郊外		196	82		
		100.0	0.0						
		3	0						
		100.0	0.0						
川内町	中心部	商業地	0	0	合計	中心部	商業地	262	190
		その他	0.0	0.0			その他	70.5	29.5
	郊外	0	1	郊外		58.0	42.0		
		0.0	100.0						
		7	2						
		77.8	22.2						

図表 1 2 - 4 - 6 最寄性の高い品目の買物場所（医薬品・化粧品 いわきブロック）

上段は実数、下段は%

居住地			買物場所		居住地			買物場所	
			中心部商業地	郊外				中心部商業地	郊外
平地区	中心部	商業地	138 90.8	14 9.2	小川地区	中心部	商業地	3 75.0	1 25.0
		その他	170 80.2	42 19.8			8 88.9	1 11.1	
	郊外	150 47.2	168 52.8	郊外		36 78.3	10 21.7		
内郷地区	中心部	商業地	22 91.7	2 8.3	川前地区	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0
		その他	29 70.7	12 29.3			0 0.0	1 100.0	
	郊外	24 38.7	38 61.3	郊外		4 80.0	1 20.0		
常磐地区	中心部	商業地	45 81.8	10 18.2	三和地区	中心部	商業地	2 66.7	1 33.3
		その他	43 68.3	20 31.7			5 83.3	1 16.7	
	郊外	27 30.7	61 69.3	郊外		10 50.0	10 50.0		
小名浜地区	中心部	商業地	161 94.2	10 5.8	好間地区	中心部	商業地	14 100.0	0 0.0
		その他	106 76.8	32 23.2			21 80.8	5 19.2	
	郊外	73 45.9	86 54.1	郊外		13 48.1	14 51.9		
勿来地区	中心部	商業地	60 90.9	6 9.1	遠野地区	中心部	商業地	4 100.0	0 0.0
		その他	63 73.3	23 26.7			10 100.0	0 0.0	
	郊外	71 40.8	103 59.2	郊外		25 62.5	15 37.5		
四倉地区	中心部	商業地	9 90.0	1 10.0	田人地区	中心部	商業地	1 100.0	0 0.0
		その他	14 77.8	4 22.2			1 100.0	0 0.0	
	郊外	20 41.7	28 58.3	郊外		8 80.0	2 20.0		
大久・久之浜地区	中心部	商業地	0 0.0	0 0.0	合計	中心部	商業地	459 91.1	45 8.9
		その他	7 53.8	6 46.2			477 76.4	147 23.6	
	郊外	14 58.3	10 41.7	郊外		475 46.5	546 53.5		

(2) 買物に利用する交通手段

本節では「セーター・ブラウス」と「食料品」を対象に、各ブロックの拠点都市や買物場所への移動に利用する交通手段の特徴について分析する。

ア セーター・ブラウス

(ア) 各ブロックの拠点都市における買物に利用する交通手段

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内の消費動向を対象に買物場所別のセーター・ブラウスの買物に利用する交通手段を合計で見ると、中心部商業地、郊外とも「自家用車」の割合が95%を超えて最も高い。

拠点都市別にみると、中心部商業地では「自家用車」の割合がすべての市町・地区で95%を超えて最も高く、二本松市、旧原町市では100%である。各市町・地区とも、次に高いのは「自転車」であるが、旧田島町では、「電車」が「自転車」を上回っている。郊外でも「自家用車」の割合がすべての市町・地区で95%を超えて最も高く、喜多方市、旧田島町、旧原町市、平地区では100%である。各市町・地区とも、次に高いのは「自転車」である。

中心部商業地、郊外ともに、バス、電車の利用割合は極めて低い。

図表 1 2 - 5 拠点都市における買物に利用する交通手段（セーター・ブラウス）

＜中心部商業地＞							＜郊外＞								
買物場所	交通手段	上段は実数、下段は%					計	買物場所	交通手段	上段は実数、下段は%					計
		徒歩	自家用車	バス	電車	自転車				徒歩	自家用車	バス	電車	自転車	
福島市		10	837	0	7	17	871	福島市		4	947	0	1	8	960
		1.1	96.1	0.0	0.8	2.0	100.0			0.4	98.6	0.0	0.1	0.8	100.0
二本松市		0	49	0	0	0	49	二本松市		0	34	0	0	1	35
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0			0.0	97.1	0.0	0.0	2.9	100.0
郡山市		11	1,586	4	9	30	1,640	郡山市		1	1,210	0	2	11	1,224
		0.7	96.7	0.2	0.5	1.8	100.0			0.1	98.9	0.0	0.2	0.9	100.0
須賀川市		2	309	0	0	4	315	須賀川市		0	211	0	0	2	213
		0.6	98.1	0.0	0.0	1.3	100.0			0.0	99.1	0.0	0.0	0.9	100.0
白河市		1	351	1	0	4	357	白河市		0	168	0	0	1	169
		0.3	98.3	0.3	0.0	1.1	100.0			0.0	99.4	0.0	0.0	0.6	100.0
会津若松市		0	507	0	0	6	513	会津若松市		1	485	0	0	3	489
		0.0	98.8	0.0	0.0	1.2	100.0			0.2	99.2	0.0	0.0	0.6	100.0
喜多方市		0	65	0	0	2	67	喜多方市		0	28	0	0	0	28
		0.0	97.0	0.0	0.0	3.0	100.0			0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
旧田島町		0	29	0	1	0	30	旧田島町		0	6	0	0	0	6
		0.0	96.7	0.0	3.3	0.0	100.0			0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
相馬市		0	107	1	0	1	109	相馬市		0	53	0	0	2	55
		0.0	98.2	0.9	0.0	0.9	100.0			0.0	96.4	0.0	0.0	3.6	100.0
旧原町市		0	94	0	0	0	94	旧原町市		0	85	0	0	0	85
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0			0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
平地区		7	695	3	1	5	711	平地区		0	178	0	0	0	178
		1.0	97.7	0.4	0.1	0.7	100.0			0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
合計		31	4,629	9	18	69	4,756	合計		6	3,405	0	3	28	3,442
		0.7	97.3	0.2	0.4	1.5	100.0			0.2	98.9	0.0	0.1	0.8	100.0

(イ) ブロック別・買物場所別の交通手段

セーター・ブラウスを購入する場合の交通手段について、ブロック別、買物場所別に分析する。なお、セーター・ブラウスの買物に利用する交通手段として各ブロックの拠点都市において割合の高かった「自家用車」と「徒歩または自転車」のみを調査結果から抽出した。

ブロックごとにセーター・ブラウスを購入する場合の交通手段をみると、すべてのブロックで、中心部商業地、郊外とも「自家用車」の割合が高く 95%以上である。「徒歩または自転車」を利用する割合は、県北ブロックと県中ブロックの中心部商業地で他ブロックの買物場所と比較して高いものの、極めて低い。

以上のことから、セーター・ブラウスのように買回性の高い品目を購入する場合は、移動のしやすさなどを重視して交通手段を選ぶものと考えられ、「自家用車」の割合が圧倒的に高い。

図表 1 2 - 6 ブロック別・買物場所別交通手段（セーター・ブラウス）

単位：%

		徒歩または自転車	自家用車
県北ブロック	中心部商業地	2.8	97.2
	郊外	1.4	98.6
県中ブロック	中心部商業地	2.4	97.6
	郊外	0.9	99.1
県南ブロック	中心部商業地	1.5	98.5
	郊外	0.7	99.3
会津ブロック	中心部商業地	1.3	98.7
	郊外	0.7	99.3
相双ブロック	中心部商業地	0.9	99.1
	郊外	1.3	98.7
いわきブロック	中心部商業地	1.7	98.3
	郊外	0.4	99.6
合計	中心部商業地	2.0	98.0
	郊外	1.0	99.0

イ 食料品

(ア) 各ブロックの拠点都市における買物に利用する交通手段

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内の消費動向を対象に買物場所別の食料品の買物に利用する交通手段を合計でみると、中心部商業地は「自家用車」の割合が94.0%と最も高く、次いで「徒歩」が3.4%、「自転車」が2.5%である。郊外でも「自家用車」の割合が96.0%と最も高く、次いで「徒歩」と「自転車」が2.0%で同じ割合である。

拠点都市別にみると、中心部商業地では「自家用車」の割合がすべての市町・地区で最も高く、次に高いのは、福島市、二本松市、郡山市、白河市、会津若松市、相馬市、平地区では「徒歩」、旧田島町、旧原町市では「自転車」である。須賀川市と喜多方市では「徒歩」と「自転車」が同じ割合である。郊外でも「自家用車」の割合がすべての市町・地区で最も高く90%を超えており、喜多方市と旧原町市では100%である。次に高いのは、福島市、郡山市、平地区では「徒歩」、二本松市、須賀川市、白河市、会津若松市では「徒歩」である。旧田島町と相馬市では「徒歩」と「自転車」が同じ割合である。

中心部商業地、郊外ともに、バス、電車の利用割合は極めて低く、郊外のバス、電車の利用は0%である。

図表 1 2 - 7 拠点都市における買物に利用する交通手段（食料品）

<中心部商業地>

買物場所	交通手段	上段は実数、下段は%					計
		徒歩	自家用車	バス	電車	自転車	
福島市		34	539	1	0	30	604
		5.6	89.2	0.2	0.0	5.0	100.0
二本松市		1	112	0	0	0	113
		0.9	99.1	0.0	0.0	0.0	100.0
郡山市		37	854	0	0	30	921
		4.0	92.7	0.0	0.0	3.3	100.0
須賀川市		5	334	1	1	5	346
		1.4	96.5	0.3	0.3	1.4	100.0
白河市		7	363	0	0	5	375
		1.9	96.8	0.0	0.0	1.3	100.0
会津若松市		22	359	0	0	15	396
		5.6	90.7	0.0	0.0	3.8	100.0
喜多方市		3	165	0	0	3	171
		1.8	96.5	0.0	0.0	1.8	100.0
旧田島町		0	85	0	0	1	86
		0.0	98.8	0.0	0.0	1.2	100.0
相馬市		3	246	0	0	2	251
		1.2	98.0	0.0	0.0	0.8	100.0
旧原町市		0	153	0	0	2	155
		0.0	98.7	0.0	0.0	1.3	100.0
平地区		18	432	1	0	5	456
		3.9	94.7	0.2	0.0	1.1	100.0
合計		130	3,642	3	1	98	3,874
		3.4	94.0	0.1	0.0	2.5	100.0

<郊外>

買物場所	交通手段	上段は実数、下段は%					計
		徒歩	自家用車	バス	電車	自転車	
福島市		22	798	0	0	16	836
		2.6	95.5	0.0	0.0	1.9	100.0
二本松市		1	80	0	0	3	84
		1.2	95.2	0.0	0.0	3.6	100.0
郡山市		19	680	0	0	17	716
		2.7	95.0	0.0	0.0	2.4	100.0
須賀川市		2	231	0	0	4	237
		0.8	97.5	0.0	0.0	1.7	100.0
白河市		0	92	0	0	3	95
		0.0	96.8	0.0	0.0	3.2	100.0
会津若松市		7	248	0	0	8	263
		2.7	94.3	0.0	0.0	3.0	100.0
喜多方市		0	48	0	0	0	48
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
旧田島町		1	26	0	0	1	28
		3.6	92.9	0.0	0.0	3.6	100.0
相馬市		1	63	0	0	1	65
		1.5	96.9	0.0	0.0	1.5	100.0
旧原町市		0	114	0	0	0	114
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
平地区		1	198	0	0	0	199
		0.5	99.5	0.0	0.0	0.0	100.0
合計		54	2,578	0	0	53	2,685
		2.0	96.0	0.0	0.0	2.0	100.0

(イ) ブロック別・買物場所別の交通手段

食料品を購入する場合の交通手段について、ブロック別、買物場所別に分析する。なお、食料品の買物に利用する交通手段として各ブロックの拠点都市において割合の高かった「自家用車」と「徒歩または自転車」のみを調査結果から抽出した。

ブロックごとに食料品を購入する場合の交通手段をみると、すべてのブロックで、中心部商業地、郊外とも「自家用車」の割合が高く 90%以上である。「徒歩または自転車」の割合は10%以下と低い。

以上のことから、買回性の高い品目と比較して割合は低いものの、最寄性の高い品目を購入する場合も、「自家用車」の割合が圧倒的に高くなっている。

図表 1 2 - 8 ブロック別・買物場所別交通手段（食料品）

単位：%

		徒歩または自転車	自家用車
県北ブロック	中心商業地	6.9	93.1
	郊外	3.5	96.5
県中ブロック	中心商業地	5.1	94.9
	郊外	3.7	96.3
県南ブロック	中心商業地	2.6	97.4
	郊外	2.5	97.5
会津ブロック	中心商業地	5.9	94.1
	郊外	4.7	95.3
相双ブロック	中心商業地	2.2	97.8
	郊外	1.4	98.6
いわきブロック	中心商業地	3.7	96.3
	郊外	2.6	97.4
合 計	中心商業地	4.8	95.2
	郊外	3.4	96.6

(3) 拠点都市における買物頻度にかかる分析

本節では、品目ごとに、各ブロックの拠点都市や買物場所などにおける買物頻度の特徴について分析していく。

ア 背広・スーツ

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の背広・スーツの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「数年に1回程度」(73.4%)の割合が最も高く、次いで「年1回程度」(16.1%)、「半年に数回程度」(7.5%)の順となっている。郊外も同様に「数年に1回程度」(72.0%)の割合が最も高く、次いで「年1回程度」(16.8%)、「半年に数回程度」(7.7%)の順となっている。

いずれの拠点都市も、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。郊外における二本松市、旧田島町では「月1回程度」以上の頻度で高い割合を示しているが、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表 1 2 - 9 - 1 拠点都市における買物場所別の買物頻度（背広・スーツ）

＜中心部商業地＞								＜郊外＞									
買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%						
		ほぼ毎日	週3〜4回程度	週1〜2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度			計	ほぼ毎日	週3〜4回程度	週1〜2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度
福島市	1 0.1	5 0.5	8 0.8	11 1.1	80 8.0	159 15.9	734 73.5	998 100.0	福島市	1 0.1	1 0.1	5 0.4	11 0.9	86 7.2	195 16.3	894 74.9	1,193 100.0
二本松市	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	12 85.7	14 100.0	二本松市	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	6 75.0	8 100.0
郡山市	4 0.2	3 0.2	13 0.7	41 2.2	172 9.1	340 18.0	1,321 69.7	1,894 100.0	郡山市	3 0.2	5 0.4	14 1.1	41 3.1	97 7.3	231 17.4	939 70.6	1,330 100.0
須賀川市	0 0.0	2 0.7	4 1.3	2 0.7	8 2.7	37 12.4	246 82.3	299 100.0	須賀川市	0 0.0	0 0.0	1 0.5	5 2.6	11 5.7	32 16.6	144 74.6	193 100.0
白河市	0 0.0	1 0.2	2 0.5	10 2.5	17 4.2	53 13.2	318 79.3	401 100.0	白河市	0 0.0	0 0.0	3 1.5	3 1.5	8 4.1	35 17.8	148 75.1	197 100.0
会津若松市	0 0.0	0 0.0	5 0.8	7 1.1	28 4.3	93 14.3	516 79.5	649 100.0	会津若松市	1 0.2	1 0.2	5 0.8	6 1.0	32 5.3	103 17.1	456 75.5	604 100.0
喜多方市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 25.0	15 75.0	20 100.0	喜多方市	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	8 80.0	10 100.0
旧田島町	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	6 85.7	7 100.0	旧田島町	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0
相馬市	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	6 5.1	21 17.8	90 76.3	118 100.0	相馬市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	5 7.6	12 18.2	48 72.7	66 100.0
旧原町市	1 0.9	1 0.9	2 1.7	1 0.9	3 2.6	12 10.4	95 82.6	115 100.0	旧原町市	0 0.0	1 1.3	0 0.0	1 1.3	6 7.5	12 15.0	60 75.0	80 100.0
平地区	1 0.1	0 0.0	4 0.5	11 1.3	44 5.2	109 13.0	672 79.9	841 100.0	平地区	1 0.5	2 0.9	2 0.9	0 0.0	9 4.3	23 10.9	174 82.5	211 100.0
県外	0 0.0	1 0.2	2 0.4	36 7.2	79 15.7	112 22.3	273 54.3	503 100.0	県外	1 0.2	1 0.2	3 0.7	31 6.8	79 17.4	85 18.7	254 55.9	454 100.0
合計	7 0.1	13 0.2	42 0.7	119 2.0	437 7.5	943 16.1	4,298 73.4	5,859 100.0	合計	7 0.2	12 0.3	35 0.8	99 2.3	333 7.7	730 16.8	3,132 72.0	4,348 100.0

イ セーター・ブラウス

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別のセーター・ブラウスの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「半年に数回程度」（43.6%）の割合が最も高く、次いで「年1回程度」（25.7%）、「月1回程度」（17.1%）の順となっている。郊外も同様に、「半年に数回程度」（46.4%）の割合が最も高く、次いで「年1回程度」（23.3%）、「月1回程度」（18.0%）の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。県外では、中心部商業地、郊外ともに「月1回程度」が「年1回程度」の割合を上回っている。

二本松市と旧田島町では、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表 1 2 - 9 - 2 拠点都市における買物場所別の買物頻度（セーター・ブラウス）

<中心部商業地>

買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週3〜4回程度	週1〜2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	
福島市	0 0.0	3 0.3	13 1.5	168 19.3	386 44.3	207 23.8	94 10.8	871 100.0	
二本松市	0 0.0	0 0.0	2 4.1	11 2.4	19 38.8	13 26.5	4 8.2	49 100.0	
郡山市	1 0.1	4 0.2	22 1.3	275 16.8	715 43.8	433 26.5	194 11.3	1,634 100.0	
須賀川市	0 0.0	1 0.3	7 2.2	52 16.6	125 39.8	93 29.6	36 11.5	314 100.0	
白河市	0 0.0	0 0.0	3 0.8	54 15.2	150 42.3	102 28.7	46 13.0	355 100.0	
会津若松市	0 0.0	0 0.0	11 2.2	76 14.9	190 37.3	161 31.6	72 14.1	510 100.0	
喜多方市	0 0.0	1 1.5	1 1.5	13 19.4	21 31.3	19 28.4	12 17.9	67 100.0	
旧田島町	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 20.7	17 58.6	4 13.8	2 6.9	29 100.0	
相馬市	0 0.0	0 0.0	7 6.6	16 15.1	31 29.2	33 31.1	19 17.9	106 100.0	
旧原町市	0 0.0	0 0.0	4 4.3	13 14.1	33 35.9	24 26.1	18 19.6	92 100.0	
平地区	1 0.1	1 0.1	11 1.5	101 14.2	315 44.3	180 25.3	102 14.3	711 100.0	
県外	0 0.0	1 0.2	8 1.5	115 21.7	297 56.1	85 16.1	23 4.3	529 100.0	
合計	2 0.0	11 0.2	89 1.7	900 17.1	2,299 43.6	1,354 25.7	612 11.6	5,267 100.0	

<郊外>

買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週3〜4回程度	週1〜2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	
福島市	0 0.0	0 0.0	9 0.9	158 16.6	431 45.2	247 25.9	108 11.3	953 100.0	
二本松市	0 0.0	0 0.0	4 11.4	8 22.9	7 20.0	13 37.1	3 8.6	35 100.0	
郡山市	2 0.2	2 0.2	30 2.5	229 18.8	558 45.9	284 23.4	110 9.1	1,215 100.0	
須賀川市	0 0.0	0 0.0	5 2.4	42 20.1	86 41.1	47 22.5	29 13.9	209 100.0	
白河市	0 0.0	0 0.0	2 1.2	16 9.4	75 44.1	45 26.5	32 18.8	170 100.0	
会津若松市	0 0.0	2 0.4	5 1.0	81 16.7	225 46.3	114 23.5	59 12.1	486 100.0	
喜多方市	0 0.0	0 0.0	1 3.6	5 17.9	11 39.3	8 28.6	3 10.7	28 100.0	
旧田島町	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	0 0.0	6 100.0	
相馬市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 16.4	24 43.6	14 25.5	8 14.5	55 100.0	
旧原町市	0 0.0	0 0.0	1 1.2	17 20.2	43 51.2	17 20.2	6 7.1	84 100.0	
平地区	0 0.0	2 1.1	2 1.1	32 18.3	64 36.6	55 31.4	20 11.4	175 100.0	
県外	0 0.0	1 0.2	6 1.0	128 20.6	345 55.6	95 15.3	46 7.4	621 100.0	
合計	2 0.0	7 0.2	65 1.6	726 18.0	1,873 46.4	940 23.3	424 10.5	4,037 100.0	

ウ 下着

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の下着の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「半年に数回程度」(62.9%)の割合が最も高く、次いで「月1回程度」(19.0%)、「年1回程度」(14.0%)の順となっている。郊外も同様に「半年に数回程度」(63.3%)の割合が最も高く、次いで「月1回程度」(17.1%)、「年1回程度」(15.6%)の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

二本松市と旧田島町では、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表 1 2 - 9 - 3 拠点都市における買物場所別の買物頻度（下着）

＜中心部商業地＞									＜郊外＞								
買物頻度	ほほ	週3 5 4 回程度	週1 5 2 回程度	月1 回程度	半年に 数回程度	年1 回程度	数年 に1 回程度	計	上段は実数、下段は%								
									買物場所	日	度	度	度	度	度	度	度
福島市	0	3	10	150	521	103	21	808	福島市	0	2	9	153	619	138	26	947
	0.0	0.4	1.2	18.6	64.5	12.7	2.6	100.0		0.0	0.2	1.0	16.2	65.4	14.6	2.7	100.0
二本松市	0	1	4	20	50	12	0	87	二本松市	0	0	2	16	38	3	1	60
	0.0	1.1	4.6	23.0	57.5	13.8	0.0	100.0		0.0	0.0	3.3	26.7	63.3	5.0	1.7	100.0
郡山市	1	4	11	228	834	205	33	1,316	郡山市	1	0	15	168	648	171	24	1,027
	0.1	0.3	0.8	17.3	63.4	15.6	2.5	100.0		0.1	0.0	1.5	16.4	63.1	16.7	2.3	100.0
須賀川市	0	1	9	62	229	47	5	353	須賀川市	0	0	4	49	154	30	4	241
	0.0	0.3	2.5	17.6	64.9	13.3	1.4	100.0		0.0	0.0	1.7	20.3	63.9	12.4	1.7	100.0
白河市	0	1	10	88	262	40	8	409	白河市	0	0	3	24	108	20	4	159
	0.0	0.2	2.4	21.5	64.1	9.8	2.0	100.0		0.0	0.0	1.9	15.1	67.9	12.6	2.5	100.0
会津若松市	0	0	11	89	286	84	10	480	会津若松市	0	3	4	71	288	71	12	449
	0.0	0.0	2.3	18.5	59.6	17.5	2.1	100.0		0.0	0.7	0.9	15.8	64.1	15.8	2.7	100.0
喜多方市	0	1	2	28	78	14	2	125	喜多方市	0	0	0	11	23	8	1	43
	0.0	0.8	1.6	22.4	62.4	11.2	1.6	100.0		0.0	0.0	0.0	25.6	53.5	18.6	2.3	100.0
旧田島町	0	0	1	16	29	5	1	52	旧田島町	0	0	0	2	11	3	0	16
	0.0	0.0	1.9	30.8	55.8	9.6	1.9	100.0		0.0	0.0	0.0	12.5	68.8	18.8	0.0	100.0
相馬市	0	0	6	41	96	23	3	169	相馬市	0	0	0	26	47	12	1	86
	0.0	0.0	3.6	24.3	56.8	13.6	1.8	100.0		0.0	0.0	30.2	54.7	14.0	1.2	100.0	
旧原町市	0	1	6	28	87	16	3	141	旧原町市	0	0	2	24	82	21	2	131
	0.0	0.7	4.3	19.9	61.7	11.3	2.1	100.0		0.0	0.0	1.5	18.3	62.6	16.0	1.5	100.0
平地区	1	1	10	126	461	103	14	716	平地区	0	2	3	24	110	35	4	178
	0.1	0.1	1.4	17.6	64.4	14.4	2.0	100.0		0.0	1.1	1.7	13.5	61.8	19.7	2.2	100.0
県外	0	1	6	49	130	28	3	217	県外	0	0	3	45	145	49	10	252
	0.0	0.5	2.8	22.6	59.9	12.9	1.4	100.0		0.0	0.0	1.2	17.9	57.5	19.4	4.0	100.0
合計	2	14	86	925	3,063	680	103	4,873	合計	1	7	45	61.3	2,273	561	89	3,589
	0.0	0.3	1.8	19.0	62.9	14.0	2.1	100.0		0.0	0.2	1.3	17.1	63.3	15.6	2.5	100.0

エ 靴・バッグ

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の靴・バッグの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「半年に数回程度」(45.9%)の割合が最も高く、次いで「年1回程度」(32.6%)、「数年に1回程度」(12.8%)の順となっている。郊外も同様に「半年に数回程度」(47.1%)の割合が最も高く、次いで「年1回程度」(31.7%)、「数年に1回程度」(12.6%)の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

二本松市と旧田島町では、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表 1 2 - 9 - 4 拠点都市における買物場所別の買物頻度（靴・バッグ）

＜中心部商業地＞									＜郊外＞										
買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計	買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週3〜4回程度	週1〜2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度				ほぼ毎日	週3〜4回程度	週1〜2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	
福島市	0 0.0	3 0.4	6 0.7	61 7.2	373 43.9	282 33.2	124 14.6	849 100.0	福島市	0 0.0	0 0.0	8 0.9	47 5.5	410 47.7	277 32.2	117 13.6	859 100.0		
二本松市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.3	11 37.9	12 41.4	3 10.3	29 100.0	二本松市	0 0.0	0 0.0	1 5.0	3 15.0	5 25.0	9 45.0	2 10.0	20 100.0		
郡山市	0 0.0	2 0.1	15 0.9	120 6.8	839 47.6	566 32.1	221 12.5	1,763 100.0	郡山市	2 0.2	1 0.1	9 0.7	104 8.4	560 45.2	420 33.9	144 11.6	1,240 100.0		
須賀川市	0 0.0	1 0.4	5 1.8	21 7.6	131 47.1	88 31.7	32 11.5	278 100.0	須賀川市	0 0.0	0 0.0	1 0.5	15 7.6	96 48.7	58 29.4	27 13.7	197 100.0		
白河市	0 0.0	0 0.0	3 0.9	28 8.5	150 45.7	109 33.2	38 11.6	328 100.0	白河市	0 0.0	0 0.0	4 2.8	8 5.5	67 46.2	48 33.1	18 12.4	145 100.0		
会津若松市	0 0.0	0 0.0	6 1.3	41 8.6	200 42.1	162 34.1	66 13.9	475 100.0	会津若松市	0 0.0	3 0.7	3 0.7	33 7.7	206 48.2	122 28.6	60 14.1	427 100.0		
喜多方市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.2	33 46.5	29 40.8	6 8.5	71 100.0	喜多方市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 47.4	7 36.8	3 15.8	19 100.0		
旧田島町	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 60.0	3 30.0	1 10.0	10 100.0	旧田島町	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	4 100.0		
相馬市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 9.5	32 38.1	31 36.9	13 15.5	84 100.0	相馬市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 10.0	15 37.5	16 40.0	5 12.5	40 100.0		
旧原町市	0 0.0	0 0.0	2 2.5	8 10.1	36 45.6	28 35.4	5 6.3	79 100.0	旧原町市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.7	32 50.0	19 29.7	10 15.6	64 100.0		
平地区	1 0.2	1 0.2	8 1.2	41 6.3	309 47.6	216 33.3	73 11.2	649 100.0	平地区	0 0.0	2 1.3	2 1.3	7 4.4	76 47.8	49 30.8	23 14.5	159 100.0		
県外	0 0.0	1 0.1	5 0.7	71 9.7	338 46.0	219 29.8	101 13.7	735 100.0	県外	0 0.0	0 0.0	4 0.5	72 9.4	379 49.3	225 29.3	88 11.5	768 100.0		
合計	1 0.0	8 0.1	50 0.9	405 7.6	2,458 45.9	1,745 32.6	683 12.8	5,350 100.0	合計	2 0.1	6 0.2	32 0.8	297 7.5	1,857 47.1	1,251 31.7	497 12.6	3,942 100.0		

オ 本・CD

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の本・CDの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「月1回程度」(41.1%)の割合が最も高く、次いで「半年に数回程度」(34.9%)、「年1回程度」(9.5%)の順となっている。郊外では「月1回程度」(43.2%)の割合が最も高く、次いで「半年に数回程度」(34.3%)、「週1~2回程度」(8.3%)の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。県外の中心部商業地では、「半年に数回程度」が「月1回程度」の割合を上回っている。

二本松市と旧田島町では、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表 1 2 - 9 - 5 拠点都市における買物場所別の買物頻度 (本・CD)

<中心部商業地>

買物場所	買物頻度	上段は実数 下段は%							計
		ほぼ毎日	週3~4回程度	週1~2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	
福島市	0	5	58	342	272	83	65	825	
	0.0	0.6	7.0	41.5	33.0	10.1	7.9	100.0	
二本松市	0	1	9	29	24	13	4	80	
	0.0	1.3	11.3	36.3	30.0	16.3	5.0	100.0	
郡山市	1	8	99	508	420	103	54	1,193	
	0.1	0.7	8.3	42.6	35.2	8.6	4.5	100.0	
須賀川市	0	5	36	181	159	46	36	463	
	0.0	1.1	7.8	39.1	34.3	9.9	7.8	100.0	
白河市	0	3	30	223	182	25	31	494	
	0.0	0.6	6.1	45.1	36.8	5.1	6.3	100.0	
会津若松市	0	2	36	189	204	65	41	537	
	0.0	0.4	6.7	35.2	38.0	12.1	7.6	100.0	
喜多方市	0	1	12	52	42	15	12	134	
	0.0	0.7	9.0	38.8	31.3	11.2	9.0	100.0	
旧田島町	0	0	0	3	3	0	0	6	
	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	
相馬市	0	0	13	77	63	18	12	183	
	0.0	0.0	7.1	42.1	34.4	9.8	6.6	100.0	
旧原町市	0	1	14	63	50	20	9	157	
	0.0	0.6	8.9	40.1	31.8	12.7	5.7	100.0	
平地区	1	7	45	266	210	60	34	623	
	0.2	1.1	7.2	42.7	33.7	9.6	5.5	100.0	
県外	0	1	10	46	50	8	4	119	
	0.0	0.8	8.4	38.7	42.0	6.7	3.4	100.0	
合計	2	34	362	1,979	1,679	456	302	4,814	
	0.0	0.7	7.5	41.1	34.9	9.5	6.3	100.0	

<郊外>

買物場所	買物頻度	上段は実数 下段は%							計
		ほぼ毎日	週3~4回程度	週1~2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	
福島市	0	4	91	491	351	97	46	1,080	
	0.0	0.4	8.4	45.5	32.5	9.0	4.3	100.0	
二本松市	0	0	10	40	22	6	2	80	
	0.0	0.0	12.5	50.0	27.5	7.5	2.5	100.0	
郡山市	1	7	73	347	299	65	35	827	
	0.1	0.8	8.8	42.0	36.2	7.9	4.2	100.0	
須賀川市	0	2	27	144	118	23	21	335	
	0.0	0.6	8.1	43.0	35.2	6.9	6.3	100.0	
白河市	0	1	16	77	62	12	13	181	
	0.0	0.6	8.8	42.5	34.3	6.6	7.2	100.0	
会津若松市	1	1	34	159	164	32	31	422	
	0.2	0.2	8.1	37.7	38.9	7.6	7.3	100.0	
喜多方市	0	0	5	17	24	5	3	54	
	0.0	0.0	9.3	31.5	44.4	9.3	5.6	100.0	
旧田島町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
相馬市	0	0	3	33	23	9	6	74	
	0.0	0.0	4.1	44.6	31.1	12.2	8.1	100.0	
旧原町市	0	2	5	57	38	13	10	125	
	0.0	1.6	4.0	45.6	30.4	10.4	8.0	100.0	
平地区	0	4	16	90	58	11	12	191	
	0.0	2.1	8.4	47.1	30.4	5.8	6.3	100.0	
県外	1	0	9	48	34	9	8	109	
	0.9	0.0	8.3	44.0	31.2	8.3	7.3	100.0	
合計	3	21	289	1,503	1,193	282	187	3,478	
	0.1	0.6	8.3	43.2	34.3	8.1	5.4	100.0	

カ 家電製品

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の家電製品の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「数年に1回程度」(43.0%)の割合が最も高く、次いで「年1回程度」(28.1%)、「半年に数回程度」(23.2%)の順となっている。郊外も同様に「数年に1回程度」(39.4%)の割合が最も高く、次いで「年1回程度」(28.7%)、「半年に数回程度」(26.9%)の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

二本松市と旧田島町では、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表 1 2 - 9 - 6 拠点都市における買物場所別の買物頻度（家電製品）

＜中心部商業地＞								＜郊外＞											
買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計	買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週3〜4回程度	週1〜2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度				ほぼ毎日	週3〜4回程度	週1〜2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	
福島市	0	5	9	27	180	217	350	788	福島市	0	2	7	39	367	388	521	1,324		
	0.0	0.6	1.1	3.4	22.8	27.5	44.4	100.0		0.0	0.2	0.5	2.9	27.7	29.3	39.4	100.0		
二本松市	0	0	0	1	7	16	20	44	二本松市	0	0	0	5	27	19	26	77		
	0.0	0.0	0.0	2.3	15.9	36.4	45.5	100.0		0.0	0.0	0.0	6.5	35.1	24.7	33.8	100.0		
郡山市	0	2	12	60	297	345	565	1,281	郡山市	2	4	11	59	263	315	431	1,085		
	0.0	0.2	0.9	4.7	23.2	26.9	44.1	100.0		0.2	0.4	1.0	5.4	24.2	29.0	39.7	100.0		
須賀川市	0	2	7	18	91	115	179	412	須賀川市	0	0	2	16	97	75	125	315		
	0.0	0.5	1.7	4.4	22.1	27.9	43.4	100.0		0.0	0.0	0.6	5.1	30.8	23.8	39.7	100.0		
白河市	0	0	5	19	104	142	195	465	白河市	2	0	3	7	37	41	73	163		
	0.0	0.0	1.1	4.1	22.4	30.5	41.9	100.0		1.2	0.0	1.8	4.3	22.7	25.2	44.8	100.0		
会津若松市	0	2	5	24	141	177	282	631	会津若松市	0	1	3	24	156	181	230	595		
	0.0	0.3	0.8	3.8	22.3	28.1	44.7	100.0		0.0	0.2	0.5	4.0	26.2	30.4	38.7	100.0		
喜多方市	1	0	1	1	13	20	22	58	喜多方市	0	0	0	1	10	12	17	40		
	1.7	0.0	1.7	1.7	22.4	34.5	37.9	100.0		0.0	0.0	0.0	2.5	25.0	30.0	42.5	100.0		
旧田島町	0	0	0	0	0	1	2	3	旧田島町	0	0	0	0	0	1	0	1		
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0		
相馬市	0	0	4	4	50	51	88	197	相馬市	0	0	1	2	35	38	39	115		
	0.0	0.0	2.0	2.0	25.4	25.9	44.7	100.0		0.0	0.0	0.9	1.7	30.4	33.0	33.9	100.0		
旧原町市	1	0	4	7	29	40	63	144	旧原町市	0	0	0	4	44	39	56	143		
	0.7	0.0	2.8	4.9	20.1	27.8	43.8	100.0		0.0	0.0	2.8	30.8	27.3	39.2	100.0			
平地区	1	2	9	34	193	215	300	754	平地区	0	2	3	6	56	61	91	219		
	0.1	0.3	1.2	4.5	25.6	28.5	39.8	100.0		0.0	0.9	1.4	2.7	25.6	27.9	41.6	100.0		
県外	0	0	3	12	20	24	22	81	県外	0	0	1	4	20	16	21	62		
	0.0	0.0	3.7	14.8	24.7	29.6	27.2	100.0		0.0	0.0	1.6	6.5	32.3	25.8	33.9	100.0		
合計	3	13	59	207	1,125	1,363	2,088	4,858	合計	4	9	31	167	1,112	1,186	1,630	4,139		
	0.1	0.3	1.2	4.3	23.2	28.1	43.0	100.0		0.1	0.2	0.7	4.0	26.9	28.7	39.4	100.0		

キ 日用品

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の日用品の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「週 1～2 回程度」(60.9%) の割合が最も高く、次いで「週 3～4 回程度」(16.4%) と「月 1 回程度」(15.9%) が同程度となっている。郊外では「週 1～2 回程度」(62.6%) の割合が最も高く、次いで「月 1 回程度」(16.6%) と「週 3～4 回程度」(16.0%) が同程度となっている。

福島市、相馬市、平地区では、中心部商業地、郊外ともに「週 3～4 回程度」が「月 1 回程度」を上回っている。その他の拠点都市では中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

図表 1 2 - 9 - 7 拠点都市における買物場所別の買物頻度（日用品）

＜中心部商業地＞										＜郊外＞									
買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計	買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほほ毎	週354回程度	週152回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度				ほほ毎	週354回程度	週152回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	
福島市	30 5.1	117 19.9	352 59.9	81 13.8	7 1.2	0 0.0	1 0.2	588 100.0	福島市	31 3.6	147 17.2	538 62.9	130 15.2	7 0.8	1 0.1	1 0.1	855 100.0		
二本松市	4 3.8	18 17.1	68 64.8	14 13.3	1 1.0	0 0.0	0 0.0	105 100.0	二本松市	2 2.4	14 17.1	47 57.3	18 22.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	82 100.0		
郡山市	43 4.6	138 14.8	560 59.9	177 18.9	11 1.2	4 0.4	2 0.2	935 100.0	郡山市	19 2.6	115 16.0	458 63.5	124 17.2	5 0.7	0 0.0	0 0.0	721 100.0		
須賀川市	14 4.2	50 15.0	213 64.0	51 15.3	2 0.6	3 0.9	0 0.0	333 100.0	須賀川市	12 4.9	42 17.2	151 61.9	36 14.8	1 0.4	0 0.0	2 0.8	244 100.0		
白河市	13 3.7	64 18.1	216 61.0	58 16.4	2 0.6	0 0.0	1 0.3	354 100.0	白河市	0 0.0	12 12.8	55 58.5	22 23.4	4 4.3	0 0.0	1 1.1	94 100.0		
会津若松市	37 9.4	62 15.8	231 58.9	56 14.3	5 1.3	1 0.3	0 0.0	392 100.0	会津若松市	7 2.4	45 15.3	188 63.7	51 17.3	3 1.0	1 0.3	0 0.0	295 100.0		
喜多方市	3 1.9	26 16.3	101 63.1	30 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	160 100.0	喜多方市	3 4.8	9 14.5	32 51.6	16 25.8	1 1.6	1 1.6	0 0.0	62 100.0		
旧田島町	4 4.7	15 17.4	53 61.6	14 16.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	86 100.0	旧田島町	0 0.0	2 8.7	15 65.2	6 26.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 100.0		
相馬市	15 6.3	43 18.1	142 59.9	32 13.5	3 1.3	2 0.8	0 0.0	237 100.0	相馬市	6 7.0	12 14.0	57 66.3	9 10.5	2 2.3	0 0.0	0 0.0	86 100.0		
旧原町市	8 5.1	23 14.6	99 63.1	22 14.0	3 1.9	1 0.6	1 0.6	157 100.0	旧原町市	5 4.7	10 9.4	77 72.6	14 13.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	106 100.0		
平地区	26 5.3	76 15.6	299 61.5	74 15.2	6 1.2	2 0.4	3 0.6	486 100.0	平地区	12 6.0	35 17.4	122 60.7	28 13.9	2 1.0	2 1.0	0 0.0	201 100.0		
県外	0 0.0	2 8.3	13 54.2	6 25.0	2 8.3	2 4.2	0 0.0	24 100.0	県外	1 4.3	4 17.4	7 30.4	9 39.1	2 8.7	0 0.0	0 0.0	23 100.0		
合計	197 5.1	634 16.4	2,347 60.9	615 15.9	42 1.1	14 0.4	8 0.2	3,857 100.0	合計	98 3.5	447 16.0	1,747 62.6	463 16.6	28 1.0	5 0.2	4 0.1	2,792 100.0		

ク 医薬品・化粧品

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の医薬品・化粧品の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「月 1 回程度」(55.5%) の割合が最も高く、次いで「週 1~2 回程度」(23.4%)、「半年に数回程度」(14.6%) の順となっている。郊外も同様に「月 1 回程度」(55.7%) の割合が最も高く、次いで「週 1~2 回程度」(22.5%)、「半年に数回程度」(15.7%) の順となっている。

その他の拠点都市では、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

図表 1 2 - 9 - 8 拠点都市における買物場所別の買物頻度（医薬品・化粧品）

<中心部商業地>

買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週 3 回程度	週 1 回程度	月 1 回程度	半年に数回程度	年 1 回程度	数年に 1 回程度	
福島市	10	29	160	336	82	8	1	626	
	1.6	4.6	25.6	53.7	13.1	1.3	0.2	100.0	
二本松市	0	7	36	61	10	1	0	115	
	0.0	6.1	31.3	53.0	8.7	0.9	0.0	100.0	
郡山市	3	29	196	580	169	18	1	996	
	0.3	2.9	19.7	58.2	17.0	1.8	0.1	100.0	
須賀川市	2	11	63	197	52	2	1	328	
	0.6	3.4	19.2	60.1	15.9	0.6	0.3	100.0	
白河市	5	8	69	190	53	3	2	330	
	1.5	2.4	20.9	57.6	16.1	0.9	0.6	100.0	
会津若松市	6	21	91	217	55	7	1	398	
	1.5	5.3	22.9	54.5	13.8	1.8	0.3	100.0	
喜多方市	2	7	45	80	23	2	0	159	
	1.3	4.4	28.3	50.3	14.5	1.3	0.0	100.0	
旧田島町	0	2	24	52	9	1	0	88	
	0.0	2.3	27.3	59.1	10.2	1.1	0.0	100.0	
相馬市	3	11	71	116	27	3	0	231	
	1.3	4.8	30.7	50.2	11.7	1.3	0.0	100.0	
旧原町市	2	8	42	93	17	3	0	165	
	1.2	4.8	25.5	56.4	10.3	1.8	0.0	100.0	
平地区	5	18	120	268	67	9	3	490	
	1.0	3.7	24.5	54.7	13.7	1.8	0.6	100.0	
県外	0	0	10	12	15	3	0	40	
	0.0	0.0	2.50	30.0	37.5	7.5	0.0	100.0	
合計	38	151	927	2,202	579	60	9	3,966	
	1.0	3.8	23.4	55.5	14.6	1.5	0.2	100.0	

<郊外>

買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週 3 回程度	週 1 回程度	月 1 回程度	半年に数回程度	年 1 回程度	数年に 1 回程度	
福島市	3	33	184	500	117	5	2	844	
	0.4	3.9	21.8	59.2	13.9	0.6	0.2	100.0	
二本松市	0	3	25	43	6	1	2	80	
	0.0	3.8	31.3	53.8	7.5	1.3	2.5	100.0	
郡山市	3	18	143	442	140	13	6	765	
	0.4	2.4	18.7	57.8	18.3	1.7	0.8	100.0	
須賀川市	1	10	55	128	28	3	0	225	
	0.4	4.4	24.4	56.9	12.4	1.3	0.0	100.0	
白河市	0	4	20	44	17	6	1	92	
	0.0	4.3	21.7	47.8	18.5	6.5	1.1	100.0	
会津若松市	0	12	67	168	54	7	1	309	
	0.0	3.9	21.7	54.4	17.5	2.3	0.3	100.0	
喜多方市	1	5	18	25	6	2	0	57	
	1.8	8.8	31.6	43.9	10.5	3.5	0.0	100.0	
旧田島町	0	0	7	13	2	0	0	22	
	0.0	0.0	31.8	59.1	9.1	0.0	0.0	100.0	
相馬市	2	2	26	49	11	0	0	90	
	2.2	2.2	28.9	54.4	12.2	0.0	0.0	100.0	
旧原町市	1	3	32	48	19	0	0	103	
	1.0	2.9	31.1	46.6	18.4	0.0	0.0	100.0	
平地区	2	14	56	107	30	1	2	212	
	0.9	6.6	26.4	50.5	14.2	0.5	0.9	100.0	
県外	0	0	5	11	15	2	0	33	
	0.0	0.0	15.2	33.3	45.5	6.1	0.0	100.0	
合計	13	104	638	1,578	445	40	14	2,832	
	0.5	3.7	22.5	55.7	15.7	1.4	0.5	100.0	

ケ 食料品

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の食料品の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「週 3～4 回程度」(38.4%) の割合が最も高く、次いで「ほぼ毎日」(30.7%)、「週 1～2 回程度」(29.4%) の順となっている。会津若松市では「ほぼ毎日」の割合が最も高く、旧田島町では「週 1～2 回程度」の割合が最も高い。

郊外では「週 3～4 回程度」(39.9%) の割合が最も高く、次いで「週 1～2 回程度」(31.2%)、「ほぼ毎日」(27.8%) の順となっており、白河市、旧田島町、旧原町市では「週 1～2 回程度」の割合が最も高い。

図表 1 2 - 9 - 9 拠点都市における買物場所別の買物頻度（食料品）

<中心部商業地>

買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週 3 ～ 4 回程度	週 1 ～ 2 回程度	月 1 回程度	半年に 数回程度	年 1 回程度	数年に 1 回程度	
福島市		181 29.9	254 42.0	160 26.4	7 1.2	3 0.5	0 0.0	0 0.0	605 100.0
二本松市		32 28.8	47 42.3	32 28.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	111 100.0
郡山市		294 32.0	350 38.1	264 28.7	11 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	919 100.0
須賀川市		90 25.9	150 43.2	103 29.7	4 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	347 100.0
白河市		89 24.1	142 38.4	129 34.9	8 2.2	0 0.0	1 0.3	1 0.3	370 100.0
会津若松市		154 39.1	142 36.0	97 24.6	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	394 100.0
喜多方市		47 27.6	67 39.4	55 32.4	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	170 100.0
旧田島町		20 23.3	24 27.9	39 45.3	3 3.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	86 100.0
相馬市		84 33.5	86 34.3	75 29.9	5 2.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	251 100.0
旧原町市		51 32.9	59 38.1	45 29.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	155 100.0
平地区		150 32.8	167 36.5	137 30.0	1 0.2	2 0.4	0 0.0	0 0.0	457 100.0
県外		3 11.1	8 29.6	10 37.0	5 18.5	0 0.0	1 3.7	0 0.0	27 100.0
合計		1,195 30.7	1,496 38.4	1,146 29.4	46 1.2	6 0.2	2 0.1	1 0.0	3,892 100.0

<郊外>

買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週 3 ～ 4 回程度	週 1 ～ 2 回程度	月 1 回程度	半年に 数回程度	年 1 回程度	数年に 1 回程度	
福島市		247 29.9	334 40.4	241 29.1	4 0.5	1 0.1	0 0.0	0 0.0	827 100.0
二本松市		17 20.2	33 39.3	32 38.1	2 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	84 100.0
郡山市		213 30.0	282 39.8	206 29.1	3 0.4	3 0.4	2 0.3	0 0.0	709 100.0
須賀川市		63 26.3	87 36.3	83 34.6	6 2.5	1 0.4	0 0.0	0 0.0	240 100.0
白河市		15 16.0	38 40.4	39 41.5	1 1.1	0 0.0	0 0.0	1 1.1	94 100.0
会津若松市		72 27.4	120 45.6	69 26.2	2 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	263 100.0
喜多方市		10 20.4	24 49.0	15 30.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	49 100.0
旧田島町		3 10.3	5 17.2	19 65.5	2 6.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	29 100.0
相馬市		16 24.6	26 40.0	23 35.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	65 100.0
旧原町市		34 29.8	36 31.6	44 38.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	114 100.0
平地区		56 27.5	88 43.1	59 28.9	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	204 100.0
県外		3 17.6	2 11.8	12 70.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 100.0
合計		749 27.8	1,075 39.9	842 31.2	20 0.7	5 0.2	3 0.1	1 0.0	2,695 100.0

コ 家族づれの外食

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の家族づれの外食の買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「月 1 回程度」(55.5%) の割合が最も高く、次いで「週 1～2 回程度」(23.9%)、「半年に数回程度」(16.4%) の順となっている。郊外も同様に「月 1 回程度」(55.4%) の割合が最も高く、次いで「週 1～2 回程度」(20.3%) と「半年に数回程度」(19.9%) が同程度となっている。

相馬市では、中心部商業地、郊外ともに「半年に数回程度」が「週 1～2 回程度」を上回っているが、その他の拠点都市では、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。

二本松市と旧田島町では、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表 1 2 - 9 - 1 0 拠点都市における買物場所別の買物頻度（家族づれの外食）

<中心部商業地>

買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週 3 回程度	週 1 回程度	月 1 回程度	半年に数回程度	年 1 回程度	数年に 1 回程度	
福島市	0	8	190	459	155	16	8	836	
	0.0	1.0	22.7	54.9	18.5	1.9	1.0	100.0	
二本松市	0	1	6	20	5	0	1	33	
	0.0	3.0	18.2	60.6	15.2	0.0	3.0	100.0	
郡山市	2	16	361	697	191	34	10	1,311	
	0.2	1.2	27.5	53.2	14.6	2.6	0.8	100.0	
須賀川市	1	1	87	183	57	5	5	339	
	0.3	0.3	25.7	54.0	16.8	1.5	1.5	100.0	
白河市	0	3	114	254	69	13	4	457	
	0.0	0.7	24.9	55.6	15.1	2.8	0.9	100.0	
会津若松市	0	3	111	324	109	13	5	565	
	0.0	0.5	19.6	57.3	19.3	2.3	0.9	100.0	
喜多方市	0	0	20	58	18	3	2	101	
	0.0	0.0	19.8	57.4	17.8	3.0	2.0	100.0	
旧田島町	0	0	3	11	6	0	1	21	
	0.0	0.0	14.3	52.4	28.6	0.0	4.8	100.0	
相馬市	1	0	26	86	32	8	0	153	
	0.7	0.0	17.0	56.2	20.9	5.2	0.0	100.0	
旧原町市	0	0	27	89	17	2	0	135	
	0.0	0.0	20.0	65.9	12.6	1.5	0.0	100.0	
平地区	2	9	173	360	87	18	1	650	
	0.3	1.4	26.6	55.4	13.4	2.8	0.2	100.0	
県外	0	3	23	110	35	2	2	175	
	0.0	1.7	13.1	62.9	20.0	1.1	1.1	100.0	
合計	6	44	1,141	2,651	781	114	39	4,776	
	0.1	0.9	23.9	55.5	16.4	2.4	0.8	100.0	

<郊外>

買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週 3 回程度	週 1 回程度	月 1 回程度	半年に数回程度	年 1 回程度	数年に 1 回程度	
福島市	1	6	218	626	247	30	7	1,135	
	0.1	0.5	19.2	55.2	21.8	2.6	0.6	100.0	
二本松市	0	0	9	22	6	0	0	37	
	0.0	0.0	24.3	59.5	16.2	0.0	0.0	100.0	
郡山市	1	9	237	599	185	24	4	1,059	
	0.1	0.8	22.4	56.6	17.5	2.3	0.4	100.0	
須賀川市	0	2	63	157	39	12	3	276	
	0.0	0.7	22.8	56.9	14.1	4.3	1.1	100.0	
白河市	0	0	46	96	25	7	3	177	
	0.0	0.0	26.0	54.2	14.1	4.0	1.7	100.0	
会津若松市	0	5	76	252	96	21	1	451	
	0.0	1.1	16.9	55.9	21.3	4.7	0.2	100.0	
喜多方市	0	1	3	16	9	3	0	32	
	0.0	3.1	9.4	50.0	28.1	9.4	0.0	100.0	
旧田島町	0	0	3	4	3	0	0	10	
	0.0	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0	100.0	
相馬市	0	0	9	41	32	3	0	85	
	0.0	0.0	10.6	48.2	37.6	3.5	0.0	100.0	
旧原町市	0	0	11	39	23	1	3	77	
	0.0	0.0	14.3	50.6	29.9	1.3	3.9	100.0	
平地区	0	5	55	109	32	3	2	206	
	0.0	2.4	26.7	52.9	15.5	1.5	1.0	100.0	
県外	0	0	16	72	31	3	0	122	
	0.0	0.0	13.1	59.0	25.4	2.5	0.0	100.0	
合計	2	28	746	2,033	728	107	23	3,667	
	0.1	0.8	20.3	55.4	19.9	2.9	0.6	100.0	

サ 時計・アクセサリ

各ブロックの拠点都市について、各ブロック内における買物場所別の時計・アクセサリの買物頻度をみると、合計では、中心部商業地は「数年に1回程度」(64.9%)の割合が最も高く、次いで「年1回程度」(21.5%)、「半年に数回程度」(10.6%)の順となっている。郊外も同様に「数年に1回程度」(65.4%)の割合が最も高く、次いで「年1回程度」(21.0%)、「半年に数回程度」(10.2%)の順となっている。

いずれの拠点都市でも、中心部商業地と郊外で買物頻度の傾向に大きな差は認められない。県外では、中心部商業地、郊外ともに、県内の拠点都市と比較して「数年に1回程度」の割合が低く、「半年に数回程度」の割合が高くなっている。

中心部商業地における旧田島町では、「半年に数回程度」の割合が高いが、回答者数が少ないことに留意する必要がある。

図表 12-9-11 拠点都市における買物場所別の買物頻度(時計・アクセサリ)

＜中心部商業地＞									＜郊外＞										
買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計	買物場所	買物頻度	上段は実数、下段は%							計
		ほぼ毎日	週3~4回程度	週1~2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度				ほぼ毎日	週3~4回程度	週1~2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	
福島市	0 0.0	1 0.1	3 0.4	22 2.7	81 10.0	162 20.1	538 66.7	807 100.0	福島市	0 0.0	0 0.0	3 0.4	11 1.4	69 8.8	168 21.4	534 68.0	785 100.0		
二本松市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	7 28.0	16 64.0	25 100.0	二本松市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	6 75.0	8 100.0		
郡山市	1 0.1	3 0.2	7 0.4	34 1.9	181 9.9	399 21.9	1,201 65.8	1,826 100.0	郡山市	1 0.1	4 0.3	6 0.5	38 3.2	113 9.5	254 21.3	774 65.0	1,190 100.0		
須賀川市	0 0.0	0 0.0	3 1.5	6 3.1	24 12.4	40 20.6	121 62.4	194 100.0	須賀川市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	17 12.9	30 22.7	84 63.6	132 100.0		
白河市	0 0.0	0 0.0	3 1.3	6 2.6	19 8.2	49 21.2	154 66.7	231 100.0	白河市	0 0.0	0 0.0	1 0.8	5 4.2	12 10.1	12 10.1	89 74.8	119 100.0		
会津若松市	0 0.0	0 0.0	2 0.5	5 1.2	38 8.8	82 19.1	303 70.5	430 100.0	会津若松市	0 0.0	1 0.3	2 0.6	10 3.0	20 6.1	59 18.0	236 72.0	328 100.0		
喜多方市	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	2 7.1	4 14.3	21 75.0	28 100.0	喜多方市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	8 88.9	9 100.0		
旧田島町	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	2 20.0	5 50.0	10 100.0	旧田島町	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0		
相馬市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.7	1 1.9	10 18.5	41 75.9	54 100.0	相馬市	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	7 35.0	11 55.0	20 100.0		
旧原町市	0 0.0	0 0.0	1 1.6	1 1.6	4 6.3	15 23.4	43 67.2	64 100.0	旧原町市	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 8.3	9 25.0	24 66.7	36 100.0		
平地区	1 0.2	2 0.3	3 0.5	12 2.1	48 8.3	116 20.1	394 68.4	576 100.0	平地区	0 0.0	1 0.6	1 0.6	4 2.6	11 7.1	27 17.5	110 71.4	154 100.0		
県外	0 0.0	1 0.1	5 0.6	23 2.8	135 16.3	206 24.9	457 55.3	827 100.0	県外	0 0.0	1 0.1	4 0.5	24 3.2	113 15.1	172 23.1	432 57.9	746 100.0		
合計	2 0.0	7 0.1	28 0.6	111 2.2	538 10.6	1,092 21.5	3,294 64.9	5,072 100.0	合計	1 0.0	7 0.2	18 0.5	94 2.7	359 10.2	741 21.0	2,309 65.4	3,529 100.0		

シ 11 品目平均

拠点都市の中心部商業地における流入消費者の買物頻度について分析する。

流入消費者の買物頻度は、須賀川市、白河市、相馬市、旧原町市で「半年に数回程度」の割合が最も高い。平地区、会津若松市、郡山市、福島市では「数年に1回程度」の割合が最も高い。旧田島町、二本松市、喜多方市は「週1～2回程度」割合が最も高い。

図表 1 2 - 1 0 拠点都市の中心部商業地における流入消費者の買物頻度と 1 1 品目平均流入率

上段は実数、下段は%

	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	半年に数回程度	年1回程度	数年に1回程度	合計	11品目平均流入率
白 河 市	29 0.9	81 2.5	347 10.7	692 21.3	855 26.3	460 14.1	787 24.2	3,251 100.0	8.8
会津若松市	54 0.9	102 1.7	441 7.3	1,165 19.2	1,589 26.1	1,061 17.5	1,667 27.4	6,079 100.0	8.0
須賀川市	27 0.9	110 3.6	348 11.3	662 21.5	828 26.9	461 15.0	642 20.9	3,078 100.0	6.0
平 地 区	32 0.8	91 2.3	359 9.0	713 17.8	1,019 25.5	607 15.2	1,181 29.5	4,002 100.0	6.0
郡 山 市	34 0.3	99 0.8	655 5.4	2,068 17.1	3,344 27.6	2,352 19.4	3,551 29.3	12,103 100.0	4.7
福 島 市	17 0.3	54 0.9	373 6.1	1,189 19.3	1,737 28.2	1,045 17.0	1,744 28.3	6,159 100.0	2.8
旧 田 島 町	3 1.3	5 2.2	95 41.5	67 29.3	43 18.8	12 5.2	4 1.7	229 100.0	2.7
旧 原 町 市	6 1.1	10 1.9	59 10.9	120 22.2	154 28.5	82 15.2	109 20.2	540 100.0	2.2
二 本 松 市	1 0.4	18 7.2	73 29.1	48 19.1	54 21.5	27 10.8	30 12.0	251 100.0	1.3
相 馬 市	17 2.2	48 6.1	126 15.9	180 22.8	191 24.2	81 10.3	147 18.6	790 100.0	1.8
喜 多 方 市	7 1.5	30 6.6	112 24.7	111 24.5	107 23.6	54 11.9	32 7.1	453 100.0	1.8

注1：11品目は、背広・スーツ、セーター・ブラウス、下着、靴・バッグ、本・CD、家電製品、日用品、医薬品・化粧品、食料品、家族づれの外食、時計・アクセサリである。

注2：11品目平均流入率は、11品目合計流入人口÷流入している市町村の実際の人口